文部科学省委託事業「平成 30 年度　教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」
テーマ８「教科教育コアカリキュラムの研究」成果報告書

中等教員としての資質・能力育成の体系化・プログラム化による教科教育コアカリキュラム
ー教科教育科目と教科内容科目の有機的連携ー
（総合デジタル版）

広島大学大学院教育学研究科教科コアカリ研究グループ

2019（H31）年 3 月

広島大学

文部科学省委託事業「平成 30 年度　教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」
テーマ８「教科教育コアカリキュラムの研究」成果報告書

中等教員としての資質・能力育成の体系化・プログラム化による教科教育コアカリキュラム
ー教科教育科目と教科内容科目の有機的連携ー

（総合デジタル版）

広島大学大学院教育学研究科教科コアカリ研究グループ

2019（H31）年 3 月

広島大学

目　次

第１章　本調査研究の課題、方法等 ･･････････････(02)

第２章　中学校国語科および高等学校国語科の教員養成カリキュラム分析 ･･････････････(08)

第３章　中学校数学科および高等学校数学科の教員養成カリキュラム分析 ･･････････････(22)

第４章　中学校理科および高等学校理科の教員養成カリキュラム分析 ･･････････････(35)

第５章　中学校社会科および高等学校地理歴史科、公民科の
教員養成カリキュラム分析 ･･････････････(48)

第６章　成果報告フォーラム「教員養成カリキュラムの現状から
教科教育コアカリ策定の課題と展望を考える」･･････････････(60)
＊「第６章　成果報告フォーラム」は報告書冊子版では各発表パワーポイントの表紙のみ掲載。全資料は報告書デジタル総合版に所収

第７章　個別大学資料（アンケート回答、カリキュラム） ･･････････････(62)
＊「第７章　個別大学資料」は報告書冊子版では例として１大学の１教科分のみ掲載。全資料は報告書デジタル総合版に所収

第 1 章

本調査研究の課題、方法等

Ⅰ．趣旨、課題

本報告書は文部科学省委託事業「平成 30 年度　教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」のテーマ 8「教科教育コアカリキュラムの研究」として公募されたものに、広島大学大学院教育学研究科の企画提案として採択された事業の成果をまとめたものである。

公募要領に示された本テーマの趣旨と内容は以下の通りである。

１ 本テーマの趣旨

従来、大学では学芸的側面が強調される傾向があり、そのことは、課題が複雑・多様化する教育現場から、例えば初任者が実践的指導力や学校現場が抱える課題への対応力を十分に身に付けていないなどの批判を受けてきたところである。こうしたことを背景として、以前より教職課程の質的水準の確保に資するコアカリキュラムの作成が求められており、中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」（平成 27 年 12 月）でも「大学が教職課程を編成するにあたり参考とする指針（教職課程コアカリキュラム）を関係者が共同で作成することで、教員の養成、研修を通じた教員育成における全国的な水準の確保を行っていくことが必要である。」と提言されていた。

これを踏まえ、平成 29 年 11 月、全ての大学で共通的に修得すべき資質能力を示した教職課程コアカリキュラムを、まずは学校種や職種の共通性が高い現行の「教職に関する科目」について作成した。また、このほか、小学校・中学校・高等学校の英語教員に関するコア・カリキュラムや、幼稚園教諭の養成課程のモデルカリキュラムの開発に向けた調査研究が行われてきた。

これらに加えて、教職課程コアカリキュラムの在り方に関する検討会では「その他の学校種・教科におけるコアカリキュラムについても今後順次整備されることを求めたい。」との提言が出されていた。

以上のような事情を踏まえ、さらに教職課程の全国的な質を向上させていくため、教科に関する専門的事項及び各教科の指導法についても各教科の特性を踏まえたコアカリキュラムを検討することとしており、まず平成 29 年度においては、本事業により小学校の教科教育モデルコアカリキュラムの研究を行ったところである。

本年度においては、中学校及び高等学校の教科教育コアカリキュラムの検討に向けて必要な基礎情報の収集及び分析に関する調査研究を行うものとする。

２ 調査研究内容

〇特に以下の点について留意しつつ、国語、社会（地理歴史・公民）、数学、理科の中学校教諭養成課程又は高等学校教諭養成課程を置く大学における教科に関する専門的事項及び各教科の指導法に関する教育の状況について、基礎情報の収集及び分

析を行うこと。（これらに限定する趣旨ではない。）

① 教育職員免許法施行規則第４条第１項表備考第２号に規定する一般的・包括的な内容を扱う科目において、どのような内容及び必要単位数を設定しているか。

② 教職課程において一般的・包括的な内容の科目も含め、教科に関する専門的事項及び各教科の指導法の科目を修得させることにより、どのような資質・能力を有する教員の養成を目指しているか。また、それは、当該教職課程を置く学部・学科等の学位課程において育成を目指す資質・能力（ディプロマ・ポリシー等）とどのような関係にあるか。

③ ①②について、中学校教諭養成課程と高等学校教諭養成課程において異同があるか。また、幼稚園又は小学校教諭養成課程と中学校又は高等学校教諭養成課程を併せ持つ学部・学科等とそれ以外の学部・学科等において異同があるか。

④ 教職課程を置いている各大学において、教科に関する専門的事項及び各教科の指導法に関し履修が必要とされている単位数・担当教員その他の基礎的なデータ、当該科目の内容及び構成その他の当該科目についての認識。

（「平成 30 年度　教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業公募要領」p. 11）

これを受けて、広島大学大学院教育学研究科では教科教育学専攻所属の教員で研究グループを組織（以下、「本研究グループ」と表記）し、企画・提案をした。本研究グループでは、「中等教員としての資質・能力育成の体系化・プログラム化による教科教育コアカリキュラムー教科教育科目と教科内容科目の有機的連携ー」という主題で焦点化し、中等教員養成カリキュラムの各科目の役割と順次性を明確にしてプログラム化するため、全国の大学の実態を調査し、一般的傾向の量的把握を行うとともに、特徴的な大学について、各科目の内容、配当セメスターからみえる他科目との関係性、教科内容科目における「一般的・包括的内容」の具体などの質的分析を行い、それらを通して、中等教員養成における教科教育モデルコアカリキュラム開発の方向性に対する示唆を導出することで、この課題に応えることとした。

本研究グループがこのような企画を立てたのは、次のような問題意識による。中央教育審議会教員の資質能力向上特別部会『教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について（審議のまとめ）』（2012 年）で、「近年の大学教育改革に見られるように、教職課程においても、学生が修得すべき知識・技能を明確化し、『何を教えるか』よりも『何ができるようになるか』に重点を置くべきである。学位プログラムとしての体系と同時に教職課程としての体系の確立に向け、各大学の参考となるコアカリキュラムの作成を推進する」と述べられている。

単位修得主義である現行の養成課程にあっては、教員としての資質・能力の形成は、個々の授業の単位の集積によって認定することになり、学生が実際に習得・形成した資質・能力の内実とその形成過程が明確にならない懸念もある。単位修得主義から到達度主義へと転換し、各科目が果たすべき役割と順次性を明確にしてプログラム化すること、そして理論と実践の往還に基づく学びを実現するカリキュラム改革、教職に関する意識・使命感を段階的・継続的に醸成する教育実習の体系化が求められよう。

「教職実践演習」導入を機に、スタンダード（教員としての資質・能力規準）の設定や到達度を

学生自身が確認できるポートフォリオの導入などが進んでいる。他方、中教審は「教科に関する科目については、学校教育の教科内容等を踏まえつつ適切に実施されるべきである。このため、教科に関する科目を担当する教員に対し、（中略）教職課程の科目であることの意識を高めることが必要」と指摘している。教科内容科目のあり方は、教科教育科目のあり方とも密接に関連し、これらの有機的連携の成否が教員養成の成果に大きな影響を与えよう。

このように考えると、特に現行の教員養成カリキュラムを次のような視点で分析し考察することが求められよう。①中等教員養成カリキュラムの各科目の役割と順次性を明確にしてプログラム化するため、各科目の内容、配当セメスターからみえる順次性と他科目との関係性を、教員としての資質・能力の形成過程をどのようにカリキュラム策定に活かすか。②教員としての資質・能力形成において、教科専門の科目はどのような位置づけであるべきかを議論するため、教科内容科目における「一般的・包括的内容」科目の開設形態と具体的内容ならびに「一般的包括的内容」科目とそれ以外の教科内容科目は、何が異なり、どういう位置づけになるのか。

Ⅱ．研究の方法

このような課題に応えるため、具体的には、次のような方法で調査研究を行った。まず、全国の大学における中等教員カリキュラムを収集し、それらを類型化し、各々の特質と課題を抽出した。教員養成は国立、公立、私立を問わず非常に多くの大学で行われているが、時間的物理的制約のある本研究で、それら全てを対象とすることは困難であるため、本研究では国立大学に限定した。国立大学協会の資料によると、現在、中学校および／もしくは高等学校の教員免許が取得可能な国立大学は一部科目のみ取得可能な場合も含めると 80 校弱あり、全国立大学の 9 割以上という高い割合となっている。しかし、それらは教員養成を主目的として計画的・体系的に行っているものばかりではない。免許取得が付随的に可能となっている大学、学部、専攻等を除き、主目的となっている　あるいは体系的なカリキュラムを持っていると判断できる大学の教員養成カリキュラムの実態を調査し、一般的傾向の量的把握を行うとともに、その中から特徴的な大学を抽出し、各科目の授業内容、それらの配当セメスターからみえる他科目との関係性、教科内容科目における「一般的・包括的内容」の具体などの質的分析を行った。それらを通して、中等教員養成における教科教育モデルコアカリキュラム開発の方向性に対する示唆を導出した。

具体的には、以下の課題を実行した。

1．第一次調査：中等教員免許（国語、社会、地理歴史、公民、数学、理科）取得可能な全国の国立大学における教員養成カリキュラムの調査
　①教科ごとの教科教育科目、教科内容科目の抽出。抽出科目数の整理
　②各科目のセメスター配置の整理
　③セメスター配置ならびにシラバス等からわかる教科教育科目と教科内容科目の関係分析。特に教科内容科目における「一般的・包括的内容」科目の配置
2．第一次調査結果に基づくカリキュラムの類型化ならびに類型を代表する大学の選定
3．第二次調査：選定された類型を代表する大学における教科教育カリキュラムの詳細な調査
　①各科目シラバスの検討。特に「一般的・包括的内容」科目および教科教育科目の内容と順次性

②対象校訪問による聞き取り調査。特に、教科教育科目と教科内容科目の関係

③各大学のカリキュラムの特徴と課題の考察

4．調査から得られる教科教育コアカリキュラムの方向性の検討

5．研究成果の公表

①公開フォーラム「教員養成カリキュラムの現状から教科教育コアカリ策定の課題と展望を考える」（2019 年 3 月 3 日キャンパス・イノベーションセンター東京）の開催

②報告書の作成・公表

調査対象大学は、以下の 58 大学であり、そのうちの 52 大学（教科によって異なる）にご協力いただけた。なお、本報告書では原則として、大学名は示さず、任意の番号を振って、その番号で呼ぶことにする。現地調査でご協力いただいた大学については大学名を示す。

北海道教育大学	北海道大学教育学部	弘前大学教育学部
岩手大学教育学部	東北大学教育学部	宮城教育大学
秋田大学教育文化学部	山形大学地域教育文化学部	福島大学人間発達文化学類
茨城大学教育学部	筑波大学人間学群	宇都宮大学教育学部
群馬大学教育学部	埼玉大学教育学部	千葉大学教育学部
東京大学教育学部	東京学芸大学	お茶の水女子大学
横浜国立大学教育学部	山梨大学教育学部	新潟大学教育学部
上越教育大学	富山大学人間発達科学部	
金沢大学人間社会学域学校教育学類		福井大学教育学部
信州大学教育学部	岐阜大学教育学部	静岡大学教育学部
愛知教育大学	名古屋大学教育学部	三重大学教育学部
滋賀大学教育学部	京都教育大学	大阪教育大学
兵庫教育大学	神戸大学国際人間科学部	奈良教育大学
奈良女子大学	和歌山大学教育学部	京都大学大学院教育学部
鳥取大学地域学部	島根大学教育学部	岡山大学教育学部
広島大学教育学部	山口大学教育学部	鳴門教育大学
香川大学教育学部	愛媛大学教育学部	高知大学教育学部
福岡教育大学	佐賀大学教育学部	長崎大学
熊本大学教育学部	大分大学教育学部	宮崎大学教育学部
九州大学教育学部	鹿児島大学教育学部	琉球大学教育学部

Ⅲ. 実施体制

広島大学大学院教育学研究科長：小山正孝
実施総括責任者：棚橋健治
理科教育グループ主任：山崎博史
自然システム教育学講座所属教員
数学教育グループ主任：寺垣内政一
数学教育学講座所属教員
社会科・地理歴史科・公民科教育グループ主任：棚橋健治
社会認識教育学講座所属教員
国語教育グループ主任：佐藤大志
国語教育学講座所属教員

所属部署・職名	氏　名	役割分担
教育学研究科・教授	棚橋　健治	研究全体の統括、教科教育科目（社会、地歴、公民）の調査・分析
同上	磯﨑　哲夫	教科教育科目（理科）の調査・分析
同上	古賀　信吉	教科内容科目（理科）の調査・分析
同上	竹下　俊治	同上
同上	山崎　博史	同上
同上	蔦岡　孝則	同上
教育学研究科・准教授	網本　貴一	同上
同上	梅田　貴士	同上
同上	富川　光	同上
同上	松浦　拓也	教科教育科目（理科）の調査・分析
同上	三好　美織	同上
同上	吉冨　健一	教科内容科目（理科）の調査・分析
教育学研究科・教授	畠中　和生	教科内容科目（社会、公民）の調査・分析
同上	由井　義通	教科内容科目（社会、地歴）の調査・分析
教育学研究科・准教授	熊原　康博	同上
教育学研究科・講師	畑　浩人	教科内容科目（社会、公民）の調査・分析
同上	森田　英樹	同上
教育学研究科・教授	小山　正孝	教科教育科目（数学）の調査・分析
同上	池畠　良	教科内容科目（数学）の調査・分析
同上	下村　哲	同上
同上	寺垣内　政一	同上
教育学研究科・准教授	影山　和也	教科教育科目（数学）の調査・分析
教育学研究科・講師	北臺　如法	教科内容科目（数学）の調査・分析
同上	山村　麻理子	同上
教育学研究科・教授	佐藤　大志	教科内容科目（国語）の調査・分析

同上	佐々木　勇	同上
同上	竹村　信治	同上
同上	間瀬　茂夫	教科教育科目（国語）の調査・分析
同上	山元　隆春	同上
教育学研究科・准教授	川口　隆行	教科内容科目（国語）の調査・分析
同上	小西　いずみ	同上
教育学研究科支援室・主査	白井　康子	事務統括
教育学研究科・教育研究補助職員	赤松　知英	事務全般

Ⅳ．関連する過去の主な研究実績

研究グループのメンバーによる、各々の領域で学生の教員としての資質・能力の獲得過程やそのための授業内容、教員養成カリキュラムなどについての研究の近年の実績を一部のみ記載すると、以下のようなものが挙げられる（執筆者名、掲載誌等は省略）。

・「ポートフォリオ評価を基軸とした，大学における教職課程の改革に関する研究」2018 年
・「異教科で協働できる教員を育成するための実践的研究」2017 年
・「教員免許ポートフォリオの改善による教師教育の再構築」2017 年
・「広島大学教育学部における教員免許ポートフォリオと「教職実践演習」の教育的効果の検証と改善」2016 年
・「理科教員養成における教育実習生の教師知識の発達に関する質的研究」2016 年
・『ねらいについての議論ができる実践家の育成を目指した学部社会科教員養成プログラム』2016 年
・How Do Pre-service Science Teachers Develop Their Teacher Knowledge?：A Qualitative Study Focusing on Teaching Practice in Schools，2016
・How Do Social Studies Pre-Service Teachers' Learn Lesson Planning Skills?：Factors that Heighten Abilities Following University Enrollment and Support Measures，2015
・「社会科教師志望学生の授業プランニング能力はいかにして学習されるのか：大学入学後の能力向上の要因と支援策」2015 年
・「各教科(校種別)の授業研究を通した教職・教科教育・教科内容の連携・教員協働のあり方に関する研究」2015 年
・「現代社会の課題に応える教科教育プログラムの開発研究：Curriculum Research & Development Center の取組の試行として」2015 年
・「教員志望学生にみる社会科カリキュラム分析力の向上とその効果：社会系（地理歴史）カリキュラムデザイン論の受講生を手がかりに」2014 年

（棚橋　健治）

第 2 章

中学校国語科および高等学校国語科の教員養成カリキュラム分析

Ⅰ．カリキュラム表の量的分析と類型化

中等教員免許（国語）取得可能な全国の国立大学のうち，今回の教員養成カリキュラムの実態調査を行ったのは 43 大学。この 43 大学のカリキュラムを，特に「一般的包括的科目」の構成に着目すると，「一般的包括的科目」の科目数が多い場合（類型Ａ）と，科目数が少ない場合（類型Ｂ）に大きく二つの類型に分けることができる。

中等国語の教員養成カリキュラムの教科内容の科目は，一般的に国語学・国文学・漢文学・書写書道の 4 領域によって構成される。

類型Ａのカリキュラムは，「一般的包括的科目」の構成が，国語学 2 科目・国文学 2 科目・漢文学 1 科目・書写書道 1 科目を基本型とし（01, 03, 12, 25, 27, 37, 44, 53, 54, 55），国語学や国文学が 3 科目以上の場合(04, 06, 14, 17, 18, 19, 22, 29, 32, 35, 39)，又は漢文学や書写書道が 2 科目以上の場合(14, 17, 18, 19, 21, 29, 39, 43, 45)がある[1]。

類型Ｂのカリキュラムは，「一般的包括的科目」の構成が，国語学 1 科目・国文学 1 科目・漢文学 1 科目・書写書道 1 科目を基本型とし（07, 09, 10, 20, 24, 26, 31, 33, 42, 46, 51），国文学が 2 科目の場合（48, 52, 57, 58），漢文・書写書道が 2 科目の場合（08, 28, 34, 57)がある。

「一般的包括的科目」と「教科教育に関する科目」の必修科目との関係については，ａ「一般的包括的科目」を先に開設する大学が 22 校，ｂ「一般的包括的科目」と「教科教育に関する科目」を同時に開設する大学が 21 校であり，その割合はほぼ同じであった。

（＊佐藤大志・小西いずみ）

Ⅱ．　各大学アンケート回答の分析

１　質問１育成する中学校・高校の国語科教員像について

[1] __は国語学・国文学と漢文学・書写書道の科目数が共に標準以上の大学を指す。なお，大学 15 は科目数が国語学 1・漢文学 1 と極端に少なく，大学からのアンケート回答もなかったため，今回は考察の対象外とした。

「どのような資質・能力を有する中学校・高等学校国語科教員の養成を目指していらっしゃるのか」という，各大学で育成する中学校・高等学校の国語科教員像に関する質問に対する回答について，１）回答の記述から中・高の国語科教員像の要素を抽出したうえで，２）それぞれの回答が各要素を含んでいるかを分析し，３）集計を行う。

まず，抽出された国語科教員像の要素は，次のものである。

ア　学問領域の専門性…例）国語科内の分野に偏らず，日本語学，近現代文学，日本古典文学，漢字・漢文学の各専門科目を概論・演習等を通して広く履習させ，各分野に対して一定以上の能力を有する教員養成を目指している。

イ　言語能力・問題解決能力…例）基礎力を確実に養うとともに，発表やディスカッションをとおして，自ら問題を発見し，調査し，考え，解決する力やコミュニケーション能力を有する人材の養成を目指している。

ウ　国語科の指導に関する能力・態度…例）②主体的，対話的な学習活動を単元レベル，授業レベルで構想する能力③言語活動を誘発し，支援し，評価することのできるコミュニケーション能力。

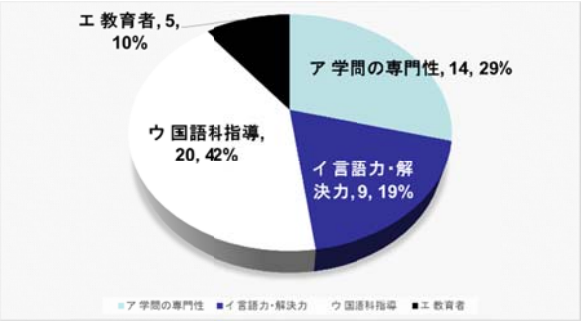
エ　教育者としての資質・能力　例）・教育者としての倫理観・向上心をもち，教育実践を主体的に推進できる力。

上記のような要素が，各大学の回答にどのように含まれるかを分析し，集計したところ，表１のような結果が得られた。この結果からは，全体的に，学問の専門的知識に基づいた国語科の指導力を持った教員を育成するという考え方の強さがうかがわれる。

【表１】中学校・高等学校国語科教員像の要素

※記述のあったのは 28 校で，回答に複数の要素が含まれた場合全てを集計した。

ア 学問の専門性	イ 能力	ウ 国語科指導	エ 教育者
14	9	20	5
50.0%	32.1%	71.4%	17.9%



なお，アの要素のみの回答は，例えば次のようなものである。

・国語科内の分野に偏らず，日本語学，近現代文学，日本古典文学，漢字・漢文学の各専門科目を概論・演習等を通して広く履習させ，各分野に対して一定以上の能力を有する教員養成を目指している。

イおよびウの要素からなる回答は，例えば次のようなものである。

・作品・教材の具体的表現に注目し作者・著者の工夫を読み取る教材研究，生徒の実態に即した学習材研究ができ，生徒が「言葉」でコミュニケーション・思考・想像し・批評などができる教員の養成をめざしています。

ア，イ，ウ，エ全ての要素からなる回答は次のようなものである。

①国語学，国文学，漢文学，書写書道における教科専門性を生かした深い教材分析力。

②主体的，対話的な学習活動を単元レベル，授業レベルで構想する能力。

③言語活動を誘発し，支援し，評価することのできるコミュニケーション能力。

④自己の実践を他者と共有し，探求する事のできる実践者としての能力。

２　質問３から５の分析

（１）結果集計

国語に関しては, 32 大学から回答があった。回答の集計結果を表１に示す。全体的な傾向として,

質問３の「一般的包括的内容」専用の科目の開設については，次の a の回答が最も多い。

a. 「一般的包括的内容」専用の科目を開設している…65.6%

質問４の「一般的包括的内容」科目の授業内容については，次の a の回答が最も多い。

a. 基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成…81.3％

質問５の教科指導法等と教科内容科目（専門的事項）との関係については，次の d の回答が最も多い。

d. 両者をほぼ同時並行的に履修…59.4%

また，類型ごとの集計結果を表２に示す。この結果については，次の項で考察する。

【表１】質問３から質問５への回答の集計結果

※有効回答数は 32 校で，各質問の選択肢に重複する回答が見られる。

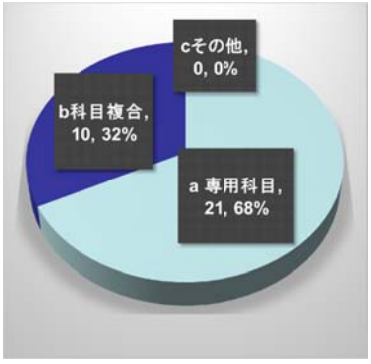
問い	質問３			質問４			質問５				
選択肢	a	b	c	a	b	c	a	b	c	d	e
全体	21	10	0	26	12	0	1	10	0	19	0
32 校	65.6%	31.3%	0.0%	81.3%	37.5%	0.0%	3.1%	31.3%	0.0%	59.4%	0.0%

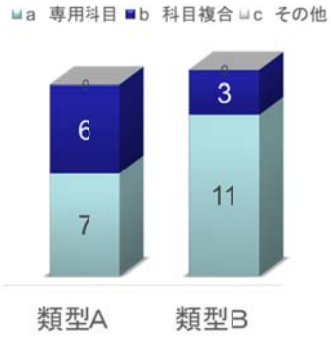
【表２】類型ごとの質問３から質問５への回答の集計結果

※類型ごとに回答の割合を出した。

問い	質問３			質問４			質問５				
選択肢	a	b	c	a	b	c	a	b	c	d	e
類型Ａ	7	6	0	11	4	0	1	2	0	9	0
13 校	53.8%	46.2%	0.0%	84.6%	30.8%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%	69.2%	0.0%
類型Ｂ	11	3	0	11	6	0	0	5	0	9	0
15 校	73.3%	20.0%	0.0%	73.3%	40.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	60.0%	0.0%

質問3「一般的包括的科目」専用科目の開設





（２）質問３専門的内容科目における「一般的包括的科目」の位置づけ

類型ごとの質問３の集計結果を見ると，選択肢ａとｂ，すなわち

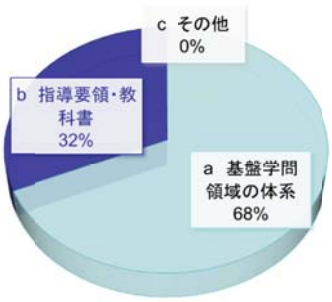
a. 専用の科目を開設している

b. 専用の科目を開設せずに，専門的内容の科目を複数組み合わせている

の回答の割合に，20%ほどの差が見られる。教科内容系の授業科目が多い類型Ａの大学より，教科内容系の科目が少ない類型Ｂの大学の方が，全体での多数派（65.6%）である選択肢ａの「一般的包括的内容」の専用の科目を開設する割合が多く（73.3%），逆に全体では少数派（31.3%）のｂの「専用の科目を開設せず，専門的内容科目の複数組み合わせ」と回答したのは，類型Ａの大学の方が多い（40.0%）。

「一般的包括的内容」については，全体的には専用の科目を設ける傾向にあるが，教科内容に関する授業科目が多い場合（類型Ａ），「一般的包括的内容」のみを表層的に扱う必要はなく，いくつかの授業で専門的内容への習熟を進めながら，「一般的包括的内容」の理解も深めることができるものと思われる。

質問４　「一般的包括的科目」の授業内容



（３）質問４「一般的包括的内容」科目の授業内容

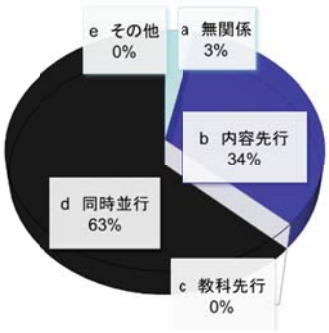
質問４については，類型によって選択肢の回答割合に，10%ほどの差が見られた。全体では多くの大学（81.3%）が，「一般的包括的内容」科目について「基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成」していると回答しているが，類型 B の大学では，73.3%と少なくなっている。逆に，全体では少数派（37.5%）のｂ「 学習指導要領や中高校教科書の内容に基づいて構成」しているのについては，40.0%と多く回答している。

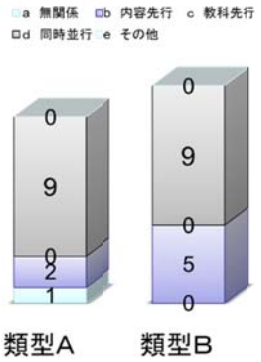
教科内容に関する授業科目が少ない場合（類型Ｂ），「一般的包括的内容」科目が，学問体系より，

中学校・高等学校の国語科の内容に沿って構成せざるを得ないという状況がうかがわれる。

なお，質問３の少数派である「一般的包括的内容」専用の科目を開設していない大学と，質問４の少数派である「一般的包括的内容」科目を学校現場に合わせた内容としている大学とで重複するのは，大学 17 と大学 33 の２大学で，両者の間に相関はないものと思われる。

質問5 教科教育と教科内容の関係





（４）質問５教科指導法等と教科内容科目（専門的事項）との関係

質問５の結果は，d「教科指導法と教科内容科目は，両者をほぼ同時並行的に履修」している大学が 59.4%と多いが，ｂ「教科内容科目を先に履修し，それを踏まえて教科教育科目を履修」させている大学も約 31.3%存在する。これを類型ごとに見ると，類型Ａの大学においては，選択肢のｂの回答が 15.4%と少なく，逆に類型Ｂにおいては 33.3%と多い。

教科内容に関する授業科目が少ない場合（類型Ｂ），教科教育科目を履修する前に教科内容科目で教科の専門的内容を履修させる傾向が強まるものと思われる。類型 A のように，教科内容に関する授業科目が多くなれば，そうした順序性は維持しにくくなり，選択肢ａの「両者に特別な関係はない」(7.7%) や，選択肢ｄの「概して，両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている」(69.2%) が多少増えることになる。

（＊間瀬茂夫）

Ⅲ．「一般的・包括的科目」の授業内容の分析とカリキュラムの順次性について

Ⅰ・Ⅱの結果に基づき，授業内容とカリキュラムの順次性についてより詳細な分析を行うため，ここでは類型Ａと類型Ｂを代表する大学をそれぞれ２校ないし３校を選出した。選出に当たっては，類型Ａと類型Ｂともに，ａ「一般的包括的科目」を先に開設する大学（Ａａ，類型Ｂａ）と，ｂ「一般的包括的科目」と「教科教育に関する科目」を同時開設する大学（ＡｂとＢｂ）を選び，類型Ａの特殊型として１校を選んだ。選出した大学は下記の通り。

Ａａ：大学 03　　Ａｂ：大学 44　　Ｂａ:大学 10・大学 42　　Ｂｂ：大学 20

Ａ特殊型：大学 43

以下，１　国語学　２　国文学　３　漢文学の３領域について，類型ごとに「一般的包括的科目」について，その特徴を記し，その後に「一般的包括的科目」と「教科教育に関する科目」「教科内

容に関するその他科目」との順次性について分析の結果を記す。

１ 国語学

類型Ａの場合，「一般的・包括的科目」２科目のうち１科目で《現代日本語学概論》に相当する内容，もう１科目で《日本語史概論》に相当する内容を扱うのが一般的である。中等国語科が近現代の国語と古文を扱うことに対応する。また，それぞれの科目の授業構成は，〈音声・音韻〉〈文字・表記〉〈語彙・意味〉〈文法〉を柱とし，大学によって〈文章・談話〉〈方言〉〈敬語〉などを含めている。〈音声・音韻〉以下の 4 領域を柱とするのは，言語の普遍的な特性にもとづく，必然的なものである。〈文章・談話〉などのオプショナルなものも，言語一般の特性，あるいは日本語の個別的な特性から要請されるもので，シラバスにこれらを含めない場合も〈音声・音韻〉等の 4 領域に関連づけて扱われている可能性がある。

Ａａの大学 03 では，「日本語学Ⅰ」が《現代日本語学概論》，「日本語学Ⅱ」が《日本語史概論》にあたる科目で，上記の〈音声・音韻〉以下の４領域を含めるとともに〈方言〉や〈日本語学史〉にあたる内容を加えた授業構成となっている。

Ａｂの大学 44 では，「国語文化概論Ａ（国語文化とことば）」が《現代日本語学概論》，「国語文化の歴史Ａ（国語の歴史）」が《日本語史概論》にあたる科目である。前者では，やはり上記の４領域を柱とし，それに〈文章・談話〉〈敬語〉を加えた授業構成となっている。シラバスには明示されていないが〈方言〉にあたる内容も〈音声・音韻〉以下の４領域で扱っている。後者も，上記の〈音声・音韻〉以下の４領域に，〈文章・文体〉を加える授業構成である。

類型Ｂでは，その１科目で《現代日本語学概論》にあたる内容のみを扱う大学が多いが，《現代日本語学概論》を主とし《日本語史概論》にあたる内容を数回分加える大学もある（07 秋田大学など）。いずれの場合も，現代日本語の〈音声・音韻〉〈文字・表記〉〈語彙・意味〉〈文法〉を柱とし〈文章・文体〉等を加える授業構成が一般的である。

Ｂａの大学 10「国語学概論」は〈音声・音韻〉等 4 領域を柱とした一般的な授業構成である。大学 42「日本語学Ａ（日本語概説）」は〈音声・音韻〉等 4 領域に〈敬語〉〈言語の発達〉などを含める。Ｂｂの大学 20「国語学概論」は〈音声・音韻〉〈文字・表記〉を導入として〈文法〉に重点を置く点で特徴的である。

Ａ特殊型の大学 43 では，国語学の「一般的・包括的科目」として，「国語学概論Ａ」「同Ｂ」（各 1 単位），「中等国語科内容論（国語学）Ⅰ」「同Ⅱ」（各 1 単位）の二つがこの順序で開設されている。前者は《現代日本語学概論》を主とし，《日本語史概論》も含むもので，〈音声・音韻〉など基礎 4 領域や〈文章〉などを扱う。後者は，日本語学の諸領域を中等国語科の学習指導要領の事項や教科書教材と関連づけて扱う内容・構成となっている。

（＊小西いずみ・佐々木勇）

２ 国文学

類型Ａ，類型Ｂとも《文学史的知識》と《作品の基礎的分析能力》を養うことを目標としている場合が多い。ただし，類型Ｂには，《文学史的知識》に比重を置き，《作品の基礎的分析能力》は専門的科目で扱う大学もある（後述の大学 10，大学 20）。

類型Ａの場合，２科目のうち１科目で《近現代文学概論》に相当する内容，もう１科目で《古典文

学概論》に相当する内容を扱うのが一般的である。中等国語科が近現代の文章と古文を扱うことに対応する。また，それぞれの科目の授業構成は，中等国語科の教科書教材を中心に，文学史的知識とともに，作品の特質，構造，思想についての基礎的な分析能力を養うことを目標としている。

Ａａの大学 03 では，「日本文学Ⅱ」が《近現代文学概論》，「日本語学Ⅰ」が《古典文学概論》にあたる科目である。前者では，丹後国風土記，日本書紀，万葉集など上代文学を取り上げている。後者では，明治から現代までの著名な作家の小説を取り上げている。

Ａｂの大学 44 では，「国語文化概論Ｂ（国語文化と文学）」が《近現代文学概論》，「国語文化の歴史Ｂ（国文学の歴史）」が《古典文学概論》にあたる科目である。前者では，明治から現代までの小説，詩，文芸的評論をとりあげて，近現代文学に関する知識を身につけ，作品を読む方法と態度を養うことを目標としている。後者では，平安朝以降の和歌をとりあげて，和歌観の形成，読解力と鑑賞力の育成を目標としている。

類型Ｂでは，（い）類型Ａ同様に《近現代文学概論》と《古典文学概論》に相当する２科目を設定する大学，（ろ）１科目で《近現代文学概論》と《古典文学概論》をあわせた内容を扱う大学と，（は）１科目で《近現代文学概論》と《古典文学概論》のどちらかだけを扱う大学とに大別される。

Ｂａの大学 42 は（い）のケースに当たり，「日本文学史Ａ（日本古典文学史）」で古代から中世の主要な王朝物語（日記文学・和歌文学）などを扱い，「日本文学史Ｂ（日本近代文学史）」で明治から昭和初期の小説を取り上げ，近代文学史を概観している。

同じくＢａの大学 10 は（ろ）のケースに当たり，「国文学概論」で上代から現代までの《文学史的知識》を広く扱っている。

Ｂｂの大学 20 は（は）のケースに当たり，「日本文学概論」で《近現代文学概論》に相当する内容をとりあげて，近現代文学と社会の関わり，メディアと文学の問題を扱う点で特徴的である。

Ａ特殊型の大学 43 では，国語学の「一般的・包括的科目」として，「国文学概論Ａ」「同Ｂ」（各１単位），「中等国語科内容論（国文学）Ⅰ」「同Ⅱ」（各１単位）の二つがこの順序で開設されている。前者は《古典文学概論》に相当し，「Ａ」で上代から中古前半まで，「Ｂ」で中古後半から近世までの《文学史的知識》を扱っている。後者は，「Ⅰ」が古文と韻文，「Ⅱ」が散文（小説と論理的文章）を取り上げ，中等国語科の教科書教材と関連づけて扱う内容・構成となっている。

（＊川口隆行・竹村信治）

３　漢文学

漢文学の「一般的包括的科目」の内容は，次の４つのモデルに分類できる。

①漢文の基礎的読解能力の養成

②教科書教材の枠組みに即した漢字漢文の基礎知識の習得

③古代から唐代に至る中国古典の歴史の概説

④中国古典学の専門領域の入門や応用

①は漢字・漢文に関する基本知識，漢和辞典の使い方，漢文の基本構造，訓読法，文法などの講義を経て，短文練習又は作品の講読を行い，そのような学習を通して，漢文の白文又は訓点付き漢文を自力で訓読，日本語訳する力を養うことを目的とする。また授業の目的は，その後の大学での学びや専門領域の（中国古典及び日本古典文学）の基礎学習を目的とする大学と教員養成を目的とする大学がある。

②は，①と同じく作品の講義・講読を通して漢文の基礎読解能力の育成を目的とするものの，漢文の構造や文法などの基礎的学習よりも，各テキストの時代的・社会的・思想的背景など，中国古典の基本的知識の習得，理解をより重視するものである。これらの大学の多くは，教科書教材の枠組み（故事成語・史伝・思想・唐詩・小説〔文章〕）に即して，複数或いは一つのテキストを選んでいる。その一方で，中国思想や文化，文学の専門的な内容を含んだ専門領域の基礎段階の学習を行うものもある。これらは，特定時期の文化現象の解明を目的とした作品の講読や教科書教材の枠組みを越えた幅広い領域のテキストを用いて，中国古典世界の概観を把握することを目的とするようである。

③は，中国古代の『詩経』から，戦国の『楚辞』や諸子百家，漢代の『史記』と古楽府・古詩，三国六朝期の詩と小説，唐代の詩と散文までを範囲とする場合が多く，これに宋代以降の詩や小説，日本近世・近代の漢詩文を加える場合もある。各時代やジャンルの代表的な作家やテキストを取りあげながら概説する形式であり，中国古典文学の入門に相当する内容であるものの，その範囲は概ね教科書教材の枠組みとも一致する。

④は，中国古典学を学ぶために必要な基本知識（版本，音声・韻律，修辞，注釈など）の入門的学習や中国古典文学の文体・主題・モチーフの探究といった発展的学習などもあり，中国古典学の研究者養成を目的としている。

Ａａの大学 03 は①漢文の基礎的読解能力の養成を目的とし，教科書教材では用いられない中国近代の文章をテキストとして用いる。

Ａｂの大学 44 は②と③を組み合わせており，故事成語→思想→史伝→小説→唐詩の順に教科書教材を講義・講読する形式をとる。

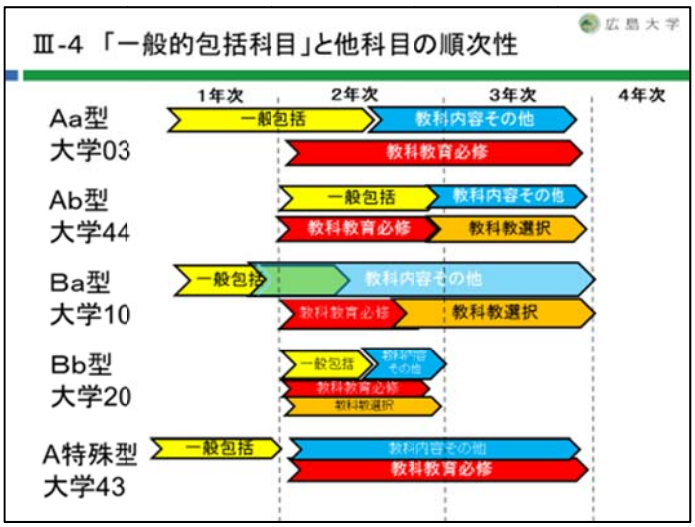
Ｂａの大学 10 は，②教科書教材の枠組みに即した漢字・漢文の基礎知識の習得を目的とし，漢文を学ぶ意義や漢文を読むための基本的な工具書の解説に続けて，唐詩の読解を行い，**大学** 42 は①の漢文の基礎的読解を目的とし，漢文の基礎知識や構造，また古代の歴史と社会について概説した後，『史記』や諸子百家の文章を読解している。

Ｂｂの大学 20 は③古代から明清に至る中国文学の歴史を，その時代を代表する作者や作品を取りあげながら読解する。

Ａ特殊型の大学 43 は，「漢文学概論（１）」「同（２）」「中等国語科内容論（漢文学）（１）」「同（２）」（各１単位）の二つがこの順序で開設されており，「漢文学概論（１）」「同（２）」では①の漢文学の基本的な知識の習得を目指しつつ，作品を講読する形をとり，②では教科書教材の枠組みに即しつつ，中等教育の教員養成をより強く意識したかたちで漢文の読解を行っている。

（＊佐藤大志）

４）「一般的包括科目」と「教科教育に関する科目」「教科内容に関するの科目」との順次性



Ａａの大学 03 は，「一般的包括科目」は１年次前期又は後期に開設されており，その後に「教科教育に関する科目」の必修科目が２年次前期から順次開設され，続いて「教科内容に関するその他科目」が２年次後期から順次開講されるようになっている。

Ｂａの大学 10 は，「一般的包括的科目」のうち，国語学と漢文学が１年次前期，国文学が２年次前期に開設されており，「教科教育に関する科目」は２年次前期に開設されている。「教科内容に関するその他科目」は１年次後期から順次開設されているが，多くは２年次後期から「教科教育に関する科目」の選択科目と同時期に開設されている。

同じくＢａの大学 42 は，「一般的包括的科目」のうち，国文学・漢文学は１年次後期，国語学は２年次前期に開講されている。１年次後期には「教科内容に関するその他科目」の必修科目も開講されており，一方の「教科教育に関する科目」の必修科目は２年次後期の開講となっており，「一般的包括的科目」と「教科内容に関するその他科目」の必修科目の後に，「教科教育に関する科目」の必修が開講され，「教科内容に関する科目」と「教科教育に関する科目」が同時期に順次開設されている。

Ｂｂの大学 20 は，「一般的包括的科目」が２年次前期に開設されており，同時期に「教科教育に関する科目」の必修科目と「教科内容に関するその他科目」も開設されているが，「一般的包括的科目」が前期のみの開講であるのに対して，「教科教育に関する科目」と「教科内容に関するその他科目」も後期にも開講されている。

Ａ特殊型の大学 43 は，「一般的包括的科目」のうち，国語・国文学・漢文学の「○○概論」が１年次前期，その後にそれぞれの「中等国語科内容論（○○学)」が１年次後期に開設され，「教科教育に関する科目」の必修科目はその後に開設され，２年次以降は「教科教育に関する科目」と同時期に順次開設されている。

以上，「一般的包括的科目」の授業内容を中心に，それぞれの類型を代表とする大学の特色を分析し，「一般的包括的科目」と「教科教育に関する科目」「教科内容に関するその他科目」の順次性について分析してきた。ここまでの分析を踏まえて，次にカリキュラム全体における「一般的包括的科目」「教科教育に関する科目」「教科内容に関するその他科目」の位置づけと順次性を分析し，抽出大学の中等国語科教育カリキュラムを類型化したうえで，中等教育の教科教育養成における国語科

教育モデルコアカリキュラムのあり方について考えてゆきたい。

(*佐藤大志・小西いずみ・佐々木勇・川口隆行・竹村信治)

Ⅳ．類型を代表する大学のカリキュラム・授業内容の考察

類型Ａ・類型Ｂ・Ａ特殊型からそれぞれ１校ずつ選んで抽出調査を行い，それらのカリキュラムと授業内容について考察した。類型Aは広島大学を，類型Ｂは「教科内容に関する科目」に独自の領域を設定する島根大学を選出した。なお，類型Ｂの島根大学は訪問調査と論文調査を行い，Ａ特殊型の岡山大学には電話調査を行った。

１　広島大学（類型Ａ）の場合

広島大学教育学部第三類国語文化系コースでは「一般的包括的内容」を扱う授業科目として，２年次前期・後期に次のような科目を開設している。

（一般的包括的科目）「国語文化概論Ａ（国語文化とことば)」「国語文化概論Ｂ（国語文化と文学)」「国語文化概論Ｃ（国語文化と漢文)」「国語文化概論Ｄ（国語文化と書写書道)」「国語文化の歴史Ａ（国語の歴史)」「国語文化の歴史Ｂ（国文学の歴史)」

これらの科目は講義形式で行われており，その内容は専門領域の基礎となる内容とその枠組みを扱う授業となっている。

一方の「教科教育に関する科目」は「一般的包括的科目」と同時期に必修２科目が設定され，その後に「一般的包括的科目」以外の教科内容に関する科目と同時期に選択科目５科目が並行して開講されている。開設科目にとしては次のものがある。

（教科教育法）①国語教育学概論Ⅰ・Ⅱ　②国語科学習開発論　③国語科教材研究演習
④国語科教育方法論　⑤国語科教育評価論　⑥国語教育史

「教科内容に関する科目」と「教科教育に関する科目」との間に内容的なつながりは特に明示されていないが，同時期に並行して順次履修させることで，学生がそれぞれの内容を関連させて考えることができるように設定している。

「一般的包括的科目」以外の教科内容に関する科目は，「一般的包括的科目」の各領域の科目の後に，それぞれ２年次後期から３年次前期にかけて開講されている。開設科目としては次のものがある。

（演習科目）①現代国語文化演習Ａ（国語学分野）　②現代国語文化演習Ｂ（国文学分野）　③「古代国語文化演習Ａ（国語学分野）　④古代国語文化演習Ｂ（国文学分野）　⑤国語文化の歴史Ｃ（漢文学の歴史）　⑥国語文化の歴史Ｄ（書写書道の歴史）

これらの科目の授業内容は，国語科の教科書教材を専門領域の観点から研究するものであり，４領域６科目ずつが開設されている。授業内容は演習形式で，ことばや文化の事象や歴史，教科書教材の内容について分析・考察する内容となっている。

これらに続いて，３年次前期から３年次後期にかけて，専門の学問領域の内容を扱う授業科目として，書写・書道を除く３領域５科目の授業科目が設定されている。開設科目には次のものがある。

（研究科目）⑦現代国語文化研究Ａ（国語学分野）　⑧現代国語文化研究Ｂ（国文学分野）　⑨古代国語文化研究Ａ（国語学分野）　⑩古代国語文化研究Ｂ（国文学分野）　⑪漢字漢語文化研究

これらの授業科目では，それまでの教科書教材や指導内容の研究を踏まえたうえで，学生それぞれ

が課題意識をもって，専門領域のより高度な内容や新たな教材の開発などに取り組める授業を設定しており，各専門の学問領域における研究力や高度な専門内容に根ざした確かな実践力の養成を意図している。

（＊佐藤大志）

２　島根大学（類型Ｂ）の場合

島根大学教育学部言語教育専攻国語教育コースにおける教科内容と教科教育法に関するカリキュラムについて，抽出調査（訪問調査および論文調査）を行った。

島根大学教育学部では，中等教育の教科内容に関する科目のうち「一般的包括的内容」を扱う授業科目として，次のものがある。

（一般的包括的科目）　日本文学史Ａ：日本古典文学史　漢文学基礎講義　書写演習Ⅰ
日本語学Ａ：日本語概説　日本文学史Ｂ：日本近代文学史

これらに続いて，専門の学問領域を扱う授業科目が，日本語学，日本文学（古典・近現代），漢文学，書写・書道の各領域について設定されている。

一方，教科教育法に関する授業科目は，次のようなものからなる。

（教科教育法）　①中等国語科教育法概説　②国語科コミュニケーション教育
③国語科授業設計　④国語教育実践

これらの間に，一般的包括的科目を１年次後期から履修し，２年次に教科教育法科目を履修するという順次性はあっても，内容的なつながりは特に考えられていないという。しかし，むしろ教科内容系の科目として，各教科に共通して「教科内容構成研究」という，中学校・高等学校の教科の教材や指導内容の研究や指導方法の構想を含んだ内容からなる授業が設定されているところに特徴がある。「教科内容構成研究」は，基礎研究と教材研究にさらに分けられており，国語科の場合，次のような授業科目からなる。

（基礎研究）①日本語学内容構成基礎研究　②日本文学内容構成基礎研究Ａ：古典文学
③日本文学内容構成基礎研究Ａ：近代文学　④漢文学内容構成基礎研究
⑤書写内容構成基礎研究

（教材研究）⑥語彙・文法教材研究　⑦日本文学教材研究Ａ：古典文学
⑧日本文学教材研究Ａ：現代文学　⑨漢字・漢文教材研究　⑩書写教材研究

こうした授業においては，国語科の教科書教材を専門領域の観点から研究したうえで，新たな教材を開発したり，指導計画や指導案を作成したりということが授業の内容となっている。このような独自の領域を設定し，教科内容の授業として行うことで，専門的な力量と実践力の両方を高めることを意図している。

（＊間瀬茂夫）

３　岡山大学（類型Ａ特殊型）の場合

岡山大学教育学部中学校国語教育コースにおける教科内容と教科教育法に関するカリキュラムについて，抽出調査（電話調査）を行った。

岡山大学教育学部では，中等教育の教科内容に関する科目のうち「一般的包括的内容」を扱う授業科目として，次のものがある。

（一般的包括的科目）　国語学概論Ａ･Ｂ　漢文学概論(1)(2)　書写書道概論･同演習

国文学概論(1)(2)　中等国語科内容論(国語学)(1)(2)
中等国語科内容論(国文学)(1)(2)　　中等国語科内容論(漢文学)(1)(2)
　これらに続いて，専門の学問領域を扱う授業科目が，国語学，国文学(古代，中世，近世，現代，児童文学)，漢文学の各領域について設定されている。
一方，教科教育法に関する授業科目は，次のようなものからなる。
(教科教育法)　①中学校国語科指導法A･BⅠⅡ　　②中等国語科実地研究(1)(2)
③中学校国語科指導開発A･B(1)(2)
　1年次で一般的包括的科目履修の後，2年次以降にこれら教科教育法科目の履修と教科内容系の科目を並行して行うことになっている。順次性を意識して科目が配列されている。教科内容科目と教科教育法科目との関連に関しては，たとえば「一般的･包括的科目」以外の科目においても，「国文学(児童文学)」で，小学校国語教科書などに採録されている作家･作品を中心に講義･演習を展開したりするなど，教科の指導を強く意識したことも行われている。
際立つのは，教科内容系の科目として「中等国語科内容開発」という科目があるということである。国語科の場合，次のような授業科目からなる。
①中等国語科内容開発(国語学)A･B　②中等国語科内容開発(国文学)(1)(2)
この科目群は必修の教科教育法科目である「中等国語科指導開発B(1)(2)」と同じ3年次後期に設定されている。中学校国語科教員に必要な，教育観(概念･方法)･教材観を，授業(演習報告中心，講義も含む)を通じて指導･育成する科目であり，「それぞれ古典文学研究，近現代文学研究(児童文学を含む)に関する研究実績を持ち，本授業は，それぞれの研究の基礎的部分を，教育学的観点から解説･指導するものである」とされている。
調査によれば，岡山大学教育学部では，2019年度から免許法の改定を受けて，新カリキュラムを施行されるのに伴い，「一般的･包括的科目」に「国語科内容構成論」という科目が加わり，教科内容が教育課程のどこに位置づくのか，当該教科で育てるべき学力のどういったところに対応しているのかということを扱う予定である。この科目については教科内容担当教員と教科指導法担当教員がペアとなるかたちで授業を担当していくとのことである。これは，現在の「中等国語科内容開発」と「中等国語科指導開発」を複数教員担当科目として融合したものと考えられる。

(＊山元隆春)

Ⅴ．教科教育養成における国語科教育モデルコアカリキュラム開発の方向性

　抽出調査した各大学の中等国語科教育カリキュラムには次の三つの類型が見られた。
①「一般的・包括的科目」履修後，教科内容担当教員と教科教育法担当教員が教科教育を意識した教科内容科目を用意し，将来的に「一般的・包括的科目」内に教科内容担当教員と教科教育法担当教員が一緒に行う教科内容科目を用意している
②「一般的包括的科目」履修後，教科内容と教科教育法それぞれの内容を融合した科目が用意されている
③「一般的包括的科目」履修後，教科内容に関する専門性を重視した科目を用意している
これらのうち③の類型は，高等学校国語科教員養成を中心につくられた中等国語科教育カリキュラムに特徴的なものであり，高校国語科教員としての教科内容知識・経験の充実を図っているために

あらわれている。これに対して①や②は，いずれも中学校国語科教員養成を中心として考えているタイプのカリキュラムに見られるものであった。

今回の調査は国立大学法人の教育学部・教育大学を中心にしたものであるので，この三類型を見取ることができるのであるが，これ以外にも，四つ目の類型として，「一般的包括的科目の位置づけが十分ではなく，教科内容科目でそれぞれの学問領域の専門性育成を重視するもの，を想定することができる。

上記類型①及び②にある大学では，内容概論科目→教科内容論→教科教育，という順次性が明確になされていた。これは，教科教育と教科内容との関係を考えるとスムーズな連携がなされていると考えることもできる。しかし，科目内容を確かめてみると，学問として専門性がもっとも高い「内容概論科目」から，その教科教育内容に関する部分を選択した「教科内容論」へ，さらにそこで扱う内容を選択して「教科教育」科目に取り入れるというみちすじをとらえることができた。

スムーズな連携と思われる点が諸刃の剣であり，このパターンは，見方を変えると，豊穣な専門性を持っていた「内容概論科目」の広やかさを，次第に狭めていく流れを示している。焦点化することが可能になる一方で，これら関係科目全体の矮小化を招いてしまう危険性を否定することができない。この流れで教員養成コア・カリキュラムを構想していった場合，アウトプットそのものの矮小化につながるのではないだろうか。

ここで考える必要のある「ありうべきコアカリキュラム」とは，むしろそれとは逆向きの方向性ではないだろうか。すなわちすぐれた中等学校教員のモデル（とりわけ，すぐれた高等学校国語科教員の育成を中心とするもの）に向かうためには次の二つの必要性を指摘することができる。

1.「一般的・包括的科目」では，優れた中等学校教員の能力の基礎をしっかりと養うために，各学問領域で専門的に研究を進めるために必要な基礎的な内容をしっかりと柱立てて学ぶ必要性

2. それ以外の科目や教科の指導法科目では，その基礎の上に立ちながら，自らの授業づくりのなかで，学習者が質の高い教科学習を行うためのイメージやモデルとなるような魅力を持った教材の発掘や，高みを目指す学びのモデルが提供されることの必要性

このとき，２においては，中学校・高等学校の教科授業で学力を高めるための教科内容を提示することができるなら，中等教科のコアカリキュラムモデルとして堅固なものを築くことが可能になる。ここで考えなければならないのは，中等教員養成のカリキュラムである。中等教員，とりわけ高等学校教員には，学習の質を見極める専門性が必要であり，国語科に関して言えば，それは国文学，国語学，漢文学に関する「優れた専門家」の学習モデルを示していく必要がある。すべての生徒に高いレベルでの学習を保障することは教科学習を担当する者の責務であり，その責務を果たすためには必ず教科内容の知識と見識を伴った教育方法の開発を行っていく必要がある。そのことは，先に述べたような矮小化モデルでは実現がむずかしいだけでなく，カリキュラムそのものを引いては教員養成そのものを痩せたものにしてしまうおそれがある。教科内容についての深い見識がなければ，その教科内容に対してどうしてその学習課題や発問を適用するのかということについて，十分な説明ができないからである。

中等学校生徒に確かな学力を身に着けさせるための必要な専門的力量を備えた中等学校教員を育てていくためには，そのようなかたちでの，けっして能力を矮小化しないカリキュラムにしていく必要があり，教科の専門性に依拠した「本物の」学習体験を，大学教員養成カリキュラムで保障し

ていく必要がある。

（＊山元隆春･佐藤大志）

謝辞

訪問（電話）調査では次の先生方にお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

島根大学教育学部　　冨安慎吾　准教授

岡山大学教育学部　　田中智生　教授

【参考文献】

正岡さち・槇原茂・福田景道・秋重幸邦・新井知生「教科内容構成研究」授業の現状と課題 」『島根大学教育学部紀要』 45 号別冊，2012

第 3 章

中学校数学科および高等学校数学科の教員養成カリキュラム分析

Ⅰ．カリキュラム表の量的分析

全ての大学において，中学と高校のカリキュラムに大きな差は見られない．高校の場合に教科教育科目の要件が少し緩やか，あるいは教科内容科目の要件が少し重い大学がいくつかあったに過ぎない．ここでは，数学の調査対象となった４６大学について，中学のカリキュラムにおける開設科目数を整理する．

大学番号	教科教育科目	一般的･包括的科目	その他の教科内容科目	総科目数	大学番号	教科教育科目	一般的・包括的科目	その他の教科内容科目	総科目数
01	6	5	25	36	28	8	5	19	32
03	4	8	24	36	29	4	12	23	39
04	11	5	16	32	31	2	21	10	33
06	8	22	1	31	32	11	12	17	40
07	7	8	13	28	33	8	5	31	44
08	4	5	13	22	34	8	6	35	49
09	4	6	20	30	35	4	5	8	17
10	6	5	13	24	37	11	10	17	38
11	7	7	15	29	39	4	10	10	24
12	5	6	18	29	42	8	16	4	28
13	5	7	31	43	43	8	16	34	48
14	6	5	11	22	44	7	5	23	35
15	6	13	18	37	45	4	5	14	23
17	8	9	31	48	46	4	5	13	22
19	4	5	7	16	47	4	7	16	27
20	7	5	18	30	48	4	6	18	28
21	5	5	23	33	51	4	6	18	28
22	7	10	10	27	52	4	5	14	23
23	4	7	7	28	53	6	22	10	38
24	4	10	15	29	54	4	5	9	18
25	2	8	23	33	55	5	6	15	26
26	7	5	17	29	57	7	5	18	30
27	4	5	15	24	58	6	14	24	44

教科教育科目は平均 5.78 科目，「一般的・包括的内容」科目は平均 8.26 科目，そのほかの教科内容科目は平均 17.04 科目である．本来は，ここに担当教員数の情報が欲しいところだが，この委託事業の目的からは外れるのだろう．（実際の担当教員数は別として，講座の教員数だけをみると，開設科目数が最大の大学 34 はわずか教員数７（数学教育２，数学５）だが，２番目の大学 17 は教員数 18（数学教育５，数学 13）である.）数学の場合，「一般的・包括的内容」科目数の最小値が５であることは，５つの科目区分（代数学，幾何学，解析学，「確率論、統計学」，コンピュータ）により必然だが，２0 科目以上を該当させる大学が３つ（大学 06，31，53）もある．当然ながら課程認定を受けているとはいえ，「一般的・包括的内容」の定義が曖昧であるがゆえに，開設科目数の変域が大きい.

Ⅱ．アンケート回答の分析

１．セメスター配置からみる教科教育科目と教科内容科目の関係について

アンケートの結果を以下にまとめる.

質問５．教科教育科目と教科内容科目との関係	
a．特別な関係はない	１大学
b．概して，内容科目を先に履修し，それを踏まえて教科教育科目を履修	11 大学
c．概して，教科教育科目を先に履修し，それを踏まえて内容科目を履修	０大学
d．概して，両者をほぼ同時並行的に履修	25 大学
e．その他	・b の面がやや強いが，d の面も持ち合わせている（大学 43）

選択肢 d が最多ではあるが，開始時期に着目すれば，１年次から教科の指導法に関する科目（数学科教育法など）を開設している大学は，下記の７大学しかない.

・大学 06，数学科教育実践体験演習（中等）（1 年後期）
・大学 07，数学科教育学（1 年前期）
・大学 15，数学科教育法Ⅰ（1 年後期）
・大学 26，数学教育教材論（1 年後期）
・大学 32，数学教育の基礎（1 年後期）
・大学 44，数学教育方法論（1 年後期 4T）
・大学 57，数学科教育内容Ⅰ（解析）（1 年後期）

概して，数学教育関連科目は２年次から３年次にかけて開講され，大学 10，31，35，47，54 のように３年次から開始されている例もある．一方，数学科目については，教養科目の代表格である微積分と線形代数は，１年次から開講されていることがほとんどである．さらに，それらを「一般的・包括的内容」科目として位置づけている大学も多い．１年次に数学科目の開講のない大学 19，24，44 はそのケースと異なり，微積分と線形代数は教養教育，全学教育，共通教育といったカテゴリーにおき，「一般的・包括的内容」科目に位置づけていない．したがって，教科教育科目と教科内容

科目が概して同時並行的といっても，微積分と線形代数は１年次からの開始がほとんどであり，そのことは教職課程とは無関係に，大学における数学のカリキュラムとして妥当であろう．しかし，後述するように，将来的にこれらの内容をコアカリキュラムに位置づけるとなると，大学によっては教養科目や共通科目といった分類から外して新たに専門科目として開設することになりかねず，誰が担当するかという問題を生じることが懸念される．

中学校・高等学校の数学科教員を目指す学生に対して，数学教育学や数学科教育法といった教科教育科目を開設する場合，大学レベルの数学が実質的には前提になっていない．つまり，たとえ教養レベルの数学である１変数あるいは多変数の微積分や線形代数学を学んだところで，その後に受講する数学科教育法科目にとって直接的かつ有効に働くとは思えない．もちろん，高校までの数学や受験勉強で，ある意味，歪んでしまった数学に対する感性を矯正することは，教員を目指す学生に対しては有益であり，それを踏まえて，教科教育科目の中で高校までの数学を改めて捉え直すことができれば望ましいことではある．しかし，現場で長く内容科目を担当している経験からいえば，学生の数学に対する姿勢をそうやすやすとは矯正できない．３，４年生になり，ゼミを経験してから，ようやく数学に対する望ましい姿勢，見方・考え方を学生たちが身につけ始めているように思う．かといって，教育実習の前提となると思われる教科教育科目をそれほど後にずらすわけにもいかない．

アンケート結果では，数学科教育法と内容科目に特別な関係はないと回答した大学は１校しかないが，実態として，多くの大学で両者の関係は構築できていないと思う．多くの大学は，単なる開講の順序だけに基づいて回答していないだろうか．微積分や線形代数を履修したことが，その後の数学科教育法の授業に生かされているのだろうか．このことが単に筆者の邪推に過ぎず，改正された免許法で教職科目と教科科目の大くくり化が行われたように，理想とされる両者の統合や連携が，選択肢ｂと回答した大学ですでに実現できているのであれば文句はない．

２．どのような資質・能力を育てようとしているのか

調査対象大学の回答を，キーワードから整理する．

- 専門力（専門性），実践力（指導力），発展力，コーディネート力，マネジメント力
- 中学校・高等学校数学科の教育課程，諸課題の理解
- 小学校との接続の理解
- 豊かな人間性，使命感，責任感

国立教育政策研究所が２年に渡って実施した調査研究の報告書（大杉 2015）において，中等教育・数学の教員養成の資質・能力一覧が整理されているが，各大学の回答はここに包含されるといってよいだろう．また，10 年に渡り，数学教師に必要な数学能力の形成に関する研究を続けている蟹江幸博（元・三重大学）ら数学者を中心とするグループの研究報告が数理解析研究所講究録（1657，1711，1828，1867，1920，2021，2072）にある．ここでは，上述の国立教育政策研究所の調査研究とは別の視点として，(丹羽 2018) から数学専門科目によって育成すべき資質・能力を引用しよう．

- 算数・数学を学校教育において教えることの意義を理解し，数学の本質を正しき認識して自信をもって数学を指導できる能力

● 抽象的思考に慣れ，論理的に正しい思考を展開し表現できる能力

さらに具体的に，次のような能力の育成をめざすことが提案されている．

① 学校教育における算数・数学科の内容の背景にある数学の理論の本質を理解し，教科内容において重点をおくポイントおよび必要性の低さを的確に見抜く能力

② 学校数学の内容における重要なポイントに対して独自の工夫を加え，内容を明確で分かりやすく説明できる能力

③ 子どもの発言やつぶやき，またつまずきに含まれる発想の芽や本質的な点を見逃さず拾い上げ発展させる授業が展開できる能力

④ 知的好奇心を呼び起こす教材や数学的活動を創意工夫して作りだし，子どもの興味・関心をひき出す授業を展開できる能力

⑤ 数学の面白さや美しさを伝えて，子どもの興味・関心を育てる能力

⑥ 子供が数学を創造するような知的探求の場とする授業を実践できる能力

⑦ 教科内容がどのように変更されようと，主体的な教材研究を行い的確な対応ができる能力

３．「一般的・包括的内容」科目に基づく類型化

免許法施行規則に定める科目区分は，代数学，幾何学，解析学，「確率論、統計学」，コンピュータの５つである．「一般的・包括的内容」科目として，どの程度の科目数を開設しているのかという単純な観点から分類を行った．

類型	科目数	大学番号
ミニマム型	各科目１つ（５科目）	01，04，08，10，14，19，20，21，26，27，28，33，35，44，45，46，52，54
重厚型	手厚いカリキュラム（１０科目以上）	06，15，22，24，29，31，37，39，42，43，48，53，58

ミニマムといっても，「一般的・包括的内容」科目に基づく分類の問題であり，カリキュラム全体として手薄という意味ではないし，同様に重厚といっても，乱暴な表現をすれば，なんでもかんでも「一般的・包括的内容」科目に該当すると主張している可能性も否定できない．たとえば，大学 06 では，教科内容科目として開設されている２３科目中，実に２２科目が「一般的・包括的内容」科目とされている．それが悪いということではなく，「一般的・包括的内容」科目に位置づけるための基準が曖昧であり，「一般的・包括的内容」科目の数や配置に基づいて分類・類型化を行っても，意味があるのか素朴に疑問を感じる．コアカリキュラムが策定され，含めるべき事項が定まれば，この問題は解決するだろう．

訪問調査対象として，重厚型から２大学（千葉大学と愛媛大学）を選定した．本来ならば，類型から１つずつが理想だが，残念ながら相手側との交渉の都合による．訪問大学のカリキュラム体制等については後述する．

４．教科内容科目における「一般的・包括的内容」科目の配置について

アンケート結果を述べる．
多くの大学では，「一般的・包括的内容」科目として，教養レベルの微積分と線形代数を位置づけている．その場合，必然的に他の教科内容科目に先行する．大学レベルの現代数学に必須ともいえる集合論と論理を位置づけている場合でも同様である．また，そのような内容ではなく，中等教育

質問３．「一般的・包括的内容」科目として，専門的内容科目と分けているか．あるいは専門的内容科目の組み合わせか．	
a．専用の科目を開設	21 大学
b．専門的内容科目の組み合わせ	13 大学
c．その他	・各科目の中に入れている（大学 37） ・明確に区別していないが，開設している（大学 48） ・専用の科目を開設しているが専門的内容の科目も複数組み合わせている．長さ・面積・体積と解析学の２つは多変数の微積分に関する内容（大学 15）

レベルの内容を俯瞰的あるいは深く捉え直すような内容の場合でも，数学の水準という観点から，やはり他の教科内容科目に先行することが自然であろう．実際，定義が曖昧であるとはいえ，教科内容科目の中で「一般的・包括的内容」科目は概して先行して開講されていることがカリキュラム表からも見てとれる．

５．「一般的包括的内容」科目の内容について
アンケート調査によれば，学習指導要領に基づく大学よりも，学問領域の体系に基づく大学が２倍以上存在する．

質問４．「一般的・包括的内容」科目の内容	
a. 基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成	30 大学
b. 学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容に基づいて構成	13 大学
c．その他	・コンピュータ基礎は b に加えて意義があり教科書にない内容も加えている（大学 26） ・各学問領域の初歩的一般的内容が包括的に理解できるように構成（大学 37） ・学習指導要領を考慮しながら，各学問領域の体系に基づいた構成（大学 48）

数学の調査対象４６大学について，ホームページで確認できたシラバスに基づく内容の調査結果をまとめる．（幸い，９割以上の科目について，シラバスを確認できた．）
「一般的・包括的内容」科目については，次の説明が存在する．

その科目の学問領域をおおまかに網羅するものであり，特定の領域に偏っていない内容を指す.（中略）一般的包括的な内容となっているかどうかは，学習指導要領も参考にして，学習内容に偏りがないかどうかを確認すること.（学習内容を中学校および高等学校のレベルに合わせるということではなく，分野の目安として参考すること.）（教職課程認定申請の手引き（平成 28 年度開設用）より）

科目	主な内容
代数学	線形代数，初等整数論，群論，環論，体論，集合・写像・論理
幾何学	ユークリッド幾何，２次曲線，合同変換，線形代数，集合・写像・論理，位相，位相幾何学，微分幾何学
解析学	微分積分，複素関数論，微分方程式，ベクトル解析，
「確率論、統計学」	確率変数，分布，推定，検定
コンピュータ	C 言語，LaTeX，GeoGebra，Excel，Mathematica，Python

ここでは，科目ごとに内容を分析し，同時に，将来のコア・カリキュラムに向けて，含めるべきと考える内容に言及する.

代数学：４６大学中３３大学（７２％）において，線形代数のみか，線形代数を含む授業科目を開設している．広島大学教育学部では，線形代数を開講していないが，それは１年次に教養科目として履修することによる．同じ事情の大学は他にも存在する．特に目を引いたのは，大学 08 であり，代数学概論において，線形代数，初等整数論，群・環・体というおおよそ大学での代数学の基本的な内容を網羅している．シラバスをみると，１５回の授業のうち，最初の７回を線形代数，群，環，体についてはそれぞれ１回の授業が割り当てられている．教員の指導力と学生の水準に依存するとはいえ，９０分の講義を一度受けただけで，群，環，体という抽象概念を理解できるとは思えない．たった１回の講義で，群を導入して，ラグランジュの定理，正規部分群や準同型定理まで到達できるわけもなく，せいぜい群の公理といくつかの例を示すにとどまるだろう．すると，学生に残るのは，いくつかの technical term を耳にしたという経験だけであり，概念形成など不可能ではないかと危惧する．もちろん，耳に入れることだけが目的ならば，目的は達成できるが，「おおまかに網羅する」という文言が悪い方向に解釈された結果ではないか．それとも，これこそが免許法の規定する「一般的・包括的内容」なのだろうか.
例えば（丹羽 2018）において，標準モデルとして代数学分野での授業構成とシラバス案が示されている．線型代数 I，II に加えて，集合と論理の基礎＋初等整数論の代数学 I，群論の基礎＋環論の基礎の代数学 II，体論の基礎の代数学 III の合計５科目から構成される．詳細は原論文を見ていただければ良いが，私見としては，数体系の構築を追加すべきと考える.
高等学校の次期学習指導要領では，行列の扱いは非常に軽い．（数学 C の③数学的な表現の工夫の中で，取り上げられるに過ぎない.）高等学校の内容との関連という観点に立てば，「一般的・包括的内」として線形代数という選択肢は，幾何ベクトルが唯一のリンクだろう．一方で，大学の理系教育において不可欠であることは言うまでもない．したがって，教養教育あるいは基礎的教育の枠

組みとして，理系の学生が線形代数を学ぶことは，これまでもそうであったように今後も不変であると考える. ただし, コアカリキュラムの含めるべき事項として「ベクトルや行列の基本的な扱い」が入ってしまうと，線形代数を教職課程の一部として組み込んでいる多くの大学にとっては朗報となるが，広島大学などのように，線形代数は教養科目であって教職科目とは別にしている場合，悲報となりかねない．もちろん，広島大学の場合，線形代数は教養科目ではあるが，数理系コースの必修として課している．学生たちは間違いなく履修するのだが，課程認定という場面には見えてこない現状にある.

幾何学 : 初等（ユークリッド）幾何を開講している大学は４６大学中１６大学（３５％）しかない．初等・中等教育との関連といっても，もう一度，初等幾何を復習することは適切だとは思えない．数学教育現代化の時代に戻せというつもりはないが，ユークリッド幾何の公理的構築に触れてほしい．それによって，小学校以来，感覚にのみ頼ってきた直線や角といった幾何内容の基礎概念の土台を獲得できるからである．平行線公理を扱えば，平行線に対する同位角は等しいことが証明できる．また，三角形の合同条件の正当化が可能になる．中等教育における扱いを変更する必要はないだろうが，コアカリキュラム には公理的初等幾何を必須項目に入れることを提言する.
現状では，代数学，解析学に比べて内容が分散している．高等学校との関連でいえば，２次曲線という選択肢は妥当であろう．線形代数の応用という意味でも扱いやすい題材である．論理や集合論を幾何学として位置づけている大学も多々ある．これらは数学教育現代化の反動もあってか，現在は高校での扱いが希薄であるが，現代数学の根幹に関わる極めて重要な内容である．特に，代数学や幾何学を学ぶ上で不可欠となる．コアカリキュラムには，必ず盛り込む必要があると考える．現状では，代数学には線形代数，解析学には微積分を位置づけたとき，空席となる幾何学にそれを割り当てるという判断があるのだろう．また，位相空間論，位相幾何学，微分幾何学といった内容も散見される．位相幾何学の場合，数学教育現代化の時代を思い出させるが，微分幾何学については平面曲線が高校の学習内容であることを思えば，妥当といえるだろう．また，いくつかの大学では，「一般的・包括的内容」科目として幾何学に位置づけられた科目において，線形代数しか扱っていない．学生の水準やカリキュラムのバランスもあるのだろうが，幾何学の内容を網羅するとは到底主張できない.
それでは，幾何学について何が「一般的・包括的内容」なのか．一口に幾何学といっても，現代の数学において，その内容は多岐にわたる．最初のフィルターとして学部教育，第２のフィルターとして中等数学科教員養成と選別を行えば，おおよそ，ユークリッド幾何，位相空間論，位相幾何学，微分幾何学だろうか．学生の水準が高ければ，多様体論や離散幾何もよいだろうが，ここでは考慮しない．それでは，ユークリッド幾何，位相空間論，位相幾何学，微分幾何学を「おおまかに網羅する」ことが可能だろうか．１つの授業科目においてそれを行えば，学生には実施的に何も残らない．現実には，位相空間論だけで１５回の授業を行っても，学生の理解はおぼつかない．それは高校までの容易な数学と違って，現代の数学の水準がはるかに高いことも一因である．また，位相空間論の授業を開設する場合，「特定の領域に偏っていない」と判断できるのか．この分野について，学習指導要領は参照できない．その時点で，位相空間論は「一般的・包括的内容」の一部として構成されてはいけないのだろうか．私見をいえば，上述の４つの学問領域を１つずつ開設し，それら

すべてによって最低４科目からなる幾何学の「一般的・包括的内容」科目群を構成することが最も素直な回答に思える.

解析学：４６大学中４１大学（９３％）において，１変数あるいは多変数の微積分を開講している．通常，線形代数と並んで，教養数学の代名詞ともいうべき微積分である．本来ならば，教養レベルの微積分を踏まえて，「一般的・包括的内容」科目として別の内容を提供するのが良いと考えるが，人的な余裕がなければ，教養科目と共通にせざるを得ないだろう．もちろん，高校数学においては，１変数の微積分が到達点の１つとして捉えられていることを思えば，適切な選択といえなくもない．大学の教職課程として開講する解析学科目においては，実数論（実数の連続性），イプシロン・デルタ論法には触れてほしい．さもなければ，極限概念に対する高校での直感的な扱いから脱却できない．すると，高校で扱われる中間値の定理や平均値の定理，最大値・最小値の存在についても証明できないままになる．極限概念の基礎をないがしろにするということは，すなわち微分・積分の基礎をないがしろにすることでもある．高校教員が高校生と同じ水準で極限操作，微分・積分を捉えていることなどあってはならない．ただ，コア・カリキュラムとして，どこまで明記するかは各大学の事情を思えば悩ましい.

「確率論、統計学」：１あるいは２科目を開講している大学がほとんどであり，内容としても目立った特徴はない．確率変数，確率分布，推定，検定といった内容が扱われている.

コンピュータ：プログラミング言語を扱う科目もあれば，Mathematica や TeX といったソフトウェアの演習も多い．GeoGebra や Cabri といった動的教育支援ツールも散見され，望ましい．そもそも，「一般的・包括的内容」としてこの科目では何がふさわしいのか.「情報」の免許ではなく，「数学」の免許のためには，何が適切なのか．まさかこの時代にチューリング・マシンやコンピュータの仕組みの理解ではあるまい．素人にプログラミングなど無用だが，プログラミング的思考ならば学習指導要領との対応もつくだろうか．ICT 分野は日進月歩であり，特定のソフトウェアをコアカリキュラムに記載することは当然ながら望ましくない.

Ⅲ．　訪問調査大学の報告

１．千葉大学

代数学担当１名，幾何学担当１名，解析学担当２名に対して，インタビューを行なった．なお，「確率論、統計学」担当の教員は不在で回答を得られなかった.

（総括）今回のインタビューの結果，「一般的・包括的内容」科目については特定することができたが，その実際の内容について，特に大きな特徴はみられなかった．どこの大学でも行われている内容から大きく外れることはなかった．また，現場の数学教育を意識した教材を随時選びながら工夫した授業を行っている点も，予想と大きく外れることはなかった．数学専攻の学生とそれ以外の数学免許を取得したい学生（数学の副免）との数学力の「差」が，教材選びが苦労する要因であった．大きな問題点としては，「演習」の時間が大きく減ったことを挙げていたのが印象的だった.

以下，インタビューの中で行なった４つの質問とそれに対する回答を記す.

A.「一般的包括的内容」の科目は何ですか．具体的にどのような①授業内容，②工夫，③改善を行っていますか.

（1）代数学関連

「教材研究（代数学)」

① 数の体系をしたいという思いもあったが,理学部との講義内容も考慮し,「群論」を教えている.

② 演習を多くして黒板の前で解かせるようにしている.

③ もう少し現場に即したものにしたい.

「数とそのしくみ」

① 初等整数論

② 群論,体論よりも興味をもって聞いてくれるような気がしている.小学校教員を意識している.

「代数学」

① 環論，体論

② 抽象的ではなく，整数，有理数を扱い，数の拡張，一般論を教えている．具体例を多くしている.

③ 演習を多くすればより良いと考えている.

（2）幾何学関連

「教材研究（幾何)」

① ユークリッド幾何学，ヒルベルトの公理系

高校程度の平面図形に関して，いろいろな定理の証明を厳密にしている．円周角の定理など教育現場を横目にしながら教えている.

② 学校教育との橋渡しを意識して，中高内容を意識しながら教えている．題材，何を教えればよいかを考えたことがある．平面幾何の問題を解かせてみることを試みたこともあるが，全体の構造を理解させることができなかったことがある.

「いろいろな図形」

① 線形代数を気にしながら，平面ベクトル，ベクトル空間，内積，外積，平面上の合同変換を教えている.

② 線形代数学の幾何学的側面を教えている.

「幾何学」

① 対角化，標準形，2 次曲線の分類を主の話題としている．複素数平面，複比も教えている．円錐曲線との関係，射影幾何学などの幾何学，パスカルの定理.

② 数Ⅲを学んでいない学生もいることを考慮し，複素数平面を丁寧に説明し，幾何学ができるということを紹介している.

（3）解析学関連

「教材研究（解析・情報)」

① 微分方程式を教えている．例えば，経済学に現れるモデルとベルヌーイ型の微分方程式との関連を示すように，なぜ微分方程式が必要かなどの話題を適宜提供している．演習６，７回して

いる．宿題を課し，採点して返却している．

② Web を利用し，課題提出を A4 サイズで受け付けている．解答を試験１週間前に公開している．

③ さらに演習を充実させたい．

「長さ・面積・体積」

① 多変数（基本的に２変数）の微分学，偏微分，連鎖法則，平均値の定理，陰関数定理を教えている．証明もきちんとしている．イプシロン-N 論法も教えている．

② 他専攻の人もいるので，１変数の復習もしている．質問しにきた学生には指示をして対応する．学生の理解を確認するために，試験を２，３回（中間試験を１，２回）している．

③ 具体例をもう少し多くしたい．

「解析学」

① 多変数の積分学，リーマン積分，ダルブーの定理（証明はしていない，軽く触れる程度）．一様連続性についてはあまり教えていない（Lipschitz 連続性で代替する場合もある）．置換積分，発散定理，部分積分などが最終目標．

② 演習をしているが採点は基本しない．解答はアップしている．物理の話もざっくりとしている．

（４）確率論・統計学

「教材研究（応用数学）」と「身近な確率・統計」のみが「一般的・包括的内容」．内容については担当者不在でインタヴューできず．

（５）コンピュータ関連

「機械計算論」

① Cauchy-Riemann の計算など，複素関数論を題材に Mathematica で計算させるなどしていた．グラフィックスの練習もした．

② 数式処理に慣れることを意識していた．複素関数論に関する教科書とプログラムを準備したりしていた（過去のこと）．

「数理解析」

① ノルム，ベクトルの行列，連立一次方程式の反復法，縮小写像，ヤコビ法を教えている．

② 学生には差分がピンとこないようである．

B. １以外の教科内容科目において，これまでにどのような工夫・改善がされてきたか．いわゆる「教科内容学」にあたるような，何らかの独自の動きがあるか．

特にない．

C. 学生にとっての課題（指導力を上げたい，教科の力を付けたい等）や，社会的に言われている課題（統計の力を付けなさい，汎用的な能力育成をしなさい等）に，カリキュラムとしてはどのように対応しているか．またこれらの実践的課題と学術研究による理論的成果とをどのように関連づけているか．

特にない．

D. 教育実習そのもの（＝学生が現場で授業をする）とは別に，大学と現場とが連携，協力しているような授業があるか.

「教科内容学」との関係では特にない.

２．愛媛大学

■一般的・包括的科目

愛媛大学教育学部での中等教育コース数学教育専攻での数学科教員養成としての「一般的・包括的科目」は,

- １年次後期に代数学概論，幾何学概論，解析学１（高校一種のみ）
- ２年次前期に確率統計学概論，確率統計学演習
- ２年次後期に解析学概論，データ分析
- ３年次前期に数値計算(高校一種のみ)，解析学２（高校一種のみ）
- ３年次後期に確率統計学１（高校一種のみ）

がそれぞれ開講されている.

愛媛大学教育学部の特徴として，まず，微分積分学と線形代数学以外の数学が１年次後期から入っていることが挙げられる（微分積分学と線形代数学は多くの大学で１年次前期からすぐに開講される）．具体的には，代数学概論，幾何学概論が１年次後期から始まっている．これらは２年次前期から行われる大学が多い．しかし内容的には，自然数，整数，有理数，多項式，複素数，方程式，公理的幾何学，平面幾何といった，大学で学ぶ数学のスタイルさえ身についていれば早めに初めてもかまわないものであるため，必ずしも２年次を待つ必要はない．半年の違いでしかないともいえるが，学生にとっては小さくない違いになるであろうし，コアとなる内容に早めに触れられることで，これから大学での数学を俯瞰することがより早くできる意味で，愛媛大学のカリキュラムの細やかな工夫であるといえよう.

次に，「一般的・包括的科目」の内容は他の大学と比べても概ねスタンダードなものであるといえる．代数学では整数，有理数，複素数，多項式，方程式，幾何学では，公理的幾何学，平面幾何，解析学では実数論，確率論・統計学では基本的な確率・確率分布・データの整理，シミュレーションをそれぞれ扱うものである．ただし，コンピュータ分野ではデータ分析として主成分分析や因子分析を扱っており，大学によって実に様々である.

そして，「一般的・包括的科目」とその他の科目との関係について，「一般的・包括的科目」の後により詳細に各領域を修めていくものになっている点ではごく一般的である.

しかし，愛媛大学教育学部の特徴はその配置や内容のみではないといえる．このことを次から報告する.

■ 数学の考え方やスタイルや表現力をどう教えるか・身につけさせるか

そもそも中等教育数学科の教員になるためには「きちんと」大学で数学を学ぶ必要があるが，そのためには，大学で学ぶ数学の根本的な考え方や，大学数学のスタイル，集合と写像・論理といっ

た基本的な概念を身につけることが不可欠である．この数学の基礎基本ともいえるスキルをどう教えるか，どのように身につけさせるかには各大学の特色が現れる．
愛媛大学教育学部では，まず１年前期「数学概論」において，集合と写像・論理・証明という数学の土台となる基本事項にフォーカスした授業が用意されている．この内容は，１年次前期から始まる微分積分学と線形代数学の内容を学ぶ中で，いわば同時に身につけさせる大学も多いが，愛媛大学教育学部では別に用意している．
そして，数学は，受け身で学んでいるだけでは本当には身につかないものであり，アウトプットしながら学ぶことが概念を理解する上でも表現力を向上させる上でも非常に重要であるが，これも愛媛大学教育学部の大きな特徴といえる，なんと１年次から４年次まで通年で開講される，選択科目のゼミ「数学・情報研究」が存在する．数学教育専攻の教員全員が担当している．ゼミ形式で，学んだことをアウトプットするだけでなく，数学の自作教材を開発し，附属学校で実践したりすることもできる．
また，積極的にアウトプットする場が授業としても「幾何学１」と「幾何学２」の授業で用意されている．これは内容というよりも，どのようなスタイルで授業が行われるかという点と，その時期が特筆すべきことである．この２つの科目は、「学生が授業をする」という形式の授業である．そしてこれは２年次後期，３年次後期という，４年間の中間的な時期に開講される．これにより，１年次から学んできている数学の概念，言葉，記号などの使い方を，きちんと表現する力を確かめることができる．
４年間受け身で数学を学び，いざ４年生の卒業研究の発表会でやっとアウトプットすることを求められてあたふたするようなことは，このような中間的な時期に定期的にアウトプットし，教員にチェックされる機会を設けることによって，かなり減らせるのではないだろうか．

■ 指導力向上について

指導力向上については，科目区分「数学科教育」の３科目「算数数学教育概論」，「算数数学教育演習１」，「算数数学教育演習２」において，指導案の書き方などを詳しく演習形式で指導されている．

■和算という特徴

愛媛県松山市には伊佐爾波神社がある．愛媛大学からも近い．この神社には，算額が日本最多の 22 面も奉掲されている．この地の利を活かし，愛媛和算研究会という現代的観点から和算を研究する，学校教員・大学教員の研究会が存在しており，そこで学生が算額を調査，研究し，発表をすることで，数学の能力のみならず，講義や実習に向かうためのプレゼンスキルを磨けるようになっている．成果は査読付き論文・書籍として出版されている．

■ 大学と現場とが連携・協力

愛媛大学は，次のように附属学校との連携が盛んである．附属小学校での「土曜学習」とよばれる有志の活動がある．これは授業ではないが，附属小学校で大学教員・大学生が小学生に算数オリンピックなどの問題に挑戦している．附属高校では大学の数学教員が実際に１時間分提案授業を

研究授業として実施している．また，研究大会でも授業を行っている．さらに，逆に，大学の算数・数学の教科教育法において，附属学校の教員が各講義 1・2 コマの授業を担当している．このように附属学校との連携が非常に密であり，学生は現場のことを普段から日常的に知ることができている．

■ 統計の内容と教育

次期学習指導要領でもさらに重要視される統計分野であるが，これは教育学部に特化したことではないが，来年度から「数理及びデータサイエンスに係る教育強化・協力校」になり，「データサイエンス教育の全学的な展開と四国地区への普及促進」を掲げた活動が行われる．

■ 数学科に限らない汎用的な能力

数学科に限らない汎用的な能力を育成する授業の用意されている．愛媛大学では「一貫教育・連携教育概論」という科目を新設し，様々な学校種・教科の概要を学ぶ．また，「ESD 概論」，「才能教育論」，「インクルーシブ教育実践論」（病床領域５つのうち４つがそろっていることが特徴）といった授業が開講される．

■ まとめ

以上のように，愛媛大学教育学部はスタンダードなカリキュラム構成を含みながら，アウトプットする機会を非常に多く設け，附属学校との連携を密に行ったり，地の利を活かしたりと，特色ある手厚い教育を，いわば全体としてのシステムとして構築し，教育を行っている．

【参考文献】

大杉　昭英　研究代表者（大杉 2015），教員養成等の改善に関する調査研究（全体版）報告書，国立教育政策研究所，2015 年

丹羽　雅彦（丹羽 2018），数学教師養成のための数学専門科目：重視すべき６つの視点に基づく標準モデルの修正：代数学分野・確率・統計分野，数理解析研究所講究録 2072，2018 年

第 4 章

中学校理科および高等学校理科の教員養成カリキュラム分析

Ⅰ．各大学カリキュラム表の分析―類型化

情報を入手できた 36 の国立大学教育学部（教育文化学部，人間発達学部，人間社会学域学校教育学類，学校教育学部を含む）を対象に調査を実施した。全ての大学において，中学校と高等学校のカリキュラムに大きな違いは見られない。ここでは中学校・高等学校のカリキュラムを一括して扱い，その開設科目数を整理する。

１．中等理科

中等理科は，中学校では第１分野と第２分野に区分され，高等学校では物理，化学，生物，地学の４領域の科目（それぞれ基礎付きと基礎なしの２科目）と科学と人間生活で構成される。物理，化学，生物は，それぞれ自然科学の物理学，化学，生物学の領域にほぼ対応している。一方，地学は宇宙科学や地球科学など複数の領域に関連する。各科目とも実験・実習を伴うことが特徴である。また，高等学校の履修要件として，生徒は４領域に関わる科目全てを履修する必要はない。すなわち，４領域のうち１～２領域は未履修であることが一般的である。

２．一般的総括的内容科目の授業形態と科目数

表１　一般的・包括的科目の講義科目と実験科目別の授業科目数

講義科目数	4	8	8	4	12	16	16	5	8	8	10
実験科目数	4	8	4	8	4	4	8	4	9	6	6
大学数（校）	15	3	8	3	1	1	1	1	1	1	1
割合（%）	42	8	22	8	3	3	3	3	3	3	3

一般的総括的内容科目は中等理科の４領域（以下，理科４科目）に対応して区別され，さらにそれぞれが講義科目と実験科目に分けられる。そのため，科目数は理科４科目がバランス良く配置されていれば４の倍数となるのが一般的である（表１）。36 大学の約９割（表１の緑色系の欄）でバランス良く配置されている。具体的には以下の通りである。

理科４科目の科目数について講義科目と実験科目の組み合わせを見ると，それぞれ１科目の大学が 42 %，それぞれ２科目が８ %であった。また，講義科目２と実験科目１の組み合わせが 22 %，講義科目１と実験科目２との組み合わせが８ %であった。また，講義科目数 12 と 16 の３大学は理科４科目それぞれの講義科目の３つあるいは４つの科目を当て，実験科目についても同様に１つあるいは２つの科目を当てている。

一方，上記とは異なり，理科４科目内の科目数が同数ではない場合が約１割，４大学ある（表１

の橙色系の欄）。以下にそれぞれについて述べる。

講義科目数 5 と実験科目数 4 の大学では，理科 4 科目の科目数が講義科目と実験科目それぞれ 1 科目当てられている他に，講義科目として物理 1 科目が加わっている。

講義科目数 8 と実験科目数 9 の大学では，講義科目は理科 4 科目それぞれに 2 つの科目を当て，実験科目では理科 4 科目の科目数が異なり，物理 3 科目，化学 2 科目，生物 3 科目，地学 1 科目となっている。

講義科目数 8 と実験科目数 6 の大学では，講義科目と実験科目の両方において理科 4 科目の科目数が異なる。すなわち，講義科目では物理 2 科目，化学 1 科目，生物 1 科目，地学 4 科目で，実験科目では物理 2 科目，化学 2 科目，生物 1 科目，地学 1 科目である。

講義科目数 10 と実験科目数 6 の大学では，講義科目と実験科目のそれぞれに 2 つの科目を当てている他に，理科全般に関わる科目と理科に必要な数学に関する科目がそれぞれ 1 科目当てられている。また，実験科目は物理 2 科目，化学 1 科目，生物 1 科目，地学 2 科目が当てられている。

以上により，一般的総括的内容科目の科目数から，理科 4 科目を均等に配置するタイプ，4 科目を均等に配置するが講義科目数が実験科目数を上回るタイプ，及び理科 4 科目の配置数が不均等なタイプの 3 タイプが識別される。

３．教科教育科目の授業形式

授業の形式は講義，講義（演習を含む），演習，実習，実験等があるが，これらを講義のみの科目（講義科目）とそれ以外の形式の科目（以下，実習科目）として，教科教育科目の授業形式について整理した。その結果，25 %の大学が教科教育科目として講義形式のみの授業形態であった（図 1）。また 44 %は講義科目数が実習科目数を上回った。一方，実習科目数が講義科目数を上回った大学は 31 %で，実習科目数が講義科目数の 2 倍以上の大学が 14 %であり，その中には 6 倍と 7 倍の大学もそれぞれ 1 大学ずつあった。

以上により，教科教育科目の授業形式から，講義科目（0），講義主体（1 未満），講義-実習（1 以上 2 未満），及び実習主体（2 以上）の 4 タイプが識別される。

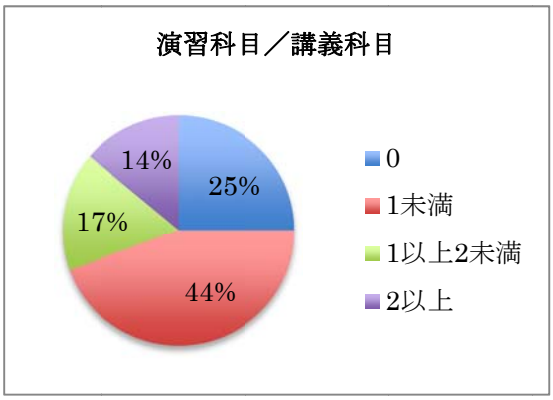


図１　講義科目と演習科目の両方を実施している大学における講義科目数に対する演習科目数の割合

４．補充科目の開設状況

１．中等理科の項で述べたとおり，高等学校理科の履修要件により，理科教員を目指す学生であっても高校時代に全く学習しない領域があることが一般的である。また，教科内容の各領域，とり

表２　補充科目の内容と開設大学数

科目名・扱う内容	物理数学（同等の科目を含む）	プログラミング	物理入門	4 領域の補充科目
大学数（複数選択あり）	10	1	1	1

わけ物理学及び化学領域の科目では数学の知識を前提としている。このような状況への対応状況を把握するため，数学に関する科目，理科の内容そのものとは異なる内容を扱う科目，及び高校時代の未履修者を対象としていることを明記した授業科目の配置状況を調べた。その結果，12 大学（33 %）が該当した。内訳は表 2 の通り，物理数学の科目名で代表される数学科目が主体となっている。なお，このように補充科目を設置する大学は約 3 割程度であるが，設置していない場合，授業担当者により補充内容を扱うことがシラバスに明記されている場合もある。

Ⅱ．各大学アンケート回答の分析

１．質問１：理科教員に求められる資質・能力

表３　質問１の回答中のキーワードと大学数

<table>
<tr><td>キーワード群</td><td>専門性，専門的知識</td><td>知識</td><td>実験，観察</td><td>技術，技能</td><td>自然科学，自然</td><td>理科教育，理科</td><td>理科教員</td><td>指導法、指導</td><td>実践，実践的，活用力</td><td>課題，解決</td><td>コミュニケーション，表現力，伝える力，協働</td><td>論理，思考力（育成する力も含む）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">大学数(校)
（割合%）</td><td>11</td><td>15</td><td>10</td><td>6</td><td rowspan="2">13(36.1)</td><td rowspan="2">15(41.7)</td><td rowspan="2">5(13.9)</td><td>9</td><td>11</td><td rowspan="2">4(11.1)</td><td rowspan="2">5(13.9)</td><td rowspan="2">4(11.1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">18(50.0)</td><td colspan="2">13(36.1)</td><td colspan="2">14(38.9)</td></tr>
</table>

質問 1 の回答で使用された用語から資質・能力に関わると考えられる 12 のキーワード群（「専門性，専門的知識」，「知識」，「実験，観察」，「技術，技能」，「自然科学，自然」，「理科教育，理科」，「理科教員」，「指導法，指導」，「実践，実践的，活用力」，「課題，解決」，「コミュニケーション，表現力，伝える力，協働」，「論理，思考力（育成する力も含む）」）を便宜的に選び，その使用状況を大学毎に調べた。その結果を表 3 に示す。

回答の記述内容や上記の用語の出現状況に基づくと，理科教員に求められる資質・能力として以下のことが想定されていると言えよう。すなわち，自然や自然科学に関する専門的知識を有すること，実験・観察の技術・技能を有すること，及び理科教員としての知識や技術・技能を実践的に活用する指導法を有することである。したがって，理科モデルコアカリキュラムはこのような資質・能力を有する教員養成のガイドラインとなることが求められる。

２．質問３：一般的包括的内容科目の開設形態

72 %の大学が一般的包括的内容科目として専門科目を開設している（図２）。一方，25 %が専門科目を開設せず，専門的内容の科目を複数組み合わせている，を選択している。このうち，専門的内容の科目の捉え方に関して，「高校理科と専門科目の橋渡し的な入門レベルとして，高校理科

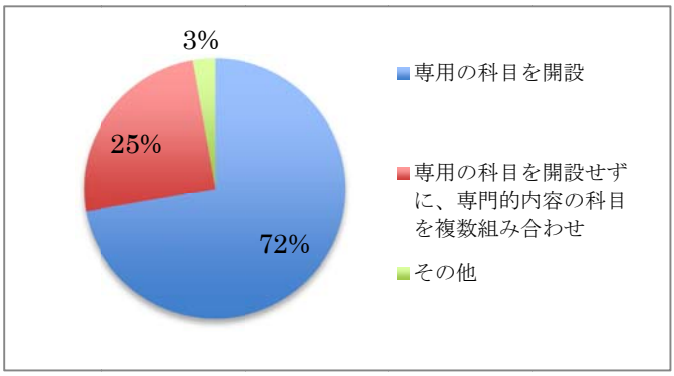


図２　一般的・包括的内容科目の開設形態

の学習内容を考慮した内容になっている」，「中学・高校で扱う内容の理論的背景を構築するため」というコメントを付した大学があった。また，その他を選択した１大学（3 %）の回答には，「学習指導要領および中高校教科書の記載事項にも接続可能な内容を基盤となる学問領域の体系に基づいて構成している。」と記述されていた。この記述内容は，多くの大学が選択した，一般的包括的内容科目として専門科目の位置づけとほぼ同じと捉えることができる。

３．質問４：一般的・包括的内容科目の内容

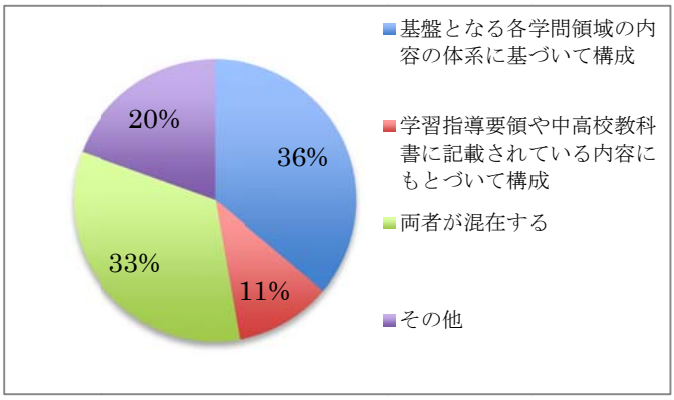
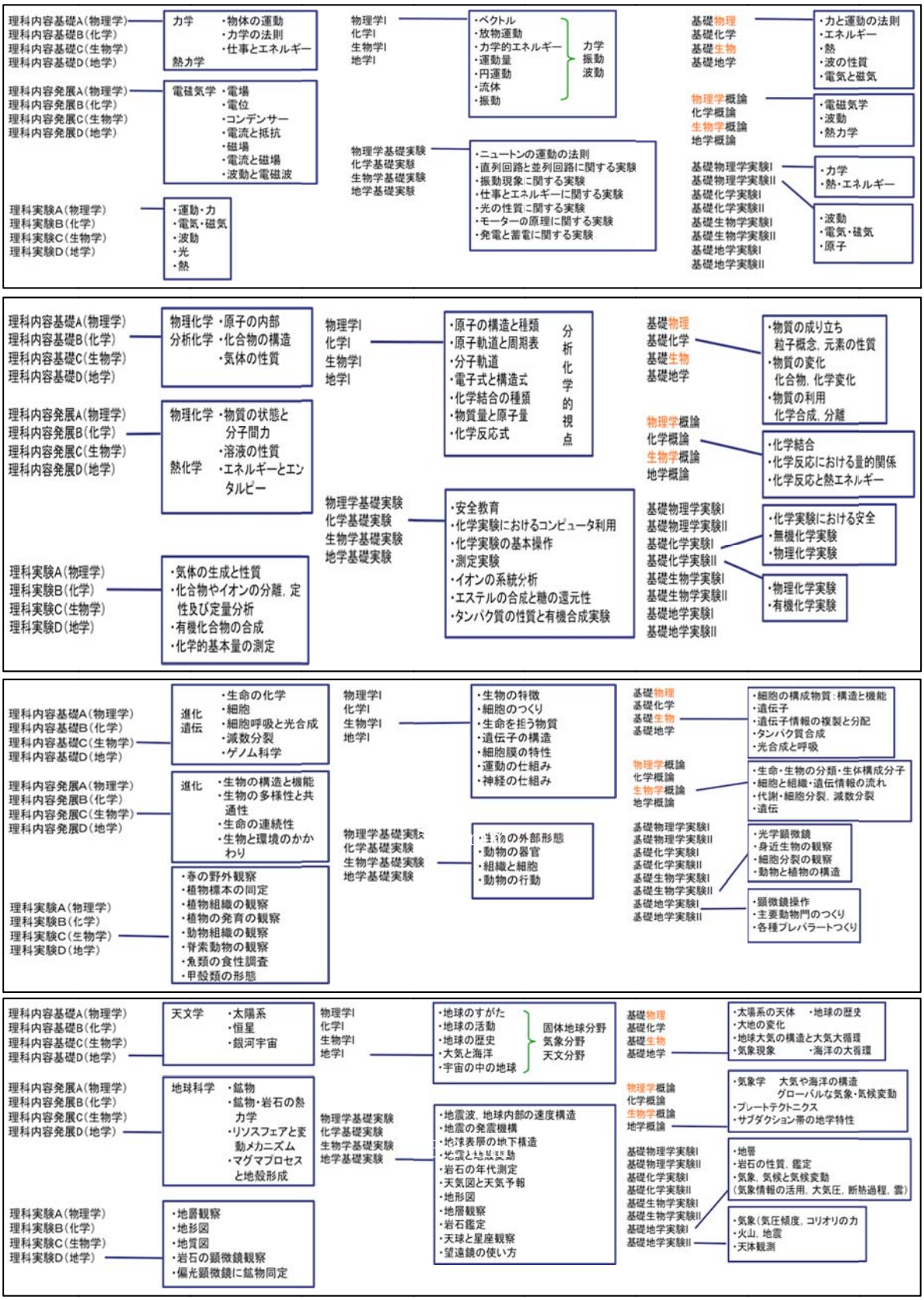


図３　一般的・包括的内容科目の内容（理科）

36 %の大学が基盤となる学問領域の内容の体系に基づいて構成されているとし，11 %が学習指導要領や中・高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されていると回答している。また，両者が混在しているとの回答が 33 %，その他が 20 %であった（図３）。

このうち，基盤となる学問領域の内容の体系に基づいて構成されている，を選択した１大学は，「一部では学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容を併せ持つ科目がある。」とコメントしている。その他を選択した７大学については，「学習指導要領および中高校教科書の記載事項にも接続可能な内容を基盤となる学問領域の体系に基づいて構成している。」という記述に示されるように，単に両者が混在するのではなく，両者を融合する形を取とっていると想定される。また，これらのうち２大学では，学問領域の内容の体系か学習指導要領等に基づくかの選択は授業担当者の裁量によるとしている。

シラバスに基づくと，４領域それぞれで扱われる内容は概ね以下のとおりである。物理領域では，力学を中心に電磁気学と熱力学の内容が扱われる。化学領域では物理化学，無機化学を中心に，分析化学，有機化学の観点から化学の基礎が解説される。生物領域では，生命科学の基礎として，生物の多様性，系統，分類，進化，生態の概要が解説される。地学領域では地球科学（固体地球，大



基盤となる学問領域の内容の体系に基づく構成（大学 24）	学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容に基づく構成（大学 33）	両者が混在する構成（大学 7）

図４　一般的総括的内容科目で扱われる内容構成例

気）と天文学に関わる内容が扱われる。シラバスの記載内容によると，学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容に基づく構成を選択した場合は当然であるが，基盤となる学問領域の内容の体系に基づく構成や両者が混在するという選択肢を選択した場合であっても，扱われる具体的な内容はそれぞれの領域の基礎的内容を主体に中等理科で扱われる事項と関連付けられているのが一般的である（図４）。また，図４の両者が混在する構成の例のように，学習指導要領や中学・高等学校の教科書に記載されている内容に基づく基礎科目では高等学校の科目名が使われ，基盤となる学問領域の内容の体系に基づく概論では学問領域を表す名称が使われており，中等教育の内容が意識されていることが伺われる。

以上から，一般的総括的内容科目の内容の項目選定では，物理学，化学，生物学，地学の各領域において，中等理科での授業を想定した教科内容知識の提供が意識されていると考えられる。しかしながら，表１のとおり科目数が少ない大学が多数を占めている。このことは，講義科目だけでなく実験科目も合わせて幅広い内容に対応する工夫は認められるが，一つの科目で扱う内容が多くならざるを得なくなり，課題と考える。

４．質問５：教科教育科目と教科内容科目の履修順序

58 %の大学が概して両者をほぼ同時並行的に履修，また 25 %が概して教科内容科目を先に履修し，それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっていると回答している（図５）。一方，17 %は両者に特別な関係はないとの回答である。なお，概して両者をほぼ同時並行的に履修すると回答した大学のうちの２大学は，それぞれ「d. 両者をほぼ同時並行」による履修であるが，一般的・包括的な内容の科目の履修順が，概して先になるように，カリキュラムが編成されている。」と「双方の側の科目が車の両輪であるため，『片側を学んだことで，もう片側の学び方が深まる』というスパイラル（フィードバック）を繰り返すことに意味がある。」とコメントしている。

以上に加えて，概して教科教育科目を先に履修しそれを踏まえて教科内容科目を履修という選択肢を選択した大学が無かったことから，教科内容科目の理解を基礎に指導法等，教科教育科目が実施されていることが想定される。

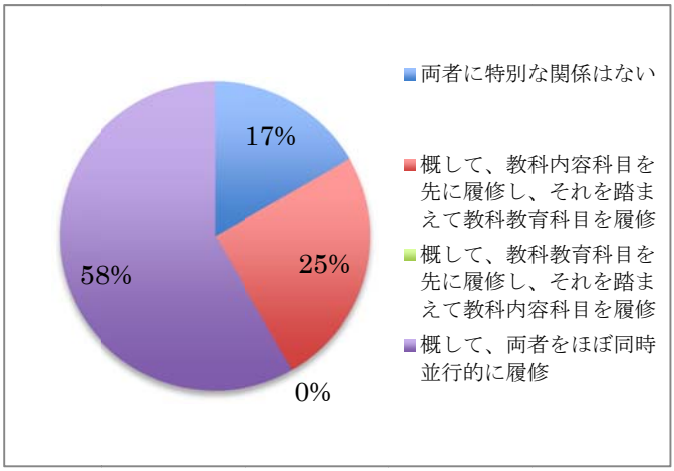


図 5 教科教育科目と教科内容科目の履修順序

Ⅲ．訪問大学のカリキュラム・授業内容

１．大学の選定

訪問大学を選定するに当たって，以下の点を考慮し，愛媛大学と秋田大学を選定した。

①一般的・総括的内容科目の科目数に関して，理科４科目はバランス良く配置されること。

②講義科目に比べ実習科目が多く配置されていること。理科の学習指導においては実験・実習が重要である。このことが教科教育科目の中でも考慮され，実践的な指導が行われていると考えられるため。

③教科教育科目と教科内容科目のセメスター配置に関して，何らかの特徴を持っていると期待される，両者がほぼ同時期に配置されること。

２．愛媛大学

愛媛大学は，中等教育コース理科教育専攻において理科教員を養成している。そこでの目指す理科教師像として，「高い専門性と実践力を備え，観察・実験を行い生徒の科学的な思考力を育成できる教員の養成を目指している。」と学部案内等に記述されている。

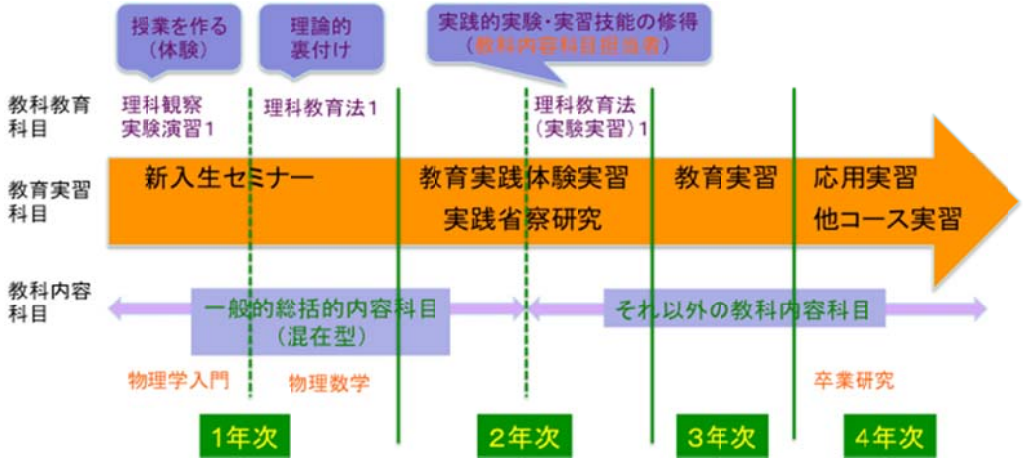


図６　愛媛大学の教員養成の概要

１）教員養成一般について

充実した教育実習を通した実践知の育成により，地域の特徴を理解し，実践的指導力を備えた教員の育成をめざし，１年次から教育実習科目を設置している（図６）。１年次の新入生セミナーで観察実習（附属学校）を実施し，これまでの授業を受ける立場から授業をする立場へと授業の見方を変える。２年次には教育実践体験実習でふるさと実習（出身校）を実施し，授業だけでなく，学級経営や放課後の部活指導など，教員という職業の仕事の実態を知る。また，実践省察研究ではプレ教育実習として，3年生が行う教育実習の研究授業や協議会の様子を観察し，省察授業において授業の構成や教材研究の方法を確認する。3年次には教育実習（附属学校）で授業や学級をまとめる体験を行う。４年次には応用実習・他校種実習で，異なる校種の公立校での実習を通して教科指導力や生徒指導力の向上や子どもの発達の理解を深める。

２）理科教員の養成カリキュラムの特徴

カリキュラムの特徴として実践と理論の往還が挙げられる。その方策として教科教育学の授業内容に実践を組み入れている。すなわち，理科観察実験演習１：授業を作ってみる（体験）→　理科教育法１：理論的裏付け　→　理科教育法（実験実習）１（実践）：教科内容科目の担当者の指導による理科の指導法として重要な実験・実習に関する技能の修得，という構成である。これにより，体験を通して具体的な課題をイメージし，その理論的背景や指導法を考え，次の体験へつなげるというサイクルを構築している。

また，実践知の育成に関して，平成32年度改組から課題研究指導実践演習（理科）を専門内容および教育実習を経験する3年次の集中講義として設定し，高校教員向けの研修会及び1年間高校生の課題研究指導の実際について知る機会の提供を予定している。

３）教科内容科目における「一般的包括的内容」の具体

一般的包括的内容は，基本的には中学・高等学校の学習課程に準拠するが，習得した知識を教育現場でどう活用するのかという視点が考慮されている。物理基礎では学校教育課程で用いる包括的な物理学の一般的知識を身につけるための基礎・基本としてニュートン力学を体系的に学び，その上で物理学一般における「力」と「運動」に関する現象について，基本的原理・法則・概念の理解と理論計算などの思考法により定量的に計算結果を表現する方法を扱う。化学基礎では原子，分子，イオン，金属，化学をキーワードとして，基礎知識及び科学的思考法の習得，化学の面白さを他者に伝える方法，化学と実生活の関連性を扱う。なお，参考書として高等学校化学の教科書を挙げている。生物基礎では学校教育で扱われる生物領域の基礎として，主に遺伝子，細胞，発生を取りあげ，教科内容や教材についての理解を深めることを目的としている。地学基礎では中等教育における地学領域のうち，固体地球を中心とした地球の姿や主な構成岩石および地球の歴史と大地の変動についての理解を目的とする。理科実験１は地学分野の野外観察の安全で適切な指導をするための技術や能力を身につけること，天文分野ではシミュレーションソフトの活用の意義や方法を修得する。理科実験２では薬品，ガラス器具及び測定機器の取り扱い方など科学実験の初歩的技術を修得し，また物質や反応についての理解を深める。理科実験３では実験を通して基本的物理概念や法則の理解，物理量の測定方法やデータ処理方法を理解し，中等教育物理領域の授業の工夫や教科書で示された教材の改善を引き出すために必要な知識・思考や技能を修得する。理科実験４では中等教育の生物領域で扱われる実験を通して，実験内容や手順の理解や実験観察技能の習熟を図り，実験・観察結果を基にしたレポートを作成する。

４）配当セメスターと科目間の関係性

授業科目の配置は，概して，教科教育科目と教科内容科目はほぼ同時並行的に履修する形となっている。これにより早い段階からの教育実習関連科目の実施に対応している。教科内容科目については，一般的総括的内容科目は１年次前期から２年次前期までに，それ以外の科目は概ね２年次前期以降に配置されている。また，高校物理未履修者に対応する入門科目としての物理入門や物理関係の授業で必要な基礎的数学力を育成するための物理数学が一般的総括的内容科目と同時期に配置されている。一般的総括的内容科目以外の科目については，物理など高校理科の科目名を付した，

中等理科の学習を考慮した内容を扱う科目はより早期に配置される。それらに引き続いて得意とする分野や教科内容についての専門的知識を修得するための科目が配置されている。なお，専門的知識の修得には学問領域の体系をカバーする科目配置が理想だが，授業数や担当者数の制約のため現状では困難である。そのため，より専門的内容の理解に関しては，卒業研究や課題研究により対応し，専門学部の研究と同等レベルの内容となるよう指導している。

教科教育科目については，講義科目と演習科目が交互に配置される。これにより，②理科教員の養成カリキュラムの特徴でも述べたように，教科教育科目群の中でも理論と実験・実習を繰り返して学ぶことができる。教育実習科目を軸に教科教育科目と教科内容科目を同時進行的に配置し，理論と実験の往還というサイクルが構築されている。

３．秋田大学

秋田大学は，理数教育コースにおいて理科教員を養成している。そこでの目指す教師像として，「自然科学や数理科学の分野において高い専門性を持つこと，理科・数学指導の実践的スキルにすぐれ，新しい理数教育を開拓していくことができること。」と学部案内等に記述されている。

１）教員養成一般について

理科教員の特徴的な専門性であり，又実践的スキルとも関連する，実験・観察の指導力の育成を重視している。

専門科目の配置は，1 年次に基礎的科目，2 年次に発展的科目，3 年次に理科教育ゼミナール，4 年次に卒業研究と段階的である（図７）。学生は，1 年次に理数教育コースの学生必修の入門科目や基礎的科目を中心に学習する。2 年次は理科の教科内容や指導法を中心に学習する。3 年次は卒業研究のための指導教員による指導を受け，4 年次にはテーマを絞り卒業研究を行う。

また専門科目の履修と同時に教育実習科目を2年次から履修する。すなわち，２年次は教育実習Ⅰ（附属学校での観察主体の実習），3年次に教育実習II（公立学校（県内出身者は出身校，県外出身者は秋田市内）での実習），4年次に教育実習III（附属学校での副免実習）を配置している。

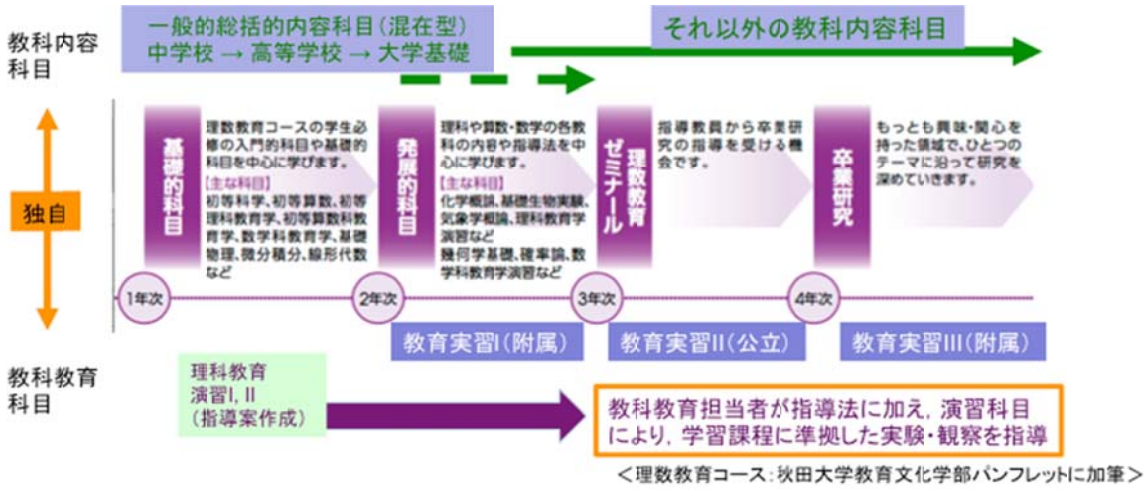


図７　秋田大学の教員養成の概要

２）理科教員の養成カリキュラムの特徴

教科内容（物理，化学，生物，地学）の専門スタッフが揃っており，各科目の内容を網羅的に学ぶ機会を提供している。

教科教育担当者が教科の指導法に関する講義に加えて，教科教育科目の実習科目として学校教育の学習課程に準拠した実験・観察の授業を実施し，実践的な実験・観察の技術指導を行っている。

各校種の学習課程を考慮した教科内容の指導は主に教科教育担当者が担当する。一方，教科内容の担当者は，高等学校の学習課程に準拠した各教科の内容に加え，主として学校教育の教科内容を越えた各学問領域の内容指導を行う。結果として，学生は教科指導に関する内容と理科４科目に関連する各学問領域の研究活動の一端を体験することができる。

理科４科目それぞれに対応して技術職員を配置することにより，実験・観察に関する知識や経験を習得する機会の充実をはかっている。

３）教科内容科目における「一般的包括的内容」の具体

一般的包括的内容は基礎的科目と一部の発展的科目で扱われる。基礎的科目として基礎物理，基礎化学，基礎生物，基礎地学を配置し，小・中学校を中心に高等学校の基礎科目も視野に入れ，それぞれの教科書の内容をわかりやすく説明できること目的としている。基礎物理では物理学の基礎的内容（力と運動の法則，エネルギー，熱，波の性質，電気と磁気）を扱い，基本法則と物理現象を数値的に扱う手法に習熟する。基礎化学では粒子概念の定着と元素の性質の理解，化合物や化学変化についての理解，化学合成や分離，及び身の回りの代表的な物質の性質を扱う。基礎生物では細胞の構成物の構造と機能，DNA，細胞の増殖法と遺伝子情報の複製と分配，タンパク質合成の過程，光合成と呼吸を扱う。基礎地学では太陽系の天体，地球の歴史，大地の変化，地球大気の構造と大気大循環，気象現象（高気圧，低気圧），海洋の大循環を扱う。

発展的科目に位置づけられている一般的･包括的内容科目として物理概論，化学概論，生物概論，地学概論，基礎物理実験I・II，基礎化学実験I・II，基礎生物実験I・II，基礎地学実験I・IIを配置し，各領域の中で選定された分野について大学基礎レベルの知識を持ち，高等学校の基礎科目を担当することができることを主な目的とする。物理概論では物理学のやや発展的な内容（電磁気学，波動，熱力学）について大学レベルの諸法則を理解し，数学を用いた物理現象の解析ができることを目標とする。化学概論では化学の体系を理解し，化学結合（イオン結合や共有結合と分子の形の理解），化学反応における量的関係（化学反応式，濃度，化学量論の理解，溶液反応の理解），化学反応と熱エネルギー（エネルギーとエンタルピー，ヘスの法則の理解）を扱ってその定着をめざす。生物概論では生物の特徴，炭素及び窒素循環，生体分子の構造，代謝，酵素と遺伝子の関係，細胞分裂，減数分裂における染色体挙動を扱い，それぞれを説明できることを目的とする。地学概論ではプレートテクトニクス，サブダクション体の地学的特性，グローバルな気象・気候現象の仕組みを扱う。基礎物理実験I・IIでは力学，エネルギー，波動，電気，磁気及び原子に関する基礎的な実験を通して，その原理の理解や数値データの取り扱いの習熟を図る。基礎化学実験I・IIでは化学実験における安全，無機化学，物理化学，有機化学の分野に属する基礎的実験を通して，観察・実験技能の修得と結果の解釈のための論理的思考法に習熟する。基礎生物実験I・IIでは光学顕微鏡の操作と各種プレパラート作製，身近な生き物，細胞分裂，染色体の観察，無脊椎動物の観

察・解剖を通して，基礎的実験技術の習熟を図る。基礎地学実験I・IIでは固体地球（地層，岩石・鉱物，付加体形成，火山，地震）や気象（気象観測，気象情報の活用，気圧，断熱過程，雲，コリオリ力，雪崩）に関する実験や天体観測を通して，各種測器・装置の操作の習熟を図る。

4）配当セメスターと科目間の関係性

授業科目の配置は教科教育科目と教科内容科目それぞれ独自に行われ，現状では教科教育科目と教科内容科目の科目間の連携・調整は行われていない。しかし，両者を関連付けて行うことが理想的であると教科教育担当者は考えている。

教科内容科目のうち一般的包括的内容科目は，中学校での指導に関わる内容の後に高等学校の指導内容，および大学基礎内容の順に構成される。一般的包括的内容科目以外の科目は，各学問領域の体系に従い，また指導教員の専門領域を考慮して配置される。

教科教育科目のセメスター配置は教育実習を考慮している。教育実習Ｉ（2 年生）は基本的に観察主体であるが，担当教員の裁量で授業実践を行うこともある。そのため，1 年次に理科教育演習 I，II を配置し，指導案作成も含めた指導を行っている。

Ⅳ．理科教育モデルコアカリキュラム開発の方向性

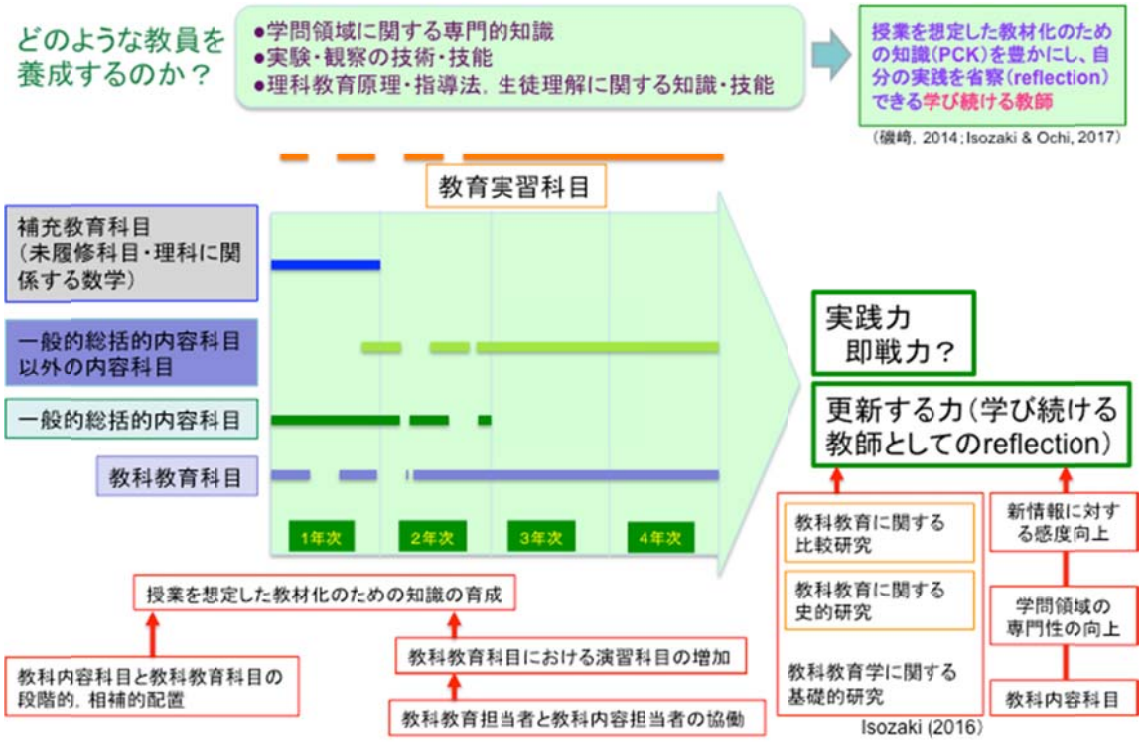


図８　理科教育モデルコアカリキュラムの構成要素（教科専門科目）

理科教育モデルコアカリキュラムでは，まずどのような教員を養成するかということが基盤となる。教科専門科目に関してこの点についてみると，学問領域に関する専門知識，実験・観察の技術・技能，及び理科教育原理・指導法，生徒理解に関する知識・技能を有することが今回の調査におい

ても確認されたところである（図８）。このような教員を養成するためのカリキュラムの構成要素として，今回の調査結果から，教科教育科目，一般的包括的内容科目とそれ以外の内容科目に加えて補充教育科目の配置の必要性が指摘される。このことは授業担当者や大学によって個別に対応されてきた部分でもある。しかし，中等理科教育の現状を踏まえるとその潜在的必要性は大きいと想定され，今後組織的に対応することが課題として挙げられる。

一般的包括的内容科目とそれ以外の内容科目との履修順序については，ほぼ全ての大学で前者が先に配置されている。また一般的包括的内容科目の内容は中等理科の内容が考慮され，また扱われる内容の深化という点でも順次性が認められる。しかしながら，少ない科目数で幅広い内容をカバーしなければならないという課題が残る。

次に教科内容科目と教科教育科目の履修順序をみると，概ね教科内容科目の理解を基礎に指導法等，教科教育科目が同時進行的に実施されている。すなわち，両者が段階的，相補的に配置されており，教師知識として，教科専門的知識（content knowledge）と教授学的知識（pedagogical knowledge）に関する科目が段階的にかつ有機的に結びつくように配置される傾向が見られる。とりわけ，教科内容担当者と教科教育担当者との協働による授業科目が設置されるなどの事例も見られる。このことは，教師知識の中でも最も重視されている，授業を想定した教材化のための知識（pedagogical content knowledge: PCK）を育成することが目指されていると言える。その他，協働とまでは言えなくとも，教科専門的知識を有した教科教育担当者や教科教育に造詣のある教科内容担当者がそれぞれの講義・演習において，PCK の育成を図っているところもある。また，教科教育科目の早期からの実施や教科教育科目における実習（演習）科目の配置に関しては，積み上げ式が定着し，より早期の学年から繰り返し行われる教育実習科目との関連を考慮する必要がある。なお，教科内容担当者と教科教育担当者の協働による取り組みは，減少傾向にある担当教員数のことを考慮すると，一つのモデルをなるものと考えられる。

かつて日本では，学術的専門性を重視するか教職の専門性を重視するかの論争があった。現在においても，まだそのような考え方は若干認められるけれども，教師教育の理論や実際においては，生涯にわたる教師としての専門的成長（continuing professional development）の観点から，学び続ける教師が求められるとともに，教師知識（teacher knowledge）の分析や反省的実践家（reflective practitioner）の教師像など，目指すべき教師像の提唱やそのために教師が有すべき知識が明確化されてきている（磯﨑，2014；Isozaki & Ochi，2017）。

しかしながら，先に示したどのような教師像を目指しているかに関しては，実践力を有する即戦力の育成が重視され，学び続ける教師として必要な資質・能力の視点が不明確であることが危惧される。そのため，生涯にわたる教師としての専門性の視点から，教員養成教育をその導入教育と位置づけ，自分の実践を振り返り（reflection），知識や技能を常に更新する力を育成することが，理科教育モデルコアカリキュラムの課題として挙げられる。この課題解決に関して，理科教育に関する史的研究や比較研究などの基礎的研究の理解の必要性が指摘されている（Isozaki，2016）。また，そもそも，そうした更新する力の育成に関して，中等理科で扱われる教科内容の背後にある自然科学のより深い理解や課題解決の体験という，一般的包括的内容を越えた内容を扱う科目配置を一層充実させることが必要であると考える。

謝辞
訪問調査では次の先生方にお世話になりました。厚くお礼申し上げます。
愛媛大学教育学部　学部長　佐野　栄　教授
向　平和　准教授
秋田大学教育文化学部　　川村教一　教授

【参考文献】

磯﨑哲夫（2014）「理科の教師教育論」. 磯﨑哲夫編著『教師教育講座中等理科教育』(pp. 7-31). 東京：協同出版社.

Isozaki, T. (2016) How Japanese rika (school science) teachers traditionally formed their own cultures and improved their teaching competencies through research and practice? *In* M.-H. Chiu (Ed.), Science education research and practice in Asia: Challenges and opportunities (pp. 517-538). Singapore: Springer.

Isozaki, T. and Ochi, T. (2017) Secondary science teacher education/training in Japan. *In* J. E. Pedersen, T. Isozaki, and T. Hirano (Eds). *Model science teacher preparation programs: An international comparison of what works* (pp. 287-306). Charlotte, NC: Information Age Publishing.

第 5 章

中学校社会科および高等学校地理歴史科、公民科の教員養成カリキュラム分析

Ⅰ．育成を図る中等社会系教員としての資質・能力

各大学の『便覧』『学習の手引き』等でカリキュラムを調査した後、アンケートによって「貴学ではどのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、公民科教員の養成を目指していらっしゃるのか」と尋ねることによって、4 年間の学修で育成を図る中等社会系教員としての資質・能力を調査した。

多くの大学は、「教科の内容と教育方法について専門的知識・能力を深めるとともに、学校現場での諸課題に対する実践能力・問題解決能力を身につける」（大学 No.01）や「(1) 「社会認識教育学」の基本的な認識枠組を修得し、教科教育の目的・内容・方法を研究できる知識・理解、技能・態度を身につけている。(2) 「社会認識内容学」に関連する人文・社会科学の諸分野の基本的な認識枠組を修得し、研究できる知識・理解、技能・態度を身につけている。(3) 上の２つを総合して、優れた社会系教科教育を教育、実践できる能力を身につけている」（大学 No.44）といったように、「教科の内容」と「教育方法」、「専門的知識・能力」と「実践的能力・問題解決」という教員に求められそうな資質・能力全般のバランスをとった、あるいは総花的とも言える記述となっている。そうした中、重点を比較的明確に示している大学もあり、それらには大きく 3 つの特徴が読み取れる。

第一のタイプは、社会系教育の内容の前提となる諸学問の知識や研究法の習得を重視するものであり、次のようなものが例として挙げられる。

「社会科を構成する各学問分野の基礎をしっかりと修得することを重視‥‥。研究の進展によりどのように新たな知識やものの見方が生産されるかを理解したり、学問の本質的な面白さにふれたりできるよう、‥‥特定の分野の専門性を高めることを重視」（大学 No.21）

「社会科教育の諸分野（歴史学、地理学、法学、政治学、経済学、社会学、哲学、倫理学、社会科教育学）に関する専門的知識と方法論を習得し、将来、中学校社会科（地理歴史科、公民科）教員として『深い学び』の実現に向けた授業を担っていくために必要な資質・能力」（大学 No.12）

第二のタイプは、授業づくりの資質・能力の習得を重視するものであり、次のようなものが例として挙げられる。

「社会科・地理歴史科・公民科を中心にした優れた教育指導力を持ち、中学校と高等学校の接続を踏まえて指導できる」（大学 No.34）

「広く人間社会に関する問題意識をもち、自ら思考できる教師、あるいは、子どもの心を揺さぶるような授業ができる」（大学 No.24）

「教科としての独自性と目標・内容・方法の特質の理解。授業づくりの技能の習得。コミュニ

ケーション能力の獲得」（大学 No. 23）

第三のタイプは、社会、地域社会を担う市民に求められる資質・能力の習得を重視するものであり、次のようなものが例として挙げられる。

「社会の多様な利害を調整しながら、人間として尊厳ある社会を築いていこうとする人間（これを「市民」という）」（大学 No. 25）

「地域や社会のあり方、その歴史や思想に深い知識を持つとともに、現代的課題や地域的課題への問題意識を持って、地域の人材育成に貢献」（大学 No. 09）

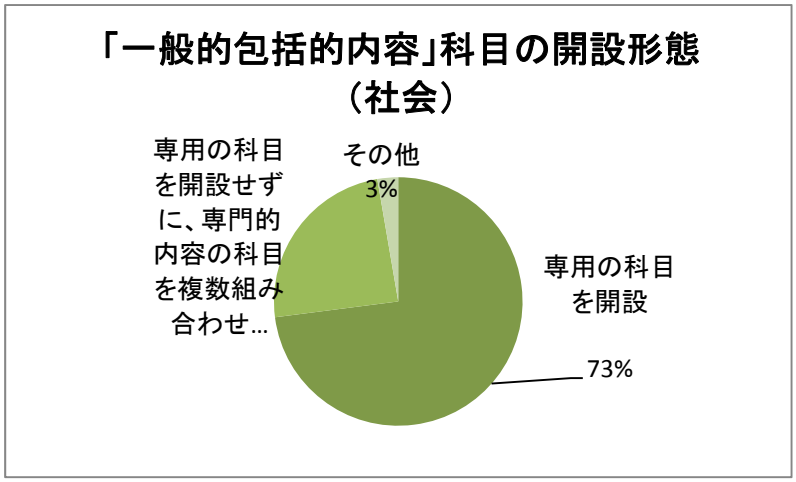
「多様な文化・社会についての理解のもとで、これまで経験したことない様々な問題が解決できる力とよりよい社会を形成しようとする意欲をもった」（大学 No. 32）

大きく捉えると、第一のタイプは教科の背景となる各学問に精通することが教師として重要であるという考え方を反映しており、第二のタイプは子供と向き合う指導者としての教師像を重視していると言えよう。第三のタイプはそもそも人間としての教師の育成に重点を置くものであるが、社会系教科の教師の場合は、教科の特性からか、地域社会に貢献できる人間や良き市民といった人間像が描かれている。教師に必要な資質・能力に、教科で育てようとする人間像そのものを重ね合わせており、教師自身が子供の手本となるような資質・能力が描かれている。

（棚橋　健治）

Ⅱ．一般的包括的内容科目の開設形態

教科内容に関わる授業のうち、一般的包括的内容を扱う科目の開設形態について、アンケートで「一般的包括的内容」科目は、専門的内容の科目と分けて、一般的包括的内容専用の科目として開設しているか、それとも専門的内容の科目を複数組み合わせることによって構成しているかを問うた。



回答結果は、「専門的内容の科目と分けて、一般的包括的内容専用の科目として開設している」が 28 大学、「専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている」が 9 大学で、「その他」の回答はなかった。「専用の科目」と「専門的内容の科目の複数組み合わせ」の重複が 1 大学あった。これは、中等社会系教科を構成している内容領域によって異なるためという理由である。

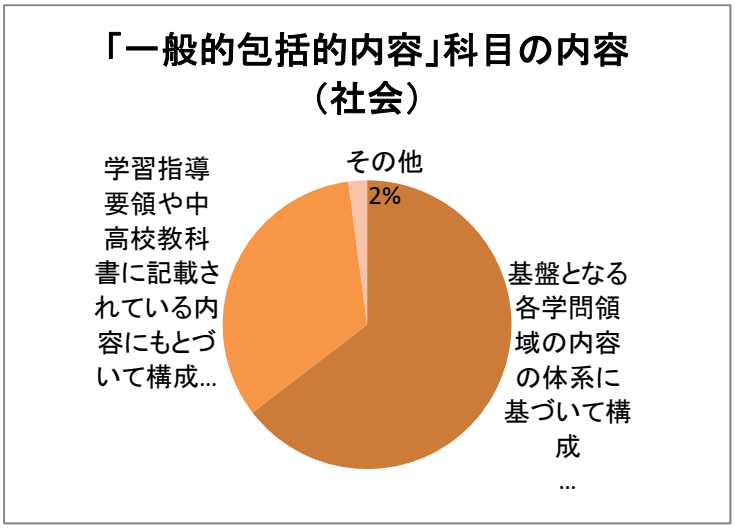
専用の科目は多くの場合「○○学概説」「○○学概論」というように、基盤となる学問領域の名

前をそのまま冠したものになっている。また、専用の科目の開設数は、大学によってその開きが大きく、免許法上の領域の数とほぼ同一の最低限の大学から、教科内容授業の多くがこれに指定されている大学まである。

（棚橋　健治）

Ⅲ．一般的包括的内容科目の内容

教科内容に関わる授業のうち、一般的包括的内容を扱う科目の内容について、アンケートで「一般的包括的内容」科目は、基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されているか、学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されているかを問うた。



回答結果は、「基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている」が 31 大学で、「学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている」が 16 大学であり、それらのうち 12 大学は両者に重複して回答している。「その他」は 1 大学であった。以下、領域ごとにシラバス等から読み取れる授業内容について述べる。

（棚橋　健治）

○「地理学（特に自然地理学分野）」の場合

教員免許取得のための人文地理学関連の一般的・包括的授業は，大きく地理学史や多様な地理学の紹介からなるシラバスの内容が多い。

人文地理学関係のシラバスの内容としては，以下のような類型ができる。

①一般的包括的授業の内容は包括的でそれ以外の授業は専門的。②一般的包括的授業の内容は専門的（授業担当者の専門）で、それ以外の授業は包括的内容のものと専門的内容に分かれる。③一般的包括的ではないものの，包括的授業以外の授業は専門により特化している。④人文地理学の一般的包括的内容の授業はすべて授業担当者の専門に特化。一般的包括的授業（概論）や地誌の授業にもかかわらず巡検や専門的内容の組み合わせがある。⑤地理学の包括的授業のなかで半分が包括的、残り半分が専門的となっている折衷型。それ以外の授業は専門に特化。

特徴としては，教育学部における歴史学の一般的・包括的授業の多くが古代から現代にかけての通史からなる授業構成となっているのに対して，人文地理学の一般的・包括的授業の多くは，地理学を学ぶ意義に関して，地理学の学史や多様な地理学（社会地理学，人口地理学，農業地理学，都

市地理学，農村地理学，経済地理学など）の概説からなる内容構成となっていることである。つまり，学習指導要領の内容に規定されたものというより，地理学の動向や最新の地理学を最初に学んだうえで，教材化づくりへとつながることができるような内容で構成され，多面的・多角的な地域学習の基礎的内容の学習が展開されていると解釈できる。特に注目されるのは，農業地理学や工業地理学などの経済地理的内容の概観と，都市地理学（都市システムや都市の内部構造，都市問題，都市社会地理学的内容）の概観が一般的・包括的授業の三分の一から半分くらいで取り扱われており，現代社会の課題に対する探求学習的教材として，シラバスに組み込まれている大学がいくつか見られることである。

一方，一般的包括的内容の授業にもかかわらず，一部の大学では，担当教員の専門分野の概観からなるシラバスも見られ，地理学の内容を深く追及する内容構成となっているところもある。このような大学では，地理学の調査実習も充実しており，地域調査を教えることができる教員の養成につながっていると思われる。

（由井　義通）

○「地理学（特に自然地理学分野）」の場合

質問３では，一般的包括的内容について 27 校（75%）の大学で専用の科目が開設され，専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせる大学は 9 校（25%）にとどまる．例えば，後者の事例として，大学 No. 17 があり，そのシラバスをみると，地理学に関する 1，２年生向けの授業だけでも，「自然環境」「地理学研究法」「地理学概論」「地域調査法」「地誌学概論」など複数用意されている．これは，地理学の専任教員が 4 人いるということが大きい．一方，多くの大学では，「自然地理学概説」「人文地理学概説」など専用の科目のみであり，専任教員が限られている現状を考えると専用の科目のみを開設せざるをえない．

一方，質問４では，一般的包括的な授業の内容が，基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいているか，一方，学習指導要領や中高教科書に記載されている内容に基づいて構成されているかについて問うている．前者は 28 校（68%），後者は 13 校(32%）となっている．ただし，後者のみ事例は，大学 No. 10、大学 No. 17 大学、No. 43 だけであり，後の学校は，前者と後者両方ともあるということであり，おそらくは科目によって内容が異なることを示していると見られる．さて，基盤となる各学問領域の内容の体系に基づくとは，自然地理でいうと，自然地理学の学問体系である，地形学，気候学，水文学などに基づいて講義をおこなう授業が多いということになる．ただし，実際に，各大学の自然地理学に関するシラバスをみると，地形学に関するシラバスが多く，一部で気候学に即した内容も見受けられる．一方，学習指導要領や中高教科書に記載されている内容に基づく大学として，岡山大学教育学部があげられる．自然地理学に関するシラバスとして，「自然地理学概説」があるが，その授業内容は，学習指導要領や中高教科書に記載されている内容というよりも，授業担当者の専門である自然地理学の体系に基づいた内容であることがわかる．以上から，自然地理学に関しては，学習指導要領や中高教科書に記載されている自然地理学的な内容が少ないこともあり，自然地理学の学問体系に即した授業が圧倒的であることがわかる．

（熊原　康博）

○「倫理学」の場合

本調査では，９地区（北海道，東北，関東，北陸，東海，近畿，中国，四国，九州）から教育大

を中心に各１校を選択し，各大学の「倫理学」の一般的包括的科目について，[1]調査と[2]分析を行った。調査項目は，(1)授業形態，(2)開設時期，(3)科目の位置づけ，(4)内容である。

[1]調査結果

(1)授業形態：９校すべて講義形式である。(2)開設時期：９校すべて１年，２年次に開講している。(3)科目の位置づけ：①一般的入門（大学 06, 19, 26, 29, 43, 46, 57），②社会科教員にとって必要な専門的な学識を身につける（大学 01, 34），(4)内容：①倫理思想史・倫理学史（大学 01, 19, 29, 43, 46），②倫理学基礎論（大学 06, 26, 34, 57），③倫理学応用論（大学 06, 26）

[2]分析結果・意見

高等学校公民科「倫理」は「思想」を正面から扱う唯一の科目であり，倫理学が教育の現場を通して日本社会に貢献するうえで重要な意義を有している。しかし（あくまでも報告者の経験からのデータであるが）大学で「倫理学」を受講する学生の約半数が高校時代に「倫理」を履修していない。その半数が「倫理学」を受講しなかったら，一般教育で関連科目を受講しないかぎり，思想に触れることがまったくないままに卒業し，教育現場で「倫理」の授業を行うという由々しき事態になりかねない。そういう意味でも倫理学を必修科目として設定していること，そして１・2 年次に開講とされていることは適切である。

教科専門科目としての「倫理学」はこうしたいわば「初心者」をも意識した授　業内容構成にせざるをえないのであるが，高校「倫理」の内容を大学の「倫理学」の授業ですべて取り上げることには，言うまでもなく時間上の限界がある。また，高校「倫理」内容の反復にすぎないのであれば，大学本来の授業科目としての，学問としての「倫理学」の授業が成立しなくなってしまう恐れがある。そこで，あえて言えば，高校「倫理」と「倫理学」の接点は「思想」の領域ということになるであろう。一般的包括的内容ということでいえば，大学では，各教員が独自の授業を展開するにしても，最低でも「思想の源流」といえる東西の哲学・倫理思想（たとえば，ギリシア思想，キリスト教，イスラム，仏教，中国の思想等）を授業内容の一般に組み入れることは必要だと考える。

（畠中　和生）

○「法律学」の場合

１　一般的包括的な内容を含む科目群のセメスター配置

各大学の公民科免許取得カリキュラムにおける、いわゆる概説科目群のセメスター配置は次の通り多様であった。

1 年前期に固める：57

1 年後期に固める：02

1 年次に固める：11, 15, 17, 28, 32, 43, 58.

1 年次から 2 年前期：06, 10, 25.

1，2 年次：13, 44, 45, 48.

1 年後期から 2 年前期：14, 37.

1 年後期から 2 年次：08, 09, 42, 51, 55.

1 年後期から 3 年前期：29, 40.

2 年前期に固める：04, 27.

2 年次に固める：03, 12, 20, 22, 26, 31, 39, 46.

2 年次から 3 年前期：23, 24.

2 年次以降：19, 47, 52, 53.

これらの配置とした原因については、隔年開講や再履修の可能性など不確定要因も含めて、これまた様々であろう。一つには、主に 1 年次開講の全学共通科目群を意識して専門科目の概説部分を 2 年次から開始している例の存在が考えられるが、前倒しになっている例も多い。

これらのうち、とくに「法律学概説」や「法学概論」については、かつての一般教育科目、現在の教養科目または全学共通科目の「法学入門」との類似性に思い当たる。今回の科目配置表では専門科目しか挙げていないので、いわゆる教養科目との接続の可能性は不明であるが、教員免許取得に必修の「日本国憲法」も全学共通科目に入っていることや、「政治学入門」ほか社会科学系の科目群も並んでいることを前提とすれば、必ずしも公民科免許取得予定者が法学入門を履修しているとは限らない。

各科目 10 年以上にわたる個人的な講義経験から抱かれる印象では、最初に政治学入門を履修して政治過程の実態を具体的によく知ったうえで、その前提となる仕組みを取り扱う日本国憲法や法律学概説を履修した方が、法制定の背景や文脈（事前）、そして法規制の機能（事後）が動態的に知られて、抽象的な制度の丸覚えと迅速な忘却といった悪循環に陥らずに済むのではないだろうか。ただし、たとえば選挙などのように、先に制度を知ってから実施場面での活用状況を学修した方が理解しやすい分野や領域もあるかもしれないので、どのような順番で学修するのが理解しやすいか実証的な検討が必要であろう。

２　公民科免許該当科目に国際的な内容または科目を入れる必要とその方法

教員免許取得上、社会科と公民科との間にある主な違いは、教科専門の内容面では、選択肢として心理学が加わり、かつ、法律学・政治学・経済学それぞれに国際的な内容が追加されている点である。後者の要求を実現するには、国際系の科目を追加すればよいのであるが、既存の科目名に丸括弧で「(国際〇〇を含む。)」という指示なので、概説科目の一部に国際的な内容を含めればよいとされているようである。実態は次の通りであった。

A 国際系の科目がない：05, 06, 09, 10, 12, 14, 17, 18, 21, 22, 24, 26, 35, 37, 40, 42, 43, 47, 51, 52, 57.

B 国際法と国際政治の授業がない：07, 34.

C 国際系の内容を含む：13, 20, 28, 29, 31, 32, 45, 46(法のみ), 48.

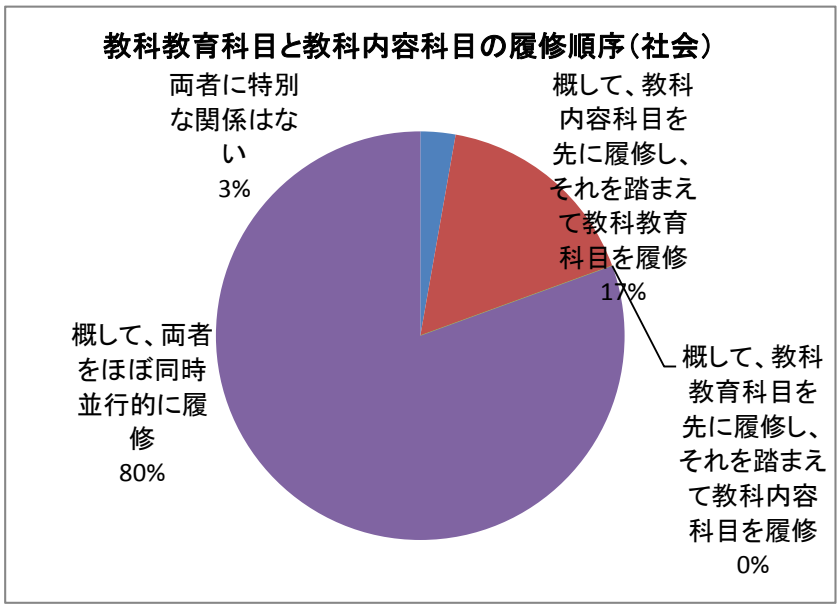
たとえば、A 群 06 の法律学概論（2018 年度シラバス参照）や 10 の法学概論（テキスト『判例で読む憲法』参照）、12 の法学概論（同年度シラバス参照、以下同じ）には国際法の内容は入っていない。B 群も含めて最低限の国際的な内容か科目の補充が必要であろう。

他方、C 群 13 の法律学概論（国際法を含む）には 3 コマほど国際的内容が、また 28 のそれには 2 コマ入っている。ただし 20 の法律学概説（国際法を含む。）には残念ながらそれが入っていなかった。独立の国際系科目が開講されていないのであれば、分量は不確かであるが既存の科目に国際的な内容を含める必要があろう。小職も自分の担当する法律学概説の科目名には国際法を補充的にも銘打っておらず、免許法該当科目区分との対応表で公民科の場合は「法律学（国際法を含む)」となっているので、それに呼応して 2 コマほど国際法に関する内容を入れている。

以上、簡単な指摘ばかりであったが、旧来のカリキュラムには初歩的な箇所での改善点や仕組みに理由付けを要する面が見受けられた。

Ⅲ．教科教育科目と教科内容科目の履修順序

教職課程のカリキュラム編成（科目の配置、履修順序）における教科教育科目（各教科の指導法等）と教科内容科目（一般的・包括的な内容の科目も含めた教科に関する専門的事項）との関係について、『便覧』『学習の手引き』等から該当科目を全て抜きだし、それらのセメスター配置を独自の表にすると共に、当該大学自身の考えをアンケートで問うた。



回答結果は、「両者に特別な関係はない」が 1 大学、「概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている」が 6 大学、「概して、教科教育科目を先に履修し、それを踏まえて教科内容科目を履修する形となっている」がなし、「概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている」が 29 大学、「その他」がなしである。

4 年間という長くはない期間で、しかも 1 年次ではいわゆる教養教育科目が多く配置され、4 年次では開設授業科目が少なくなることから、教科教育科目と教科内容科目のどちらかの授業科目群を先に集中的に行い、“それを踏まえて”他の授業科目群を履修するようなカリキュラムは、物理的にも難しいことが想像される。「概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている」という回答が 80%を占めたのには、そのような理由もあろう。

実際にそれらのカリキュラムは, どのような授業配置になっているのかは、第 7 章（『冊子版報告書』では例のみを示し、全部の資料は『デジタル総合版報告書』に記載）で示す。ここでは、各々、ひとつずつ取り上げて紹介するにとどめる。

まず、「概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する」形となっているものの例として、次ページの表のようなカリキュラムが挙げられる。このカリキュラムでは、教科内容科目（一般的包括的）は 1 年次に集中して開設されている。続いて、2 年次前期から多くの教科内容科目（専門的）が開設されている。教科教育科目は、その後 2 年次後期から 3 年次に集中していることがわかる。

表　教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形のカリキュラム（中学校社会科）（大学 No. 13）

教科教育必修（選択必修含む）	教科教育選択
教科内容必修（選択必修含む）	教科内容選択

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概説A																
西洋史概説A																
東洋史概説A																
法律学概論(国際法を含む)																
日本史概説B																
西洋史概説B																
東洋史概説B																
人文地理学A																
人文地理学B																
人文地理学C																
自然地理学A																
自然地理学B																
地誌学																
経済学概論（国際経済を含む）																
倫理学概論B																
哲学概論																
日本史講読B																
人文地理学B																
倫理学概論A																
日本史演習A																
東洋史講読A																
東洋史演習A																
地理学演習A																
地理学演習D																
地理学実習																
日本地誌A																
外国地誌B																
法律学特殊講義																
倫理学講読A																
倫理学演習A																
日本地誌B																
外国地誌A																
政治学概論(国際政治を含む)																
社会科・地理歴史科指導法Ⅰ																
社会科・公民科指導法Ⅰ																
日本史演習B																
地理学野外調査実習																
地理学演習B																
法律学演習B																
倫理学講読B																
倫理学演習B																
社会科教育学演習A																
社会科・地理歴史科指導法Ⅱ																
社会科・公民科指導法Ⅱ																
法律学演習A																
社会科教育学演習B																
日本史演習C																
東洋史講読B																
東洋史演習B																
地理学演習C																
教職実践演習																
社会学概論																

次に、最も多かった「 概して、両者をほぼ同時並行的に履修する」形となっているものの例として、次表のようなカリキュラムが挙げられる。このカリキュラムでは、教科内容科目の配列がとても規則的になっている。概論（一般的包括的）から講義へ、そして演習へて進むようになっている。教科内容科目では、概して地理歴史系内容科目が公民系内容科目よりやや先行しながら、それらと教科教育科目が並行している。すなわち、内容概論（一般的包括的）からは入り、2 年次前期で内容概論と教育法、2 年次後期で内容講義と教育法、そして 3 年次では内容演習と教育法が並列的に並んでいる。

表　教科内容科目と教科教育科目をほぼ同時並行的に履修する形のカリキュラム（中学校社会科）

（大学 No. 06）

	教科教育必修（選択必修含む）												教科教育選択			
	教科内容必修（選択必修含む）												教科内容選択			
授業科目名（黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概論																
外国史概論																
人文地理学概論																
自然地理学概論																
法律学概論																
地誌学講義A																
日本史講義A																
外国史講義A																
地誌学講義B																
法律学講義																
中等社会科教育法A																
社会科教育実践研究A																
政治学概論																
経済学概論																
社会学概論																
哲学概論																
倫理学概論																
外国史講義D																
自然地理学講義																
中等社会科教育法B																
日本史講義C																
外国史講義B																
政治学講義																
経済学講義																
哲学講義																
社会学講義																
倫理学講義																
社会・地歴科教育法																
社会科教育実践研究B																
地理学実習A																
地理学実習B																
社会学実習									集中							
日本史演習																
外国史演習A																
地理学演習A																
地理学演習B																
法律学演習																
政治学演習																
経済学演習																
社会学演習																
哲学演習																
社会・公民科教育法																
日本史講義B																
日本史講義D																
外国史講義C																
人文地理学講義																
外国史演習B																

（棚橋　健治）

Ⅳ. 特徴的大学への訪問調査

中等社会系の調査研究では、全国のカリキュラムを整理した上で、有意義な示唆が得られることが期待できる大学として、宮城教育大学と東京学芸大学を選び、訪問調査を実施した。宮城教育大学では、副学長の松岡尚敏教授が、東京学芸大学では渡部竜也准教授がご多忙にもかかわらず長時間割いてくださり、大変ご丁寧にご対応くださった。ここに記して厚く御礼申し上げます。両先生は、各々、教員養成についても深く研究されており、所属大学のカリキュラムについてだけでなく、教員養成のあり方にも大変造詣が深い。ほんの一例であるが、次のような業績もお持ちであり、本研究のあり方への示唆もいただいた。

松岡 尚敏「教員養成教育におけるカリキュラムマップ作成の意義と課題」『宮城教育大学紀要』49、2015 年

渡部竜也「わが国の初等・中等社会科教員養成の実態に関する基礎的研究（Ⅰ）――大学主催の 10 年次研修の実態からみるわが国の教員養成」『東京学芸大学紀要　人文社会科学系Ⅱ』第 59 集、2008 年。

渡部竜也「カリキュラム・授業理論と教師教育論の連続的探求の必要性――教科内容専門領域改革に向けた研究方法への提言：社会科を事例として」『社会科教育研究』第 110 号、2010 年

宮城教育大学は、先にカリキュラム表を掲載した大学 No.06 である。詳細な具体はここでは記さないが、この大学のカリキュラムの特徴は第一に、規則性が明確になっているカリキュラムであるということである。それは学生の教師としての資質・能力の成長のプロセスを明確にしているという点で高く評価できる。そして、第二の特徴として挙げられるのは、教科教育と教科内容の連携が、それを行うために設置された授業で明確な目的意識のもとに行われるように計画されている点である。さらには、学校教員としての教養という観点から行われる教養教育科目も開設し、教養教育も含めて教師としての資質・能力形成を体系化している点も特徴と言える。これは、教員養成に特化している単科大学ということもあろうが、4 年間をフルに教員養成に充てていると言えよう。もちろん、教養教育のあり方については、議論は分かれるであろうが、興味深い取組であることは確かであろう。

東京学芸大学（大学 No.17）のカリキュラムは、教科教育科目の開設セメスターが比較的遅い時期すなわち高学年に偏っている。一見すると、教科内容の論理が優先される教員養成の仕組みになっている。教師にまず必要なことは教える内容となる各学問をしっかりと修得することであり、教科内容の一般的包括的内容科目は、各学問の入門授業として最も早い段階で履修するというカリキュラムとなっている。しかしながら、実際の学生の意識は必ずしも教科内容の学問の論理だけで教育を考えるものにならないようである。お話を伺うと、そこには言わば Hidden Curriculum　のようものがあるように見える。そのひとつは、多くの学生が初等教員になるための体系的な学びをしていることである。そこで早い段階から、学びについてや教科の意義などを考えているために、教科内容の学問の論理を優先する考え方には一方的に向くわけではないという仕組みになっている。Hidden Curriculum　を形成するもうひとつの要素は、教科内容科目の担当教員の意識と能力に左右される。教科内容科目の中には教科内容の基盤となる学問自体と教科内容を意識してそれを考える両面が見られるという。専門科学とその教育の両方を視野に入れた授業がなされものも多いとい

う。そのような研究者の存在がそれを可能にしている。これは教員養成における教科内容科目のあり方のひとつのモデルにもあり得る興味深い事例である。他方、それは教科内容に対する基盤となる学問の論理の優越にも繋がり、内容の論理から教育を考えることに拍車をかける懸念もある両刃の剣と言えるのではなかろうか。

（棚橋　健治）

Ⅴ．本調査研究から得られた中等社会系教員養成における教科教育コアカリキュラム策定の課題と展望

社会系教科は暗記教科だと考える子供は多い。しかし、それは子供だけではなく、授業者の側にもそのような意識があるのではないかと感じざるを得ない。大学で様々な授業のあり方を学んでも、学校現場に出た途端、ひたすら年号や地名を答えさせるテストを作っている教師は多い。そのような教師に話を聞くと、子供が自ら学ぶとか考えると言うことは、小学校では重要かもしれないが高校では大した意味はないと答える。厳然と存在する歴史の事実は膨大であり、その正確な知識を習得することが歴史をわかると言うことであるという。したがって、歴史の教師に求められることは、唯ひたすら歴史の本を読み、貪欲に知識を貯めることだという。

もちろんこれは全ての教師の考え方ではないが、社会系教科では中学、高校と学年が上がるにつれてその傾向は強まるように感じる。そのことは、特に高校では、種々の研修会や授業研究会において授業を論ずることができない教員の多さが問題になっていることからもわかる。授業研究力の低下は、児童・生徒の成長の視点を欠いた知識の一方的な伝授をもって授業とする教員を生み出し、そのために授業が成立しないという事例が多くなっている。教員として採用されて自立した後に、自他の授業の改善点を見いだし、よりよいものとすることができない教員は、これからの教育に求められているものと乖離してしまう。指導要領の改訂で社会系教科で最も大きく変わるのは高等学校であるが、授業現場が本当に変わるには、それを担う教師が授業に対する考え方を見直す必要があり、そのことは養成段階にも課題があると考えるべきであろう。児童・生徒を理解する力と科学や文化を教材として構成する力を架橋する授業研究力を育成するカリキュラムになっているか。養成段階で培われる教師としての資質・能力とそれを実現するためのカリキュラムは、大学によって差が大きく、社会系教科の中だけでも領域によっても差が大きいことがわかった。コアカリキュラム策定に向けての大きな課題ではなかろうか。

本事業の公募要領においては、「従来、大学では学芸的側面が強調される傾向があり、そのことは、課題が複雑・多様化する教育現場から、例えば初任者が実践的指導力や学校現場が抱える課題への対応力を十分に身に付けていないなどの批判を受けてきた」と述べている。また 2010 年 2 月 25 日付けの大学設置基準改正では「学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培う」と記されている。これらのことを考え合わせると、大学の中等社会系教員養成は教科内容の背景としての文化的体系の伝授から、授業者としての授業力・授業研究力の育成に重点を移す必要があるのではなかろうか。それを保障するようなコアカリキュラムが求められるのではなかろうか。

養成段階を終えて学校現場で教壇に立つ教員たちの研修を担う方々は、教員養成に何を期待しているのか。広島県立教育センターの平田浩一所長は、その講演（「教員研修が目指すもの，教員養

成に期待すること」2018 年 5 月 31 日　広島大学教育ビジョン研究センター）の中で、教員養成に期待することを指導主事等に問うたアンケート結果を紹介した。そこで上位を占めたのは、「社会人としての基本」「教育理論」「教師としての自覚」「児童生徒理解」「コミュニケーション力」「基本的な授業力」である。そして、大学で教員養成を担う者たちには、「教師の教師」「研究者」「コーチ」「カリキュラム開発者」「学生を教師の専門世界とで合わせるゲートキーパー」などの役割を期待すると話された。

大学における教員養成がこのような期待に応えるためには、4 年間という限られた期間で、学生が次のようなことを出来るようにすることが必要なのではなかろうか。

①その内容についてなぜ学校において教えるのかを説明できるようになること

②その内容について学校で教えるとき、目指すべき目標を指摘できるようになること

③その内容をどのような順序でどのように配列すると、その教科の目標を達成することができるのかを説明できるようになること

④その単元は、何のために、何をどのように教えるのかを指導案に書け、指導することができるようになること

⑤その内容に関して、その子供たちに適した学ぶ材料はどのようなものかを指摘でき、改良することができるようになること

⑥その内容に関して、その子供たちに効果的に学ぶ仕方を組織でき、さらにそれらをよりよいものに改良することができるようになること

⑦子供たちがその内容を学ぶことに関して、適切に評価し、その学習と指導をよりよいものに改善する方法を指摘することができるようになること

教員を目指す学生がこれらのことを考え、身につけるためには、教育という視点を明確に持たぬまま教科内容の知識の集積を先行させることが良いのかどうかは議論が分かれるのではなかろうか。教員養成課程で設置するべき授業科目自体は、現行制度で根本的で重大な問題があるとはいえないであろうが、多くの場合、それらが教員としての資質・能力育成の場として十分に体系化されていないことが問題なのではなかろうか。その克服のためには、

・スタンダード（教員の資質・能力規準）を設定して単位修得主義から到達度主義へと転換し、各授業が果たすべき役割と順次性（特に教科内容科目と教科教育科目の関係）を明確にしてプログラム化すること

・理論と実践の往還に基づく学びを実現するカリキュラム改革

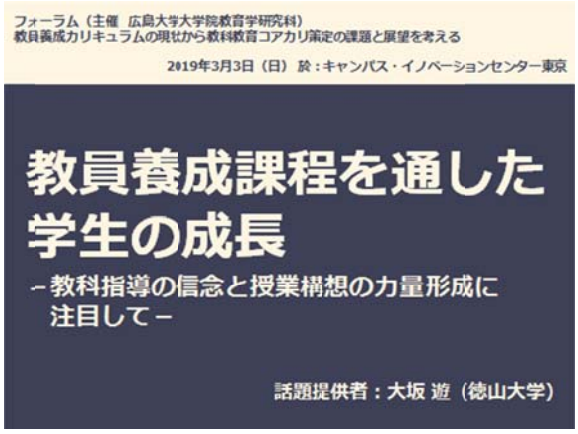
・教職に関する意識・使命感を段階的・継続的に醸成する教育実習の体系化、到達度を自ら確認できるｅ-ポートフォリオの導入

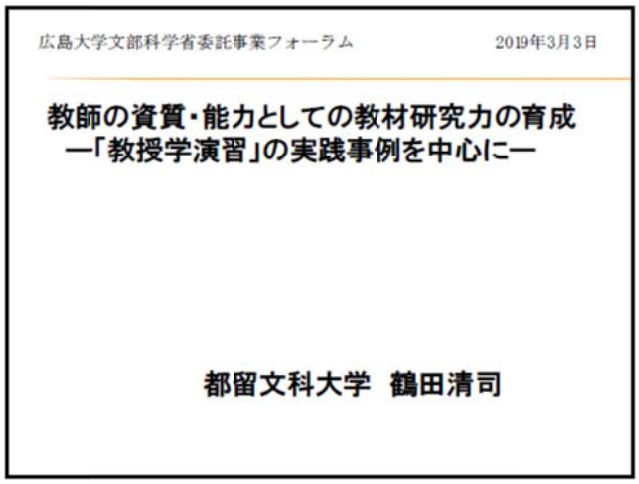
などが考えられよう。教科教育コアカリキュラム策定のひとつの視点にはなろう。

（棚橋　健治）

第 6 章

成果報告フォーラム「教員養成カリキュラムの現状から教科教育コアカリ策定の課題と展望を考える」





報告書冊子版では各発表パワーポイントの表紙のみ掲載。全資料は報告書デジタル総合版にのみ所収

文部科学省委託事業「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」
フォーラム

教員養成カリキュラムの現状から
教科教育コアカリ策定の課題と展望を考える

2019（H31）年3月3日（日）
キャンパス・イノベーションセンター東京

広島大学大学院教育学研究科教科コアカリ研究グループ

広島大学

1

本日の日程

広島大学

13:30-13:40　挨拶・趣旨説明

小山正孝（広島大学大学院教育学研究科長）

13:40-14:40　事業の成果報告

佐藤大志　棚橋健治　寺垣内政一　山崎博史　山元隆春（以上広島大学）

（14:40-14:50　休憩）

14:50-16:30　パネルディスカッション

柳澤好治　（文部科学省総合教育政策局教育人材政策課長）
教科教育コアカリ策定に向けての動き

鶴田清司　（都留文科大学教授）
教師の資質・能力としての教材研究力の育成～「教授学演習」の実践事例を中心に～

大坂　遊　（徳山大学講師）
教員養成課程を通した学生の成長－教科指導の信念と授業構想の力量形成に注目して－」

コーディネーター　棚橋健治　（広島大学）

2

事業の趣旨・概要

広島大学

文部科学省委託事業
「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」
【テーマ8】　団体名　広島大学
「中等教員としての資質・能力育成の体系化・プログラム化による教科教育コアカリキュラム
ー教科教育科目と教科内容科目の有機的連携ー」

目的・概要等

・全国の大学の中等教員養成カリキュラムの実態を調査し、一般的傾向の量的把握を行うとともに、特徴的な大学について、各科目の内容、他科目との関係性、教科内容科目における「一般的・包括的内容」の具体などの質的分析を行う。
・それらを通して、中等教員養成における教科教育モデルコアカリキュラム開発の方向性に対する示唆を導出する。

3

事業の趣旨・概要

広島大学

実施方法等

1. 第一次調査：中等教員免許（国語、社会、地理歴史、公民、数学、理科）取得可能な全国の国立大学における教員養成カリキュラムの調査
2. 第一次調査結果に基づくカリキュラムの類型化ならびに類型を代表する大学の選定
3. 第二次調査：選定された類型を代表する大学における教科教育カリキュラムの詳細な調査
4. 調査から得られる教科教育コアカリキュラムの方向性の検討
5. 研究成果の公表：フォーラムの開催

4

事業の趣旨・概要

広島大学

視点の焦点化

1. 中等教員養成カリキュラムの各科目の役割と順次性を明確にしてプログラム化するため、各科目の内容、配当セメスターからみえる順次性と他科目との関係性を、教員としての資質・能力の形成過程をどのようにカリキュラム策定に活かすか。

2. 教員としての資質・能力形成において、教科専門の科目はどのような位置づけであるべきかを議論するため、教科内容科目における「一般的・包括的内容」科目の開設形態と具体的内容ならびに「一般的包括的内容」科目とそれ以外の教科内容科目は、何が異なり、どういう位置づけになるのか。

5

事業の趣旨・概要

広島大学

「教育職員免許法施行規則第5条表備考第1号に規定する「一般的包括的な内容」とは、その科目の学問領域をおおまかに網羅するものであること、特定の領域に偏っていないものであること」

（教職課程認定基準1（4）に定める教職課程認定審査における確認事項2017）

「教科に関する科目については、学校教育の教科内容等を踏まえつつ適切に実施されるべきである。このため、教科に関する科目を担当する教員に対し、（中略）教職課程の科目であることの意識を高めることが必要」（「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」中央教育審議会（教員養成部会 中間まとめ）2015年7月16日）

教科内容科目、その中の一般的包括的内容科目はどうあるべきか？6

広島大学

実施体制

広島大学大学院教育学研究科

研究科長：小山正孝

実施責任者：棚橋健治

理科教育グループ主任：山崎博史

自然システム教育学講座所属教員　11名

数学教育グループ主任：寺垣内政人

数学教育学講座所属教員　　7名

社会科・地理歴史科・公民科教育グループ主任：棚橋健治

社会認識教育学講座所属教員　　5名

国語教育グループ主任：佐藤大志

国語教育学講座所属教員　　7名

事務補佐員

7

広島大学

関連する過去の主な研究実績

実施体制メンバーによる、各々の領域で学生の教員としての資質・能力の獲得過程やそのための授業内容、教員養成カリキュラムなどについての研究の近年実績（執筆者名、掲載誌名等は省略）

・「ポートフォリオ評価を基軸とした，大学における教職課程の改革に関する研究」2018年

・「異教科で協働できる教員を育成するための実践的研究」2017年

・「教員免許ポートフォリオの改善による教師教育の再構築」2017年

・「広島大学教育学部における教員免許ポートフォリオと「教職実践演習」の教育的効果の検証と改善」2016年

・「理科教員養成における教育実習生の教師知識の発達に関する質的研究」2016年

・『ねらいについての議論ができる実践家の育成を目指した学部社会科教員養成プログラム』2016年

・How Do Pre-service Science Teachers Develop Their Teacher Knowledge? : A Qualitative Study Focusing on Teaching Practice in Schools, 2016

・How Do Social Studies Pre-Service Teachers' Learn Lesson Planning Skills? : Factors that Heighten Abilities Following University Enrollment and Support Measures, 2015

・「社会科教師志望学生の授業プランニング能力はいかにして学習されるのか：大学入学後の能力向上の要因と支援策」2015年

・「各教科(校種別)の授業研究を通した教職・教科教育・教科内容の連携・教員協働のあり方に関する研究」2015年

・「現代社会の課題に応える教科教育プログラムの開発研究：Curriculum Research & Development Center の取組の試行として」2015年

・「教員志望学生にみる社会科カリキュラム分析力の向上とその効果：社会系（地理歴史）カリキュラムデザイン論の受講生を手がかりに」2014年　　他

8

事業の成果報告

広島大学

中等国語科

9

目次

広島大学

Ⅰ，カリキュラム表の量的分析と類型化
Ⅱ，各大学のアンケート回答の分析
Ⅲ，「一般的・包括的科目」の授業内容の分析
とカリキュラムの順次性
Ⅳ，類型を代表する大学のカリキュラム
・授業内容の考察
Ⅴ，教科教育養成における国語科教育モデル
コアカリキュラム開発の方向性

10

Ⅰ，カリキュラム表の量的分析と類型化

広島大学

・教員養成カリキュラム実態調査大学
　　国語科　43大学

・中等国語教員養成カリキュラムの教科内容科目
　国語学・国文学・漢文学・書写書道の4領域

・「一般的包括的科目」の構成
　「一般的包括的科目」の科目数が多い　→類型A
　「一般的包括的科目」の科目数が少ない→類型B

11

Ⅰ，カリキュラム表の量的分析と類型化

広島大学

類型A　「一般的包括的科目」の科目数が多い
基本型：国語学2科目・国文学2科目・漢文学1科目・
　　書写書道1科目
　　（大学01,03,12,25,27,37,44,53,54,55）

派生型1　国語学や国文学が3科目以上
　　(大学04,06,14,17,18,19,22,32,35,39),
派生型2　漢文学や書写書道が2科目以上
　　(大学14,17,18,19,21,39,45)
＊＿は派生型1・2両方に属する大学

12

Ⅰ，カリキュラム表の量的分析と類型化

広島大学

類型B　「一般的包括的科目」の科目数が少ない

基本型：国語学1科目・国文学1科目・漢文学1科目・書写書道1科目

（大学07,09,10,2,24,26,31,33,42,46,51）

派生型1　国文学が2科目

（大学48,52,57,58）

派生型2　漢文・書写書道が2科目

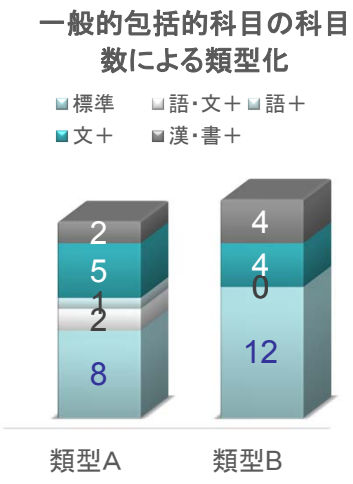
（大学08,28,34,57)

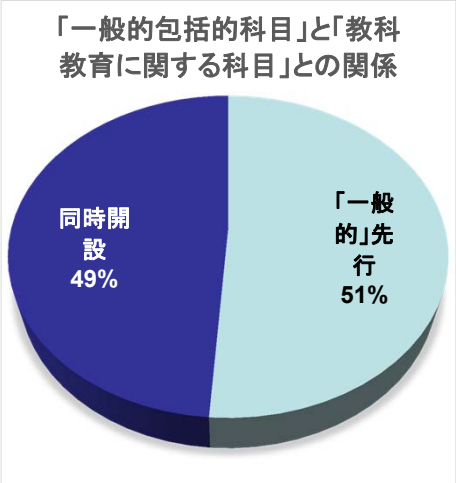
＊＿は派生型1・2両方に属する大学

13

Ⅰ，カリキュラム表の量的分析と類型化

広島大学





14

目次

広島大学

Ⅱ，各大学のアンケート回答の分析

15

Ⅱ 各大学アンケート回答の分析

広島大学

【質問項目】質問1.

まず始めに、貴学ではどのような資質・能力を有する中学校・高等学校国語科教員の養成を目指していらっしゃるのか、簡潔にご教示いただきたく存じます。

1）中高等学校の国語科教員像の要素

ア 学問領域の専門性

イ 言語能力・問題解決能力

ウ 国語科の指導に関する能力・態度

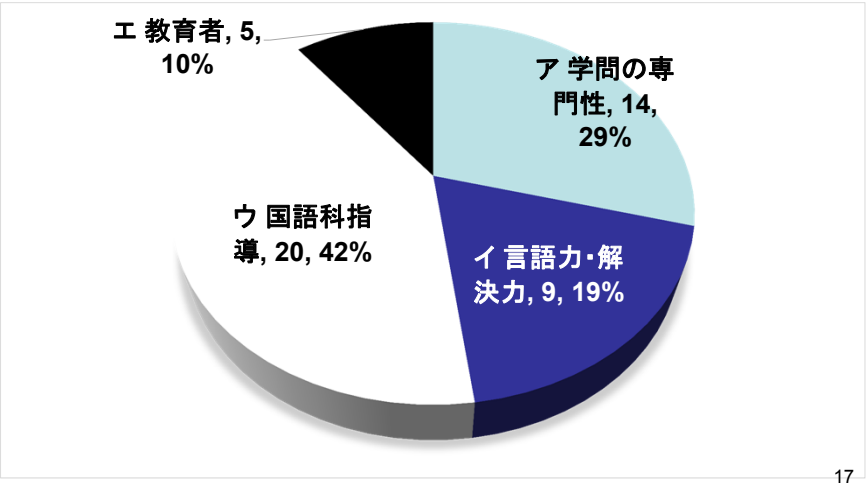
エ 教育者としての資質・能力

16

Ⅱ 各大学アンケート回答の分析

広島大学

質問1　1）中高等学校の国語科教員像の要素



17

Ⅱ 各大学アンケート回答の分析

広島大学

ア　学問領域の専門性…
記述例）国語科内の分野に偏らず，日本語学，近現代文学，日本古典文学，漢字・漢文学の各専門科目を概論・演習等を通して広く履習させ，各分野に対して一定以上の能力を有する教員養成を目指している。

イ　言語能力・問題解決能力…
記述例）基礎力を確実に養うとともに，発表やディスカッションをとおして，自ら問題を発見し，調査し，考え，解決する力やコミュニケーション能力を有する人材の養成を目指している。

ウ　国語科の指導に関する能力・態度
記述例）主体的，対話的な学習活動を単元レベル，授業レベルで構想する能力、言語活動を誘発し，支援し，評価することのできるコミュニケーション能力。

エ　教育者としての資質・能力
記述例）教育者としての倫理観・向上心をもち，教育実践を主体的に推進できる力。

18

II 各大学アンケート回答の分析

広島大学

各大学の回答から抽出できる求められる資質・能力

①国語学，国文学，漢文学，書写書道における
教科専門性を生かした深い教材分析力。
②主体的，対話的な学習活動を
単元レベル，授業レベルで構想する能力。
③言語活動を誘発し，支援し，評価することのできる
コミュニケーション能力。
④自己の実践を他者と共有し，
探求する事のできる実践者としての能力。

19

II 各大学アンケート回答の分析

広島大学

質問3.

「一般的包括的内容」科目は、専門的内容の科目と分けて、一般的包括的内容専用の科目として開設していますか。それとも専門的内容の科目を複数組み合わせることによって構成していますか。該当する選択肢に〇をつけて下さい。

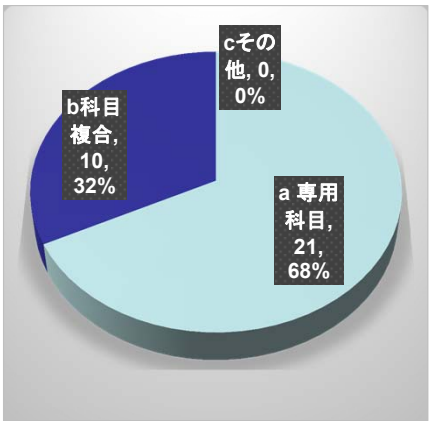
a. 専用の科目を開設している
b. 専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている
c. その他（　　）

20

Ⅱ 各大学アンケート回答の分析

広島大学

質問3 「一般的包括的科目」専用科目の開設



21

Ⅱ 各大学アンケート回答の分析

広島大学

【質問3】 について

・「一般的包括的内容」
　全体的には、a「専用科目」を設ける傾向が強い
　　類型A　b「科目複合」の割合が多い
　　類型B　a「専門科目」の割合が多い

類型Aのように教科内容に関する授業科目が多い場合、「一般的包括的内容」のみを表層的に扱う必要はなく，いくつかの授業科目で専門的内容への習熟を進めながら，「一般的包括的内容」の理解も深めることができるものと思われる。

22

II 各大学アンケート回答の分析

広島大学

質問4.

「一般的包括的内容」の科目では、どのような内容の授業を行っていますか。該当する選択肢に〇をつけて下さい。

a. 基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

b. 学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

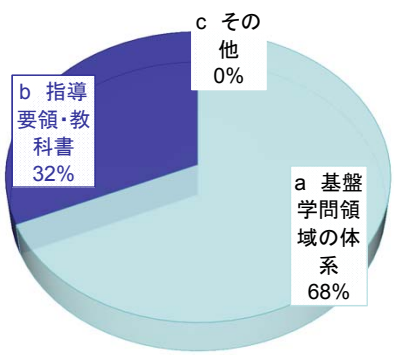
c. その他（　　）

23

II 各大学アンケート回答の分析

広島大学

質問4　「一般的包括的科目」の授業内容



24

Ⅱ 各大学アンケート回答の分析

広島大学

【質問4】について

「一般的包括的内容」
全体的には基盤学問の内容体系が多い
類型B a「基盤学問」の割合が少なく
b「指導要領・教科書」の割合が多い

類型Bのように教科内容に関する授業科目が少ない場合，「一般的包括的内容」科目が，学問体系より，中学校・高等学校の国語科の内容に沿って構成せざるを得ないという状況がうかがえる

25

Ⅱ 各大学アンケート回答の分析

広島大学

質問5．教職課程のカリキュラム編成（科目の配置、履修順序）における教科教育科目（各教科の指導法等）と教科内容科目（一般的・包括的な内容の科目も含めた教科に関する専門的事項）との関係についてお尋ね致します。該当する選択肢に〇をつけて下さい。

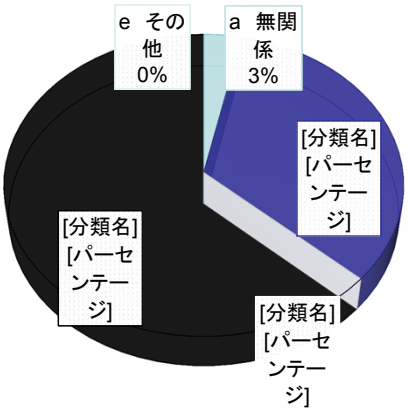
a. 両者に特別な関係はない
b. 概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている
c. 概して、教科教育科目を先に履修し、それを踏まえて教科内容科目を履修する形となっている
d. 概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている
e. その他（　　）

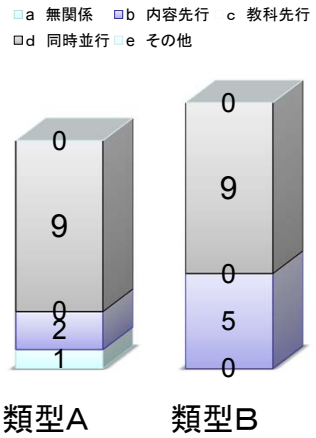
26

II 各大学アンケート回答の分析

広島大学

質問5 教科教育と教科内容の関係





27

II 各大学アンケート回答の分析

広島大学

【質問5】 について

「教科指導法」と「教科内容科目」との関係性

d「同時並行的に履修」の割合が多く、

b「教科内容を先に履修」の割合がそれに次ぐ

類型Aは bが少なく、逆に類型Bは、bが多い

類型Bのように，教科内容に関する授業科目が少ない場合，教科教育科目を履修する前に教科内容科目で教科の専門的内容を履修させる傾向が強まるものと思われる。

類型Aのように，教科内容に関する授業科目が多くなれば，そうした順序性は維持しにくくなる。

28

目次

Ⅲ,「一般的・包括的科目」の授業内容の分析
とカリキュラムの順次性

29

Ⅲ,「一般的・包括的科目」の授業内容の分析
とカリキュラムの順次性

類型A・Bの代表的大学の選出

（科目の順次性）

a「一般的包括的科目」を先に開設する大学

b「一般的包括的科目」と「教科教育に関する科目」を
同時開設する大学

（類型の代表大学）

Aa：科目多＋一般先行　大学03

Ab：科目多＋同時開設　大学44

Ba:科目少＋一般先行　大学10・大学42

Bb：科目少＋同時開設　大学20

A特殊型：科目多＋一般先行＋履修順　大学43

30

Ⅲ—1　国語学領域

広島大学

〇類型A　2科目
　《現代日本語学概論》と《日本語史概論》
〇類型B　1科目
　《現代日本語学概論》に相当する内容
　　＋《日本語史概論》の一部

【授業構成】
A型・B型共通
　基本領域（4領域）
　　〈音声・音韻〉〈文字・表記〉〈語彙・意味〉〈文法〉
　選択領域
　　〈文章・談話〉〈方言〉〈敬語〉

31

Ⅲ—1　国語学領域

広島大学

【授業構成】の具体例
Ab型（科目多・同時開設）　大学44の場合
　「国語文化概論A（国語文化とことば）」 →《現代日本語学概論》型
　　基本4領域＋〈文章・談話〉〈敬語〉〈方言〉
　「国語文化の歴史A（国語の歴史）」 →《日本語史概論》
　　基本4領域＋〈文章・文体〉

A特殊型(科目多＋一般先行＋履修順)　大学43の場合
　「国語学概論A」「同B」（各1単位）
　　《現代日本語学概論》を主とし《日本語史概論》も含む
　　基本4領域＋〈文章〉
　「中等国語科内容論（国語学）I」「同Ⅱ」（各1単位）
　　日本語学の諸領域と中等国語科の学習指導要領の事項
　　や教科書教材との関連

32

Ⅲ―1　国語学領域

広島大学

【授業構成】の具体例

Ba型（科目少＋一般先行）　大学42の場合

「日本語学A（日本語概説）」

基本4領域＋〈敬語〉

Bb型（科目少＋同時開設）　大学20の場合

「国語学概論」

〈音声・音韻〉〈文字・表記〉→〈文法〉重視

33

Ⅲ―2　国文学領域

広島大学

類型A　2科目

《近現代文学概論》と《古典文学概論》

類型B　1科目

《近現代文学概論》《古典文学概論》融合

《近現代文学概論》or《古典文学概論》選択

【授業構成】

類型A・B共通

《文学史的知識》

中等国語科の教科書教材を中心とした文学史的知識

《作品の基礎的分析能力》

作品の特質，構造，思想についての基礎的な分析能力

34

Ⅲ―2　国文学領域

広島大学

【授業構成】の具体例

Ab型（科目多・同時開設）　大学44の場合

「国語文化概論B（国語文化と文学）」→《近現代文学概論》型
近現代文学に関する知識＋作品読解の方法と態度

「国語文化の歴史B（国文学の歴史）」→《古典文学概論》型
平安朝以降の和歌観の形成＋読解力と鑑賞力の育成

A特殊型(科目多＋一般先行＋履修順)　大学43の場合

「国文学概論A」「同B」（各1単位）
「A」 上代から中古前半の《文学史的知識》
「B」 中古後半から近世までの《文学史的知識》

「中等国語科内容論（国文学）I」「同Ⅱ」（各1単位）
中等国語科の教科書教材との関連
「Ⅰ」 古文と韻文　「Ⅱ」 散文（小説と論理的文章）

35

Ⅲ―2　国文学領域

広島大学

【授業構成】の具体例

Ba型（科目少＋一般先行）　大学10の場合

「国文学概論」
→《近現代文学概論》《古典文学概論》融合型
上代から現代に至る《文学史的知識》

Bb型（科目少＋同時開設）　大学20の場合

「日本文学概論」
→《近現代文学概論》選択型
近現代文学と社会の関わり，メディアと文学の問題

36

Ⅲ—3　漢文学領域

広島大学

【授業構成】
類型A・B共通　1科目
①漢文の基礎的読解能力の養成
②教科書教材の枠組みに即した基礎知識の習得
③中国古典文学史概説（古代から唐代）
④中国古典学の専門領域の入門や応用

37

Ⅲ—3　漢文学領域

広島大学

【授業構成】の具体例
Aa型（科目多＋一般先行）　大学03の場合
「漢文学Ⅰ」①漢文基礎的読解能力の養成　中国近代散文の読解

Ab型（科目多＋同時開設）　大学44の場合
「国語文化概論C（国語文化と漢文）」
②教科書教材の枠組みと③中国古典の歴史の融合
故事成語→思想→史伝→小説→唐詩の順に教科書教材の講義・講読

A特殊型(科目多＋一般先行＋履修順)　大学43の場合
「漢文学概論（1）」「同（2）」（各1単位）
①漢文学の基本的な読解力の養成・作品講読
「中等国語科内容論（漢文学）（1）」「同（2）」（各1単位）
②教科書教材の枠組みに即した漢文教材の読解

38

Ⅲ—3　漢文学領域

広島大学

【授業構成】の具体例

Ba型（科目少＋一般先行）　大学10の場合

「漢文学概論」

②教科書教材の枠組みに即した基礎知識の習得

漢文読解の基礎知識→唐詩の読解

Bb型（科目少＋同時開設）　大学20の場合

「漢文学概説」

③中国古典文学史概説

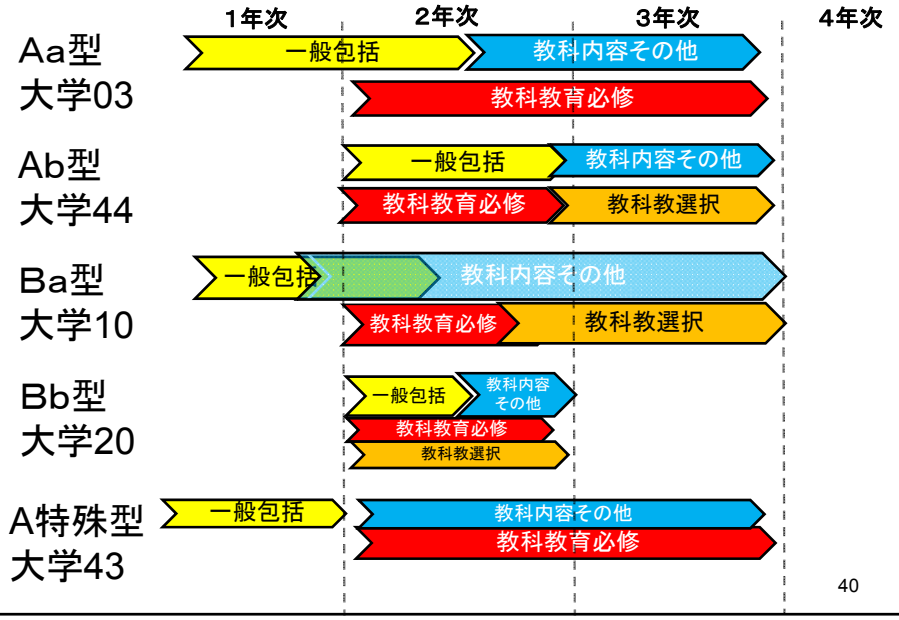
古代から明清に至る中国文学の歴史

代表的作者・作品の読解

39

Ⅲ-4 「一般的包括科目」と他科目の順次性

広島大学



40

広島大学

目次

Ⅳ，類型を代表する大学のカリキュラム

・授業内容の考察

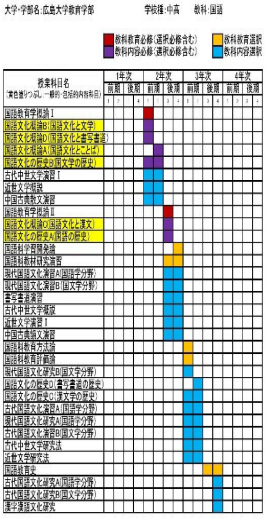
41

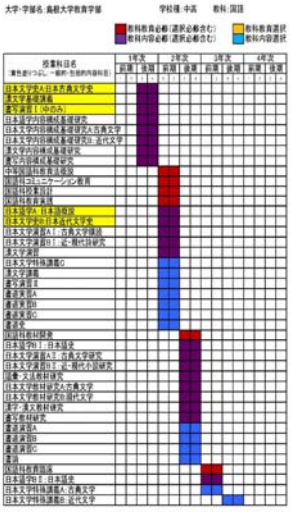
広島大学

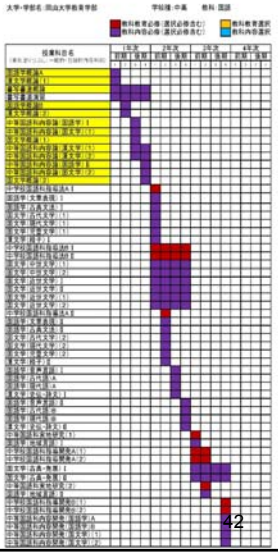
Ⅳ，類型を代表する大学のカリキュラム

・授業内容の考察

広島大学（類型A）　**島根大学（類型B）**　岡山大学（A特殊型）







42

Ⅳ-1　広島大学（類型A）の場合

広島大学

2年次前期・後期
《一般的包括的科目》 語学2／文学2／漢文1／書写1
＊専門領域の基礎となる内容とその枠組み
《教科教育に関する科目》 必修2科目
2年次後期・3年次前期
《教科内容その他科目》 語学1／文学1／漢文1／書写1
「〇〇演習」＊専門の観点から国語科の問題や教材を研究
《教科教育に関する科目》 選択2科目
3年次前期・後期
《教科内容その他科目》 語学1／文学1／漢文1
「〇〇研究」＊専門領域の高度な内容や新たな教材の開発
《教科教育に関する科目》 選択2科目

43

Ⅳ-1　広島大学（類型A）の場合

広島大学

1，「教科内容の科目」と「教科教育の科目」の関係性
「教科内容の科目」と「教科教育の科目」を同時期に開設
両者の内容的つながりは特に明示されていないものの、
順次履修させることで、内容を関連付けられるように設定

2，「一般的包括的科目」と「教科内容科目」との関係性
「一般的包括的」 学問領域の基礎
「〇〇演習」 専門領域の観点から国語科の問題を研究
「〇〇研究」 専門のより高度な研究や新たな教材の開発

◎「一般的包括的科目」履修後，教科内容に関する専門性を
重視した科目を展開

44

Ⅳ-2　島根大学（類型B）の場合

広島大学

1年次後期・2年前期
《一般的包括的科目》 語学1／文学2／漢文1／書写1
1年次後期
《教科内容その他科目》
（基礎研究）「〇〇内容構成基礎研究」語学1／文学2／漢文1／書写1
＊教科書教材や指導内容の研究や指導方法の構想を含む内容
2年次前期～3年次後期
《教科教育に関する科目》 4科目
2年次後期
（教材研究）「〇〇教材研究」 語学1／文学2／漢文1／書写1
＊教科書教材を専門領域の観点から研究，その上で、新たな教材の開発，指導計画や指導案を構想

45

Ⅳ-2　島根大学（類型B）の場合

広島大学

1，「教科内容の科目」「教科教育の科目」の関係性
「一般的包括的科目」の後に「教科教育の科目」を履修
両者の内容的つながりは特に明示されていない
2，「一般的包括的科目」と「教科内容科目」との関係性
「〇〇内容構成基礎研究」
教材や指導内容の研究や指導方法の構想を含む
「〇〇教材研究」
教科書教材を専門領域の観点から研究，
新たな教材の開発，指導計画や指導案を構想

◎「一般的包括的科目」履修後，教科内容と教科教育法それぞれの内容を融合した科目を用意

46

Ⅳ-3　岡山大学（A特殊型）の場合

広島大学

1年次前期・後期
《一般的包括的科目》 語学4／文学4／漢文2／書写1
「〇〇概論」 学問領域の基礎
「中等国語科内容論」
各学問領域と学習指導要領や教科書教材との関連
2年次前期から3年次後期
《教科教育に関する科目》 10科目
《教科内容その他科目》 語学2／文学2／漢文2／書写1
「中等国語科内容開発」
専門領域の基礎的部分を，教育学的観点から解説・指導

47

Ⅳ-3　岡山大学（A特殊型）の場合

広島大学

1，「教科内容の科目」「教科教育の科目」の関係性
「一般的包括的科目」の後に「教科教育の科目」を履修
順次性を意識して科目を配列
教科書教材採録の作家・作品を中心に講義・演習を展開

2，「一般的包括的科目」と「教科内容科目」との関係性
「中等国語科内容開発」
必修の教科教育法科目と同時期に開設
中学校国語科教員に必要な教育観・教材観を，授業（演習報告中心，講義も含む）を通じて指導・育成する科目

48

Ⅳ-3　岡山大学（A特殊型）の場合

広島大学

＊2019年度免許法改定による新カリキュラムの施行を予定

・「一般的・包括的科目」に「国語科内容構成論」を追加

・ 教科内容担当教員と教科指導法担当教員が授業を担当

・現在の「中等国語科内容開発」（一般的包括的科目）と「中等国語科指導開発」（教科教育科目）を複数教員担当科目として融合した科目

◎「一般的包括的科目」履修後，教科内容と教科教育法の教員が連携する科目を予定

49

目次

広島大学

Ⅴ，教科教育養成における国語科教育モデル
コアカリキュラム開発の方向性

50

Ⅴ，国語科教育モデルコアカリキュラム開発の方向性

広島大学

中等国語科教育カリキュラムの三つの類型

①教員連携型

「一般的・包括的科目」（内容概論→教科内容）
→「教科内容」と「教科教育法」の教員が連携した科目

②内容融合型

「一般的包括的科目」（内容概論）
→専門的観点から教科内容を考える科目（教科内容）
→「教科内容」と「教科教育法」の内容を融合した科目

中学校教員養成

③専門重視型

「一般的包括的科目」（専門基盤）
→専門的観点から教科内容を考える科目（教科内容）
→教科内容に関する専門性を重視した科目

高校教員養成

（教育学部・教育大学外）④専門育成型
「一般的包括的科目」（専門性重視）→専門性育成を重視（教科内容）

51

Ⅴ，国語科教育モデルコアカリキュラム開発の方向性

広島大学

①教員連携型・②教科内容型の特色

内容概論科目→教科内容論→教科教育

（利点）
明確な順次性、教科教育と教科内容との連携

（問題点）
「内容概論科目」の専門性を狭めていく流れ
焦点化 or 矮小化　　中学校 or 高等学校
アウトプットそのものの矮小化の危険性

52

Ⅴ，国語科教育モデルコアカリキュラム開発の方向性

広島大学

すぐれた中等学校教員のカリキュラム
（特に高等学校国語科教員の育成を中心）の二つの必要性

1. 「一般的・包括的科目」
   ・優れた中等学校教員の能力の基礎
   ・各学問領域で専門的に研究の遂行
   に必要な基礎的な内容をしっかりと柱立てて学ぶ必要性

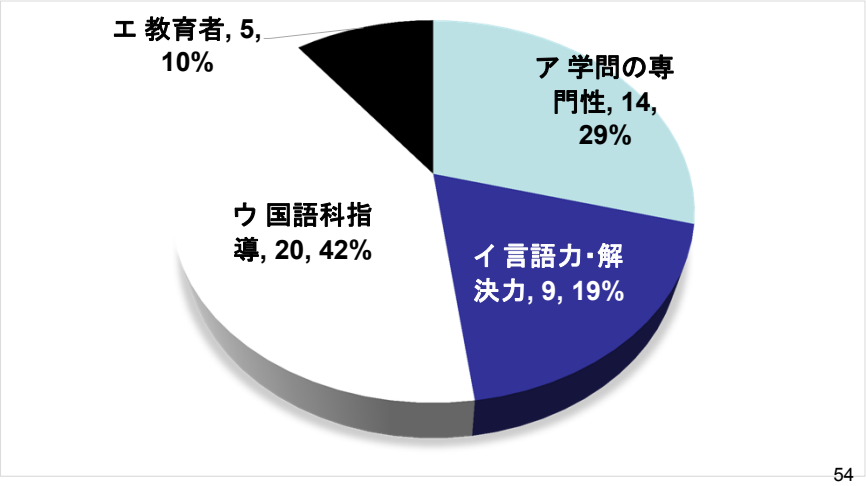
2.「教科教育の指導法科目」「教科内容その他科目」
   自らの授業づくりのなかで，学習者が質の高い教科学習を行うためのイメージやモデルとなるような魅力を持った教材の発掘や，高みを目指す学びのモデルが提供されることの必要性

53

Ⅱ 各大学アンケート回答の分析

広島大学

質問1　1）中高等学校の国語科教員像の要素



54

Ⅴ，国語科教育モデルコアカリキュラム開発の方向性

広島大学

すぐれた中等学校教員（高等学校国語科教員）のモデルの目指すべき方向性

○学習の質を見極める専門性の必要性

国語科の場合　国文学，国語学，漢文学に関する「優れた専門家」の学習モデルの提示

○専門性を矮小化しないカリキュラムの必要性

教科の専門性に依拠した「本物の」学習体験を保証する教員養成カリキュラムの構築

55

広島大学

謝辞
訪問（電話）調査では次の先生方にお世話になりました。
厚くお礼申し上げます。

島根大学教育学部　冨安慎吾　准教授
岡山大学教育学部　田中智生　教授

文献

正岡さち・槇原茂・福田景道・秋重幸邦・新井知生「教科内容構成研究」授業の現状と課題 」『島根大学教育学部紀要』45号別冊，2012

56

事業の成果報告

広島大学

中等数学科

57

数学：免許法に規定された科目

広島大学

- 代数学
- 幾何学
- 解析学
- 「確率論、統計学」
- コンピュータ

58

数学：カリキュラム表の量的分析

広島大学

「一般的・包括的内容」科目数上位5大学

大学番号	教科教育科目	一般的・包括的科目	その他の教科内容科目	総科目数
53	6	22	10	38
06	8	22	1	31
31	2	21	10	33
42	8	16	4	28
43	8	16	34	48

「一般的・包括的内容」科目数下位5大学

大学番号	教科教育科目	一般的・包括的科目	その他の教科内容科目	総科目数
08	4	5	13	22
46	4	5	13	22
54	4	5	9	18
35	4	5	8	17
19	4	5	7	16

59

数学：教科教育科目と教科内容科目の順序

広島大学

a 特別な関係はない	1大学
b 概して内容科目を先，それを踏まえて教育科目	11大学
c 概して教育科目を先，それを踏まえて内容科目	0大学
d 概して同時並行的	24大学
e その他	1大学（bの面がやや強いがdの面も）

＊しかし，1年次から教育科目を開設しているのは，7大学のみ

＊集合論，微積分，線形代数といった科目は，ほとんど1年次から

＊内容的に「踏まえて」いるのか？

60

数学：教科内容科目と「一般的・包括的内容」科目の区分

広島大学

a 専用の科目を開設	21大学
b 複数の内容科目の組み合わせ	13大学
c その他	・各科目の中に入れている ・明確な区別はない

＊aだからといって，5科目とは限らない

＊bなのに，5科目の大学がある（大学33，35）

61

数学：「一般的・包括的内容」科目の内容

広島大学

a 基盤となる学問領域の体系に基づく	29大学
b 指導要領や中高の教科書の内容に基づく	13大学
c その他	・学問領域の初歩的一般的内容が包括的に理解できる構成 ・指導要領を考慮しながら，学問領域体系に基づく構成

62

数学：5科目の「一般的・包括的内容」科目の内容

広島大学

科目	Keywords
代数学	線形代数，初等整数論，群論，環論，体論，集合・写像・論理
幾何学	ユークリッド幾何，2次曲線，合同変換，線形代数，集合・写像・論理，位相，位相幾何学，微分幾何学
解析学	微分積分，複素関数論，微分方程式，ベクトル解析
「確率論、統計学」	確率，分布，推定，検定
コンピュータ	C言語，LaTeX，GeoGebra，Excel，Mathematica，Python

63

数学：大学08「代数学概論」（1年前期）

広島大学

回	内容
1	行列
2	連立1次方程式
3	行列式
4	空間ベクトル
5	線型空間
6	内積空間
7	固有値・固有ベクトルと行列の対角化
8	集合・関数と初等整数論

回	内容
9	群の基礎
10	環の基礎
11	体の基礎
12	実社会での代数（誤り訂正符号）
13	実社会での代数（暗号）
14	実社会での代数（論理代数とコンピュータ）
15	試験とまとめ

代数学分野を大まかに網羅し，特定の内容に偏っていないが・・・

64

数学：大学09：幾何学分野

広島大学

授業科目	内容
幾何学Ⅰ	線形代数
幾何学Ⅱ	線形代数
幾何学Ⅲ	集合・論理，距離空間，位相空間
曲線と曲面	微分幾何学
グラフ理論	グラフ理論
多様体の幾何学	ベクトル解析，多様体
トポロジー	位相，多様体，基本群

←「一般的・包括的内容」

手厚いが，ユークリッド幾何がほしい・・・

65

数学：大学14：「情報数理」（2年前期）

広島大学

回	内容
1	数学教育における数学とコンピュータ
2	アルゴリズムの表現
3	初歩的な算法
4	曲線
5	方程式の近似解
6	円周率πの近似
7	整数
8	カオス

回	内容
9	図形の変換
10	ニュートン法の複素数への拡張
11	微分方程式
12	級数と数値積分
13	乱数とシミュレーション
14	データの数学
15	自己相似図形

教職課程としては理想的・・・

66

数学：育成する資質・能力

広島大学

- 専門力（専門性），実践力（指導力），発展力
- コーディネート力，マネジメント力
- 中学校・高等学校数学科の教育課程，諸課題の理解
- 小学校との接続の理解
- 豊かな人間性，使命感，責任感

67

事業の成果報告

広島大学

中等理科

自然システム教育学講座　山崎博史

68

理科：中等理科とは？

広島大学

中学校理科

第1分野
物質・エネルギーに関する事物・現象

第2分野
生命・地球に関する事物・現象

高等学校理科

- 物理基礎 物理
- 化学基礎 化学
- 生物基礎 生物
- 地学基礎 地学
- 科学と人間生活

自然科学

- 物理学
- 化学
- 生物学
- 地球科学
- 宇宙科学

4領域（理科4科目）（実験・実習を含む）

69

理科：育成したい資質・能力と理科モデルコアカリキュラム

広島大学

「質問1：理科教員の資質・能力 」の回答に見られるキーワード（36大学の回答結果）

キーワード群	専門性，専門的知識	知識	実験，観察	技術，技能	自然科学，自然	理科教育，理科	理科教員	指導法，指導	実践，実践的，活用力	課題，解決	コミュニケーション，表現力，伝える力，協働	論理，思考力（育成する力も含む）
大学数（割合）	11	15	10	6	13	15	5	9	11	4	5	4
	18(50)		13(36)		(36)	(42)	(14)	14(39)		(11)	(14)	(11)

理科モデルコアカリキュラム

- ●学問領域に関する専門的知識
- ●実験・観察の技術・技能
- ●理科教育原理・指導法，生徒理解
  に関する知識・技能

自然や自然科学に関する専門的知識

実験・観察の技術・技能

コミュニケーション力を備え，理科教員として知識や技術・技能を実践的に活用する指導法

70

理科：教科教育科目：授業形態

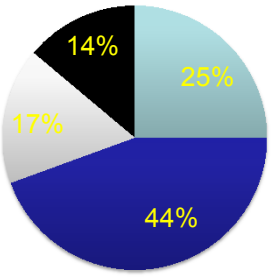
広島大学

教育実習
教職専門科目
教科専門科目

教科教育科目
教科内容科目

講義科目（講義のみ）
実習科目（講義（演習を含む），演習，実習，実験）

演習科目数／講義科目数



- 0　講義タイプ
- 1未満　講義主体タイプ
- 1以上2未満　講義−実習タイプ
- 2以上　実習主体タイプ

2.0
3.0
4.0
6.0
7.0

71

理科：一般的包括的内容科目：授業形態

広島大学

教育実習
教職専門科目
教科専門科目

教科教育科目
教科内容科目

一般的・包括的内容科目
一般的・包括的内容科目以外の教科内容科目

講義科目
実験科目

講義科目
実験科目

一般的・包括的科目の講義科目と実験科目別の授業科目数（対象36大学）

講義科目数	4	8	8	4	12	16	16	5	8	8	10
実験科目数	4	8	4	8	4	4	8	4	9	6	6
大学数（校）	15	3	8	3	1	1	1	1	1	1	1
割合（%）	42	8	22	8	3	3	3	3	3	3	3

理科4科目の実験・講義科目数が同数のタイプ 89 %

同数でないタイプ 11 %

担当者数，専門分野

72

理科:一般的包括的内容科目:開設順序

広島大学

質問内容

質問5　教職課程のカリキュラム編成(科目の配置，履修順序)における教科教育科目(各教科の指導法等)と教科内容科目(一般的・包括的な内容の科目も含めた教科に関する専門的事項)との関係について。

a. 両者に特別な関係はない

b. 概して，教科内容科目を先に履修し，それを踏まえて教科教育科目を履修する

c. 概して，教科教育科目を先に履修し，それを踏まえて教科内容科目を履修する

d. 概して，両者をほぼ同時並行的に履修する

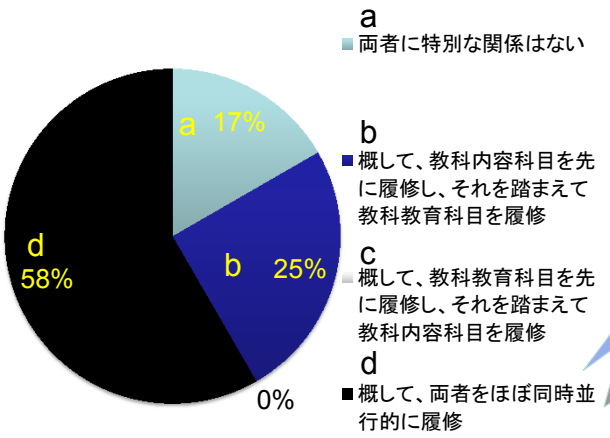
e. その他

73

理科:一般的包括的内容科目:開設順序

広島大学

一般的・包括的内容科目の開設順序



基本的には，「d. 両者をほぼ同時並行」による履修であるが，一般的・包括的な内容の科目の履修順が，概して先になるように，カリキュラム編成されている。

双方の側の科目が車の両輪であるため、『片側を学んだことで、もう片側の学び方が深まる』というスパイラル(フィードバック)を繰り返すことに意味がある。

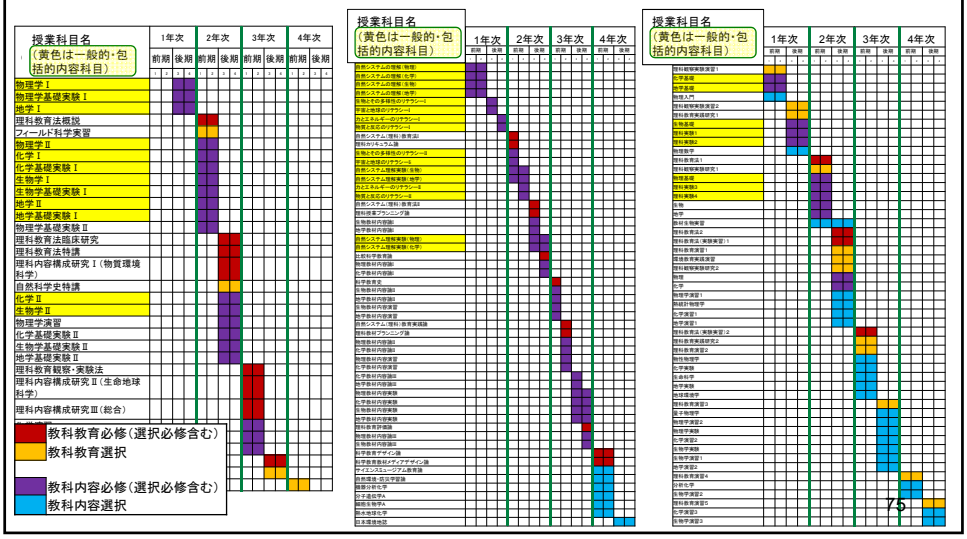
74

理科：一般的包括的内容科目：開設順序

広島大学

教科内容科目の理解を基礎に指導法等，教科教育科目が実施されている

a. 両者に関係なし（17 %）　b. 教科内容科目先行（25 %）　d. 同時並行的（58 %）

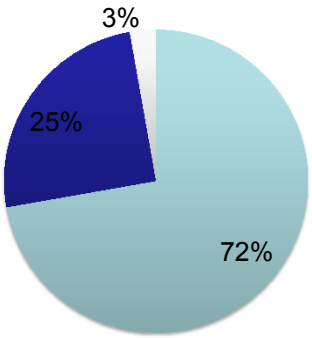


理科：一般的包括的内容科目：開設形態

広島大学

質問3：「一般的総括的内容」科目は，専門的内容の科目と分けて，一般的総括的内容専用の科目として開設していますか。（36大学の回答結果）

一般的・包括的内容科目の開設形態



- 専門の科目を開設している
- 専門的内容の科目を組み合わせている
- その他

●高校理科と専門科目の橋渡し的な入門レベルとして，高校理科の学習内容を考慮した内容となっている。

●中学・高校で扱う内容の理論的背景を構築するため。

学習指導要領および中高校教科書の記載事項にも接続可能な内容を基盤となる学問領域の体系に基づいて構成している。

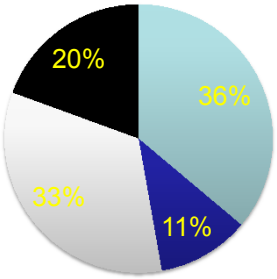
76

理科：一般的包括的内容科目：内容

広島大学

質問4：「一般的総括的内容」科目ではどのような内容の授業を行っていますか。（36大学の回答結果）

一般的・総括的内容科目の内容



- 基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成
- 学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成
- 両者が混在する
- その他

授業を想定した教科内容知識の育成が意識されている

77

理科：一般的包括的内容科目：内容

広島大学

a. 基盤となる学問領域の体系に基づいて構成されている（36 %）

b. 学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容に基づいて構成されている（11 %）

a・b. 両者が混在する（33 %）

c. その他（20 %）

理科内容基礎A（物理学）
理科内容基礎B（化学）
理科内容基礎C（生物学）
理科内容基礎D（地学）

力学
・物体の運動
・力学の法則
・仕事とエネルギー
熱力学

理科内容発展A（物理学）
理科内容発展B（化学）
理科内容発展C（生物学）
理科内容発展D（地学）

電磁気学
・電場
・電位
・コンデンサー
・電流と抵抗
・磁場
・電流と磁場
・波動と電磁波

理科実験A（物理学）
理科実験B（化学）
理科実験C（生物学）
理科実験D（地学）

・運動・力
・電気・磁気
・波動
・光
・熱

78

理科：一般的包括的内容科目：内容

広島大学

a. 基盤となる学問領域の体系に基づいて構成されている（36 %）

b. 学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容に基づいて構成されている（11 %）

a・b. 両者が混在する（33 %）

c. その他（20 %）

物理学I
化学I
生物学I
地学I

- ・ベクトル
- ・放物運動
- ・力学的エネルギー
- ・運動量
- ・円運動
- ・流体
- ・振動

力学
振動
波動

物理学基礎実験
化学基礎実験
生物学基礎実験
地学基礎実験

- ・ニュートンの運動の法則
- ・直列回路と並列回路に関する実験
- ・振動現象に関する実験
- ・仕事とエネルギーに関する実験
- ・光の性質に関する実験
- ・モーターの原理に関する実験
- ・発電と蓄電に関する実験

79

理科：一般的包括的内容科目：内容

広島大学

a. 基盤となる学問領域の体系に基づいて構成されている（36 %）

b. 学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容に基づいて構成されている（11 %）

a・b. 両者が混在する（33 %）

c. その他（20 %）

基礎物理
基礎化学
基礎生物
基礎地学

- ・力と運動の法則
- ・エネルギー
- ・熱
- ・波の性質
- ・電気と磁気

物理学概論
化学概論
生物学概論
地学概論

- ・電磁気学
- ・波動
- ・熱力学

・大学物理基礎レベルでの諸法則の理解
・微分積分，微分方程式を用いた物理現象の解析

基礎物理学実験I
基礎物理学実験II
基礎化学実験I
基礎化学実験II
基礎生物学実験I
基礎生物学実験II
基礎地学実験I
基礎地学実験II

- ・力学
- ・熱・エネルギー

- ・波動
- ・電気・磁気
- ・原子

80

理科：一般的包括的内容科目：内容

広島大学

a. 基盤となる学問領域の体系に基づいて構成されている（36 %）

b. 学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容に基づいて構成されている（11 %）

a・b. 両者が混在する（33 %）

c. その他（20 %）

理科内容基礎A（物理学）
理科内容基礎B（化学）
理科内容基礎C（生物学）
理科内容基礎D（地学）

天文学
・太陽系
・恒星
・銀河宇宙

理科内容発展A（物理学）
理科内容発展B（化学）
理科内容発展C（生物学）
理科内容発展D（地学）

地球科学
・鉱物
・鉱物・岩石の熱力学
・リソスフェアと変動メカニズム
・マグマプロセスと地殻形成

理科実験A（物理学）
理科実験B（化学）
理科実験C（生物学）
理科実験D（地学）

・地層観察
・地形図
・地質図
・岩石の顕微鏡観察
・偏光顕微鏡に鉱物同定

81

理科：一般的包括的内容科目：内容

広島大学

a. 基盤となる学問領域の体系に基づいて構成されている（36 %）

b. 学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容に基づいて構成されている（11 %）

a・b. 両者が混在する（33 %）

c. その他（20 %）

物理学I
化学I
生物学I
地学I

・地球のすがた
・地球の活動
・地球の歴史
・大気と海洋
・宇宙の中の地球

固体地球分野
気象分野
天文分野

物理学基礎実験
化学基礎実験
生物学基礎実験
地学基礎実験

・地震波，地球内部の速度構造
・地震の発震機構
・地球表層の地下構造
・地震と地殻変動
・岩石の年代測定
・天気図と天気予報
・地形図
・地層観察
・岩石鑑定
・天球と星座観察
・望遠鏡の使い方

82

理科：一般的包括的内容科目：内容

広島大学

a. 基盤となる学問領域の体系に基づいて構成されている（36 %）

b. 学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容に基づいて構成されている（11 %）

a・b. 両者が混在する（33 %）

c. その他（20 %）

基礎物理
基礎化学
基礎生物
基礎地学

・太陽系の天体　・地球の歴史
・大地の変化
・地球大気の構造と大気大循環
・気象現象　・海洋の大循環

物理学概論
化学概論
生物学概論
地学概論

・気象学　大気や海洋の構造
　グローバルな気象・気候変動
・プレートテクトニクス
・サブダクション帯の地学特性

基礎物理学実験I
基礎物理学実験II
基礎化学実験I
基礎化学実験II
基礎生物学実験I
基礎生物学実験II
基礎地学実験I
基礎地学実験II

・地層
・岩石の性質，鑑定
・気象，気候と気候変動
（気象情報の活用，大気圧，断熱過程，雲）

・気象（気圧傾度，コリオリの力
・火山，地震
・天体観測

83

理科：一般的包括的内容科目：内容

広島大学

a. 基盤となる学問領域の体系に基づいて構成されている（36 %）

b. 学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容に基づいて構成されている（11 %）

a・b. 両者が混在する（33 %）

c. その他（20 %）

アンケート回答（コメント）

授業を想定した教科内容知識が意識されている

概論等では上記a,bを中心に構成されている。これ以上に物化生地それぞれに専門科目が展開されている。

a・bの両方の性質を持つ授業科目が混在する。

基本的には，「a.基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている」が，部分的に，学習指導要領の該当部分や中高校教科書に記載されている内容にも触れている。

bの内容を考慮して基盤となる学問領域の内容を選択し，それらを再構成している。

学習指導要領および中高校教科書の記載事項にも接続可能な内容を基盤となる学問領域の体系に基づいて構成している。

学習指導要領や中高教科書も参考にし、基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている。

理科全体で統一はしておりません。担当の教員より、aまたはbを採用していると思います。

1年時後期に中学校の教科書を学生に購入させている。教科書の使用は各教科担当の教員の裁量である。

84

理科：訪問調査

広島大学

選定用件
- ●一般的総括的内容科目の科目数：理科4科目がバランス良く配置されている
- ●教科教育科目：講義科目に比べ演習科目の科目数が多い ⟵ 実践的な指導
- ●教科教育科目と教科内容科目がほぼ同時期に配置されている ⟷ 広島大学

愛媛大学
教育学部

積み上げ方式の教育実習は，理論と実践の往還，実践の省察をより行いやすくなる

早期からの教育実習科目を軸に，教科教育科目と教科内容科目がそれぞれ段階的に配置される。両者の担当者の協働による，授業を想定した教材化のための知識の育成が図られる。また，卒論研究等による教科内容の専門性も担保しながら，実践力のある教員養成が目指されている。

授業を作る（体験）

理論的裏付け

実践的実験・実習技能の修得（教科内容科目担当者）

教科教育科目：理科観察実験演習1　理科教育法1　理科教育法（実験実習）1

教育実習科目：新入生セミナー　教育実践体験実習　実践省察研究　教育実習　応用実習　他コース実習

教科内容科目：一般的総括的内容科目（混在型）　それ以外の教科内容科目

物理学入門　物理数学　卒業研究

1年次　2年次　3年次　4年次

85

理科：訪問調査

広島大学

選定用件
- ●一般的総括的内容科目の科目数：理科4科目がバランス良く配置されている
- ●教科教育科目：講義科目に比べ演習科目の科目数が多い ⟵ 実践的な指導
- ●教科教育科目と教科内容科目がほぼ同時期に配置されている ⟷ 広島大学

秋田大学
教育文化学部

2年次から始まる積み上げ式教育実習を軸に教科教育科目と教科内容科目がそれぞれ独自に配置される。そのため，教科教育科目は1年次から演習科目が配置される。また，教科教育担当者が指導法等に加え，学習課程に準拠した実験・観察の指導を実施する。

教科内容科目：一般的総括的内容科目（混在型）中学校 → 高等学校 → 大学基礎　それ以外の教科内容科目

独自

基礎的科目：理数教育コースの学生必修の入門的科目や基礎的科目を中心に学びます。【主な科目】初等科学、初等算数、初等理科教育学、初等算数科教育学、数学科教育学、基礎物理、微分積分、線形代数など

発展的科目：理科や算数・数学の各教科の内容や指導法を中心に学びます。【主な科目】化学概論、基礎生物実験、気象学概論、理科教育学演習など　幾何学基礎、確率論、数学科教育学演習など

理数教育ゼミナール：指導教員から卒業研究の指導を受ける機会です。

卒業研究：もっとも興味・関心を持った領域で、ひとつのテーマに沿って研究を深めていきます。

1年次　2年次　3年次　4年次

教育実習I（附属）　教育実習II（公立）　教育実習III（附属）

教科教育科目：理科教育演習I, II（指導案作成）

教科教育担当者が指導法に加え，演習科目により，学習課程に準拠した実験・観察を指導

86

＜理数教育コース：秋田大学教育文化学部パンフレットに加筆＞

広島大学

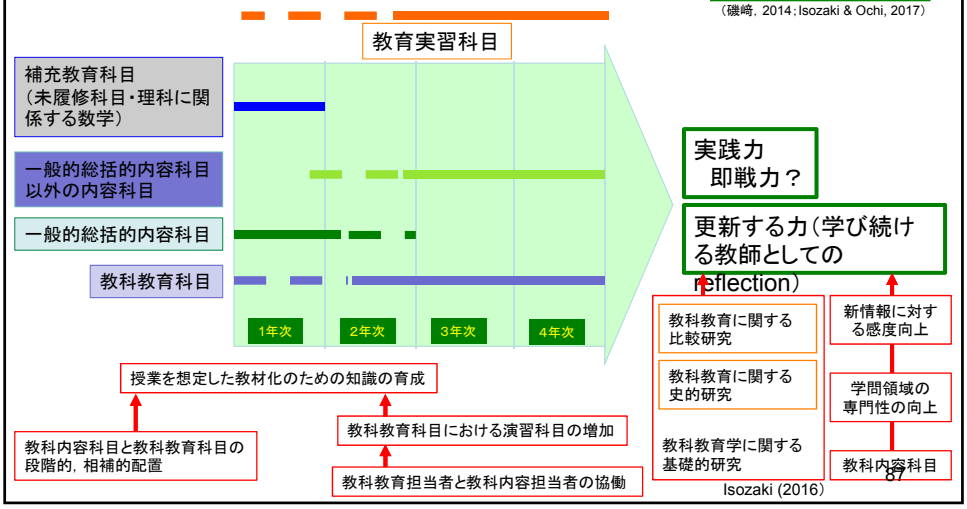
理科教育モデルコアカリキュラムの方向性

どのような教員を養成するのか？

- ●学問領域に関する専門的知識
- ●実験・観察の技術・技能
- ●理科教育原理・指導法，生徒理解に関する知識・技能

授業を想定した教材化のための知識（PCK）を豊かにし、自分の実践を省察（reflection）できる学び続ける教師

（磯崎，2014；Isozaki & Ochi, 2017）



Isozaki (2016)

87

広島大学

謝辞
訪問調査では次の先生方にお世話になりました。
厚くお礼申し上げます。

愛媛大学教育学部　学部長　佐野　栄　教授
向　平和　准教授
秋田大学教育文化学部　川村教一　教授

文献

磯崎哲夫（2014）「理科の教師教育論」．磯崎哲夫編著『教師教育講座　中等理科教育』（pp. 7-31）．東京：協同出版社．

Isozaki, T. (2016) How Japanese rika (school science) teachers traditionally formed their own cultures and improved their teaching competencies through research and practice? *In* M.-H. Chiu (Ed.), Science education research and practice in Asia: Challenges and opportunities (pp. 517-538). Singapore: Springer.

Isozaki, T. and Ochi, T. (2017) Secondary science teacher education/ training in Japan. *In* J. E. Pedersen, T. Isozaki, and T. Hirano (Eds). *Model science teacher preparation programs: An international comparison of what works* (pp. 287-306). Charlotte, NC: Information Age Publishing.

88

事業の成果報告

広島大学

中学社会科
地理歴史科
公　民　科

89

社会：育成を図る中等社会系教員としての資質・能力

広島大学

前提となる諸学問の知識や研究法の習得を重視する例

「社会科を構成する各学問分野の基礎をしっかりと修得することを重視‥‥。研究の進展によりどのように新たな知識やものの見方が生産されるかを理解したり、学問の本質的な面白さにふれたりできるよう、‥‥特定の分野の専門性を高めることを重視」

「社会科教育の諸分野（歴史学、地理学、法学、政治学、経済学、社会学、哲学、倫理学、社会科教育学）に関する専門的知識と方法論を習得し、将来、中学校社会科（地理歴史科、公民科）教員として『深い学び』の実現に向けた授業を担っていく社会科の内容と実践に関する高度な専門性を持つ」

90

社会：育成を図る中等社会系教員としての資質・能力

広島大学

授業づくりの資質・能力を重視する例

・「社会科・地理歴史科・公民科を中心にした優れた教育指導力を持ち、中学校と高等学校の接続を踏まえて指導できる」

・「広く人間社会に関する問題意識をもち、自ら思考できる教師、あるいは、子どもの心を揺さぶるような授業ができる」

・「教科としての独自性と目標・内容・方法の特質の理解。授業づくりの技能の習得。コミュニケーション能力の獲得」

91

社会：育成を図る中等社会系教員としての資質・能力

広島大学

社会、地域社会を担う市民に求められる資質・能力を重視する例

・「社会の多様な利害を調整しながら、人間として尊厳ある社会を築いていこうとする人間（これを「市民」という）」

・「地域や社会のあり方、その歴史や思想に深い知識を持つとともに、現代的課題や地域的課題への問題意識を持って、地域の人材育成に貢献」

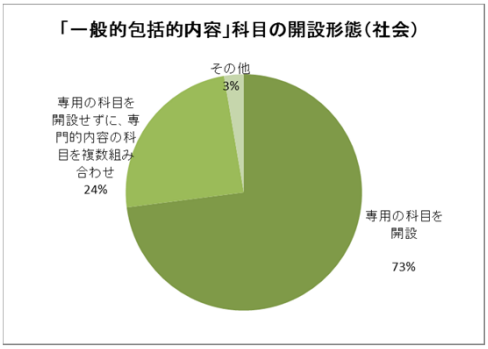
・「多様な文化・社会についての理解のもとで、これまで経験したことない様々な問題が解決できる力とよりよい社会を形成しようとする意欲をもった」

92

社会：一般的包括的内容科目の開設形態

広島大学

「一般的包括的内容」科目は、専門的内容の科目と分けて、一般的包括的内容専用の科目として開設しているか、専門的内容の科目を複数組み合わせることによって構成しているか。（回答：36学）



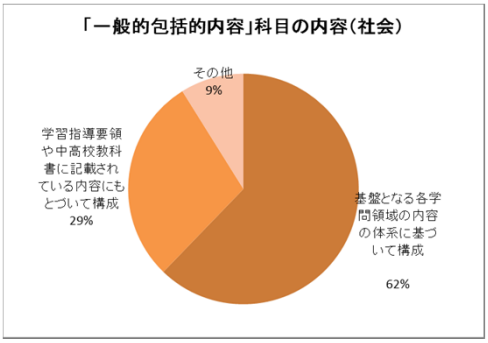
a. 専用の科目を開設している：28大学（bと重複回答　1大学）
b. 専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている：9大学（aと重複回答　1大学）
c. その他：0大学

93

社会：一般的包括的内容科目の内容

広島大学

「一般的包括的内容」の科目では、どのような内容の授業を行っているか。
（回答　36大学）



a. 基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている：31大学（bと重複回答　12大学）
b. 学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている：16大学（aと重複回答　12大学）
c. その他：1大学（小学校との連携か高校との連携かによって異なると回答）

94

社会：一般的包括的内容科目の内容

広島大学

人文地理学関連の一般的・包括的授業

地理学史や多様な地理学の紹介からなる内容が多く、こまかくみると5つの型が見てとれる。

①一般的包括的授業の内容は包括的でそれ以外の授業は専門的。

②一般的包括的授業の内容は専門的（授業担当者の専門）で、それ以外の授業は包括的内容のものと専門的内容に分かれる。

③一般的包括的ではないものの，包括的授業以外の授業は専門により特化している。

④人文地理学の一般的包括的内容の授業はすべて授業担当者の専門に特化。一般的包括的授業（概論）や地誌の授業にもかかわらず巡検や専門的内容の組み合わせがある。

⑤地理学の包括的授業のなかで半分が包括的、残り半分が専門的となっている折衷型。それ以外の授業は専門に特化。

95

社会：一般的包括的内容科目の内容

広島大学

歴史学の一般的・包括的授業の多くが古代から現代にかけての通史からなる授業構成となっているのに対して，人文地理学の一般的・包括的授業の多くは，**地理学を学ぶ意義**に関して，地理学の学史や多様な地理学（社会地理学，人口地理学，農業地理学，都市地理学，農村地理学，経済地理学など）の概説からなる内容構成

地理学の動向や最新の地理学を最初に学んだうえで，教材づくりへとつながることができるような内容

多面的・多角的な地域学習の基礎的内容の学習が展開

一方，一部の大学では，担当教員の専門分野の概観からなるシラバスも見られ，地理学の内容を深く追及する内容構成となっているところもある。

96

社会：一般的包括的内容科目の内容

広島大学

注目される事例

農業地理学や工業地理学などの経済地理的内容の概観と，都市地理学（都市システムや都市の内部構造，都市問題，都市社会地理学的内容）の概観が一般的・包括的授業の三分の一から半分くらいで取り扱われている

現代社会の課題に対する探求学習的教材として，組み込まれている

97

社会：一般的包括的内容科目の内容

広島大学

倫理学関連の一般的・包括的授業

科目の位置づけ

①一般的入門（大学06,19,26,29,43,46,57）

②社会科教員にとって必要な専門的な学識を身につける（大学01,34）

内容

①倫理思想史・倫理学史（大学01,19,29,43,46）

②倫理学基礎論（大学06,26,34,57）

③倫理学応用論（大学06,26）

98

社会：一般的包括的内容科目の内容

広島大学

法律学・政治学関連の一般的・包括的授業

社会科と公民科との主な違い＝法律学・政治学・経済学それぞれに国際的な内容　→既存の科目名に丸括弧で「（国際〇〇を含む。）」

A国際系の科目がない大学：

05,06,09,10,12,14,17,18,21,22,24,26,35,37,40,42,43,47,51,52,57

B国際法と国際政治の科目がない大学：07,34.

C国際系の内容を含む大学：

13,20,28,29,31,32,45,46(法のみ),48.

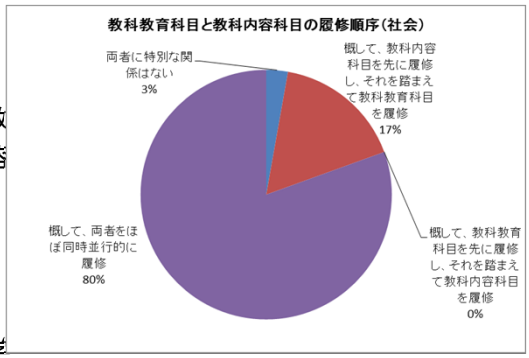
国際系の独立した科目の開設ではなく、概説科目の一部に国際的な内容を含めることによって対応している傾向がある

99

社会：教科教育科目と教科内容科目の履修順序

広島大学

教職課程のカリキュラム編成（科目の配置、履修順序）における教科教育科目（各教科の指導法等）と教科内容科目（一般的・包括的な内容の科目も含めた教科に関する専門的事項）との関係（回答　36大学）



a. 両者に特別な関係はない：1大学

b. 概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている：6大学

c. 概して、教科教育科目を先に履修し、それを踏まえて教科内容科目を履修する形となっている：0大学

d. 概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている：29大学

e. その他:0大学

100

社会：教科教育科目と教科内容科目の履修順序

広島大学

b. 概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっているものの例

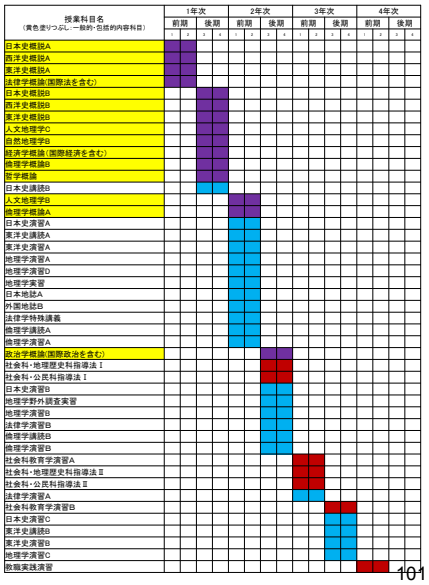
教科内容（一般的包括的）：1年次に集中

↓

教科内容（専門的）：2年次前期からが多い

↓

教科の指導法：2年次後期から3年次に集中



101

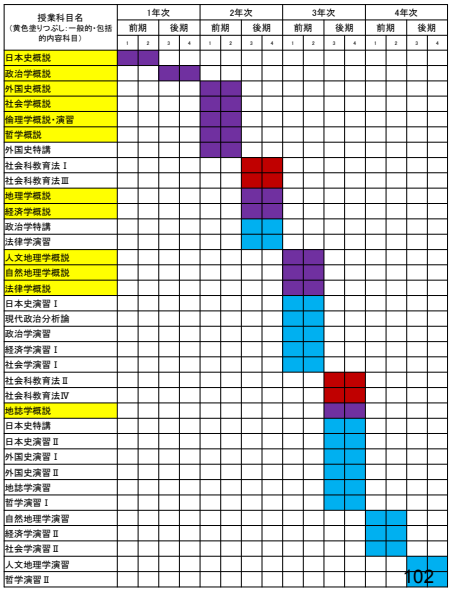
社会：教科教育科目と教科内容科目の履修順序

広島大学

a. 両者に特別な関係はない形となっていると回答したもの

・教科内容（一般的包括的）：1年次前期から3年次後期まで開設

・概説、特講、演習の順序性が必ずしも整合していない



102

社会：教科教育科目と教科内容科目の履修順序

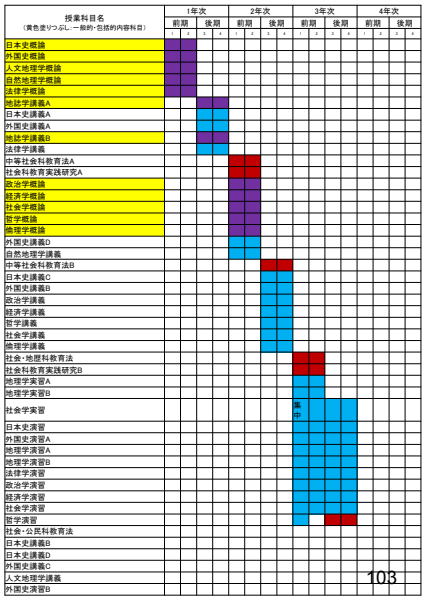
広島大学

d. 概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっているものの例

・教科内容科目の配列に規則性
　概論（一般的包括的）→講義→演習

　地理歴史系内容科目が公民系科目よりやや先行

・教科内容科目と教科の指導法が並行
　内容概論（一般的包括的）
　↓
　内容概論、教育法（2年次前期）
　↓
　内容講義、教育法（2年次後期）
　↓
　内容演習、教育法（3年次）



103

社会：訪問調査

広島大学

宮城教育大学

・規則性が明確になっているカリキュラム
・教科教育と教科内容の結合授業
・学校教員としての教養という観点から教養教育との連携

東京学芸大学

・教科内容の基盤となる学問自体と教科内容を意識してそれを考える両面　←専門科学とその教育の両方を視野に入れた研究者の存在
　↓
内容の論理から教育を考える？

104

社会：訪問調査

広島大学

謝辞
訪問調査では次の先生方にお世話になりました。
厚くお礼申し上げます。

宮城教育大学　副学長　　松岡　尚敏　教授
東京学芸大学　　渡部　竜也　准教授

文献

- 松岡 尚敏「教員養成教育におけるカリキュラムマップ作成の意義と課題」『宮城教育大学紀要』 49、2015年
- 渡部竜也「わが国の初等・中等社会科教員養成の実態に関する基礎的研究（Ⅰ）――大学主催の10年次研修の実態からみるわが国の教員養成」『東京学芸大学紀要　人文社会科学系Ⅱ』第59集、2008年。
- 渡部竜也「カリキュラム・授業理論と教師教育論の連続的探求の必要性――教科内容専門領域改革に向けた研究方法への提言：社会科を事例として」『社会科教育研究』第110号、2010年

105

社会：教科教育コアカリ策定の課題と展望

広島大学

- 教員として採用されて自立した後に、自他の授業の改善点を見いだし、よりよいものとすることができない教員
- 特に、中高の教員にあっては、種々の**研修会や授業研究会において授業を論ずることができない教員の多さ**が問題になっている。
- 授業研究力の低下は、児童・生徒の成長の視点を欠いた**知識の一方的な伝授をもって授業とする教員を生み出し**、授業が成立しない事例が多くなっている。これからの教育に求められているものと乖離。

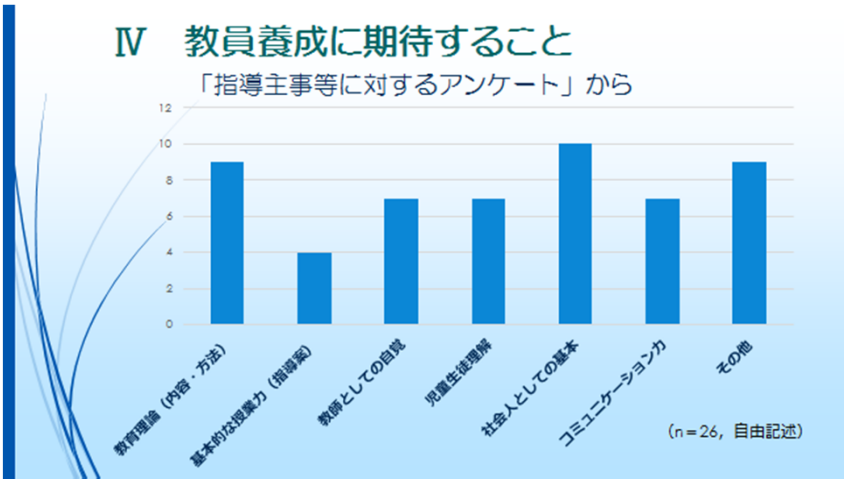
↓

- 児童・生徒を理解する力と科学や文化を教材として構成する力を架橋する授業研究力を育成するカリキュラムになっているか？

106

社会：教科教育コアカリ策定の課題と展望

広島大学



(広島県立教育センター所長　平田浩一先生の講演「教員研修が目指すもの，教員養成に期待すること」2018年5月31日　広島大学教育ビジョン研究センター主催）

107

社会：教科教育コアカリ策定の課題と展望

広島大学

■教師教育者の役割

- 教師の教師
- 研究者
- コーチ
- カリキュラム開発者
- ゲートキーパー（門番）
  - ➢学生を教師の専門の世界と出会わせる役割
- ブローカー（仲介者）
  - ➢大学と学校をつなぐ役割

（ＥＶＲＩ第２回セミナー・武田信子先生講演会のメモから）

(平田浩一先生の同講演より）

108

社会：教科教育コアカリ策定の課題と展望

広島大学

- 「従来、大学では学芸的側面が強調される傾向があり、そのことは、課題が複雑・多様化する教育現場から、例えば初任者が実践的指導力や学校現場が抱える課題への対応力を十分に身に付けていないなどの批判を受けてきた」（本事業の公募要領　2018）
- 学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培う（2010年2月25日付けの大学設置基準改正）

教科内容の背景としての文化的体系の伝授から、授業者としての授業力・授業研究力の育成に重点を

109

社会：教科教育コアカリ策定の課題と展望

広島大学

教員養成課程で設置するべき授業科目自体は、現行制度で根本的で重大な問題があるとはいえないであろうが、多くの場合、それらが教員としての資質・能力育成の場として十分に体系化されていないことが問題

克服のためには

- スタンダード（教員の資質・能力規準）を設定して単位修得主義から到達度主義へと転換し、各授業が果たすべき役割と順次性を明確にしてプログラム化すること、
- 理論と実践の往還に基づく学びを実現するカリキュラム改革
- 教職に関する意識・使命感を段階的・継続的に醸成する教育実習の体系化、到達度を自ら確認できるe-ポートフォリオの導入

110

社会：教科教育コアカリ策定の課題と展望

広島大学

授業力・授業研究力で求められること

①その内容についてなぜ学校において教えるのかを説明できる

②その内容について学校で教えるとき、目指すべき目標を指摘できる

③その内容をどのような順序でどのように配列すると、その教科の目標を達成することができるのかを説明できる

④その単元は、何のために、何をどのように教えるのかを指導案に書け、指導することができる

⑤その内容に関して、小学校（中学校、高校）のその子どもたちに適した学ぶ材料はどのようなものかを指摘でき、改良することができる

⑥その内容に関して、小学校（中学校、高校）のその子どもたちに効果的に学ぶ仕方を組織でき、さらにそれらをよりよいものに改良することができる

⑦子どもたちがその内容を学ぶことに関して、適切に評価し、その学習と指導をよりよいものに改善する方法を指摘することができる

111

社会：教科教育コアカリ策定の課題と展望

広島大学

		知識・判断	技能	態度・情意
教科の本質・学習の本質解明力	学習者の学習の本質、学習における理解とその進歩を踏まえ、学習者の興味・関心を喚起する力	教科の学習における学習者の進歩を保証するための判断と、そこで必要とされる教育学的知識		学習者の視点で学習を考える態度
	教育目標を設定し、カリキュラムを編成する力	教科の本質や理念に関する諸説に関する知識と、それに基づいて自らの授業観を明確化し、それを具体化するカリキュラムのあり方についての判断	スコープとシークエンスを用いて教育内容を体系化する技能	
教科内容の組織力	教材を解釈し、教育内容を構成する力	教科の基盤となる諸科学の成果を、教育目標、児童・生徒の心理などを踏まえて教育内容として組織する判断と、その結果としての教育内容に関する知識	教科内容の基盤となる諸科学の成果の検索・整理をする技能	権威を無批判に受け入れず、自らの責任で諸科学の成果を理解し、教育内容を組織しようとする態度

112

社会：教科教育コアカリ策定の課題と展望

広島大学

教科の効果的な授業開発力	教授・学習過程を組織し、授業を実践する力	構造化された教育内容を学習の学習過程に沿って組織化する判断と、探求・理解過程に関する知識	学習者の思考・行動を引き出し、学習を深化させる発問の技能ならびに適切な教材加工を行う技能	
	学習の成果を判定し、評価する力	学習者の学習成果の事実を判定する判断ならびにその事実に対する評価を下す判断	学習者の学習成果の事実を観察・記録し、確定する技能ならびに分析のために事実を加工する技能	学習成果の事実を客観的・合理的に把握しようとする態度
	授業を分析し、改善する力	授業の事実を確定する判断ならびにその事実に対する評価を下す判断	授業の事実を観察・記録し、確定する技能ならびに分析のために事実を加工する技能	授業の事実を客観的・合理的に把握しようとする態度
教科の実践的課題解決力	学校現場の教科の教育実践における課題を明確化し、それに対する仮説的提案をする力	学校現場における教科指導上の問題状況の把握ならびにそれに対する解決策の判断	教科指導の実際の観察ならびに実践者の話の聴取をし、その分析をする技能	
	学校現場の教科の教育実践における課題を解決する力	学校現場における教科指導上の問題状況に対する解決策の有効性の判断とそれに基づくよりよい解決策の判断	教科指導の課題解決策の実施に伴う結果を観察し、分析する技能	

113

文部科学省委託事業「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」
フォーラム

教員養成カリキュラムの現状から
教科教育コアカリ策定の課題と展望を考える

事業成果報告の部

終わり

続いてパネルディスカッション

広島大学

114

「教科教育コアカリ策定に向けての動き」

平成３１年３月３日

文部科学省総合教育政策局教育人材政策課長　柳澤好治

文部科学省

1

教職課程コアカリキュラムをめぐる動き

教職課程コアカリキュラム

●平成27年12月　中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」

「大学が教職課程を編成するにあたり参考とする指針（教職課程コアカリキュラム）を関係者が共同で作成することで、教員の養成、採用、研修を通じた教員育成における全国的な水準の確保を行っていくことが必要である。」

●平成29年11月　教職課程コアカリキュラムの在り方に関する検討会「教職課程コアカリキュラム」

「まず、学校種や職種の共通性の高い、現行の『教職に関する科目』について作成することとし、学校種や職種に応じた留意が必要な点についてはその旨を補足することとする。」

「このコアカリキュラムでは対象としなかった現行の『教科に関する科目』については、小学校・中学校・高等学校の英語科に関する内容を定めた『英語教育コアカリキュラム』や、幼稚園の主に領域に関する専門的事項についてのモデルカリキュラムの調査研究が行われているが、その他の学校種・教科におけるコアカリキュラムについても今後順次整備されることを求めたい。」

2

教員養成に関する近年の政策動向について①

教員養成に関する課題

学校現場の状況の変化や教育を巡る環境の変化に対応した
教職課程になっていない

教育職員免許法施行規則の改正
（平成29年11月）

■学校現場で必要とされる知識や技能を養成課程で獲得できるよう、
教職課程の内容を充実。
■あわせて、省令上の科目区分も大括り化し、大学の判断で、教科に関する
専門的な内容とその指導法等の複数の事項の内容を組み合わせた授業を
行うことを可能に。

教職課程に新たに加える内容の例

・特別支援教育の充実　総合的な学習の時間の指導法　・学校体験活動
・アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善　・ICTを用いた指導法
・外国語教育の充実　・チーム学校への対応　・学校安全への対応
・学校と地域との連携　・道徳教育の充実　・キャリア教育　等

3

教員養成に関する近年の政策動向について②

教員養成に関する課題

大学教員の研究的関心に偏った授業が展開される傾向があり、
教員として必要な学修が行われていない

教職課程コアカリキュラムの作成
（平成29年11月）

■教育職員免許法及び同施行規則に基づき全国すべての大学の
教職課程で共通的に修得すべき資質能力を明確化。
■大学（養成）、教育委員会等（採用・研修）、文部科学省（行政）等の
関係者が活用することにより全国的な教員の資質能力の水準向上。

教職課程コアカリキュラムの例（各教科の指導法の場合）

全体目標	教科における教育目標等について理解し、学習指導要領の内容と背景となる学問とを関連させて理解を深めるとともに、授業設計を行う方法を身に付ける。
一般目標	具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。
到達目標	学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業計画と学習指導案を作成できる。
	模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。

4

教職課程コアカリキュラム＜概要＞

作成の背景・目的

○大学における教員養成の下、学芸的側面が過度に強調されたり、担当教員の関心に基づいた授業が展開
○学校現場の課題が複雑・多様化する中、教員養成課程において、実践的指導力や課題への対応力の修得が不可欠

○すべての大学の教職課程で共通的に修得すべき資質能力を明確化することで教員養成の全国的な水準を確保

教職課程における位置づけ

各大学においては、コアカリキュラム・地域のニーズ・大学の独自性等を踏まえて、体系的な教職課程を編成

地域や採用者のニーズに対応した教育内容

大学の自主性や独自性を発揮する教育内容

全ての大学の教職課程で共通的に修得する教育内容
＝教職課程コアカリキュラム

事項例	到達目標（一部抜粋）
各教科の指導法	・学習指導要領における当該教科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 ・学習指導案の構造を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	・発達障害を含む特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害並びにそれに伴う困難の特性を例示することができる。 ・「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置付け並びに内容を理解している。
道徳の理論及び指導法	・道徳教育の歴史及び現代社会における道徳教育の課題（いじめ及び情報モラル等）を理解している。 ・学校における道徳教育の指導計画及び教育活動全体を通じた指導の必要性を理解している。
教育実習（学校体験活動）	・教育実習生として遵守すべき義務等について理解し、その責任を自覚したうえで意欲的に教育実習に参加することができる。 ・学習指導要領並びに児童及び生徒の実態等を踏まえた適切な学習指導案を作成し、授業を実践することができる。

※現行の「教職に関する科目」について作成。「教科に関する科目」についても今後順次整備。

活用方法

教員を養成する大学、教員を採用・研修する教育委員会等、教育制度を所管する文部科学省等の各関係者が認識を共有して取組を推進

【大学関係者】
・コアカリキュラムの内容を踏まえて教職課程を編成
・シラバスを作成する際や授業等を実施する際に、学生がコアカリキュラムの内容を修得できるよう授業を設計・実施

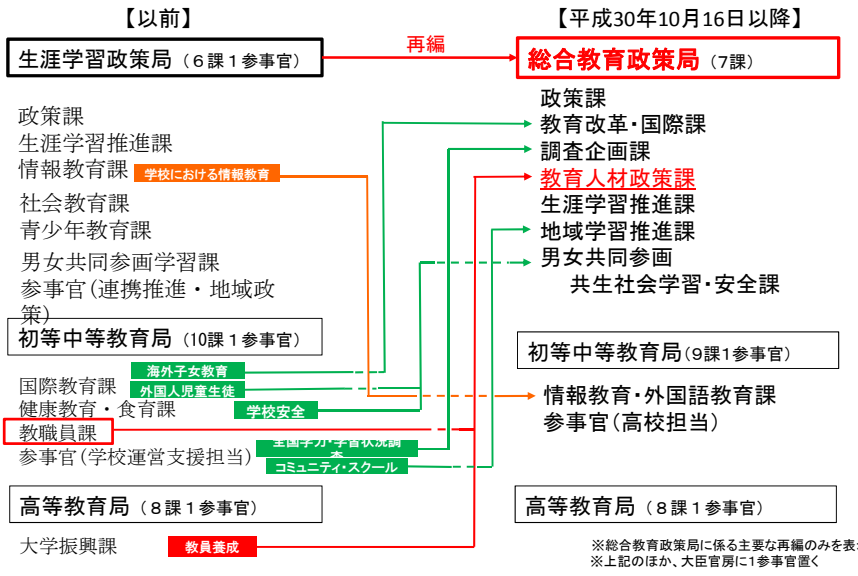
【採用者（教育委員会関係者、学校法人関係者）】
・コアカリキュラムの内容を踏まえた教員採用選考を実施

【国（文部科学省）】
・教職課程の審査・認定及び実地視察においてコアカリキュラムを活用

5

総合教育政策局の新設（再編の概要）

総合的な教育改革を推進するための機能強化



※総合教育政策局に係る主要な再編のみを表示
※上記のほか、大臣官房に1参事官置く

6

総合教育政策局のミッション　～再編の目的とこれからの方向性～

再編の目的

学校教育政策と社会教育政策の分断・縦割りの解消

これからの方向性

学校教育・社会教育を通じた**教育政策全体を総合的・横断的に推進**し、教育基本法第３条の**生涯学習の理念に基づいた生涯学習政策の実現**を目指す

総合的かつ客観的根拠に基づく教育改革政策の推進

教育政策全般にわたる企画・立案機能の強化

総合的・客観的根拠に基づいた政策立案の強化

政策課

総合的・計画的な教育政策の企画立案・調整
- 局全体の総括
- 中央教育審議会の運営
- 教育振興基本計画の策定　等

教育改革・国際課

教育のグローバル化等の環境変化を捉えた教育改革の推進
- 教育改革に関するとりまとめ及び教育改革の推進
- 次世代の教育に係る研究開発や実証研究の強化
- 国際理解教育の推進等の教育分野の国際業務　等

調査企画課

総合的・客観的根拠に基づく教育政策立案（EBPM）の推進
- 学校基本調査、社会教育調査等の基幹統計調査
- 全国学力・学習状況調査
- 国立教育政策研究所と連携した総合的な情報収集　等

社会教育を中心とした学びを総合的に推進する体制整備

人生100年時代の継続的な学びの推進

地域課題解決や社会参画のための学び

生涯学習推進課

人生100年時代を豊かに生きる「生涯にわたる学び」の推進
- 専修学校教育振興室
- 民間教育事業振興室
- 職業教育担当
- 学び直し推進担当　等

地域学習推進課

活力ある社会を持続可能とする「地域における学び」の推進
- 地域学校協働活動推進室
- 家庭教育支援室
- 青少年教育室
- 社会教育施設担当　等

男女共同参画共生社会学習・安全課

誰もが社会に参画する「ともに生きる学び」の推進
- 男女共同参画学習室
- 障害者学習支援推進室
- 安全教育推進室
- 外国人児童等担当　等

スポーツ庁、文化庁、学校教育担当部局における業務の連携

社会教育振興総括官（社会教育の振興等を横断的に総括）

教育人材育成の政策立案の一元化

教育人材政策課

教育を支える専門人材の強化
- 従来は初等中等教育局と高等教育局とに分かれていた教員の養成・採用・研修の業務を一元化
- 併せて、生涯学習政策局で行われていた社会教育主事等の社会教育人材の育成に関する業務も一体的に行うことで、教育を支える専門人材の育成政策の総合的な推進を図る

7

教師の養成・採用・研修の一体的な改革

○ 養成・採用・研修を通じた方策

研修

ベテラン段階

中堅段階

1～数年目

【管理職研修改革】
- **マネジメント力強化**のための研修プログラム開発

【十年研修】→中堅研の創設（法改正）
- **研修実施時期の弾力化**
- 目的・内容の明確化**（ミドルリーダー育成）**

【免許状更新講習改革】
- 現代的な教育課題に対応できるよう**選択必修領域の導入**

【初任研修改革】
- **メンター方式の研修（チーム研修）**の推進
- 初任者研修に限らない**若手段階を見通した研修の充実**

採用

採用段階

- 円滑な入職のための**教師塾等の普及**
- **特別免許状の活用等**による多様な人材の確保
- **教員採用試験の共同作成**に関する検討

養成

養成段階

- 新たな課題（英語、道徳、ICT、特別支援教育）やアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善に対応した**履修内容の充実**
- **学校インターンシップ**の導入
- **「教科に関する科目」と「教職に関する科目」の統合**（法改正）
- 国による**教職課程コアカリキュラム**の作成

資質の向上に関する指標

【現職研修を支える基盤】（法改正）
- **（独）教職員支援機構の機能強化**（アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善等に対応した研修の推進・支援）
- **教職大学院の活用**等による教師の資質能力の高度化（教職大学院と連携した研修の単位化推進等）
- 研修機会の確保等に必要な**教職員定数の充実**

○ 学び続ける教師を支える体制整備（法改正）
- **教育委員会と大学等との協議会**の組織
- 校長及び教員としての**資質の向上に関する指標**、**教員研修計画**の策定

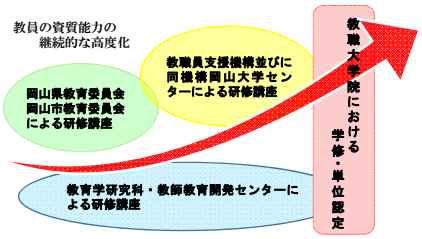
（法改正）・・・教育公務員特例法等の一部改正（平成28年11月）による措置事項

8

国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する取組状況について
－平成30年11～12月の意見交換会を終えて－

【岡山大学】現職教員の多様で高度な学びを保証するラーニング・ポイント制

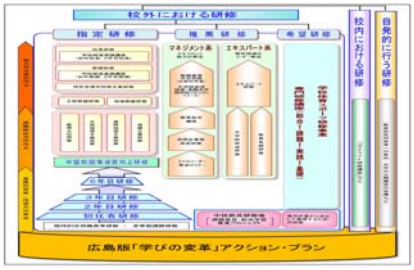
岡山大学教職大学院では，岡山県教育委員会，岡山市教育委員会との連携により，また，（独）教職員支援機構の地域センターとして，現職教員のニーズ（研修内容，開講形態等）に合わせた専門性の高い研修を開講している。その研修の一部に修了ポイントを設定し，教職大学院の開放授業科目での振り返りを加えることで，単位を認定・授与する「ラーニング・ポイント制」を実施している。



【広島大学】学校マネジメントコースでのスクールリーダー養成

現職教員を対象とした広島大学大学院教育学研究科教職開発専攻（教職大学院）学校マネジメントコースは，これからの学校づくりを牽引し指導的な役割を果たし得るマネジメント力を備えたスクールリーダー（学校管理職候補や指導主事等の教育行政職）を育成している。

本コースは，広島県教職員研修の推薦研修として位置づけられ，修了した現職教員は，広島県教育委員会が実施する教頭・主幹教諭採用候補者選考試験の筆記試験が免除されている。（平成30 年修了生1 人が教頭に昇任。1 人が当該免除を受けて本年度受験中。）



9

国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する取組状況について
－平成30年11～12月の意見交換会を終えて－

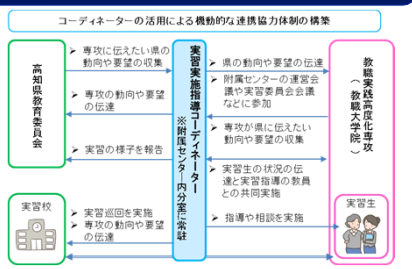
【高知大学】実習コーディネーターの常駐による高知県教育委員会との連携の強化と迅速化

実習コーディネーター（県教委教育政策課高知大学連携担当指導主事）が大学に常駐し、県教委との連携のハブとして効果的な活動を行っている。

■実習巡回指導と専攻・県教委への報告
⇒ 県・教職大学院・実習校で実習に係る共通理解の促進と効果的な院生指導

■附属センター運営会議、実習改善PJ等に正規メンバー参加
⇒ 県・実習校・専攻で共同した改善（直接的には言いにくい実習校の意見の伝達）

■高知大学内に設置された県教委事務局分室に常駐し活動
⇒ 県とのコミュニケーション・共同事業・調整の迅速化



【佐賀大学】異校種間実習制度

教職大学院の現職教員が、自己の課題に応じて、所属する校種とは異なる隣接校種の探究実習を行うもの。

・異なる校種で授業実習等を行うことにより、発達段階や校種、教師文化による授業実践の差異を知り、自己の授業観を相対化する。
・所属校の児童・生徒の資質・能力向上のため、異校種の連携を強化するカリキュラムや授業づくりについて考察する。
・現職教員は、自己の課題に応じた探究実習計画案の作成、指導計画及び学習指導案に基づく授業実践を通じ、「異校種の授業実践の差異の実感、それに伴う授業観の深化」や「異校種との連携強化による所属校のカリキュラム及び授業づくりの構想の具体化」等の成果を上げている。

10

教科等のコアカリキュラムをめぐる動き

平成30年度　文部科学省　教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業

〇委託内容

中学校及び高等学校の教科教育コアカリキュラムの検討に向けて必要な基礎情報の収集及び分析に関する調査研究

（特に、国語、社会（地理歴史・公民）、数学、理科の中学校教諭養成課程又は高等学校教諭養成課程を置く大学における教科に関する専門的事項及び各教科の指導法に関する教育の状況について）

〇広島大学の取組

「中等教員としての資質・能力育成の体系化・プログラム化による教科教育コアカリキュラムー教科教育科目と教科内容科目の有機的連携ー」

・国語、社会、地理歴史、公民、数学、理科の教員免許状を取得可能な全国の国立大学から教員養成カリキュラムを収集・類型化し、一般的傾向の量的把握。

・特徴的な大学についてはさらに聞き取り等によるより詳細な調査を行い、各科目の授業内容、4年間における科目の配置、教科教育科目と教科内容科目の関係、「一般的・包括的内容」の具体的内容等について質的分析。

・調査を踏まえ、教科教育コアカリキュラムの方向性を検討。

〇東京学芸大学の取組

「国立教員養成大学・学部における教科教育コアカリキュラム実態調査分析～中高　教科教育コアカリキュラム策定に向けて～」

・全国の国立の教員養成大学・学部及び開放制で教職課程を有する近隣の国立大学に対して、国語、社会、地理歴史、公民、数学、理科の教科に関する専門的事項及び各教科の指導法の科目について、カリキュラム構造、教員体制、授業内容、達成目標、教員養成学部と他学部との相違点等に関する調査を実施。

・興味深い取組について、さらに訪問調査を実施。

・必要な情報を分析・整理して取りまとめ、教科教育コアカリキュラム策定に向けた基礎資料を作成。

11

広島大学文部科学省委託事業フォーラム　2019年3月3日

教師の資質・能力としての教材研究力の育成
―「教授学演習」の実践事例を中心に―

都留文科大学　鶴田清司

1 基本的な問題意識

「主体的・対話的で深い学び」の推進が叫ばれている中で、アクティブ・ラーニングの方法・形態が議論の中心になりがちで、「深い学び」の前提条件が軽視されている。

つまり、「主体的・対話的で深い学び」のためには、教師の学びの深さ、教材研究の深さが決定的に重要である。

大学における養成教育がすべきことは、まず教材研究の力を育てることである。

小5教材「大造じいさんとガン」（椋鳩十）の事例

「単元を貫く言語活動」として、最後に、物語の推薦文を書くという授業。

子どもが書いた推薦文の中に、「残雪と大造じいさんが仲良くなったお話です」という記述が複数見られた。

これは作品を根本的に読み誤っている。大造じいさんは専用の檻（おとりのガンは鶏小屋）に入れるなどして、残雪が人間になつかないようにしている。傷が癒えた残雪もまた躊躇なく、「バシッ！　快い羽音いちばん、一直線に」空へ飛び去っていく。両者の関係は、緊張感のある対峙の関係であり、友情とは無縁である。

深い学びのためには、教材の深い理解が決定的に重要である。

2 国語科教師の専門的力量とは

1 国語科の学習内容に関する素養
2 国語科の教育課程・内容に関する能力
3 国語科の授業実践に関する能力
　（狭義の授業力）
4 国語科教師としての関連素養

（鶴田2006）

1　国語科の学習内容に関する素養

①言語に関する素養
- 文字・語彙・文法・言葉づかい・発音・発声など日本語に関する知識・技能
- 豊かな言語感覚

②言語活動に関する素養
- 聞く、話す（語る）、読む、書く（作文・書写）、討論、発表、報告などに関する知識・技能

③言語文化・言語生活に関する素養
- 日本および世界の言語文化（民話・文学など）や児童文化に関する関心・知識
- 言語生活・言語習慣などに関する知識・技能

2 国語科の教育課程・内容に関する能力

①教育課程を編成する見識・技能
②年間計画を作成する見識・技能
③教科内容を抽出・精選・系統化する見識・技能
④教材を開発・選定・構成する見識・技能
⑤教材を研究する見識・技能
⑥単元を企画・構成する見識・技能

3 国語科の授業実践に関する能力（狭義の授業力）

①授業を計画・構想する見識・技能
②授業を状況に応じて運営・組織する見識・技能
（対応する力）
③児童・生徒およびその学習活動を理解する能力（見る力）
④児童・生徒の学習活動を指導・支援する見識・技能
・発問・説明・指示・助言・板書などに関する見識・技能
⑤評価および評価指導（相互評価など）に関する見識・技能
・絶対評価と相対評価と個人内評価
・客観的評価と主観的評価（教育的鑑識眼・見とり）
⑥授業分析（授業研究）に関する見識・技能
・臨床的な事例研究に関する見識・技能
・授業の記録・批評に関する見識・技能

4 国語科教師としての関連素養

①読書、表現（朗読・演劇など）、創作に関する見識・技能
②メディア・リテラシーに関する見識・技能
③コミュニケーションに関する見識・技能（人間関係形成力）
④ＩＴ機器（コンピュータ等）の利用・操作に関する見識・技能
⑤教育原理・教育方法・国語科教育などに関する教育学的見識
⑥児童・青年心理、学習、認知、発達などに関する心理学的見識
⑦憲法・教育基本法・学校教育法などに関する法的知識
⑧学級経営、環境整備、図書館利用などに関する見識・技能
⑨資料の収集・分析、調査・研究、論文執筆に関する見識・技能
⑩ネットワーキング力、コーディネート力（人材活用能力）
⑪自己学習力（学び続けること・学び合うこと）

3-1 2018年度「教授学演習」の概要

前期　教授学演習Ⅰ（３年次・２単位）
テーマ：「下からの道」による教材づくり・授業づくり
形態：グループごとのオリジナル教材の開発と模擬授業
後期　教授学演習Ⅱ（３年次・２単位）
小４教材「ごんぎつね」（新美南吉）の教材研究
形態：受講生全員による共同検討

3-2 2018年度「教授学演習」の目標

前期　教授学演習Ⅰ
教材開発力を身につける
後期　教授学演習Ⅱ
教材研究力（教材分析法）を身につける

教師の専門的力量（前掲）の「２国語科の教育課程・内容に関する能力」のうちの
④教材を開発・選定・構成する見識・技能
⑤教材を研究する見識・技能
に対応している。

3-3「教授学演習Ⅱ」の授業計画と内容

第１回～第３回　オリエンテーション、作品分析法の説明など
第４回　「ごんぎつね」の全文の読みと各自の学習課題の発表
第５回　「ごんぎつね」の教材研究①構成～全体構成～
第６回　「ごんぎつね」の教材研究②表現～反復表現～
第７回　「ごんぎつね」の教材研究③表現～対比表現～
第８回　「ごんぎつね」の教材研究④表現～オノマトペ～
第９回　「ごんぎつね」の教材研究⑤表現～色彩語・比喩～
第10回　「ごんぎつね」の教材研究⑥視点～話者と視点～
第11回　「ごんぎつね」の教材研究⑦視点～視点の転換～
第12回　「ごんぎつね」の教材研究⑧文体～矛盾した表現～
第13回　「ごんぎつね」の教材研究⑨文体～語りの特徴～
第14回　「ごんぎつね」の教材研究⑩作品の謎（草稿→定稿）
第15回　「ごんぎつね」の教材研究⑪「比べ読み」による批評

教材研究力の基本としての作品分析法
教師がテキストをどれだけ深く読めるか

○大学で作品分析法が教えられていない現状
「わが国の「国語」教師は具体的作品に即した作品分析法をどの程度修得しているだろうか。『一つでもいいから確かな分析方法を修得している教師は少ない』というのが筆者の判断である。」　（望月1990,p.287）
→「国語科教育法」「日本語・日本文学概論」の責務

作品分析法のレッスン

○本来なら「国語科教育法」または「日本語・日本文学概論」が取り扱うべきである。
○ただし「国語科教育法」は対象領域が広範にわたるので、一つの教材を何時間も研究するのは不可能。
○「日本語・日本文学概論」で行うのが最も妥当であるが、ここ数年鶴田は担当していないので、「教授学演習」で取り組んだ。

基本的な作品分析法

①構成をとらえる
（題名、設定、全体構成、伏線、クライマックス…）
②表現をとらえる
（反復、対比、イメージ語、比喩、オノマトペ、象徴…）
③視点をとらえる
（一人称と三人称、内の目と外の目、視点の転換…）
④人物をとらえる
（中心人物、主役と対役、人物像、心の転換点…）
⑤文体をとらえる
（語り、話法、文末、異化、矛盾、作調…）

なぜ「ごんぎつね」を教材にするのか？

○教科書教材のなかで最もポピュラーな定番教材。
○教科書教材として60年以上の歴史を持つとともに、ここ30年間、すべての教科書に掲載されている。
○教師や子どもから長年にわたって支持を集めている。
○じっくりと読み深めることのできる作品。
○物語性（ドラマ性）に富み、子どもにとっての思想的価値も高い。
○すぐれた表現方法（描写など）が多く使われている。
○教材研究（教材分析）の方法を身につけるのに最適な教材である。

第6回～8回「ごんぎつね」の教材研究（②～④）表現の分析から導かれる作品のテーマ

○反復表現（主要語句）
「あな」「うら」「かげ」「かくれて」
「ひとりぼっち」
○対比表現
「ちょいといたずら」⇔「ぬすっとぎつねめ」
「いいことをした」⇔「ひどいめにあわされた」
「おれにはお礼を言わない」⇔「神様にお礼を言う」
「くりが固めて置いてある」⇔「うちの中を見る」
○オノマトペ（擬音語・擬態語）
「そうっと」「そっと」「びくっと」「こっそり」

◎同じような境遇にありながら正対・対話の関係が絶たれている人物同士が理解し合えなかったことによる悲劇

第13回 「ごんぎつね」の教材研究⑨ 語りの特徴をめぐって

発問：このあと兵十がごんのためにしたと考えられることは何か？

・ごんのお墓を作った。（どこに？）
兵十の家、村の中、山の中（予想外の答え）
・ごんのことを村人に伝えた。
冒頭の一文「これは村の茂平というおじいさんから聞いたお話です」の意味は？

・単なる続き話を書くという言語活動との違い。
作品の本質的理解へ（ごんが死んだ悲しい話→ごんのすばらしさが語り継がれてきた話）

第14回 「ごんぎつね」の教材研究⑩ 作品の謎をめぐって

発問：６の場面におかしいところはないか？

○「兵十はかけよってきました」
ごんの視点？　兵十の視点？
○「物置」と「なや」の混在
・二つもあるのか？　貧しい生活なのでは？
・「物置」にいた兵十が「なや」まで銃を取りに行ったら時間がかかり、ごんが逃げてしまう。

第15回 「ごんぎつね」の教材研究⑪
草稿と定稿の「比べ読み」による批評

○最後の場面の草稿と定稿（教科書本文）を比べて、違っている箇所に印を付けなさい。
○最も大切な違い、心に残った違いをあげなさい。
○どちらの方がよいと思うか？　根拠と理由をあげて説明しなさい。
- 「ぐったりなったまま、うれしくなりました」（草稿）
- 「ぐったりと目をつぶったまま、うなずきました」（定稿）

全体的な留意点

○単なる作品研究にならないようにした。つまり、授業づくりを前提にして、各時の学習課題（発問）とつながるようにした。
→ショーマン（Shulman,2004）の言う「授業に翻案された教科内容の知識（pedagogical content knowledge）」の形成を意識した。つまり、何を学ぶかだけでなく、いかに学ぶかということも含み込んだ知識（子どもに作品分析法のよりよい理解をもたらすための方略的知識）である。

○学生が「深い学びとは何か」を自ら体験できるようにした。そのために模擬授業も交えながら進めた。

4 受講生の反応・感想

私はこの授業で、深い学びにつながるためにはどのような授業をしていけばいいのかということを学びました。新学習指導要領の中でも、「主体的・対話的で深い学び」を行うことが最重要視されています。そのために、学校現場では様々な工夫を凝らした言語活動が行われています。しかし、活動に目を向けるあまり、本来大切な読みが浅くなってしまう傾向があると知りました。実際に、教育実習に行った際も、そのことを少し感じました。国語の学習で深い学びをしていく際に、まず大切なことは読みを深めていくことだと思います。そして、その読みを深めていくために大切になってくることは教師の発問であると思います。発問の質によって読みの深さは大きく違ってきます。（中略）そのためには、教師が教材についてしっかりと分析していくことが大切だと感じました。（中略）

最後に、この授業では主にごんぎつねについて深く学び、ごんぎつねという作品がとても好きになりました。また、毎回の授業がとても面白く楽しかったです。やはり、授業を「楽しい」と感じられることはとても大切なことだと思います。　（M・O）

4 受講生の反応・感想

ごんぎつねの授業では多数の教材分析の方法を学びました。反復表現・対比表現・オノマトペ・視点・比べ読み、一時間を使ってしっかりとその分析方法を学び、授業の進め方を実際に体験し、いろいろな考え、知識を得ることができました。その授業の中で、先生が学生たちに呼びかける発問がとても勉強になりました。「土間にくりが固めて置いてある」。この時にごんはどういう思いでくりを置いたのか。その質問を投げかけられると、ごんの気持ちに寄り添って考える機会になります。（中略）この発問から、ごんへの親近感、兵十への思いを共有することができます。私は一つの文章についてみんなで意見を言い合う、考えを共有し合うことが楽しいと感じました。新しい発見は喜びにもつながり、授業が一層深い学びになることを理解しました。さらに、先生は問いかけてから、長い時間考える時間を取ってくれました。私が先生だったら、その沈黙の時間が怖くなってしまい、自分で答えを言ってしまいそうになります。しかし、先生は急かすわけでもなく、否定するわけでもなく、それぞれの意見を認めてくれる。一緒に疑問を考えて、一層深い理解につなげていました。（M・M）

4 受講生の反応・感想

私は、この授業を通して、一つの物語に対し、深く学び合う楽しさ、大切さを知ることができた。（中略）反復表現の学習では、文章の中で繰り返し使われている言葉や文を取り上げた。その作業を行うことで、言葉の重要さや登場人物の性格や関係を探ることができた。小学校の時はこのような授業をしたことはなく、とても新鮮だった。（中略）私がこの授業で一番感心したのは、物語の続きを考えるという学習である。この講義では30人近くの学生が履修しており、その30人が自分だけの「ごんぎつね」を作ることができた。私は、兵十がごんが住んでいた山の中にお墓を作るという物語を考えた。しかし、他には、母親のお墓の近くにお墓を作る、すぐお参りできるから兵十の家の敷地の中にお墓を作るなど、いろいろな考えや意見を聞くことができた。この学習は正解のない学びであり、一人で学習すると知ることができなかった異質なものとの出会いをすることができた。（T・K）

【参考・引用文献】

- 全国大学国語教育学会編（1997）『国語科教師教育の課題』明治図書
- 鶴田清司（2005）『なぜ日本人は「ごんぎつね」に惹かれるのか～小学校国語教科書の長寿作品を読み返す～』明拓出版
- 鶴田清司（2007）『国語科教師の専門的力量の形成～授業の質を高めるために～』溪水社
- 鶴田清司（2011）『〈解釈〉と〈分析〉の統合をめざす文学教育～新しい解釈学理論を手がかりに～』学文社
- 望月善次（1990）『「分析批評」の学び方』明治図書
- Shulman,L.S.（2004）The Wisdom of Practice, Jossey-Bass

フォーラム（主催　広島大学大学院教育学研究科）
教員養成カリキュラムの現状から教科教育コアカリ策定の課題と展望を考える

2019年3月3日（日） 於：キャンパス・イノベーションセンター東京

教員養成課程を通した学生の成長

－教科指導の信念と授業構想の力量形成に注目して－

話題提供者：大坂 遊（徳山大学）

「社会科教師になりたい学生」の実像とは？

■3大学の中等社会科教師志望学生に対するアンケートをとりました。以下で，１年生から共通して最も支持を得た（自分が将来行いたいと思う）授業スタイルはどれでしょう？

1．教科書の解説と板書
2．ワークシートの空欄補充と解説
3．資料（映像，地図，統計，写真など）の読み取りと解釈
4．作品（モデル図，地図，年表，ポスターなど）の作成
5．教師の設定した課題の追求や問いの探求
6．子どもの調べ活動や話し合い活動
7．討論やディベート，プレゼンテーション（発表）
8．地域でのインタビューやフィールドワーク
9．インターネットやパワーポイント，電子黒板，タブレット端末などの電子教材の活用

**皆さんの想像と同じですか？違いますか？
なぜ，そうなったのだと思いますか？**

（中等社会科）教員養成の課題

■大学の「外」の世界からの教員養成の充実

・教育委員会主導の「教師塾」の台頭

・「学校ベース」の養成カリキュラムへの注目

→「中」の世界に対する不信…？

■学習内容の「洗い流し」と「回帰」

・教員養成で進歩的な教育観や授業のあり方を提起しても，入職後にはその考えが“洗い流されて（washed out）”しまう（Zeichner & Tabachnick;1981）

・入職後の教師を取り巻く世論の動向や周囲の環境が，彼らを教科書中心の伝統的歴史教育へと回帰させる大きな要因となっていることを指摘（Slekar;1998，川上;2012）

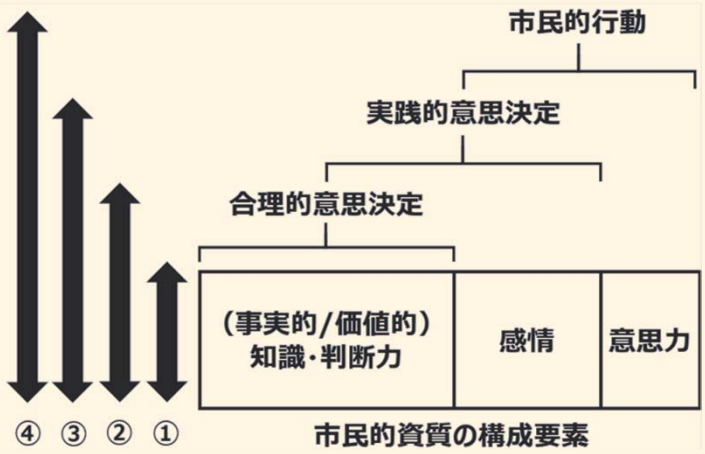
→「洗い流し」や「回帰」が発生するのは入職後からなのか？教員養成の過程で既にそれは起こっているのではないか？

長期的な視野で実態調査を行う中で，エビデンスベースドな研究をもとに議論を展開していく必要

社会科を教える上での「難しさ」とは？

■教科の目標論の多様さ（合意のなさ）と，射程の長さ

例：「市民的資質」と社会科の射程（森分,2001）



どこまでが社会科？どこまでが社会科教師の責任？

研究の枠組み：RQと全体のデザイン

■Research Question

RQ1：X大学の中等社会科教員養成カリキュラムの特質とは何か？

RQ2：X大学の中等社会科教員養成カリキュラムにおいて，教科教育系の科目はどのように位置づけられ，実施されているのか？

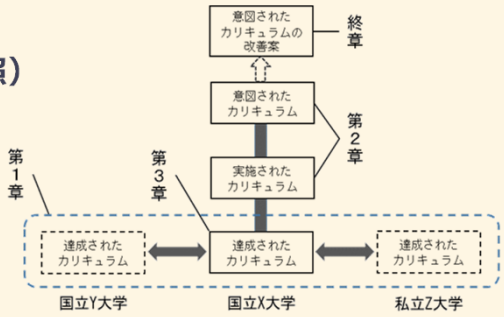
RQ3：同じX大学中等社会科教員養成カリキュラムで学びながら，社会科教員志望学生の力量形成に差が生じるのはなぜか？

RQ4：X大学の中等社会科教員養成カリキュラムは，どのように改善されるべきか？

■全体の見取り図（右図参照）

・伝統的教員養成系（Y大学），ゼロ免課程（X大学），教職課程系（Z大学）を比較して，X大学の特色を確認

・今回は博論第2章・第3章・終章の内容を再構成して発表



研究の枠組み：国立X大学のカリキュラムの特質

■分析方法：専攻開設科目の質と量の比較

・カリキュラムの分析の際，便宜的に専攻開設科目を「教科内容系科目」「教科教育系科目」「教育臨床系科目」の３つに分類

■前半期：教養科目から専門選択科目の履修へ

・１年次前期から２年次後期にかけて徐々に専攻独自の開設科目が増加していき，学習の中心が教科内容に関する科目から教科教育や教育実践に関する科目へと移行していく

■後半期：個人の関心に基づく多様な科目の履修へ

・前半期と比較して履修できる科目のバリエーションが大幅に増加するとともに，それぞれの学生の問題関心に応じた履修の裁量が増加

■カリキュラムにおける教科教育系科目の位置付け

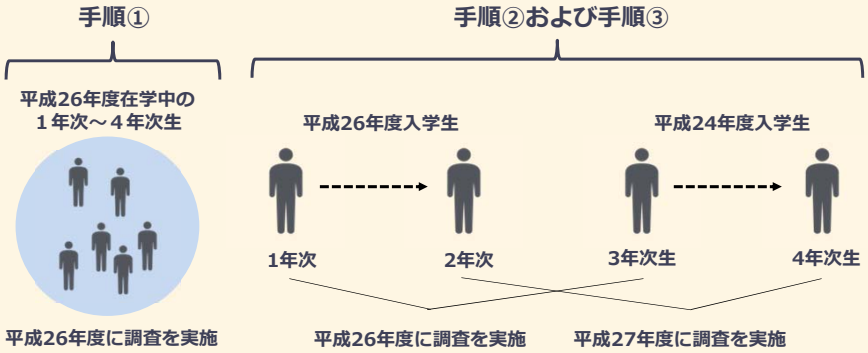
・社会科教育に関する理論や授業分析・改善の方法，授業プランや教材の作成・活用といった教科指導の力量を段階的に習得させる意図＝「マイルストーン」としての位置づけ

	１年次	２年次	３年次	４年次	合計
教科内容系科目数	5	１４	２３	0	４２
教科教育系科目数	1	１０	8	0	２０
教育臨床系科目数	1	7	7	1	１６

研究の枠組み：研究の方法と手順

■採用した研究方法

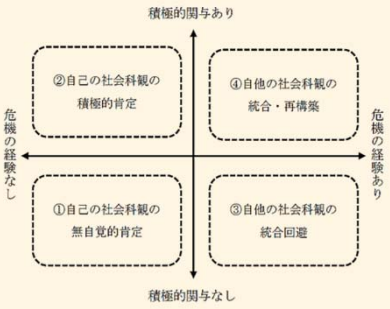
・単純集計による量的調査と「絶えざる比較法（メリアム;2004）」などの質的研究法を組み合わせた混合研究法（クレスウェル;2007）
→①質問紙調査による社会科観の傾向分析と継続調査対象の選定，
②半構造化インタビューによる社会科観の実態把握，
③授業プラン（学習指導案）作成課題による授業構成力の評価



※補足：社会科観・授業構成力の評価方法

・Marcia（1966）の「アイデンティティ・ステイタス」論を援用して「社会科観のステイタスモデル」を構想
→社会科観の確立に向けて，どのように「危機（crisis）」に対処して克服しようとしているかの行動パターンを4つに類型化

・谷田部（2009）や田口ら（2009）による授業評価の枠組みを参照
→特定の授業理論に依拠しない包括的な授業プランの分析観点を設定



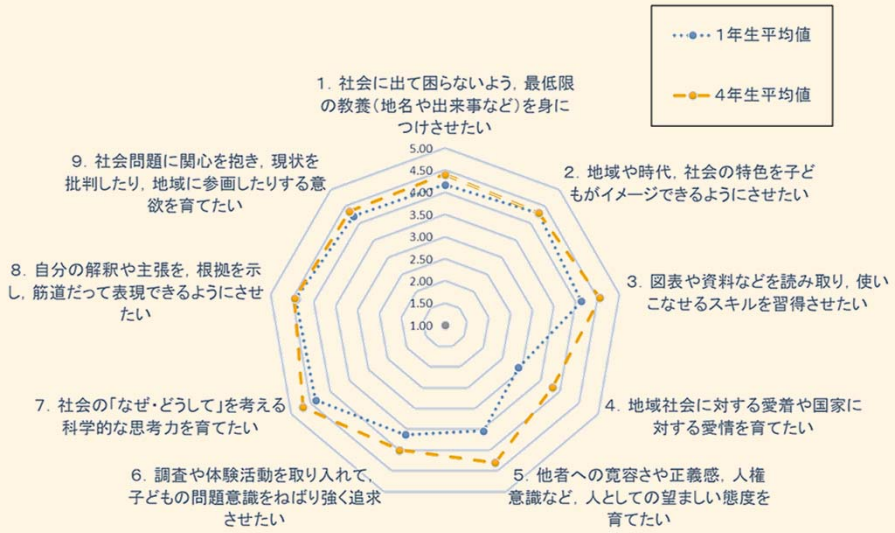
▲社会科観のステイタスモデル

観点	観点の定義
①MQ	１時間を貫く探求課題が設定できているか
②目標	目標が授業の到達目標として記述できているか
③展開	授業の展開を，複数の学習段階に分けて組織することができているか
④方法	教師の解説に終止するだけでなく，子どもたちの作業や活動を含めた学習として授業を設計することができているか
⑤内容	教科書記述の解釈にとどまらず，より自立的・発展的な教材研究の成果をふまえた教育内容構成ができているか
⑥評価	学習の到達点を子どもたちに確認させるようなまとめ・総括の場面があるか

▲授業プランの評価観点

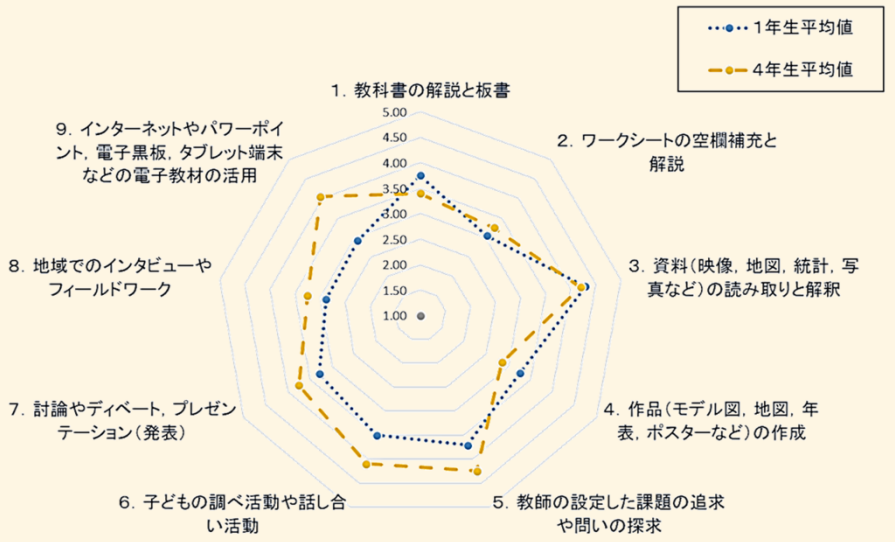
結果と考察：学生の社会科観とカリキュラム自己評価
－1年次生と4年次生の量的調査の比較から－

現在目指す授業の目標（問1）



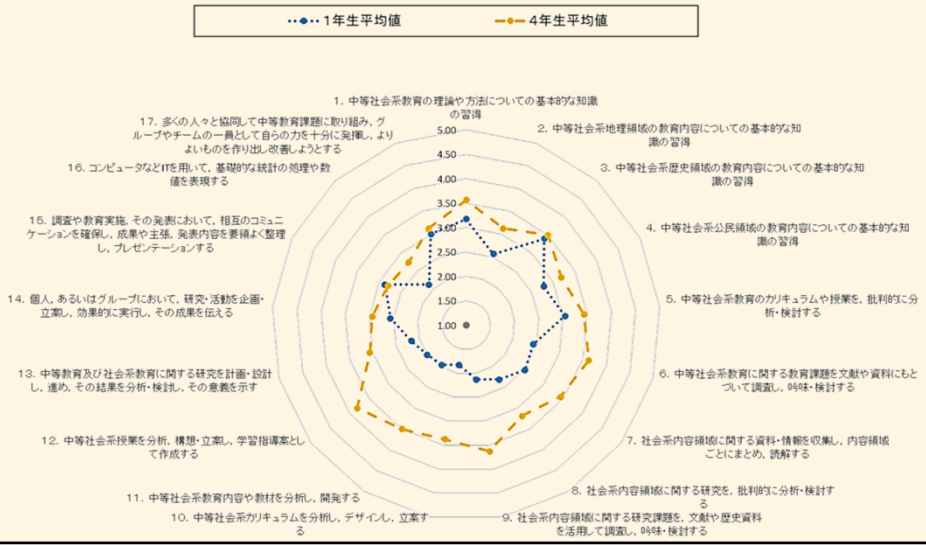
結果と考察：学生の社会科観とカリキュラム自己評価
－1年次生と4年次生の量的調査の比較から－

現在用いたいと思う授業の方法（問2）



結果と考察：学生の社会科観とカリキュラム自己評価
－1年次生と4年次生の量的調査の比較から－

大学カリキュラムの自己評価（問6）



結果と考察：社会科観と授業構成力の同時的形成の例
－カリキュラム前半（1年次～2年次）の事例：C氏の場合－

■ 1年次の社会科観の概要と対応する語り

・3つの社会科観が抽出

①楽しくためになる・受ける価値があると思える授業

②自己の生き方を決定するための基盤になる教科

③能力判定の評価を行う指標になる教科

・教科教育系科目を学んだ経験が自身の社会科観の形成に寄与したと語る

→大学で学んだ講義の内容を分析しながら，自身の経験を振り返る語りが多い

前半と後半で先生が違いますよね。で，前半はこう，テキストに指導案と，その先生が考える授業観。どういうふうにそういう授業を行ったらいいか，っていうのがあるじゃないですか。それによって，「あ，なるほど。こういうふうに考えて，この先生はこう（授業を）構成したんだなあ」っていう，こう…なんですかね。いろんな先生の授業観…っていうか，そういうのを少しずつ学んだ，分けていただいたっていう印象があります。はい。で，たぶん後半は…どちらかと言うと，こう…授業をみて，その授業と指導案…を比べて。それこそ，なんですかね…観察実習みたいな感じで。授業をもとに，授業を分析する力をつけるのかな【略】

・社会科を通して特定の能力・資質を育成する「社会科手段型」と，社会科自体を学ぶべき対象とみなす「社会科目的型」という矛盾する社会科観を併せ持っており，その矛盾を自覚して葛藤している状態

結果と考察：社会科観と授業構成力の同時的形成の例
－カリキュラム前半（1年次～2年次）の事例：C氏の場合－

■ ２年次の社会科観の概要と対応する語り

・矛盾する社会科観を引きずりながらも，自身が社会科観として支持できるのは「よりよい主権者を育てたい」点であると語るようになる

今は考えたら，どっちかっていうよりは，社会科の先生としては，その日本史の先生よりも，世界史の先生のほうが優れてたんじゃないかなっていうのが，すごい感じるようになりましたね。【…】（世界史の先生は）「これを教えたい」というか，授業の問い…問いというか授業の柱となるものが，けっこう何ヶ月とかに渡って長いスパンで考えれた先生だと思うんですよ。【…】やっぱりしっかり前提として【…】そこ（自分の個性）を変えるっていうよりは，授業のつくり方っていうのを変えて…変えてっていうかきっちりとしてあげないと【…】ああ聞いてもらえないんかなって考えますね。

・２年次から始めた塾講師の指導経験を通して，

①教師の授業構成の意図と子どもの評価が乖離する点に気付いたこと，

②それを自身の被教育体験に照らして省察した時に，自身も同様に子どもの立場で世界史教師の授業を評価していたこと，

③改めて恩師の授業を振り返った時に，長期的なカリキュラムデザインや単元構成を行っていた点から高く評価できると考えるようになったこと，

…というプロセスを経て，2人の恩師の評価が逆転するようになった

結果と考察：社会科観と授業構成力の同時的形成の例
－カリキュラム前半（1年次～2年次）の事例：C氏の場合－

■ １年次の中学校社会科歴史的分野「日清戦争」授業プラン

・日清戦争時の国民意識の形成に注目し，国内政治・社会の動向を重視する授業を構想

→教科書記述の意図する教育内容・授業展開に準拠しつつ，独自の教材研究によって着想を得た「ナショナリズムの形成」の視点を盛り込む

→「日清戦争が発生した過程をとらえさせ，日清戦争による日本の対外，対内における変化を理解することができる」ことを授業の目標に設定

→授業は導入―展開―終結の３つのパートで構成，日清戦争が勃発した要因や背景を問うMQが導入部で提示され，終結でそのまとめを行う

✓ 観点①MQ
✓ 観点②目標
✓ 観点③展開
観点④方法
✓ 観点⑤内容
✓ 観点⑥評価

	指示・発問等	子どもに習得させたい知識（紙幅の都合で省略）
導入	・日清戦争直前の海外情勢はどのようなものだったか ◎どのようにして日清戦争は発生したのか	
展開	○日清戦争発生のきっかけは何か ・教科書の風刺漫画は何を表すか ○下関条約はどのような内容だったか ○日清戦争後の日本と世界の情勢はどうなったか ・教科書の中国分割図，風刺漫画は何を表すか ・三国干渉とはどのようなものだったか（風刺漫画，資料集）	
終結	◎日清戦争後の日本は対内外面においてどのように変化したか ・賠償金の用途を述べよ（教科書のグラフ）	

結果と考察：社会科観と授業構成力の同時的形成の例
－カリキュラム前半（1年次～2年次）の事例：C氏の場合－

■ ２年次の中学校社会科歴史的分野「日清戦争」授業プラン

・日清戦争の背後にある近代帝国主義とナショナリズムの形成に注目し，日清戦争を題材に当時の日本を置かれた思想的潮流を探究させる授業プランを構想

→導入－展開①－展開②－終結という４つの学習展開から構成

→補助教材として教材研究にもとづいて独自に図表等の教材を作成したり，学習成果をワークシートに記述させる学習活動を想定

→歴史学の専門書や歴史学者の著作が参考文献欄に明記

◎ 観点①MQ
✓ 観点②目標
✓ 観点③展開
観点④方法
◎ 観点⑤内容
✓ 観点⑥評価

	指示・発問	資料（省略）	活動（省略）	学習内容（省略）
導入	・資料①「魚釣りの会」は何を表しているだろう ・なぜ日清戦争が起こったのだろう ●なぜ日本は朝鮮に出兵したのだろう			
展開①	・なぜ甲午農民戦争が起こったのだろう ・なぜ欧米の外国人は朝鮮に進出していたのだろう ○なぜ欧米諸国は植民地を増やしていったのだろう ・日本は欧米からの侵略を受けていないだろうか			
展開②	・日本は侵略以外に独立，繁栄の道を図る方法はなかったのだろうか ○なぜ紳士くんの説がとられなかったのだろう			
終結	●なぜ日本は朝鮮に出兵したのだろう ・日本は豪傑くんと紳士くんのどちらの説を採用するべきだっただろうか			

結果と考察：社会科観と授業構成力の同時的形成の例
－カリキュラム後半（3年次～4年次）の事例：D氏の場合－

■ ３年次の社会科観の概要と対応する語り

※高校時代の恩師に自分の授業が面白くなくて申し訳ないという謝罪をされた経験があり，自身の社会科観の模索につながっていることが示唆

そうですね…理想の社会科…。やっぱ，もう，知識の羅列とかよりかは，その，選ぶ知識っていうか，そういうのは，もう少なくてもいいので，なんか，それの根幹になる背景っていうか，特色というか，そういうふうなんがある…。【…】で，まあ…その，活用って言うと…なんて言ったらいいですかね。実際，歴史の出来事とかは，そのまま活用できないかもしれないですけど，それが，なんか，別の概念とかに置き換えるっていうか…が，その，置き換えられた何かが，もしかしたら使えるのじゃないのかな…。

・歴史の学習が単なる事象の羅列を学ぶためにあるのではないことを強調しつつ，現代の社会を検討する上で活用できる知識や概念の獲得を目指すべきであるという社会科観が垣間見える

・簡潔明瞭に自らの社会科観を説明することができずに逡巡する姿や，「根幹」「特色」「背景」「概念」などの様々な用語で言い換えながら自らの社会科観を語ろうともがく姿が見られる

結果と考察：社会科観と授業構成力の同時的形成の例
－カリキュラム後半（3年次～4年次）の事例：D氏の場合－

■ ４年次の社会科観の概要と対応する語り

・３年次の社会科観を引き続き支持しているとした上で，次のような形で語られるようになる

> 3年生の時に国際政治学っていう授業をうけて。【中略】それが，いわゆる歴史的な事象から概念，社会諸科学，今の社会の構成とか諸課題を照らしだすような一種の虫眼鏡の役割を果たしている概念とか理論，法則とかを事象から見出すっていう風な考え方っていうのは，【…】実際に専門的な内容の科目を受けたことで具体的に鮮明に（なって）。【…】自分自身が歴史教育の，実際自分が先生になる前に自分なりの歴史教育観を構築して先生になりたいって思ってるので，そういう歴史事象だけを教えるんじゃなくて，それから今にも繋がる何かっていうのを見出だせる授業っていうのが大事かなと思います。

・自身の学んだ授業を通して事例を挙げながら，「社会諸科学の概念を活用して歴史的な事象を分析し，現代社会の諸課題を照らし出す」という自身の社会科観・歴史教育観を明瞭に説明できるようになっている

→自身の社会科観と親和性の高いアメリカの教育学者の歴史教育観に出会い，卒業論文でその論を踏まえた歴史単元構成原理を模索した経験や，その原点となった国際政治学の授業が背景にあることが示唆

結果と考察：社会科観と授業構成力の同時的形成の例
－カリキュラム後半（3年次～4年次）の事例：D氏の場合－

■ ３年次の中学校社会科歴史的分野「日清戦争」授業プラン

・国際関係の変化と日本の外交安全保障政策の理解を重視する授業を構想

→「日清戦争前後での国際関係がどのように変化したのかを理解する（知識理解）」など，観点別の目標設定が意識されている

→導入－展開①－展開②－終結の4つの展開から構成，前半が日清戦争の発生した経緯とその結末について，後半が日清戦争による清の敗北で国際関係がどのように変化したかが扱われる

→展開ごとに取り扱う主要なテーマや学習活動が記述された「副題」がある

→高等学校世界史の教科書や歴史学者の専門書を参考文献に挙げ，日清戦争の社会史的な背景を教育内容に導入しようとしたことが伺える

✓ 観点①MQ
✓ 観点②目標
✓ 観点③展開
観点④方法
✓ 観点⑤内容
観点⑥評価

流れ	副題（省略）	指示・発問	資料（省略）	教授・学習活動（省略）	学習内容（省略）
導入		・古代から日本と中国はどのような関係であったか？ ◎なぜ，日本がパイ（中国）の分割に参加しているのだろうか？			
展開①		○日本と清（中国）の間に何が起きたのか？			
展開②		○清の敗北でどのような変化が起きたか？			
終結		◎なぜ，日本がパイ（中国）の分割に参加しているのだろうか？			

結果と考察：社会科観と授業構成力の同時的形成の例
－カリキュラム後半（3年次～4年次）の事例：D氏の場合－

■ ４年次の中学校社会科歴史的分野「日清戦争」授業プラン

・子どもとの“身近さ”や“現代との関連”の見出だせる学習をより意図的・計画的に実現しようとした日清戦争の授業を構想

→「日清戦争時の広島の歴史と現在の広島についての関心を持っている（関心・意欲・態度）」などの4点を目標に設定，目標の数が増加し，内容も具体化

→導入－展開①－展開②－終結の4つの展開から構成され，「MQの提示」，「当時と今の広島の比較」などの副題が付され，展開ごとの想定時間が記入

→終結部に日清戦争当時の時代状況と今日の広島城や子どもたちとの暮らしを考えさせる，導入部より発展的なMQが提示

→生徒が学習したり自身の意見を記入できるワークシートや独自資料が追加

→自身が教材研究のために広島城にフィールドワークに赴いた成果を授業に反映

✓ 観点①MQ
◎ 観点②目標
✓ 観点③展開
✓ 観点④方法
◎ 観点⑤内容
✓ 観点⑥評価

流れ	副題（省略）	指示・発問	教授・学習活動（省略）	学習内容（省略）
導入		◎なぜ日清戦争時（1894年）に広島が首都になったのだろうか？		
展開①		○なぜ日清戦争が勃発したのだろうか？		
展開②		○日清戦争時と今の広島を比較して，読み取れることは何か？		
終結		◎なぜ日清戦争時（1894年）に広島が首都になったのだろうか？ ◎当時，大本営が置かれていた場所（広島城）は今どのようになっているだろうか？		

結果と考察：社会科観の「強化」や「揺り戻し」の例
－カリキュラム前半（1年次～2年次）の事例：A氏の場合－

■ １年次から２年次にかけての社会科観の語り

Q.理想とする社会科／歴史授業のイメージは？（１年次）

なんか，高校の時に世界史のすごい先生がいたんですけど。【…】なんかもう，その，ノートとかとらなくても，言ってたことが全部，こう…もうインパクトがエグくて，もう。全部こう，頭に残ってて。で，なんか，もう…その単語が出ると，「あ，あの先生に受けた授業だ」っていうのがあって。【…】たぶん政治経済っていうふうに学ぶよりも，歴史を通して学んだほうが，たぶんもうちょっと入って（いきやすい）…流れとかストーリーとかあるんで。わかりやすい，頭に入りやすい，聞きやすい，のかなって思うんですけど。

Q.自身の社会科／歴史授業のイメージに影響を与えた出来事は？（２年次）

やっぱり，くっつき（教育実習観察）で見たのが大きかった感じ。それは。なんか先輩が授業してるのを見て，私たちは生徒側に近い方から見てるので。「この先生分かりやすいね」とか「声小さいね」とか生徒が言ってるのが聞こえてくるので。ああ，こういう風に見てるんだと思って。【…】それまでは実際自分が受けてた授業と，授業を自分がするっていうイメージしかなかったので。漠然としたイメージしかなかったので。【…】そこをもうちょっと意識するようにはなったっていうか。

・教科教育系科目や教育臨床系科目の学びを経て，“ストーリー”と“インパクト”を重視する教養主義的な社会科観を維持・強化するようになる

※授業構成力は3観点から5観点に増加，質的にも深化

結果と考察：社会科観の「強化」や「揺り戻し」の例
－カリキュラム後半（3年次～4年次）の事例：A氏の場合－

■３年次から４年次にかけての社会科観の語り

Q.理想とする社会科／歴史授業のイメージは？（３年次）

歴史に興味が無い子とか，歴史とかよくわからないなあって子に，「これはこうなんだ」って教え（て），ただ単にその，羅列（的に）教えて，へえ～って終わってしまうのはよくないと思って。【…】センター（試験対策）とかもあるんですけど，やっぱ苦手な子に対しては，まずはその，本を読みたいなと思う…その，歴史って面白いなって思うところまで，その子の背中を押してあげることがやっぱり教師の仕事なんじゃないかなって，いうのがちょっとありまして。【…】だからこそ，特に歴史はアクティブ・ラーニングをすべきなんじゃないかなって。

Q.大学受験などの制約を一切考慮しない場合，どのような授業が理想？（４年次）

まあ，教えたいなって思うとしたら古代のローマとギリシャの民主政治の成立とか，ああいったところは今も繋がるっていうかある種のきっかけになるとは思うんで。【…】実際教えるには必要，我々が知識として取っておくには必要だと思うんですけど。教えるにあたってはそれはいるのかなって思ったりとか。【…】時間が無限にあるんだったらどんどん教えていきたいとは思うんですけど。限られてる時間の中で教えていくにあたっては必要かどうかっていうのが悩まれるところ。

・将来指導する生徒の多様なニーズを念頭に置いて，現実的な状況下における教科指導のあり方を模索し，葛藤している様子がうかがえる

※授業構成力は5観点のままだが，うち4観点が質的に深化

結果と考察：授業構成力の形成プロセス

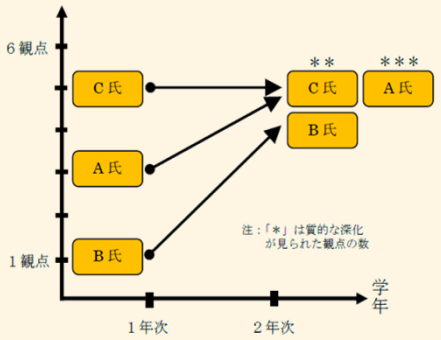
■授業構成力は単線的に，比較的“順調に”形成されていく

・１年次～２年次にかけては飛躍的に成長する

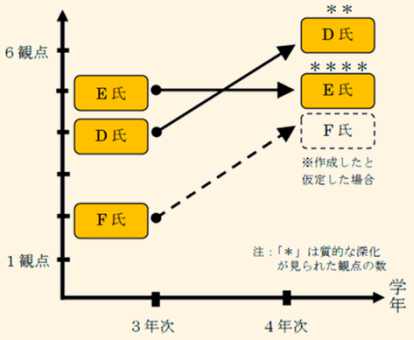
→カリキュラムが期待する「よい授業／よい指導案」を内在化していく

・３年次～４年次にかけては漸進的に成長する

→既にカリキュラムが要求する最低限の基準を満たした上で，教育実習や教員採用試験を経験し，さらに質的に深化・合理化されていく



▲教員養成前期の授業構成力の形成



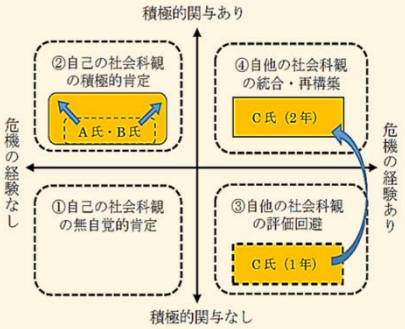
▲教員養成後期の授業構成力の形成

結果と考察：社会科観の形成プロセス

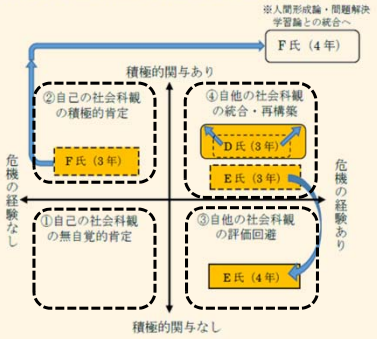
■社会科観は「危機」を「危機」として受け止めるかどうかで形成のプロセスが異なる

・「危機」を経験／意識して統合をめざす1年次，回避する4年次
→理論的・合理的に整合させるC氏，現実的・妥協的に整合させるE氏

・「危機」を経験／意識せず強化する前半期，回避（逃避?）する後半期
→被教育体験にこだわるA氏・B氏，教科教育の目標追求に興味を失ったF氏



▲教員養成前期の授業構成力の形成



▲教員養成後期の授業構成力の形成

示唆：養成カリキュラムにおける「危機」の重要性

■授業構成力形成と社会科観形成の不一致

・“洗い流し”や“回帰”は，既に養成カリキュラムから始まっている
→いかに“初心に戻らせない”かが肝心？
※参考：米国「rationale development（合理的根拠付けの形成）」の応用
とりわけ教育目標が重視される社会科教育において提唱された概念であり，教師が自己の授業の目標を合理的に説明できる能力（の発展するプロセス）である（Hawley&Crowe;2016）

・（X大学においては）4つの「危機」を段階的に経験した学生が，たえず社会科観を省察し授業づくりを模索し続けることができていた

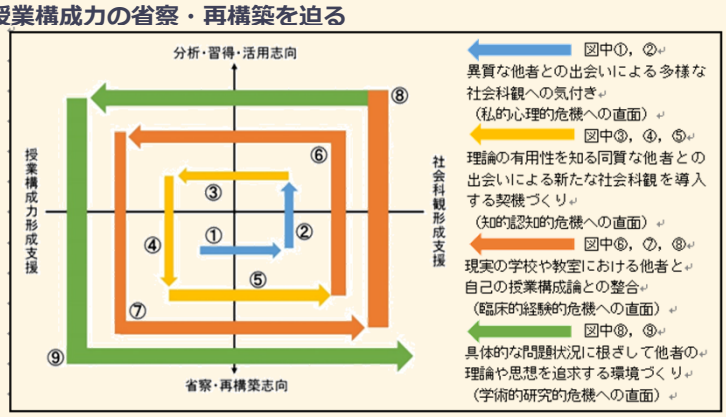
私的心理的危機	被教育体験期や大学カリキュラムでの学びを通して，自身が受けてきた授業や教育に対する戸惑いや不安，違和感やわだかまりを再確認し，自分自身の中に問題意識や課題意識が形成される状態
知的認知的危機	大学の公的カリキュラム，とりわけ教科教育系の授業科目を通して，社会科教育に関する新たな価値や意義を学び，自己の社会科観の再検討を迫られ，自己以外が持っている多様な価値との葛藤や融合を試みる状態
臨床的経験的危機	教育実習で附属教員や生徒から，あるいは塾講師や家庭教師をする中での子どもや保護者といった“他者”から，授業に対して異議申し立てを受けた経験を通して，社会科観の再検討を迫られる状態
学術的研究的危機	教科教育系科目の演習課題や卒業論文などの研究に従事して，社会科教育の本質の究明や実態の調査・解明，また理論やコンテクストに即した授業を開発することを求められる経験を通して，自己の社会科観のさらなる変革や精緻化が求められる状態

示唆：養成カリキュラムにおける「危機」の重要性

■意図的計画的に「危機」に直面させるカリキュラムの提案

・X大学カリキュラムの特徴を活かしつつ，漸進的に改善するために…

→教科教育系科目や教育臨床系科目を足がかりとして，たえず自己の社会科観・授業構成力の省察・再構築を迫る



※上記の提案は，あくまでもX大学の学生の実態とカリキュラムの特徴をふまえた個別性の強いもの。各大学の実態をふまえたカリキュラムの改善を検討する必要がある。

引用文献一覧

1. Hawley, T. S., & Crowe, A. R. (2016). Making Their Own Path: Preservice Teachers' Development of Purpose in Social Studies Teacher Education. Theory and Research in Social Education, 44, 416-447.
2. Marcia, J. E.（1966） Development and validation of ego-identity status. Journal of Personality & Social Psychology, 3, pp.551-558.
3. Slekar, T. D. (1998). Epistemological Entanglements: Preservice Elementary School Teachers' "Apprenticeship of Observation" and the Teaching of History. Theory and Research in Social Education, 26(4), 485-507.
4. Zeichner, K. & Tabachnick, B. R. (1981). Are the Effects of University Teacher Education Washed Out by School Experiences?, Journal of Teacher Education, 32,7-11.
5. 川上具美（2012）「米国歴史教育におけるディシプリン・ギャップ（Disciplinary Gap）に関する研究」『カリキュラム研究』第21号，pp.85-98.
6. クレスウェル，J. W. （2007）『研究デザイン－質的・量的・そしてミックス法』（操華子・森岡崇訳）日本看護出版会.
7. 田口紘子・溝口和宏・田宮弘宣（2009）「実践的な力量形成を実現する教員研修モデルカリキュラムに関する研究―「社会科授業実践力診断カルテ」の開発を通して―」『鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要』第19巻，pp.13-22.
8. メリアム，S. B.（2004）『質的調査法入門　教育における調査法とケース・スタディ』（堀薫夫・久保真人・成島美弥訳）ミネルヴァ書房.
9. 谷田部玲生（研究代表者）（2009）『社会系教科における現職教員の授業力向上プログラム作成のための研究』国立教育政策研究所.

第 7 章

成個別大学資料（アンケート回答、カリキュラム）

＊「第７章　個別大学資料」は報告書概要冊子版では例として１大学の１教科分のみ掲載。全資料は報告書デジタル総合版にのみ所収

大学 No.01

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

国語についての研究を通じて、幅広い知識と視野をもち、かつ高い専門性をもった中学校教員となることを目指す。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.01　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本語学概論Ⅰ																
日本語学概論Ⅱ																
漢文学概論																
日本文学史Ⅰ																
日本文学史Ⅱ																
中学校国語科教育法Ⅰ																
国語表現																
書法Ⅰ(中のみ)																
日本語学講読Ⅰ																
日本語学講読Ⅱ																
日本語学講読Ⅲ																
日本語学講読Ⅳ																
日本語学演習Ⅰ																
日本語学演習Ⅱ																
国語科研究法																
日本語学研究法																
近代文学講読Ⅰ																
近代文学講読Ⅱ																
近代文学講読Ⅲ																
古典文学講読Ⅰ																
古典文学講読Ⅱ																
古典文学講読Ⅲ																
漢文学講読Ⅰ																
漢文学講読Ⅱ																
漢文学講読Ⅲ																
中学校国語科教育法Ⅱ																
中学校国語科教育法Ⅲ																
中学校国語科教育法Ⅳ																
言葉の発達と教育Ⅰ																
言葉の発達と教育Ⅱ																
国語授業のしくみⅠ																
国語授業のしくみⅡ																
高等学校国語科教育法Ⅰ																
高等学校国語科教育法Ⅱ																

大学 No.01

【どのような資質・能力を有する中学校社会、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

社会についての研究を通じて、幅広い知識と視野を持ち、かつ高い専門性を持った中学校教員となることを目指す。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.01　中学校（社会）

授業科目名（黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概説																
西洋史概説																
東洋史概説																
自然地理学																
社会学概論																
地理学概論																
文化人類学																
法律学概論																
政治学概論																
国際政治																
経済学概論																
哲学概論																
倫理学概論																
日本史特講																
地方史																
倫理学特講																
日本史演習Ⅰ																
日本史演習Ⅱ																
西洋史演習Ⅰ																
西洋史演習Ⅱ																
世界史特講Ⅰ																
世界史特講Ⅱ																
地理学演習Ⅰ																
地理学演習Ⅱ																
地誌学																
人文地理学																
地理学実習																
文化人類学演習Ⅰ																
文化人類学演習Ⅱ																
法律学演習Ⅰ																
法律学演習Ⅱ																
政治学演習Ⅰ																
政治学演習Ⅱ																
社会学特講																
経済学演習Ⅰ																
経済学演習Ⅱ																
哲学演習Ⅰ																
哲学演習Ⅱ																
倫理学演習Ⅰ																
倫理学演習Ⅱ																
哲学特講Ⅰ																
哲学特講Ⅱ																
中学校社会科教育法Ⅰ																
中学校社会科教育法Ⅱ																
中学校社会科教育法Ⅲ																
中学校社会科教育法Ⅳ																

授業科目名（黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
地誌学実習																
法律学特講																
国際経済																
経済学特講																
日本史演習Ⅲ																
日本史演習Ⅳ																
西洋史演習Ⅲ																
西洋史演習Ⅳ																
地理学演習Ⅲ																
地理学演習Ⅳ																
文化人類学演習Ⅲ																
文化人類学演習Ⅳ																
異文化理解論																
法律学演習Ⅲ																
法律学演習Ⅳ																
政治学演習Ⅲ																
政治学演習Ⅳ																
経済学演習Ⅲ																
経済学演習Ⅳ																
哲学演習Ⅲ																
哲学演習Ⅳ																
倫理学演習Ⅲ																
倫理学演習Ⅳ																
文化人類学特講																
日本史演習Ⅴ																
日本史演習Ⅵ																
西洋史演習Ⅴ																
西洋史演習Ⅵ																
地理学演習Ⅴ																
地理学演習Ⅵ																
文化人類学演習Ⅴ																
文化人類学演習Ⅵ																
法律学演習Ⅴ																
法律学演習Ⅵ																
政治学演習Ⅴ																
政治学演習Ⅵ																
経済学演習Ⅴ																
経済学演習Ⅵ																
哲学演習Ⅴ																
哲学演習Ⅵ																
倫理学演習Ⅴ																
倫理学演習Ⅵ																
東洋史演習Ⅰ																
東洋史演習Ⅱ																
東洋史演習Ⅲ																

大学 No.01　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概説																
西洋史概説																
東洋史概説																
自然地理学																
地理学概論																
文化人類学																
日本史特講																
地方史																
高等学校地理歴史科教育法Ⅰ																
高等学校地理歴史科教育法Ⅱ																
日本史演習Ⅰ																
日本史演習Ⅱ																
西洋史演習Ⅰ																
西洋史演習Ⅱ																
世界史特講Ⅰ																
世界史特講Ⅱ																
地理学演習Ⅰ																
地理学演習Ⅱ																
地誌学																
人文地理学																
地理学実習																
文化人類学演習Ⅰ																
文化人類学演習Ⅱ																
地誌学実習																
日本史演習Ⅲ																
日本史演習Ⅳ																
西洋史演習Ⅲ																
西洋史演習Ⅳ																
地理学演習Ⅲ																
地理学演習Ⅳ																
文化人類学演習Ⅲ																
文化人類学演習Ⅳ																
異文化理解論																
文化人類学特講																
日本史演習Ⅴ																
日本史演習Ⅵ																
西洋史演習Ⅴ																
西洋史演習Ⅵ																
地理学演習Ⅴ																
地理学演習Ⅵ																
文化人類学演習Ⅴ																
文化人類学演習Ⅵ																
東洋史演習Ⅰ																
東洋史演習Ⅱ																
東洋史演習Ⅲ																

大学 No.01　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会学概論																
法律学概論																
政治学概論																
国際政治																
経済学概論																
哲学概論																
倫理学概論																
倫理学特講																
高等学校公民科教育法Ⅰ																
高等学校公民科教育法Ⅱ																
法律学演習Ⅰ																
法律学演習Ⅱ																
政治学演習Ⅰ																
政治学演習Ⅱ																
社会学特講																
経済学演習Ⅰ																
経済学演習Ⅱ																
哲学演習Ⅰ																
哲学演習Ⅱ																
倫理学演習Ⅰ																
倫理学演習Ⅱ																
哲学特講Ⅰ																
哲学特講Ⅱ																
法律学特講																
国際経済																
経済学特講																
法律学演習Ⅲ																
法律学演習Ⅳ																
政治学演習Ⅲ																
政治学演習Ⅳ																
経済学演習Ⅲ																
経済学演習Ⅳ																
哲学演習Ⅲ																
哲学演習Ⅳ																
倫理学演習Ⅲ																
倫理学演習Ⅳ																
法律学演習Ⅴ																
法律学演習Ⅵ																
政治学演習Ⅴ																
政治学演習Ⅵ																
経済学演習Ⅴ																
経済学演習Ⅵ																
哲学演習Ⅴ																
哲学演習Ⅵ																
倫理学演習Ⅴ																
倫理学演習Ⅵ																

大学 No.01

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

数学教育についての高い専門性を身に付けた中学校教員となることを目指す。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.01　中学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
現代数学概説																
代数学入門																
幾何学入門																
解析学入門																
中学校数学科教育法Ⅰ																
代数学Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
解析学Ⅰ																
中学校数学科教育法Ⅱ																
代数学Ⅱ																
幾何学Ⅱ																
解析学Ⅱ																
確率論Ⅰ																
高等学校数学科教育法Ⅰ																
高等学校数学科教育法Ⅱ																
代数学Ⅲ																
幾何学Ⅲ																
解析学Ⅲ																
解析学Ⅵ																
統計学Ⅰ																
確率論Ⅱ																
コンピュータ																
中学校数学科教育法Ⅲ																
中学校数学科教育法Ⅳ																
代数学Ⅳ																
幾何学Ⅳ																
解析学Ⅳ																
統計学Ⅱ																
応用数学																
代数学Ⅴ																
幾何学Ⅴ																
解析学Ⅴ																
解析学Ⅶ																
代数学演習																
幾何学演習																
解析学演習																

大学 No.01　高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的･包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
現代数学概説																
代数学入門																
幾何学入門																
解析学入門																
中学校数学科教育法Ⅰ																
代数学Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
解析学Ⅰ																
中学校数学科教育法Ⅱ																
代数学Ⅱ																
幾何学Ⅱ																
解析学Ⅱ																
確率論Ⅰ																
高等学校数学科教育法Ⅰ																
高等学校数学科教育法Ⅱ																
代数学Ⅲ																
幾何学Ⅲ																
解析学Ⅲ																
解析学Ⅵ																
統計学Ⅰ																
確率論Ⅱ																
コンピュータ																
中学校数学科教育法Ⅲ																
中学校数学科教育法Ⅳ																
代数学Ⅳ																
幾何学Ⅳ																
解析学Ⅳ																
統計学Ⅱ																
応用数学																
代数学Ⅴ																
幾何学Ⅴ																
解析学Ⅴ																
解析学Ⅶ																
代数学演習																
幾何学演習																
解析学演習																

大学 No.01

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

理科教育についての高い専門性を身に付けた中学校教員となることを目指す。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.01　中学校・高等学校（理科）

授業科目名（黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物理学概論Ⅰ																
化学概論Ⅰ																
生物学概論Ⅰ																
地学概論Ⅰ																
物理学概論Ⅱ																
化学概論Ⅱ																
生物学概論Ⅱ																
地学概論Ⅱ																
中学校理科教育法Ⅰ																
化学基礎実験																
生物学基礎実験																
力学Ⅰ																
分析化学Ⅰ																
物理化学Ⅰ																
物理化学Ⅱ																
生物学実験Ⅰ																
古環境論																
大気科学																
臨海実習																
中学校理科教育法Ⅱ																
高等学校理科教育法Ⅰ																
理科教育研究Ⅰ																
理科教材研究Ⅰ																
物理学基礎実験																
地学基礎実験																
力学Ⅱ																
分析化学Ⅱ																
中学校理科教育法Ⅲ																
理科教育研究Ⅱ																
理科教材研究Ⅱ																
理科教育特講Ⅰ																
電磁気学Ⅰ																
熱力学																
物理学実験・実習Ⅰ																
情報化学																
生物の科学Ⅰ																

授業科目名（黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生物の科学Ⅱ																
生物の科学Ⅲ																
生物学実験Ⅲ																
生物学特講Ⅰ																
地学実験Ⅰ																
地学演習Ⅰ																
化学実験Ⅰ																
中学校理科教育法Ⅳ																
高等学校理科教育法Ⅱ																
理科教育研究Ⅲ																
理科授業研究																
理科教育特講Ⅱ																
物理学特講Ⅰ																
物理学演習Ⅰ																
物理学実験・実習Ⅱ																
分析化学Ⅲ																
環境情報科学																
物理化学Ⅲ																
生物学実験Ⅱ																
生物学特講Ⅱ																
地学実験Ⅱ																
地学演習Ⅱ																
化学実験Ⅱ																
地質野外巡検Ⅰ																
理科教育演習Ⅰ																
物理学特講Ⅱ																
生物学演習Ⅰ																
地学演習Ⅲ																
理科教育演習Ⅱ																
電磁気学Ⅱ																
物理学演習Ⅱ																
生物学演習Ⅱ																
地学演習Ⅳ																
野外実習																
地質野外巡検Ⅱ																

大学 No.03

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

・専門的な知識・技能を修得し、教育現象を深く洞察できる力。
・教育者としての倫理観・向上心をもち、教育実践を主体的に推進できる力。
・日々変化する教育課題の解決に貢献・尽力し続ける力。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.03　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本語学Ⅰ																
漢文学Ⅰ																
日本語学Ⅱ																
日本文学Ⅰ																
日本文学Ⅱ																
国語科教育法																
書道Ⅰ（中のみ）																
日本語学演習Ⅰ																
日本語学演習Ⅲ																
日本文学講読Ⅱ																
漢文学講読Ⅰ																
国語科授業論																
日本文学講読Ⅰ																
日本文学史Ⅱ																
書道演習Ⅰ																
国語科教材論																
日本語学特論Ⅱ																
日本文学演習Ⅰ																
日本文学演習Ⅲ																
日本文学史Ⅰ																
漢文学演習Ⅰ																
国語科教育方法論																
日本語学演習Ⅱ																
日本語学演習Ⅳ																
日本語学特論Ⅰ																
日本文学演習Ⅱ																
日本文学演習Ⅳ																
日本文学特論Ⅰ																
日本文学特論Ⅱ																
漢文学特論Ⅰ																

大学 No.03

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

教科教育と教科専門担当者か協同（働）して行う教育実習指導と、同じく両者かともに行うフィールドワークを通して、人文・社会・自然科学の知を総合性をもって伝達できる教員の養成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.03　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
地理学概論																
日本史																
地図学																
社会学特殊講義																
社会科教育法																
東洋史																
西洋史																
地誌学																
政治学概論																
社会学Ⅰ																
経済学Ⅰ																
日本史基礎演習																
地理学巡検Ⅰ																
社会学Ⅱ																
社会科授業論																
法学概論																
哲学Ⅰ																
倫理学概論Ⅰ																
日本史特殊講義Ⅰ																
西洋史特殊講義Ⅰ																
歴史学演習Ⅰ																
人文地理学Ⅰ																
自然地理学Ⅰ																
経済学Ⅱ																
社会科授業構成論Ⅱ																
日本史特殊講義Ⅱ																
西洋史特殊講義Ⅱ																
歴史学演習Ⅱ																
人文地理学Ⅱ																
人文地理学基礎演習																
地理学巡検Ⅱ																
地理学演習Ⅰ																
法学特殊講義																
国際政治学																
国際経済学																
哲学Ⅱ																
倫理学概論Ⅱ																
公民演習Ⅰ																
社会科授業構成論Ⅰ																
日本史特殊講義Ⅲ																
西洋史特殊講義Ⅲ																
歴史学演習Ⅲ																
自然地理学Ⅱ																
自然地理学基礎演習																
地理学演習Ⅱ																
国際法																
公民演習Ⅱ																
日本史特殊講義Ⅳ																
西洋史特殊講義Ⅳ																
歴史学演習Ⅳ																
地理学演習Ⅲ																
公民演習Ⅲ																
地理学演習Ⅳ																
公民演習Ⅳ																

大学 No.03　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
地理学概論																
日本史																
地図学																
社会科教育法																
東洋史																
西洋史																
地誌学																
日本史基礎演習																
地理学巡検Ⅰ																
社会科授業論																
日本史特殊講義Ⅰ																
西洋史特殊講義Ⅰ																
歴史学演習Ⅰ																
人文地理学Ⅰ																
自然地理学Ⅰ																
社会科授業構成論Ⅱ																
日本史特殊講義Ⅱ																
西洋史特殊講義Ⅱ																
歴史学演習Ⅱ																
人文地理学Ⅱ																
人文地理学基礎演習																
地理学巡検Ⅱ																
地理学演習Ⅰ																
社会科授業構成論Ⅰ																
地理歴史科教育法																
日本史特殊講義Ⅲ																
西洋史特殊講義Ⅲ																
歴史学演習Ⅲ																
自然地理学Ⅱ																
自然地理学基礎演習																
地理学演習Ⅱ																
日本史特殊講義Ⅳ																
西洋史特殊講義Ⅳ																
歴史学演習Ⅳ																
地理学演習Ⅲ																
地理学演習Ⅳ																

大学 No.03　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会学特殊講義																
社会科教育法																
政治学概論																
社会学Ⅰ																
経済学Ⅰ																
社会学Ⅱ																
社会科授業論																
法学概論																
哲学Ⅰ																
倫理学概論Ⅰ																
経済学Ⅱ																
社会科授業構成論Ⅱ																
公民科教育法																
法学特殊講義																
国際政治学																
国際経済学																
哲学Ⅱ																
倫理学概論Ⅱ																
公民演習Ⅰ																
社会科授業構成論Ⅰ																
国際法																
公民演習Ⅱ																
公民演習Ⅲ																
社会科教育演習Ⅳ																
公民演習Ⅳ																

大学 No.03

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

１（専門力）数学教育に関する知識・技能等を深く理解し、論理的かつ自律的に働きかけていくための専門力。

２（実践力）生徒の反応を的確によみとり、それに応じた働きかけによって生徒の発達を促すための実践力。

３（発展力）自らの専門力・実践力両面における到達点と課題を明らかにし、さらなる向上を図り成長していくための発展力。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.03　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
論理・集合・写像																
数学基礎A																
数学基礎B																
線形代数概論																
微分積分概論																
情報数学																
数学演習A																
数学科教育法																
数論入門																
変換と幾何学																
確率・統計入門																
数学演習B																
数学科授業論																
群論入門																
偏微分・重積分																
統計学																
数学演習C																
数学科教材論																
代数学Ⅰ																
代数学Ⅱ																
位相数学入門																
幾何学Ⅰ																
幾何学Ⅱ																
解析学Ⅰ																
解析学Ⅱ																
応用数学Ⅰ																
応用数学Ⅱ																
数学科教育方法論																
代数学Ⅲ																
代数学Ⅳ																
幾何学Ⅲ																
幾何学Ⅳ																
解析学Ⅲ																
解析学Ⅳ																
応用数学Ⅲ																
応用数学Ⅳ																

大学 No.03

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

子ども達に理科の楽しさを教えられる教員の養成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.03　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的･包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
基礎物理学Ⅰ																
基礎化学Ⅰ																
基礎生物学Ⅰ																
基礎地学Ⅰ																
基礎化学実験																
理科教育法Ⅰ																
基礎化学Ⅱ																
基礎生物学実験																
基礎地学実験																
物理学概論Ⅰ																
化学概論Ⅰ																
地学概論Ⅰ																
理科教材方法論Ⅰ																
基礎物理学Ⅱ																
基礎生物学Ⅱ																
基礎地学Ⅱ																
基礎物理学実験																
生物学概論Ⅰ																
理科教材方法論Ⅱ																
物理学概論Ⅱ																
化学概論Ⅱ																
生物学概論Ⅱ																
地学概論Ⅱ																
生物学実験法Ⅰ																
物理学実験																
化学実験																
生物学実験																
地学Ⅰ実験																
地学Ⅱ実験																
物理学Ⅰ																
化学Ⅰ																
化学Ⅱ																
野外実習Ⅱ																
野外実習Ⅲ																
地質巡検Ⅰ																
理科教育法Ⅱ																
物理学実験法																
化学実験法Ⅰ																
化学実験法Ⅱ																
生物学実験法Ⅱ																
地学実験法Ⅰ																
地学実験法Ⅱ																
物理学Ⅱ																
生物学Ⅰ																
地学Ⅰ																
地質巡検Ⅱ																

大学 No.04

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

作品・教材の具体的表現に注目し作者・著者の工夫を読み取る教材研究、生徒の実態に即した学習材研究ができ、生徒が「言葉」でコミュニケーション・思考・想像し・批評などができる教員の養成をめざしています。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

理念としては“概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている(d)”だが、実態として学生は必修の教科教育科目を先に履修する傾向がある

大学 No.04　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語科教育法Ⅰ																
国語科教育実践特別演習																
日本語学概論A																
国文学史A																
漢文学概論																
国文学講義A																
国文学実地研究																
国文学特殊講義																
国語科教育法Ⅱ																
日本語学概論B																
国文学史B																
書法基礎																
漢文学講義																
日本語学講義D																
日本語学特別演習A																
日本語学特殊講義																
国文学講義B																
国文学特別演習A																
国文学特別演習B																
漢文学特殊講義																
国語科教育法Ⅲ																
国文学史C																
日本語学講義A																
日本語学講義C																
漢字の文化誌																
論語講読																
漢文学特別演習																
国語科教育法Ⅳ																
日本語学講義B																
日本語学特別演習B																
漢文学実地研究																
国語科特別演習																

大学 No.04

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

教科の内容と教育方法について専門的知識・能力を深めるとともに、学校現場での諸課題に対する実践能力・問題解決能力を身につけることを目的とする。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

多くの場合、専門科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容も考慮に入れている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

・概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

・相互関係はあるが限られた履修期間の中で上記 2 種に明確な順序は設けられない

大学 No.04　中学校（社会）

授業科目名（黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概論A																
人文地理学概論A																
日本近現代史																
人文地理学概論B																
中等社会科教育法B（社会・公民）																
地理歴史科教育法																
公民科教育法																
考古学概論																
西洋史概論																
東洋史概論																
自然地理学概論A																
地誌学																
法学概論																
社会学概論																
経済学概論																
哲学概論																
倫理学概論																
日本史概論B																
日本史史料講読A																
日本史史料講読B																
日本史史料講読C																
日本史史料講読D																
日本史特別演習A																
日本史特別演習B																
日本史特別演習C																
日本史特別演習D																
考古学特別演習A																
考古学特別演習B																
考古学特別演習C																
考古学特別演習D																
西洋史外書講読A																
西洋史外書講読B																
西洋史外書講読C																
西洋史外書講読D																
西洋史特別演習A																
西洋史特別演習B																
西洋史特別演習C																
西洋史特別演習D																
西洋史特別研究Ⅰ																
西洋史特別研究Ⅱ																
西洋史特別研究Ⅲ																
西洋史特別研究Ⅳ																
西洋史特別研究Ⅴ																
人文地理学特別演習AⅠ																
人文地理学特別演習AⅡ																
人文地理学特別演習AⅢ																
法学特別演習A																
法学特別演習B																
法学特別演習C																
法学特別演習D																
法学特別演習E																
法学特殊講義A																
国際政治学																
現代政治と公民教育																
社会学特殊講義																
社会学特別演習AⅠ																
社会学特別演習AⅡ																
社会学特別演習AⅢ																
社会学特別演習AⅣ																
社会学特別演習AⅤ																

授業科目名（黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会学特別演習BⅠ																
社会学特別演習BⅡ																
社会学特別演習BⅢ																
社会学特別演習BⅣ																
社会学特別演習BⅤ																
国際経済論																
労働問題																
哲学特殊講義A																
倫理学特殊講義A																
倫理思想史Ⅰ																
倫理学特別演習A																
倫理学特別演習B																
倫理学特別演習C																
倫理学特別演習D																
倫理学特別研究Ⅰ																
倫理学特別研究Ⅱ																
倫理学特別研究Ⅲ																
倫理学特別研究Ⅳ																
倫理学特別研究Ⅴ																
社会科教育学概論A（地理歴史）																
社会科教育学特殊講義A（地理歴史）Ⅰ																
社会科教育学特別演習A（地理歴史）Ⅰ																
社会科教育学特別演習A（地理歴史）Ⅱ																
社会科教育学特別演習A（地理歴史）Ⅲ																
社会科教育学特別演習A（地理歴史）Ⅳ																
社会科教育学概論B（公民）																
社会科教育学特殊講義B（公民）Ⅰ																
社会科教育学特別演習B（公民）Ⅰ																
社会科教育学特別演習B（公民）Ⅱ																
社会科教育学特別演習B（公民）Ⅲ																
社会科教育学特別演習B（公民）Ⅳ																
中等社会科教育法A（社会・地歴）																
考古学特殊講義																
考古学実習A																
考古学実習B																
考古学実習C																
考古学実習D																
人文地理学特別演習BⅠ																
人文地理学特別演習BⅡ																
人文地理学特別演習BⅢ																
地理学実習BⅠ																
地理学実習BⅡ																
地理学実習BⅢ																
自然地理学概論B																
人権と教育																
法学特殊講義B																
哲学特殊講義B																
倫理学特殊講義B																
倫理思想史Ⅱ																
宗教学																
社会科教育学特殊講義A（地理歴史）Ⅱ																
社会科教育学特殊講義B（公民）Ⅱ																
社会科教材研究法																
地理学実習AⅠ																
地理学実習AⅡ																
地理学実習AⅢ																
社会科学習内容構築論																
日本史特別研究Ⅱ																
日本史特別研究Ⅰ																

大学 No.04　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概論A																
人文地理学概論A																
日本近現代史																
人文地理学概論B																
地理歴史科教育法																
考古学概論																
西洋史概論																
東洋史概論																
自然地理学概論A																
地誌学																
日本史概論B																
日本史史料講読A																
日本史史料講読B																
日本史史料講読C																
日本史史料講読D																
日本史特別演習A																
日本史特別演習B																
日本史特別演習C																
日本史特別演習D																
考古学特別演習A																
考古学特別演習B																
考古学特別演習C																
考古学特別演習D																
西洋史外書講読A																
西洋史外書講読B																
西洋史外書講読C																
西洋史外書講読D																
西洋史特別演習A																
西洋史特別演習B																
西洋史特別演習C																
西洋史特別演習D																
西洋史特別研究Ⅰ																
西洋史特別研究Ⅱ																
西洋史特別研究Ⅲ																
西洋史特別研究Ⅳ																
西洋史特別研究Ⅴ																
人文地理学特別演習AⅠ																
人文地理学特別演習AⅡ																
人文地理学特別演習AⅢ																
社会科教育学概論A　（地理歴史）																
社会科教育学特殊講義A　（地理歴史）Ⅰ																
社会科教育学特別演習A　（地理歴史）Ⅰ																
社会科教育学特別演習A　（地理歴史）Ⅱ																
社会科教育学特別演習A　（地理歴史）Ⅲ																
社会科教育学特別演習A　（地理歴史）Ⅳ																
中等社会科教育法A　（社会・地歴）																
考古学特殊講義																
考古学実習A																
考古学実習B																
考古学実習C																
考古学実習D																
人文地理学特別演習BⅠ																
人文地理学特別演習BⅡ																
人文地理学特別演習BⅢ																
地理学実習BⅠ																
地理学実習BⅡ																
地理学実習BⅢ																
自然地理学概論B																
社会科教育学特殊講義A　（地理歴史）Ⅱ																
社会科教材研究法																
地理学実習AⅠ																
地理学実習AⅡ																
地理学実習AⅢ																
社会科学習内容構築論																
日本史特別研究Ⅱ																
日本史特別研究Ⅰ																

大学 No.04　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等社会科教育法B　（社会・公民）																
公民科教育法																
法学概論																
社会学概論																
経済学概論																
哲学概論																
倫理学概論																
法学特別演習A																
法学特別演習B																
法学特別演習C																
法学特別演習D																
法学特別演習E																
法学特殊講義A																
国際政治学																
現代政治と公民教育																
社会学特殊講義																
社会学特別演習AⅠ																
社会学特別演習AⅡ																
社会学特別演習AⅢ																
社会学特別演習AⅣ																
社会学特別演習AⅤ																
社会学特別演習BⅠ																
社会学特別演習BⅡ																
社会学特別演習BⅢ																
社会学特別演習BⅣ																
社会学特別演習BⅤ																
国際経済論																
労働問題																
哲学特殊講義A																
倫理学特殊講義A																
倫理思想史Ⅰ																
倫理学特別演習A																
倫理学特別演習B																
倫理学特別演習C																
倫理学特別演習D																
倫理学特別研究Ⅰ																
倫理学特別研究Ⅱ																
倫理学特別研究Ⅲ																
倫理学特別研究Ⅳ																
倫理学特別研究Ⅴ																
社会科教育学概論B（公民）																
社会科教育学特殊講義B　（公民）Ⅰ																
社会科教育学特別演習B　（公民）Ⅰ																
社会科教育学特別演習B　（公民）Ⅱ																
社会科教育学特別演習B　（公民）Ⅲ																
社会科教育学特別演習B　（公民）Ⅳ																
人権と教育																
法学特殊講義B																
哲学特殊講義B																
倫理学特殊講義B																
倫理思想史Ⅱ																
宗教学																
社会科教育学特殊講義B　（公民）Ⅱ																
社会科教材研究法																
社会科学習内容構築論																

大学 No.04

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

数学の専門的知識および教育一般の知識を身に付ける。各学年で現場実習を行うことで、教員としての技能等を身に付ける。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.04　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
代数学Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
解析学Ⅰ																
代数学Ⅱ																
幾何学Ⅱ																
解析学Ⅱ																
数学科教育法（小）																
数学科教育法Ⅰ																
代数学Ⅲ																
幾何学Ⅲ																
解析学Ⅲ																
プログラミング入門																
数学科教育法Ⅱ																
理数科クロスカリキュラム論																
代数学Ⅳ																
幾何学Ⅳ																
解析学Ⅳ																
確率論入門																
小学校算数																
ICTを活用した理数教育																
数学科教育法Ⅲ																
数学教育																
代数学各論																
幾何学各論																
解析学各論																
応用数学																
理数教材開発研究																
数学科教育法Ⅳ																
数学教育特別講義																
代数学特別講義																
幾何学特別講義																
解析学特別講義																

大学 No.04

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

両者に特別な関係はない

大学 No.04　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
地学野外巡検A	■	■			■	■			■	■			■	■		
地学野外巡検B	■	■			■	■			■	■			■	■		
地学野外巡検D	■	■			■	■			■	■			■	■		
地学野外巡検C			■	■			■	■			■	■			■	■
化学A			■	■												
生物学A			■	■												
化学実験Ⅰ			■	■												
地学実験Ⅰ			■	■												
理科教育法Ⅰ					■	■			■	■			■	■		
物理学A					■	■										
化学B					■	■										
生物学B					■	■										
地学A					■	■										
物理学実験Ⅰ					■	■										
生物学実験Ⅰ					■	■										
分子生物学実験					■	■										
化学実験Ⅱ					■											
地学実験Ⅱ						■				■						
物理学実験Ⅱ							■				■					
理科教育法Ⅱ							■	■								
物理学B							■	■								
地学B							■	■								
生物学実験Ⅱ								■								
理科教育法Ⅲ									■	■						
理科教育特講Ⅰ									■	■			■	■		
理科教育特講Ⅱ									■	■						
理科教育実験特講Ⅰ									■	■						
古典力学									■	■						
電磁気学									■	■						
無機化学									■	■						
物理化学									■	■						
分析化学									■	■						
有機化学									■	■						
分子生物学									■	■						
地球惑星進化学									■	■						
生物学演習A									■	■						
生命科学演習A									■	■						
動物学特別実験									■	■						
化学専門実験											■					
理科教育法Ⅳ											■	■				
理科教育実験特講Ⅱ											■	■				
量子力学											■	■				
量子統計力学											■	■				
動物科学											■	■				
岩石学											■	■				
気象学											■	■				
化学演習A											■	■				
生物学演習B											■	■				
生命科学演習B											■	■				
動物科学実験											■	■				
化学演習B													■	■		

大学 No.05

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.05　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科教育論Ⅰ																
社会科教育論Ⅱ																
公民科教育論																
地理歴史科教育法Ⅰ																
地理歴史科教育法Ⅱ																
日本史概論																
東洋史概論																
ヨーロッパ史概論																
自然地理学																
地理学B																
地誌学																
教育行政学講義Ⅱ																
教育社会学講義Ⅰ																
教育哲学講義Ⅰ																
人間形成史講読Ⅰ																
人間形成史講読Ⅱ																
教育行政学講義Ⅰ																
比較教育システム論講義																
教育社会学																
成人教育論講義Ⅰ																
リカレント教育論講義																
スポーツ文化論講義Ⅰ																
比較人間形成論講義Ⅰ																

大学 No.05　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科教育論Ⅰ																
社会科教育論Ⅱ																
公民科教育論																
地理歴史科教育法Ⅰ																
地理歴史科教育法Ⅱ																
教育行政学講義Ⅱ																
教育社会学講義Ⅰ																
教育哲学講義Ⅰ																
法学																
政治学																
法・政治と社会																
教育行政学講義Ⅰ																
比較教育システム論講義																
教育社会学																
成人教育論講義Ⅰ																
リカレント教育論講義																
スポーツ文化論講義Ⅰ																
比較人間形成論講義Ⅰ																
教育心理学講義Ⅰ																
臨床心理学講義Ⅰ（臨床心理学概論）																

大学 No.06

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

基礎力を確実に養うとともに、発表やディスカッションをとおして、自ら問題を発見し、調査し、考え、解決する力やコミュニケーション能力を有する人材の養成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.06　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
書道演習																
国語基礎講読																
国語科教育法Ⅰ																
国語科教材研究法a																
国語科教材研究法b																
国語科教育実践研究A																
国語学概論																
国文学史A																
漢文学概論																
国語学講義A																
国語学演習A																
国語学演習C																
国文学演習A																
国文学演習Ca																
国文学演習Cb																
漢文学講義A																
漢文学演習Aa																
国文学講義B																
国語科教材研究法c																
国語科教材研究法d																
国文学概論																
国文学史B																
国語学演習B																
国語学演習D																
国文学講義A																
国文学演習B																
国文学演習Da																
国文学演習Db																
漢文学講義B																
漢文学演習Ba																
国語科教育実践研究B																
国語科教育法Ⅱ																
国語教育演習A																
国語教育演習B																
漢文学演習Ab																
漢文学演習Bb																

大学 No.06

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

歴史学、地理学等の各分野について、基本的な枠組みを学ぶ“概論”及び“社会科教育法”、個別のテーマを掘り下げる“講義”に加え、“演習”を提供し、教科の指導力を柱として、専門的な知識や方法論を身に付けた教員の養成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.06　中学校（社会）

教科教育必修（選択必修含む）	教科教育選択
教科内容必修（選択必修含む）	教科内容選択

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概論																
外国史概論																
人文地理学概論																
自然地理学概論																
法律学概論																
地誌学講義A																
日本史講義A																
外国史講義A																
地誌学講義B																
法律学講義																
中等社会科教育法A																
社会科教育実践研究A																
政治学概論																
経済学概論																
社会学概論																
哲学概論																
倫理学概論																
外国史講義D																
自然地理学講義																
中等社会科教育法B																
日本史講義C																
外国史講義B																
政治学講義																
経済学講義																
哲学講義																
社会学講義																
倫理学講義																
社会・地歴科教育法																
社会科教育実践研究B																
地理学実習A																
地理学実習B																
社会学実習									集中							
日本史演習																
外国史演習A																
地理学演習A																
地理学演習B																
法律学演習																
政治学演習																
経済学演習																
社会学演習																
哲学演習																
社会・公民科教育法																
日本史講義B																
日本史講義D																
外国史講義C																
人文地理学講義																
外国史演習B																

大学 No.06　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概論																
外国史概論																
人文地理学概論																
自然地理学概論																
地誌学講義A																
日本史講義A																
外国史講義A																
地誌学講義B																
中等社会科教育法A																
外国史講義D																
自然地理学講義																
日本史講義C																
外国史講義B																
社会・地歴科教育法																
地理学実習A																
地理学実習B																
日本史演習																
外国史演習A																
地理学演習A																
地理学演習B																
日本史講義B																
日本史講義D																
外国史講義C																
人文地理学講義																
外国史演習B																

大学 No.06　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
法律学概論																
法律学講義																
政治学概論																
経済学概論																
社会学概論																
哲学概論																
倫理学概論																
中等社会科教育法B																
政治学講義																
経済学講義																
社会学講義																
哲学講義																
倫理学講義																
社会学実習									集中							
法律学演習																
政治学演習																
経済学演習																
社会学演習																
哲学演習																
社会・公民科教育法																

大学 No.06

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

数学本来の意味と方法を的確に理解し、また確実に身につけて、教育の現場における具体的な実践力を有する人材の養成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.06　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
微分積分学A																
線形代数学A																
数学科教育実践体験演習（中等）																
微分積分学B																
線形代数学B																
数学科教育法Ⅰ																
代数学入門																
幾何学入門A																
解析学入門																
数学科教材実践研究A																
数学科教育実践研究A																
コンピュータ																
代数学基礎講義																
幾何学入門B																
解析学基礎講義																
数学科教育法Ⅱ																
代数学講義A																
幾何学講義A																
解析学講義A																
確率論・統計学A																
数学科教材実践研究B																
数学科教育実践研究B																
代数学講義B																
代数学講義C																
幾何学講義B																
幾何学講義C																
解析学講義B																
解析学講義C																
確率論・統計学B																
数学特選題目																
数学教育卒業研究演習																

大学 No.06

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

各分野を網羅して自然科学を幅広く深く理解しながら、理科の指導法や教材作成などを実践的に修得し、高い資質と確かな学力を持つ人材の養成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.06　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
理科教育実践体験演習（中等）																
物理学講義Ⅰ																
化学講義Ⅰ																
理科基礎実験																
理科教育実践研究A																
生物学実験Ⅰ																
地学実験Ⅰ																
物理学実験Ⅰ																
化学実験Ⅰ																
生物学講義Ⅰ																
地学講義Ⅰ																
物理学講義ⅡA																
化学講義ⅡA																
生物学講義ⅡA																
地学講義ⅡA																
理科教育法Ⅰ																
物理学講義ⅡB																
化学講義ⅡB																
生物学講義ⅡB																
地学講義ⅡB																
理科教育実践研究B																
物理学実験Ⅱ																
化学実験Ⅱ																
生物学実験Ⅱ																
地学実験Ⅱ																
理科教育学演習																
物理学講義ⅡC																
化学講義ⅡC																
地学講義ⅡC																
理科教育法Ⅱ																
物理学演習																
化学演習																
生物学演習																
地学演習																
生物学講義ⅡC																

大学 No.07

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.07　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語科教育学																
国語科教育学演習Ⅰ																
国語科教育学演習Ⅴ																
日本語学概論																
日本文学概論																
中国文化概論																
日本語文化論																
日本語学演習Ⅰ																
日本語学演習Ⅲ																
日本文学論Ⅳ（近代文学）																
日本文学論演習Ⅰ（古典文学）																
日本文学論演習Ⅱ（古典文学）																
日本文学論演習Ⅲ（近代文学）																
日本文学論演習Ⅴ（近代文学）																
中国文化論																
書道																
国語科教育学演習Ⅲ																
国語科教育学演習Ⅳ																
国語科教育学演習Ⅵ																
日本語学Ⅰ																
日本語学Ⅱ																
日本語学演習Ⅱ																
日本語学演習Ⅳ																
古典文学概論																
日本文学論																
日本文学論Ⅰ（古典文学）																
日本文学論Ⅱ（古典文学）																
日本文学論Ⅲ（近代文学）																
日本文学論Ⅴ（児童文学・近代文学）																
日本文学論演習Ⅳ（近代文学）																
日本文学論演習Ⅵ（近代文学）																
国語科教育学演習Ⅱ																

大学 No.07

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.07　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科教育学																
社会科教育学演習Ⅰ																
社会科教育学演習Ⅱ																
社会科教育学演習Ⅲ																
社会科教育学演習Ⅳ																
社会科教育学演習Ⅴ																
日本史概論																
東洋史概論																
西洋史概論																
自然地理学概論																
人文地理学概論																
地誌学概論																
法学概論																
政治学概論																
社会学概論																
経済学概論																
現代思想概論																
思想史概論																
交通文化史論																
東洋史Ⅰ																
西洋国家史論																
経済地理学																
文化地理学																
日本地誌																
世界地誌																
地域社会学																
国際経済論																

大学 No.07　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科教育学演習Ⅰ																
社会科教育学演習Ⅱ																
地理歴史科教育学																
地理歴史科教育学演習																
日本史概論																
東洋史概論																
西洋史概論																
自然地理学概論																
人文地理学概論																
地誌学概論																
交通文化史論																
東洋史Ⅰ																
東洋史Ⅱ																
西洋国家史論																
経済地理学																
文化地理学																
日本地誌																
世界地誌																

大学 No.07　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科教育学演習Ⅰ																
社会科教育学演習Ⅱ																
公民科教育学																
公民科教育学演習																
法学概論																
政治学概論																
社会学概論																
経済学概論																
現代思想概論																
思想史概論																
心理学概論																
地方自治論																
公共政策学概論																
社会学																
地域社会学																
国際経済論																
マクロ経済学概論																
ミクロ経済学概論																
福祉心理学																
感情・人格心理学																

大学 No.07

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.07　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
数学科教育学																
微分積分Ⅰ																
線形代数Ⅰ																
微分積分Ⅱ																
微分積分演習																
線形代数Ⅱ																
数学科教育演習Ⅰ																
数学科教育演習Ⅳ																
初等幾何																
代数学基礎Ⅰ																
幾何学基礎Ⅰ																
解析学基礎Ⅰ																
確率論Ⅰ																
プログラミング入門																
プログラミング入門演習																
代数学基礎Ⅱ																
幾何学基礎Ⅱ																
解析学基礎Ⅱ																
数理統計Ⅰ																
数学科教育演習Ⅱ																
数学科教育演習Ⅵ																
解析学応用																
数理統計Ⅱ																
数学科教育演習Ⅲ																
代数学応用																
幾何学応用																
確率論Ⅱ																

大学 No.07

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

（理数系コースとして）

１．教員になることを強く希望する人

２．理科教育・数学教育の現代的な諸課題の解決に向けて積極的に取り組もうとする意欲のある人

３．自然科学に興味や関心を持ち，実験や観察を通してた理科教育に熱意のある人

４．数学への理解を深め，数学の学習をとおして，自然や社会に対して自ら進んで論理的に考える態度を育てたい人

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

両者に特別な関係はない

大学 No.07　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
理科教育学演習Ⅰ																
基礎生物学実験Ⅰ																
基礎地学実験Ⅰ																
理科教育学																
理科教育学演習Ⅳ																
理科教育学演習Ⅴ																
基礎物理																
基礎化学																
物理学概論																
化学概論																
生物学概論																
地学概論																
物理Ⅰ（力学）																
物理Ⅱ（熱力学）																
化学Ⅰ（無機化学）																
生物Ⅱ（系統・進化）																
生物Ⅲ（分離・形態）																
固体物理学																
生態学概論																
気象学概論																
環境分析化学実験																
理科ICT活用教育																
生物学フィールド実習																
理科教育学演習Ⅱ																
基礎生物学実験Ⅱ																
基礎地学実験Ⅱ																
有機合成実験																
基礎物理実験Ⅰ																
基礎化学実験Ⅰ																
生物学情報処理実習																
理科教育学演習Ⅲ																
基礎生物																
基礎地学																
物理Ⅲ（波動・電磁気学）																
化学Ⅱ（有機化学）																
化学Ⅲ（物理化学）																
生物Ⅰ（発生・遺伝）																
地学Ⅰ（地球と人間）																
地学Ⅲ（天文・宇宙）																
量子力学																
環境放射化学																
細胞生理学																
人間社会と生物学																
環境地学実験																
自然災害現地実習																
基礎物理学実験Ⅱ																
基礎化学実験Ⅱ																
分子生物学実験																
地学野外実習																
地学Ⅱ（地質学・鉱物学）																
環境化学																
地球環境学																

大学 No.08

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.08　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語科教育法																
国語学概論Ⅰ																
漢文学講読																
日本文学概説																
書道実技Ⅰ																
国語学概論Ⅱ																
国語学演習Ⅰ																
日本文学講読																
漢文学概論																
書道実技Ⅱ																
国語の教材分析A																
国語学講義																
国語学演習Ⅱ																
日本文芸史概説																
日本文学演習Ⅰ																
漢文学演習Ⅰ																
国語の教材分析B																
国語科実践演習																
国語学特別講義																
日本文学演習Ⅱ																
和歌文学特殊講義a																
和歌文学特殊講義b																
漢文学演習Ⅱ																
日本文学特別講義																

大学 No.08

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.08　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
人文地理学概論																
社会学概論																
社会科教育法																
日本史概論																
東アジア史概論																
自然地理学概論																
政治理論Ⅰ																
地理学野外実習A																
地理学野外実習B																
社会の教材分析A																
ヨーロッパ史概論																
経済学概論																
倫理学概論																
日本文化史概論																
地誌学特論																
地歴科教育法																
日本古代史概論																
社会の教材分析B																
日本史演習																
経済学演習																
倫理学演習																
古文書学																
日本近代史概論																
内陸アジア史概論																
地形災害論																
社会の実践演習																
日本史講読																
日本史史料論																
自然地理学演習																

大学 No.08　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
地歴科教育法																
社会の教材分析A																
日本史概論																
東アジア史概論																
ヨーロッパ史概論																
人文地理学概論																
自然地理学概論																
地誌学特論																
日本文化史概論																
日本史演習																
日本史講読																
古文書学																
日本史史料論																
日本古代史概論																
日本近代史概論																
内陸アジア史概論																
地理学野外実習A																
地理学野外実習B																
自然地理学演習																
地形災害論																

大学 No.08

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.08　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
代数学概論																
幾何学概論																
解析学概論																
代数学基礎																
幾何学基礎																
解析学基礎																
数学科教育法																
確率・統計概論																
プログラミング																
コンピュータとアーキテクチャ																
数学の教材分析A																
幾何学発展																
統計学																
データ構造とアルゴリズム																
数学の教材分析B																
解析学発展																
多変量解析																
計算数学A																
組合せ論																
数学科実践演習																
代数学発展																
計算数学B																

大学 No.08

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.08　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
地学概論																
理科教育法																
物理学概論																
化学概論																
生物学概論																
地学実験																
生物学臨海実習																
生物学野外実習																
地学調査法野外実習																
地学野外実習																
理科実践演習（物理学・化学）																
物理学実験																
化学実験																
生物学演習																
計算物理学																
理科実践演習（生物学・地学）																
生物学実験																
物理学演習																
地学演習																
物理学の基礎																
理科の教材分析																
化学演習																
応用物理学																

大学 No.09

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

国語科内の分野に偏らず、日本語学、近現代文学、日本古典文学、漢字・漢文学の各専門科目を概論・演習等を通して広く履習させ、各分野に対して一定以上の能力を有する教員養成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.09　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本文学概論	■	■														
中国古典学概論	■	■														
近代文学史			■	■												
国語科教育学Ⅰ					■	■										
日本語学概論					■	■										
古代・中世文学史					■	■										
日本古典文学演習Ⅰ					■	■										
日本古典文学演習Ⅱ					■	■										
日本近代文学演習Ⅰ					■	■										
日本近代文学演習Ⅱ					■	■										
中国文化演習Ⅱ					■	■										
国語科教育法							■	■								
日本語の構造							■	■								
日本語の変異							■	■								
日本語学演習Ⅲ							■	■								
日本語学演習Ⅳ							■	■								
比較文学演習Ⅰ							■	■								
比較文学演習Ⅱ							■	■								
中国文化演習Ⅰ							■	■								
国語科授業研究									■	■						
日本語の歴史									■	■						
日本語学演習Ⅰ									■	■						
伝統言語文化論									■	■						
日中比較文学									■	■						
日本文学特講Ⅰ									■	■						
日本文学特講Ⅱ									■	■						
日本文学特講Ⅲ									■	■						
中国文化論									■	■						
国語科教育学Ⅱ											■	■				
日本語学演習Ⅱ											■	■				
中国文化特講											■	■				
書道											■	■				
日本語学実習													■	■	■	■
子どもの文学																

大学 No.09

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

地域や社会のあり方、その歴史や思想に深い知識を持つとともに、現代的課題や地域的課題への問題意識を持って、地域の人材育成に貢献できる教員。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

科目ごとに“基盤となる各学問領域の内容の体系にもとづいて構成されている(a)”もしくは“学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている(b)” の内容に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.09　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
地理学実地研究Ⅰ																
哲学概説																
日本の地域文化																
地理学実地研究Ⅱ																
日本史概説																
地理学概説																
自然地理学概説																
地誌学概説																
政治学概説																
社会学概説																
倫理学概説																
日本近世社会史																
日本近代社会史																
東洋近世社会史																
東洋近現代社会史																
ヨーロッパ古代・中世史																
ヨーロッパ近世・近代史																
日本史史料講読																
外国史史料講読																
日本地誌																
世界地誌																
都市とまちづくりの地理学																
現代社会と文化																
現代日本経済論Ⅰ																
現代の地域経済																
産業社会文化論																
自然と人間の哲学																
知識の哲学																
外国史概説																
人文地理学概説																
経済学概説																
日本古代中世社会史																
東洋古代・中世社会史																
ヨーロッパ近・現代史																
日本文化史演習旅行																
食料生産と国土保全の地理学																
産業と経済、地域振興の地理学																
社会科教育法																
自然災害と人間																
気候環境と人間																
現代日本の政治																
政治思想史																
現代社会と地域計画																
現代社会とコミュニティ																
現代日本経済論Ⅱ																
戦争と平和の倫理学																
科学技術と環境の倫理学																
社会科教育学Ⅰ																
社会科授業研究																
社会思想史																
社会科教育学Ⅱ																
文化と社会の地理学																
地図と地理情報																
科学理解の哲学																
文化創造論																

大学 No.09　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
地理学実地研究Ⅰ																
日本の地域文化																
地理学実地研究Ⅱ																
日本史概説																
地理学概説																
自然地理学概説																
地誌学概説																
日本近世社会史																
日本近代社会史																
東洋近世社会史																
東洋近現代社会史																
ヨーロッパ古代・中世史																
ヨーロッパ近世・近代史																
日本史史料講読																
外国史史料講読																
日本地誌																
世界地誌																
都市とまちづくりの地理学																
外国史概説																
人文地理学概説																
日本古代中世社会史																
東洋古代・中世社会史																
ヨーロッパ近・現代史																
日本文化史演習旅行																
食料生産と国土保全の地理学																
産業と経済、地域振興の地理学																
自然災害と人間																
気候環境と人間																
地理歴史科教育法																
地理歴史科教育法																
文化と社会の地理学																
地図と地理情報																

大学 No.09　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
哲学概説																
公民科教育法																
政治学概説																
社会学概説																
倫理学概説																
現代社会と文化																
現代日本経済論Ⅰ																
現代の地域経済																
自然と人間の哲学																
知識の哲学																
公民科授業研究																
経済学概説																
現代日本の政治																
政治思想史																
現代社会と地域計画																
現代社会とコミュニティ																
現代日本経済論Ⅱ																
戦争と平和の倫理学																
科学技術と環境の倫理学																
社会思想史																

大学 No.09

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.09　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
数学概論																
解析学Ⅰ																
代数学Ⅰ																
実践数理科学																
幾何学Ⅰ																
解析学Ⅱ																
代数学Ⅱ																
数理科学コミュニケーションⅠ																
曲線と曲面																
グラフ理論																
数学科教育法																
解析学Ⅲ																
代数学Ⅲ																
幾何学Ⅱ																
幾何学Ⅲ																
数理科学コミュニケーションⅡ																
整数論																
多様体の幾何学																
トポロジー																
数学科教育学Ⅰ																
数学科教育学Ⅱ																
数学科授業研究																
解析学Ⅳ																
微分方程式																
実験数学																
コンピュータ																
体とガロア理論																
確率論・統計学																
複素関数論																
関数解析																

大学 No.10

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

国語選修では、国語学・国文学・漢文学・書写書道・国語科教育学の各分野の学びを通じて、言葉や文字についての幅広く奥深い知識を身につけ、確かな分析力・洞察力を持ち、豊かな感性や感覚を備えた、国語教師としての資質を陶冶しています。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.10　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語学概論																
漢文学概論																
書道Ⅰ																
漢文学基礎																
書道Ⅱ																
中等国語科教育法Ⅰ																
国文学概論																
国語学演習Ⅰ																
近・現代文学研究Ⅰ																
近・現代文学演習Ⅰ																
漢文学研究法Ⅰ																
書道Ⅲ																
漢文学演習Ⅰ																
中等国語科教育法Ⅱ																
中等国語科教育法Ⅲ																
国語表現法																
書道Ⅳ																
国語学演習Ⅱ																
古典文学演習Ⅰ																
漢文学研究法Ⅱ																
かな書法研究																
書道史																
中等国語科教育法Ⅳ																
中等国語科教育法Ⅴ																
国語科教科論																
書道科教育法Ⅰ																
書道科教育法Ⅱ																
国語学研究法																
近・現代文学研究法																
古典文学研究Ⅰ																
漢文学演習Ⅱ																
漢字書法研究																
書道研究法																
書道芸術論																
近・現代文学研究Ⅱ																
近・現代文学演習Ⅱ																
古典文学研究Ⅱ																
古典文学演習Ⅱ																
書論																
鑑賞																

大学 No.10

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

中学校社会科・地理歴史科・公民科、各教科の内容に関する深い専門的知識を有すると共に、社会科全体を見通す広い視野を教育現場に活かすことができる優れた探究力・判断力・指導力を有する教員の育成を目指しています。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.10　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等社会科教育法Ⅰ																
中等社会科教育法Ⅱ																
社会・地理歴史科教育法																
社会・公民科教育法																
社会科教育法演習Ⅰ																
社会科教育法演習Ⅱ																
日本史概論Ⅰ																
日本史概論Ⅱ																
西洋史概論Ⅰ																
西洋史概論Ⅱ																
東洋史概論																
人文地理学概論																
自然地理学概論																
地誌学概論																
法学概論																
政治学概論																
社会学概論																
経済学概論																
哲学概論Ⅰ																
哲学概論Ⅱ																
倫理学概論																
日本史特講Ⅰ																
日本史特講Ⅱ																
日本史特講Ⅲ																
日本史特講Ⅳ																
日本史演習																
歴史学特別演習																
民俗学特講																
考古学特講																
西洋史特講Ⅰ																
西洋史特講Ⅱ																
西洋史特講Ⅲ																
西洋史特講Ⅳ																
西洋史演習																
東洋史特講Ⅰ																
東洋史特講Ⅱ																
東洋史演習Ⅰ																
東洋史演習Ⅱ																
人文地理学特講Ⅰ																
人文地理学特講Ⅱ																
人文地理学特講Ⅲ																
人文地理学特講Ⅳ																
人文地理学特講Ⅴ																
人文地理学特講Ⅵ																
人文地理学演習																
地理学研究法																
地理学野外実習Ⅰ																
自然地理学特講																
自然地理学演習																
地理学野外実習Ⅱ																
地誌学特講Ⅰ																
地誌学特講Ⅱ																
地誌学特講Ⅲ																
地誌学特講Ⅳ																
地誌学演習																
地理学野外実習Ⅲ																
法学特講																
法学演習																
法学特論（日本国憲法）																
マス・コミュニケーション論																
文化の社会学																
社会福祉論																
日本経済史																
西洋経済史																
経済政策論Ⅰ																
経済政策論Ⅱ																
経済学演習																
社会と思想																
哲学特講																
哲学演習																
倫理学特講																
倫理学演習																
倫理学特別演習Ⅰ																
倫理学特別演習Ⅱ																

大学 No.10　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会・地理歴史科教育法																
社会科教育法演習Ⅰ																
社会科教育法演習Ⅱ																
日本史概論Ⅰ																
日本史概論Ⅱ																
西洋史概論Ⅰ																
西洋史概論Ⅱ																
東洋史概論																
人文地理学概論																
自然地理学概論																
地誌学概論																
日本史特講Ⅰ																
日本史特講Ⅱ																
日本史特講Ⅲ																
日本史特講Ⅳ																
日本史演習																
歴史学特別演習																
民俗学特講																
考古学特講																
西洋史特講Ⅰ																
西洋史特講Ⅱ																
西洋史特講Ⅲ																
西洋史特講Ⅳ																
西洋史演習																
東洋史特講Ⅰ																
東洋史特講Ⅱ																
東洋史演習Ⅰ																
東洋史演習Ⅱ																
人文地理学特講Ⅰ																
人文地理学特講Ⅱ																
人文地理学特講Ⅲ																
人文地理学特講Ⅳ																
人文地理学特講Ⅴ																
人文地理学特講Ⅵ																
人文地理学演習																
地理学研究法																
地理学野外実習Ⅰ																
自然地理学特講																
自然地理学演習																
地理学野外実習Ⅱ																
地誌学特講Ⅰ																
地誌学特講Ⅱ																
地誌学特講Ⅲ																
地誌学特講Ⅳ																
地誌学演習																
地理学野外実習Ⅲ																

大学 No.10　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会・公民科教育法																
社会科教育法演習Ⅰ																
社会科教育法演習Ⅱ																
法学概論																
政治学概論																
社会学概論																
経済学概論																
哲学概論Ⅰ																
哲学概論Ⅱ																
倫理学概論																
法学特講																
法学演習																
法学特論（日本国憲法）																
マス・コミュニケーション論																
文化の社会学																
社会福祉論																
日本経済史																
西洋経済史																
経済政策論Ⅰ																
経済政策論Ⅱ																
経済学演習																
社会と思想																
哲学特講																
哲学演習																
倫理学特講																
倫理学演習																
倫理学特別演習Ⅰ																
倫理学特別演習Ⅱ																

大学 No.10

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

学校教育や広く教育に関係する職場で必要とされる数学、数理科学の専門知識や、技能、その応用能力を養い、広く豊かな人間性と正しい数学的判断力を備えた教育者を育成している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.10　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
代数学概論																
幾何学概論																
解析学概論																
代数学基礎																
解析学基礎																
幾何学基礎																
代数学A																
解析学A																
代数学B																
幾何学A																
解析学B																
中等数学科教育法Ⅰ																
中等数学科教育法Ⅱ																
中等数学科教育法Ⅲ																
中等数学科教育法Ⅳ																
幾何学B																
中等数学科教育法Ⅴ																
確率・統計概論																
コンピュータ概論																
応用代数学																
代数学続論																
幾何学続論																
解析学続論																
中等数学科教育法Ⅵ																

大学 No.10

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

実験・観察実習などを通して自然の仕組みを解き明かす面白さを体験し，将来その面白さを児童・生徒にも伝えることのできる小学校教員および中学校や高校の理科教員を養成することを主な目的としている。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.10　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物理学概論																
地学概論																
地学実験																
中等理科教育法Ⅰ																
物理学実験																
化学概論																
生物学概論																
中等理科教育法Ⅱ																
化学実験Ⅰ																
生物学実験																
電磁気学																
有機化学																
動物学																
量子力学																
生態学																
地学野外実習																
中等理科教育法Ⅲ																
化学実験Ⅱ																
地質学																
中等理科教育法Ⅳ																
理科教育演習Ⅰ																
量子物性概論																
物理学演習Ⅰ																
物理化学																
化学演習Ⅰ																
植物学																
生物学演習Ⅰ																
岩石鉱物学																
天文学																
気象学																
地学演習Ⅰ																
物理学実験指導法																
化学実験指導法																
生物学実験指導法																
地学実験指導法																
理科教育演習Ⅱ																
物理学演習Ⅱ																
化学演習Ⅱ																
生物学演習Ⅱ																
地学演習Ⅱ																

大学 No.11

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.11　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
線形代数Ⅰ																
微積分Ⅰ																
数学基礎																
線形代数Ⅱ																
微積分Ⅱ																
数学教育論																
線形代数続論																
ベクトル解析と幾何																
微分方程式入門																
トポロジー入門																
代数入門																
関数論																
数学科教育概論Ⅰ																
数学科教育概論Ⅱ																
数学授業研究																
数学科指導法																
数学教育論演習																
数理統計学Ⅰ																
計算機数学Ⅰ																
代数学ⅠA																
トポロジーA																
ルベーグ積分																
確率論Ⅰ																
数理論理学Ⅰ																
数学教育内容論																
代数学ⅠB																
トポロジーB																
多様体入門																
偏微分方程式																
関数解析入門																
数理統計学Ⅱ																
確率論Ⅱ																
代数学Ⅱ																
代数学Ⅲ																
トポロジーC																
微分幾何学																
複素解析																
関数解析入門																

大学 No.12

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

日本語学・日本文学・漢文学・国語科教育の専門科目を幅広く履習し、国語科指導の基盤となる学問・技術を修得することを目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.12　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
書写																
中等国語科教育法Ⅰ																
中等国語科教育法Ⅱ																
日本語学概説Ⅰ																
日本語学概説Ⅱ																
日本文学概説A																
日本文学概説B																
漢文学概説																
日本語学演習Ⅰ																
日本語学演習Ⅱ																
日本文学演習Ⅰ																
日本文学演習Ⅱ																
古典講読演習（古文）																
古典講読演習（漢文）																
国語表現法Ⅰ																
国語表現法Ⅱ																
日本語史																
日本語学購読																
日本語学特講																
日本文学史（古典）																
日本文学史（近代）																
日本文学購読A																
日本文学購読B																
日本文学特講A																
日本文学特講B																
中等国語科教育法Ⅲ																
中等国語科教育法Ⅳ																
国語科教育特講																

大学 No.12

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

社会科教育の諸分野（歴史学、地理学、法学、政治学、経済学、社会学、哲学、倫理学、社会科教育学）に関する専門的知識と方法論を習得し、将来、中学校社会科（地理歴史科、公民科）教員として『深い学び』の実現に向けた授業を担っていくために必要な資質・能力の基礎を育成する。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.12　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等社会科教育法Ⅰ																
日本史概説B																
外国史概説B																
地理学概論A																
経済学概論																
社会学概論																
歴史学特講A																
法学特講A																
中等社会科教育法Ⅱ																
社会科教育特講A																
社会科教育特講B																
日本史概説A																
外国史概説A																
地理学概論B																
地誌学概論B																
法学概論																
政治学概論																
哲学概論																
歴史学特講B																
歴史学特講C																
中等社会科教育法Ⅲ（地理歴史分野）																
中等社会科教育法Ⅳ（公民分野）																
社会科研究セミナーⅠ																
歴史学実地調査																
地理学特講B																
地域調査法																
公共政策論																
社会調査法																
哲学特講A																
地理学実地調査																
社会科研究セミナーⅡ																
地理学特講C																
経済政策論																
社会学特講																
社会調査実習																
哲学特講B																
地誌学概論A																
倫理学概論																
歴史学特講D																
地理学特講A																
法学特講B																

大学 No.12　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概説B																
外国史概説B																
地理学概論A																
歴史学特講A																
歴史学特講D																
地誌学概論A																
日本史概説A																
外国史概説A																
地理学概論B																
地誌学概論B																
歴史学特講B																
歴史学特講C																
地理学特講B																
中等社会科教育法Ⅲ（地理歴史分野）																
地域調査法																
地理学特講A																
地理学特講C																
地理歴史教育法																

大学 No.12　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
経済学概論																
社会学概論																
法学特講A																
倫理学概論																
法学特講B																
法学概論																
政治学概論																
哲学概論																
中等社会科教育法Ⅳ（公民分野）																
公共政策論																
社会調査法																
哲学特講A																
公民科教育法																
経済政策論																
社会学特講																
社会調査実習																
哲学特講B																

大学 No.12

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

中学校・高等学校数学科の教育課程について理解し、生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。中学校・高等学校数学科の教授・学習における諸課題を認識し、探究心をもってその課題に意欲的に取り組むことができる。中学校・高等学校数学科の内容の背景にある数学理論と数学の有用性について理解できる。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.12　中学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
代数学概論																
幾何学概論																
解析学概論																
統計学																
幾何学基礎																
解析学基礎																
数学科教育法Ⅰ																
情報基礎																
関数論基礎																
数学科教育法Ⅱ																
離散数学																
代数学基礎																
位相幾何学基礎																
数学科指導論																
数学教育特講																
確率論																
代数学Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
解析学Ⅰ																
解析学Ⅱ																
数学研究セミナーAⅠ																
数学研究セミナーBⅠ																
数学研究セミナーCⅠ																
数学研究セミナーCⅡ																
数学科教材論																
代数学Ⅱ																
幾何学Ⅱ																
数学研究セミナーAⅡ																

大学 No.12　高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
代数学概論																
幾何学概論																
解析学概論																
統計学																
幾何学基礎																
解析学基礎																
数学科教育法Ⅰ																
情報基礎																
関数論基礎																
数学科教育法Ⅱ																
離散数学																
代数学基礎																
位相幾何学基礎																
数学科指導論																
数学教育特講																
確率論																
代数学Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
解析学Ⅰ																
解析学Ⅱ																
数学研究セミナーAⅠ																
数学研究セミナーBⅠ																
数学研究セミナーCⅠ																
数学研究セミナーCⅡ																
数学科教材論																
代数学Ⅱ																
幾何学Ⅱ																
数学研究セミナーAⅡ																

大学 No.12

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

教科書に書かれていることだけではなく、中学校では全ての、高校では少なくとも一つの分野（物化生地）においてはその背景まで理解し、指導できる教員。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.12　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等理科教育法Ⅰ																
基礎の物理学																
基礎の化学																
基礎の生物科学																
基礎生物学実験																
基礎の地球科学																
基礎地学実験																
環境地質学																
天文と宇宙																
気象学																
中等理科教育法Ⅱ																
中等理科教材論																
基礎物理学実験																
基礎化学実験																
物理学																
化学																
生物科学																
地球科学																
理科教材実験法A																
中等理科指導論																
力学																
有機化学																
物理化学																
環境分析化学実験																
固体地球科学																
環境地質学実験																
理科教材実験法B																
原子物理学																
理科教育学実験A																
理科教育学実験B																
電磁気学																
生命科学																
環境生化学																
無機化学																
生命科学実験																

大学 No.13

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

優れた人間性と豊かな教養を有し、各教科についての深い認識と実践的な指導力を身に付けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指します。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.13　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概説A																
西洋史概説A																
東洋史概説A																
法律学概論(国際法を含む)																
日本史概説B																
西洋史概説B																
東洋史概説B																
人文地理学A																
人文地理学B																
人文地理学C																
自然地理学A																
自然地理学B																
地誌学																
経済学概論（国際経済を含む）																
倫理学概論B																
哲学概論																
日本史講読B																
人文地理学B																
倫理学概論A																
日本史演習A																
東洋史講読A																
東洋史演習A																
地理学演習A																
地理学演習D																
地理学実習																
日本地誌A																
外国地誌B																
法律学特殊講義																
倫理学講読A																
倫理学演習A																
日本地誌B																
外国地誌A																
政治学概論(国際政治を含む)																
社会科・地理歴史科指導法Ⅰ																
社会科・公民科指導法Ⅰ																
日本史演習B																
地理学野外調査実習																
地理学演習B																
法律学演習B																
倫理学講読B																
倫理学演習B																
社会科教育学演習A																
社会科・地理歴史科指導法Ⅱ																
社会科・公民科指導法Ⅱ																
法律学演習A																
社会科教育学演習B																
日本史演習C																
東洋史講読B																
東洋史演習B																
地理学演習C																
教職実践演習																
社会学概論																

大学 No.13　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概説A																
西洋史概説A																
東洋史概説A																
法律学概論(国際法を含む)																
日本史概説B																
西洋史概説B																
東洋史概説B																
人文地理学A																
人文地理学C																
自然地理学A																
自然地理学B																
日本史講読B																
地誌学																
人文地理学B																
日本史演習A																
東洋史講読A																
東洋史演習A																
地理学演習A																
地理学演習D																
地理学実習																
日本地誌A																
日本地誌B																
外国地誌A																
外国地誌B																
政治学概論(国際政治を含む)																
社会科・地理歴史科指導法Ⅰ																
日本史演習B																
地理学野外調査実習																
地理学演習B																
社会科教育学演習A																
社会科・地理歴史科指導法Ⅱ																
社会科教育学演習B																
日本史演習C																
東洋史講読B																
東洋史演習B																
地理学演習C																
教職実践演習																

大学 No.13　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
法律学概論(国際法を含む)																
経済学概論（国際経済を含む）																
倫理学概論B																
哲学概論																
倫理学概論A																
法律学特殊講義																
倫理学講読A																
倫理学演習A																
社会科・公民科指導法Ⅰ																
政治学概論(国際政治を含む)																
倫理学講読B																
法律学演習B																
倫理学演習B																
社会科・公民科指導法Ⅱ																
法律学演習A																
教職実践演習																
社会学概論																

大学 No.13

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

優れた人間性と豊かな教養を有し、数学に関する深い認識と実践的な指導力を身に着けた、地域の教育界の発展に貢献できる教員の養成を目指しています。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.13　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
線形代数学Ⅰ																
集合と論理																
微分積分学Ⅰ																
線形代数学Ⅱ																
数学演習																
数学科指導法Ⅰ																
群論																
初等整数論																
平面と空間の幾何学																
微分積分学Ⅱ																
解析演習																
統計学																
数学科指導法ⅡB																
環論																
代数演習																
距離の概念																
複素関数論																
体論																
位相入門																
関数解析学																
微分方程式																
実践的数学教育論B																
代数学購読A																
代数学購読B																
幾何学購読																
幾何学続講																
解析学続講																
解析学購読A																
解析学購読B																
フーリエ解析																
数学教育概説C																
現代代数学ⅠA																
現代代数学ⅠB																
現代幾何学Ⅰ																
現代解析学ⅠA																
現代解析学ⅠB																
数学教育概説D																
現代代数学ⅡA																
現代代数学ⅡB																
現代幾何学Ⅱ																
現代解析学ⅡA																
現代解析学ⅡB																

大学 No.13

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

１．物理学，化学，生物学，地学，物理学実験，化学実験，生物学実験，地学実験についての専門的知識を修得していること。

２．中学校・高等学校の教員としての基礎知識を修得し，実践的指導力を身に付けていること。

３.現代の社会における教育の意義,学校の役割,教育に関する諸問題について,確かな見識を有していること。

４．他者との協調性を身に付け，多様な人々と協働して，課題に取り組むためのコミュニケーション能力を身に付けていること。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.13　中学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
気象学																
生物学実験A																
地学実験A																
一般化学																
力学																
有機化学																
物理学実験A																
化学実験A																
電気化学																
分析化学																
動物学B																
地質学																
中学校理科指導法A																
中学校理科指導法B																
電磁気学																
無機化学																
動物学A																
火山学																
熱学																
化学反応論																
地球物理学																
物理学実験B																
化学実験B																
生物学実験B																
中学校理科指導法C																
中学校理科指導法D																
光学																
植物学A																
量子力学Ⅰ																
植物学B																
植物細胞学																
地学実験B																
量子力学Ⅱ																
物理学実験C																
化学実験C																
生物学実験C																
気象学実験																

大学 No.14

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

力量ある質の高い教員の養成を教育研究上の本学部の目的としており、それらを達成するためのカリキュラムを実施している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.14　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語学特講A																
漢文学特講Ⅰ																
書道(書写)A																
国語学概論																
国語史概説																
国語学特講B																
書道(書写)B																
中等国語科指導法A																
国語教育基礎研究A																
国文学史概説A																
国文学概説A																
古典文学特講A																
近代文学特講A																
漢文学特講ⅡA																
漢文学特講ⅡC																
中等国語科指導法B																
中等国語科指導法C																
漢文学特講ⅡB																
漢文学特講ⅡD																
国文学史概説B																
国語教育総合演習																
中等国語科指導法D																
国語教育基礎研究B																
古典文学特講B																
近代文学特講B																
国文学概説B																

大学 No.14

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

力量ある質の高い教員の養成を教育研究上の本学部の目的としており、それらを達成するためのカリキュラムを実施している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.14　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
外国史概論																
地誌学概論																
社会学概論																
人文・社会科学基礎研究																
中等社会科指導法A																
社会科教育学基礎研究																
日本史学概論																
地理学概論																
人文地理学																
法学概論																
倫理学概論																
歴史学基礎研究																
日本史学特講A																
外国史特講C																
地理学基礎研究																
地理学特講C																
地理学特講A																
地理学特講B																
日本史学特講B																
倫理学研究入門																
中等社会科指導法B																
社会科教育研究入門																
自然地理学																
地理学研究入門																
日本史学研究入門																
外国史研究入門																
法学研究入門																
社会学研究入門																
中等社会科指導法C(地理歴史科)																
社会科特講B																
社会科特講D																
外国史特講A																
地理学野外実習A																
地理学野外実習B																
社会学調査実習																
社会学特講B																
倫理学特講A																
中等社会科指導法D(地理歴史科)																
中等社会科指導法D（公民科）																
社会科教育学演習A																
社会科教育学演習B																
日本史学演習																
地理学演習A																
地理学演習B																
法学特講B																
法学特講C																
社会学特講A																
社会学特講C																
社会学演習																
倫理学特講B																
倫理学特講C																
倫理学演習A																
倫理学演習B																
中等社会科指導法C(公民科)																
社会科授業構成論																
社会科特講A																
社会科特講C																
社会科特講E																
社会科特講F																
社会科特講G																
外国史演習																
日本史学特講C																
日本史学調査実習																
外国史特講B																
法学特講A																
法学演習																

大学 No.14　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
外国史概論																
地誌学概論																
人文・社会科学基礎研究																
中等社会科指導法A																
社会科教育学基礎研究																
日本史学概論																
地理学概論																
人文地理学																
歴史学基礎研究																
日本史学特講A																
外国史特講C																
地理学基礎研究																
地理学特講C																
地理学特講A																
地理学特講B																
日本史学特講B																
中等社会科指導法B																
社会科教育研究入門																
自然地理学																
地理学研究入門																
日本史学研究入門																
外国史研究入門																
中等社会科指導法C(地理歴史科)																
社会科特講B																
社会科特講D																
外国史特講A																
地理学野外実習A																
地理学野外実習B																
中等社会科指導法D(地理歴史科)																
社会科教育学演習A																
社会科教育学演習B																
日本史学演習																
地理学演習A																
地理学演習B																
社会科授業構成論																
社会科特講A																
社会科特講C																
外国史演習																
日本史学特講C																
日本史学調査実習																
外国史特講B																

大学 No.14　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会学概論																
人文・社会科学基礎研究																
中等社会科指導法A																
社会科教育学基礎研究																
法学概論																
倫理学概論																
倫理学研究入門																
中等社会科指導法B																
社会科教育研究入門																
法学研究入門																
社会学研究入門																
社会学調査実習																
社会学特講B																
倫理学特講A																
中等社会科指導法D（公民科）																
社会科教育学演習A																
社会科教育学演習B																
法学特講B																
法学特講C																
社会学特講A																
社会学特講C																
社会学演習																
倫理学特講B																
倫理学特講C																
倫理学演習A																
倫理学演習B																
中等社会科指導法C(公民科)																
社会科授業構成論																
社会科特講E																
社会科特講F																
社会科特講G																
法学特講A																
法学演習																

大学 No.14

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

力量ある質の高い教員の養成を教育研究上の本学部の目的としており、それらを達成するためのカリキュラムを実施している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.14　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的･包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
代数学A																
幾何学A																
解析学A																
数理統計学																
代数学B																
幾何学B																
解析学B																
中等数学科指導法A																
中等数学科指導法B																
情報数理																
代数学C																
解析学C																
数理科学																
中等数学科指導法C																
中等数学科指導法D																
幾何学C																
数学教育学研究A																
数学教育学研究B																
代数学研究																
幾何学研究																
解析学研究																
数理科学研究																

大学 No.14

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

力量ある質の高い教員の養成を教育研究上の本学部の目的としており、それらを達成するためのカリキュラムを実施している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.14　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物理学																
地学																
理科学習評価論																
理科実験入門																
自然観察入門																
化学																
生物学																
天文学																
中等理科指導法A																
中等理科指導法B																
中等理科指導法C																
物理学実験																
化学実験																
生物学実験																
地学実験																
力学																
電磁気学																
無機化学																
植物学																
地殻進化論																
現代物理学																
有機化学																
動物学																
現代生命科学																
中等理科指導法D																
物理学演習																
化学演習																
生物学演習																
地学演習																

大学 No.15

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.15　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語の特質に関する事項（音声言語と文章表現を含む）	■															
中国古典学講義	■	■														
中学校書写Ⅰ	■	■														
中学校書写Ⅱ	■	■														
日本文学演習Ⅲ－1	■	■	■	■												
日本文学演習Ⅲ－2	■	■	■	■												
中国古典学特講Ⅰ	■	■	■	■												
日本の文学を読む（近代）			■	■												
国語科教育概説Ⅱ					■	■										
国語教育講義Ⅰ					■	■										
国語教育講義Ⅱ					■	■										
国語科授業論Ⅱ					■	■										
国語科授業論Ⅲ					■	■										
国語教育演習Ⅰ－1					■	■										
国語教育演習Ⅱ－1					■	■										
国語科教材研究Ⅰ					■	■										
国語科教材研究Ⅲ					■	■										
国語科教材研究Ⅴ					■	■										
国語学演習Ⅰ－1					■	■										
国語学演習Ⅱ－1					■	■										
国語学演習Ⅲ－1					■	■										
国語学演習Ⅳ－1					■	■										
日本文学史（児童文学）					■	■										
日本の文学を読む（児童文学）					■	■										
日本文学演習Ⅰ－1					■	■										
日本文学演習Ⅳ－1					■	■										
中国古典学演習A					■	■										
中国古典学演習B					■	■										
日本語ケーススタディⅠ					■	■										
日本語ケーススタディⅡ					■	■										
日本の詩歌					■	■										
日本の言語文化					■	■										
中国古典学特講Ⅱ					■	■										
国語科教育概説Ⅰ					■	■	■	■								
国語科授業論Ⅰ					■	■	■	■								
日本の古典を読むⅠ					■	■	■	■								
日本文学史（古典）					■	■	■	■								
日本文学演習Ⅱ－1					■	■	■	■								
日本文学演習Ⅱ－2					■	■	■	■								
国語科教育概説Ⅲ							■	■								
国語教育講義Ⅲ							■	■								
国語教育演習Ⅰ－2							■	■								
国語教育演習Ⅱ－2							■	■								
国語科教材研究Ⅱ							■	■								
国語科教材研究Ⅳ							■	■								
日本語の構造・機能							■	■								
日本語の変化・歴史							■	■								
日本語と社会・文化							■	■								
国語学演習Ⅰ－2							■	■								
国語学演習Ⅱ－2							■	■								
国語学演習Ⅲ－2							■	■								
国語学演習Ⅳ－2							■	■								
日本文学史（近代）							■	■								
日本の古典を読むⅡ							■	■								
日本文学演習Ⅰ－2							■	■								
日本文学演習Ⅳ－2							■	■								
国語科教育実践研究									■	■						

大学 No.15

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.15　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本の歴史																
世界の歴史																
日本の地誌																
国際社会と法																
社会学概論																
経済原論Ⅱ																
社会の思想																
東洋史概論																
社会科教材研究Ⅵ																
国家と法																
日本の政治																
政治学特講Ⅰ																
政治学特講Ⅱ																
地域政策論																
社会学特講Ⅰ																
経済原論Ⅰ																
哲学特講Ⅰ																
哲学特講Ⅱ																
現代文化論																
地域史研究入門																
日本史史料調査実習Ⅰ																
日本史史料調査実習Ⅱ																
日本史史料調査実習Ⅲ																
西洋史特講Ⅰ																
西洋史特講Ⅱ																
史学概論																
社会科教材研究Ⅱ																
自然環境論																
自然環境と人間																
外国地誌																
政治学特講Ⅰ																
政治学特講Ⅱ																
社会科教材研究Ⅳ																
社会学特講Ⅰ																
地域と社会																
地域と自然																
国際政治学																
社会学特講Ⅱ																
国際経済学																
社会科教材研究Ⅰ																
西洋史概論																
人文地域環境論																
社会科教材研究Ⅴ																
社会学特講Ⅱ																
地域文化形成史論Ⅱ																
日本史演習Ⅰ-1																
西洋史演習Ⅲ-1																
人文地理環境学演習Ⅰ-1																
社会学演習Ⅲ-1																
経済学演習Ⅰ-1																
哲学演習Ⅰ-1																
社会学演習Ⅱ-1																
社会科・地理歴史科教育論Ⅰ																
地域文化形成史論Ⅰ																
日本史演習Ⅱ-1																
日本史演習Ⅱ-2																
日本史演習Ⅲ-1																
日本史演習Ⅲ-2																

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
西洋史演習Ⅰ-1																
西洋史演習Ⅰ-2																
西洋史演習Ⅱ-1																
西洋史演習Ⅱ-2																
自然地理環境学演習Ⅰ-1																
自然地理環境学演習Ⅰ-2																
自然地理環境学演習Ⅱ-1																
自然地理環境学演習Ⅱ-2																
自然地理環境学演習Ⅲ-1																
自然地理環境学演習Ⅲ-2																
地域環境学野外実習Ⅰ																
地域環境学野外実習Ⅱ																
地域環境学野外実習Ⅲ																
法律学演習Ⅰ-1																
法律学演習Ⅰ-2																
法律学演習Ⅱ-1																
法律学演習Ⅱ-2																
法律学演習Ⅲ-1																
法律学演習Ⅲ-2																
政治学・公共政策演習Ⅰ-1																
政治学・公共政策演習Ⅰ-2																
政治学・公共政策演習Ⅱ-1																
政治学・公共政策演習Ⅱ-2																
政治学・公共政策演習Ⅲ-1																
政治学・公共政策演習Ⅲ-2																
社会学演習Ⅰ-1																
社会学演習Ⅰ-2																
経済学演習Ⅱ-1																
経済学演習Ⅱ-2																
経済学演習Ⅲ-1																
経済学演習Ⅲ-2																
哲学演習Ⅱ-1																
哲学演習Ⅱ-2																
哲学演習Ⅲ-1																
哲学演習Ⅲ-2																
社会科・公民科教育論Ⅰ																
日本史演習Ⅰ-2																
西洋史演習Ⅲ-2																
人文地理環境学演習Ⅰ-2																
社会学演習Ⅱ-2																
社会学演習Ⅲ-2																
経済学演習Ⅰ-2																
哲学演習Ⅰ-2																
社会科・地理歴史科教育論Ⅱ																
社会科教育フィールド演習Ⅰ-1																
社会科教育実践演習Ⅰ-1																
社会科教育システム開発演習Ⅰ-1																
社会科教育論史演習Ⅰ-1																
人文地理環境学演習Ⅱ-1																
人文地理環境学演習Ⅲ-1																
人文地理環境学演習Ⅲ-2																
経済調査実習																
社会科・公民科教育論Ⅱ																
社会科教育フィールド演習Ⅰ-2																
社会科教育実践演習Ⅰ-2																
社会科教育システム開発演習Ⅰ-2																
社会科教育論史演習Ⅰ-2																
人文地理環境学演習Ⅱ-2																

大学 No.15　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
東洋史概論																
日本の歴史																
世界の歴史																
地域と社会																
地域と自然																
日本の地誌																
地域史研究入門																
史学概論																
社会科教材研究Ⅱ																
自然環境論																
自然環境と人間																
外国地誌																
日本史史料調査実習Ⅰ																
日本史史料調査実習Ⅱ																
日本史史料調査実習Ⅲ																
西洋史特講Ⅰ																
西洋史特講Ⅱ																
社会科教材研究Ⅰ																
西洋史概論																
人文地域環境論																
人文地理環境学演習Ⅰ-1																
社会科・地理歴史科教育論Ⅰ																
地域文化形成史論Ⅰ																
地域文化形成史論Ⅱ																
日本史演習Ⅰ-1																
日本史演習Ⅰ-2																
日本史演習Ⅱ-1																
日本史演習Ⅱ-2																
日本史演習Ⅲ-1																
日本史演習Ⅲ-2																
西洋史演習Ⅰ-1																
西洋史演習Ⅰ-2																
西洋史演習Ⅱ-1																
西洋史演習Ⅱ-2																
西洋史演習Ⅲ-1																
西洋史演習Ⅲ-2																
自然地理環境学演習Ⅰ-1																
自然地理環境学演習Ⅰ-2																
自然地理環境学演習Ⅱ-1																
自然地理環境学演習Ⅱ-2																
自然地理環境学演習Ⅲ-1																
自然地理環境学演習Ⅲ-2																
地域環境学野外実習Ⅰ																
地域環境学野外実習Ⅱ																
地域環境学野外実習Ⅲ																
人文地理環境学演習Ⅰ-2																
人文地理環境学演習Ⅱ-1																
社会科・地理歴史科教育論Ⅱ																
人文地理環境学演習Ⅲ-1																
人文地理環境学演習Ⅲ-2																
人文地理環境学演習Ⅱ-2																

大学 No.15　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会学概論																
経済原論Ⅱ																
社会の思想																
社会科教材研究Ⅵ																
社会科教材研究Ⅴ																
国際政治学																
社会学特講Ⅱ																
国際経済学																
国際社会と法																
国家と法																
日本の政治																
政治学特講Ⅰ																
政治学特講Ⅱ																
地域政策論																
社会学特講Ⅰ																
経済原論Ⅰ																
哲学特講Ⅰ																
哲学特講Ⅱ																
現代文化論																
政治学特講Ⅰ																
政治学特講Ⅱ																
社会科教材研究Ⅳ																
社会学演習Ⅱ-1																
社会学演習Ⅲ-1																
経済学演習Ⅰ-1																
哲学演習Ⅰ-1																
社会学演習Ⅱ-2																
社会学演習Ⅲ-2																
経済学演習Ⅰ-2																
哲学演習Ⅰ-2																
法律学演習Ⅰ-1																
法律学演習Ⅰ-2																
法律学演習Ⅱ-1																
法律学演習Ⅱ-2																
法律学演習Ⅲ-1																
法律学演習Ⅲ-2																
政治学・公共政策演習Ⅰ-1																
政治学・公共政策演習Ⅰ-2																
政治学・公共政策演習Ⅱ-1																
政治学・公共政策演習Ⅱ-2																
政治学・公共政策演習Ⅲ-1																
政治学・公共政策演習Ⅲ-2																
社会学演習Ⅰ-1																
社会学演習Ⅰ-2																
経済学演習Ⅱ-1																
経済学演習Ⅱ-2																
経済学演習Ⅲ-1																
経済学演習Ⅲ-2																
哲学演習Ⅱ-1																
哲学演習Ⅱ-2																
哲学演習Ⅲ-1																
哲学演習Ⅲ-2																
社会科・公民科教育論Ⅰ																
社会科・公民科教育論Ⅱ																
経済調査実習																

大学 No.15

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.15　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
代数学	T1-2															
微積分学A	T1-2															
数学基礎Ⅰ	T1-2															
解析学演習	T1-2															
数学科教育法Ⅰ			T4-5													
線形代数学A			T4-5													
数学科教育法Ⅱ					T1-2											
数とそのしくみ					T1-2											
いろいろな図形					T1-2											
長さ・面積・体積					T1-2											
身近な確率・統計					T1-2											
機械計算論					集中											
幾何学演習					T1-2											
教材研究（幾何）					T1-2											
教材研究（応数）					T1-2											
数学科教育法Ⅲ							T4-5									
幾何学							T4-5									
解析学							T4-5									
確率基礎							T4-5									
位相空間論							T4-5									
教材研究（代数）							T4-5									
教材研究（解析・情報数学）							T4-5									
数学科教育実践研究									T1-2							
数値解析									T1-2							
数学教育学研究Ⅰ													T1-2			
代数学研究Ⅰ													T1-2			
幾何学研究Ⅰ													T1-2			
解析学研究Ⅰ													T1-2			
応用数学研究Ⅰ																
数学教育学研究Ⅱ															T4-5	
代数学研究Ⅱ															T4-5	
幾何学研究Ⅱ															T4-5	
解析学研究Ⅱ															T4-5	
応用数学研究Ⅱ																

大学 No.15

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.15　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
理科授業論																
理科教育課程論																
基礎生物学Ⅰ																
基礎地学Ⅰ																
生物学実験																
生物学総合実験																
基礎物理学Ⅰ																
基礎生物学Ⅲ（動物生理学）																
基礎地学Ⅱ（環境地球科学Ⅱ）																
分析化学																
理科教育通論																
理科教材研究（物理）																
理科教材研究（生物）																
理科教材研究（地学）																
物理学基礎実験Ⅰ																
物理学基礎実験Ⅱ																
地学実験Ⅰ																
地学実験Ⅱ																
基礎化学Ⅱ																
理科教材開発演習																
理科学習論																
理科教材研究（化学）																
基礎化学Ⅰ																
化学実験																
基礎物理学Ⅱ																
物理学総合実験																
化学総合実験																
理科教育実施研究																
基礎生物学Ⅱ																
基礎地学Ⅲ（環境地球科学Ⅰ）																

大学 No.17

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

進展する国際化社会の将来を見据え，国語教育の研究活動を通じて国語教育の内容と実践に関する高度な専門性，創造性と開発能力を身につけ，社会のグローバル化に伴い多様化する中学校・高等学校へのニーズに対応できる人材を養成することを目的としています。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.17　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本語学概論Ⅰ																
日本文学史Ⅰ																
中国古典文学概論																
日本文学概論Ⅰ																
中国古典文献概論																
日本語学概論Ⅱ																
日本文学史Ⅱ																
中国古典文基礎																
日本文学概論Ⅱ																
中等国語科教育法Ⅰ																
国語科と情報																
日本語文法																
日本語学演習A																
現代日本語文法Ⅰ																
古典文学演習E																
古典文学演習F																
古典文学演習G																
近代文学演習A																
近代文学演習B																
中国古典演習A																
児童文学																
日本語教育と言語学																
日本語教育方法論																
国語科教材論B																
中等国語科教育法Ⅱ																
中学書写B																
日本語音声																
日本語学演習B																
現代日本語文法Ⅱ																
古典文学演習H																
古典文学演習I																
近代文学演習C																
近代文学演習D																
中国古典演習B																
日本語教育教材開発論																
日本語政策論																
言語習得と発達																
現代文化論																
国語科教材論A																
中等国語科教育法Ⅲ																
中国古典演習C																
異文化間教育																
日本語学基礎研究																
古典文学基礎研究																
近代文学基礎研究																
中国古典学基礎研究																
国語科教育基礎研究																
日本語教育基礎研究																
中等国語科教育法Ⅳ																
国語科教材論C																
中学書写A																
年少者日本語教育																
日本語学応用研究																
古典文学応用研究																
近代文学応用研究																
中国古典学応用研究																
国語科教育応用研究																
日本語教育応用研究																

大学 No.17

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

社会科の内容と実践に関する高度な専門性を持つ中学校・高等学校教員の養成を目的としています。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.17　中学校（社会）

授業科目名（黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
地理学概論																
日本史概論																
哲学・倫理学概論																
社会学概論																
東洋史概論																
西洋史概論																
法学政治学概論																
経済学概論																
地理学研究法																
哲学と宗教																
社会科と情報																
現代社会と世代																
社会科カリキュラム論																
社会科地域教材論Ⅰ																
歴史学文献講読A																
歴史学文献講読B																
歴史学文献講読C																
自然環境																
地理学基礎演習Ⅰ																
地域調査法																
哲学基礎資料講読																
憲法A																
民法A																
民法C																
教育と法																
政治学A																
経済学基礎A																
経済学基礎演習Ⅰ																
社会学史																
都市社会学																
家族社会学																
社会学入門演習																
中等社会教育法Ⅰ																
歴史学概論																
地誌学概論																
歴史学基礎演習A																
歴史学基礎演習B																
地理学基礎演習Ⅱ																
宗教思想基礎演習																
哲学・倫理学基礎演習																
憲法B																
憲法C																
民法B																
政治学B																
法学政治学基礎演習																
経済学基礎B																
経済学基礎演習Ⅱ																
コミュニケーションの社会学																
ジェンダーの社会学																
社会学基礎演習																
中等社会教育法Ⅱ																
中等社会科・地理歴史教育法Ⅰ																

授業科目名（黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等社会科・公民科教育法Ⅰ																
日本史演習A－1																
日本史演習B－1																
社会科地域教材論Ⅱ																
東洋史演習Ⅰ																
西洋史演習A－Ⅰ																
西洋史演習B－Ⅰ																
人文地理学研究																
地理情報と地図																
自然地理学実習Ⅰ																
自然地理学実習Ⅱ																
臨地研究Ⅰ																
東洋哲学史Ⅰ																
宗教思想の諸問題																
心の哲学と知識論																
法学政治学演習Ⅰ																
経済学応用A																
経済学演習Ⅰ																
社会学演習Ⅰ																
社会科教材論A																
社会科教材論B																
中等社会科・地理歴史教育法Ⅱ																
中等社会科・公民科教育法Ⅱ																
日本史演習A－Ⅱ																
日本史演習B－Ⅱ																
東洋史演習Ⅱ																
西洋史演習A－Ⅱ																
西洋史演習B－Ⅱ																
日本史研究A																
日本史研究B																
東洋史研究																
西洋史研究A																
西洋史研究B																
自然地理学研究																
地誌学研究																
環境地理学研究																
人文地理学実習																
臨地研究Ⅱ																
応用倫理																
西洋哲学史																
哲学特殊研究A																
哲学特殊研究B																
哲学特殊研究C																
法学政治学演習Ⅱ																
経済学応用B																
経済学応用C																
経済学応用D																
経済学演習Ⅱ																
社会学演習Ⅱ																
社会科地域教材論Ⅲ																
地理学演習Ⅰ																
地理学演習Ⅱ																

大学 No.17　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
地理学概論																
日本史概論																
東洋史概論																
西洋史概論																
地理学研究法																
社会科と情報																
社会科カリキュラム論																
社会科地域教材論Ⅰ																
歴史学文献講読A																
歴史学文献講読B																
歴史学文献講読C																
自然環境																
地理学基礎演習Ⅰ																
地域調査法																
歴史学概論																
地誌学概論																
歴史学基礎演習A																
歴史学基礎演習B																
地理学基礎演習Ⅱ																
中等社会科・地理歴史教育法Ⅰ																
日本史演習A－1																
日本史演習B－1																
社会科地域教材論Ⅱ																
東洋史演習Ⅰ																
西洋史演習A－Ⅰ																
西洋史演習B－Ⅰ																
人文地理学研究																
地理情報と地図																
自然地理学実習Ⅰ																
自然地理学実習Ⅱ																
臨地研究Ⅰ																
社会科教材論A																
社会科教材論B																
中等社会科・地理歴史教育法Ⅱ																
日本史演習A－Ⅱ																
日本史演習B－Ⅱ																
東洋史演習Ⅱ																
西洋史演習A－Ⅱ																
西洋史演習B－Ⅱ																
日本史研究A																
日本史研究B																
東洋史研究																
西洋史研究A																
西洋史研究B																
自然地理学研究																
地誌学研究																
環境地理学研究																
人文地理学実習																
臨地研究Ⅱ																
社会科地域教材論Ⅲ																
地理学演習Ⅰ																
地理学演習Ⅱ																

大学 No.06　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
哲学・倫理学概論																
社会学概論																
法学政治学概論																
経済学概論																
哲学と宗教																
社会科と情報																
現代社会と世代																
社会科カリキュラム論																
哲学基礎資料講読																
憲法A																
民法A																
民法C																
教育と法																
政治学A																
経済学基礎A																
経済学基礎演習Ⅰ																
社会学史																
都市社会学																
家族社会学																
社会学入門演習																
宗教思想基礎演習																
哲学・倫理学基礎演習																
憲法B																
憲法C																
民法B																
政治学B																
法学政治学基礎演習																
経済学基礎B																
経済学基礎演習Ⅱ																
コミュニケーションの社会学																
ジェンダーの社会学																
社会学基礎演習																
中等社会科・公民科教育法Ⅰ																
東洋哲学史Ⅰ																
宗教思想の諸問題																
心の哲学と知識論																
法学政治学演習Ⅰ																
経済学応用A																
経済学演習Ⅰ																
社会学演習Ⅰ																
社会科教材論A																
社会科教材論B																
中等社会科・公民科教育法Ⅱ																
西洋哲学史																
哲学特殊研究A																
哲学特殊研究B																
哲学特殊研究C																
法学政治学演習Ⅱ																
経済学応用B																
経済学応用C																
経済学応用D																
経済学演習Ⅱ																
社会学演習Ⅱ																

大学 No.17

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

数学的能力の高い中学校・高等学校教員の養成を目的としています。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.17　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
数学専攻入門セミナー																
微分・積分学																
微分・積分学演習Ⅰ																
線形数学																
線形数学演習Ⅰ																
基礎数学																
微分・積分学演習Ⅱ																
線形数学演習Ⅱ																
中等数学科教育法Ⅰ																
解析学Ⅰ																
代数学Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
確率・統計Ⅰ																
位相数学Ⅰ																
コンピュータ概論																
中等数学科教育法Ⅱ																
数学科教材論																
解析学Ⅱ																
代数学Ⅱ																
幾何学Ⅱ																
確率・統計Ⅱ																
位相数学Ⅱ																
中等数学科教育法Ⅲ																
数学科教育臨床																
解析学特論AⅠ																
解析学特論BⅠ																
解析学特論C																
解析学特論E																
代数学特論AⅠ																
代数学特論BⅠ																
幾何学特論AⅠ																
幾何学特論BⅠ																
確率論特論Ⅰ																
統計学特論Ⅰ																
中等数学科教育法Ⅳ																
数学カリキュラム論																
数学教育研究																
解析学特論AⅡ																
解析学特論BⅡ																
解析学特論D																
代数学特論AⅡ																
代数学特論BⅡ																
幾何学特論AⅡ																
幾何学特論BⅡ																
確率論特論Ⅱ																
統計学特論Ⅱ																

大学 No.17

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

自然科学に関する深い学問的造詣を有し、中学校・高等学校の理科教育を担当するとともに、教育現場のさまざまな問題に対し解決の道を見つけることのできる教員の養成を目的としています。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.17　中学校・高等学校（理科）

授業科目名（黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
化学概論																
理科専修入門セミナー																
基礎物理学																
基礎化学																
基礎生物学																
基礎地学																
自然科学のための数学																
物理学実験																
化学実験																
生物学実験																
地学実験																
現代社会における理科教育																
現代社会における理科教育																
物理学概論																
物理数学Ⅰ																
基礎無機化学																
基礎物理化学																
有機反応基礎論																
理科教材開発基礎Ⅰ																
理科教材開発基礎Ⅱ																
自然探究実践法																
理科教育測定・評価論																
物理学演習																
生物学概論																
地学概論																
力学及び演習Ⅰ																
電磁気学及び演習Ⅰ																
物理数学Ⅱ																
基礎有機化学																
物理化学Ⅰ																
無機化学Ⅰ																
生物科学方法論																
植物学野外実習																
臨海実習A																
臨海実習B																
植物系統学																
生態学																
生化学																
大気物理学概論																
固体地球科学概説																
地殻物質論																
中等理科教育法Ⅰ																
自然史科学																
化学演習																
生物学演習																
地学演習																
力学及び演習Ⅱ																
電磁気学及び演習及び演習Ⅱ																
現代物理学																
有機化学																
物理化学Ⅱ																
分析化学																
量子化学																
動物系統学																
植物形態学																
宇宙地球と生命																
気象学概論																
地殻構成論																
中等理科教育法Ⅱ																
理科学習指導論																
理科カリキュラム研究																
理科教育学概説																
熱力学及び演習																
量子力学及び演習Ⅰ																
専修物理学実験A																
専修物理学演習A																
有機軌道論																
分子分光学																
有機化学実験																

授業科目名（黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物理化学Ⅲ																
物理化学実験																
無機・分析化学実験																
無機化学Ⅱ																
生物学特別実験																
遺伝学																
生物学特別演習AⅠ																
生物学特別演習BⅠ																
生物学特別演習CⅠ																
生物学特別演習DⅠ																
生物学特別演習EⅠ																
生物学特別演習FⅠ																
宇宙物理学演習																
地球科学野外実習																
地球科学実験																
宇宙物理学																
地球物理学																
古生物学																
地球化学																
中等理科教育法Ⅲ																
中等理科教育法Ⅳ																
理科教育臨床																
理科における環境教育																
理科教育と科学史																
統計力学及び演習																
量子力学及び演習Ⅱ																
専修物理学実験B																
専修物理学演習B																
物性物理学																
分子設計と合成																
高分子化学																
有機化学演習																
無機化学演習																
物理化学演習																
環境科学																
植物生理学																
発達生物学																
生物学特別演習AⅡ																
生物学特別演習BⅡ																
生物学特別演習CⅡ																
生物学特別演習DⅡ																
生物学特別演習EⅡ																
生物学特別演習FⅡ																
天文学実験																
地球物理学実験																
古生物学実習																
宇宙科学特別演習																
天文学特別演習																
気象科学特別演習A																
気象科学特別演習B																
地球物理学特別演習																
地球科学特別演習A																
地球科学特別演習B																
地球科学特別演習C																
地球環境科学特別演習																
海洋科学																
岩石鉱物学実験																
理科教育セミナーⅠ																
相対性理論																
量子物理学特論																
物理化学セミナーⅠ																
有機化学セミナーⅠ																
有機化学セミナーⅡ																
無機化学セミナーⅠ																
無機化学セミナーⅡ																
理科教育セミナーⅡ																
物理化学セミナーⅡ																
動物生理学																

大学 No.18

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.18　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本語学通論																
日本語文法総論																
日本語語彙論																
日本文学概説																
中国古典文学史（先秦～唐）																
書道Ⅱ																
日本語文章表現論																
日本文学論講読Ⅳ																
書道Ⅰ																
日本語音声表現論																
中国古典文学史（宋～清）																
日本古典文学史論（中古）																
日本文学論講読Ⅱ																
日本文学論講読Ⅲ																
日本古典文学史論（中世）																
日本古典文学特殊研究（中世）																
日本近代文学特殊研究（現代）																
日本近代文学論特殊講義Ⅰ																
中国古典文献講読入門																
国語科教育法Ⅲ																
日本語史特殊研究																
日本古典文学史論（近世）																
日本古典文学特殊研究（中古）																
日本古典文学特殊研究（近世）																
日本近代文学特殊研究（近代）																
日本古典文学論特殊講義Ⅲ																
日本近代文学論特殊講義Ⅱ																
中国古典文献講読基礎																
中国文学古典演習																
国語科教育法Ⅰ																
日本語学演習（日本語史）Ⅰ																
日本語学演習（近・現代語）Ⅰ																
日本近代文学史論（近代）																
日本古典文学論演習（中古）Ⅰ																
日本古典文学論演習（中世）Ⅰ																
日本古典文学論演習（近世）Ⅰ																
日本近代文学論演習（近代）Ⅰ																
日本近代文学論演習（現代）Ⅰ																
国語科教育法Ⅱ																
日本語学演習（日本語史）Ⅱ																
日本語学演習（近・現代語）Ⅱ																
日本近代文学史論（現代）																
日本古典文学論演習（中古）Ⅱ																
日本古典文学論演習（中世）Ⅱ																
日本古典文学論演習（近世）Ⅱ																
日本近代文学論演習（近代）Ⅱ																
日本近代文学論演習（現代）Ⅱ																
中国語学文献講読																
国語科教育法Ⅳ																

大学 No.18

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.18　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等社会科教育法Ⅰ（地理歴史）																
中等社会科教育法Ⅱ（公民）																
中等社会科教育法Ⅲ（地理歴史）																
中等社会科教育法Ⅳ（公民）																
日本史概説																
日本文化史概論																
アジア史概説																
西洋史概説																
都市と自然																
自然と人間																
地誌学																
法学総論Ⅰ																
法学総論Ⅱ																
政治学総論Ⅰ																
政治学総論Ⅱ																
社会学通論Ⅰ																
社会学通論Ⅱ																
経済学通論Ⅰ																
経済学通論Ⅱ																
哲学概論Ⅰ																
哲学概論Ⅱ																
倫理学概論Ⅰ																
倫理学概論Ⅱ																
日本古代中世政治史																
日本近世近代政治史																
日本古代中世文化史																
日本近世近代文化史																
日本古代史演習Ⅰ																
日本古代史演習Ⅱ																
日本古代史料演習Ⅰ																
日本古代史料演習Ⅱ																
日本中世史演習Ⅰ																
日本中世史演習Ⅱ																
日本中世史料演習Ⅰ																
日本中世史料演習Ⅱ																
日本近世史演習Ⅰ																
日本近世史演習Ⅱ																
日本近世史料演習Ⅰ																
日本近世史料演習Ⅱ																
日本近代史演習Ⅰ																
日本近代史演習Ⅱ																
日本近代史料演習Ⅰ																
日本近代史料演習Ⅱ																
古文書学																
歴史史料学																
西アジア史演習Ⅰ																
西アジア史演習Ⅱ																
東アジア史演習Ⅰ																
東アジア史演習Ⅱ																
フランス史																
イギリス史																
歴史学文献講読Ⅰ																
歴史学文献講読Ⅱ																
西洋社会史演習Ⅰ																
西洋社会史演習Ⅱ																
西洋政治史演習Ⅰ																
西洋政治史演習Ⅱ																
西洋社会経済史演習Ⅰ																
西洋社会経済史演習Ⅱ																
グローバル・ヒストリー																
美術史学演習Ⅰ																
美術史学演習Ⅲ																
形象分析学演習Ⅰ																
形象分析学演習Ⅲ																
美術史学特殊講義Ⅰ																
美術史学特殊講義Ⅲ																
形象分析学特殊講義Ⅰ																
形象分析学特殊講義Ⅲ																
地図学																
社会地理学																
自然地理学																
測量学																
地理学フィールドワークA																
人文地理学分析基礎演習																
環境地理学基礎演習																
地理学フィールドワーク演習																
環境地理学演習Ⅰ																
環境地理学演習Ⅱ																
地域分析学演習Ⅰ																
地域分析学演習Ⅱ																
社会地理学演習																
自然地理学演習Ⅰ																
地理学英書講読																
人間と空間																
都市・福祉地理学演習Ⅰ																
都市・福祉地理学演習Ⅱ																
経済地理学																
都市地理学																
哲学演習AⅠ																
哲学演習AⅡ																
哲学演習AⅢ																
哲学演習AⅣ																
哲学演習BⅠ																
哲学演習BⅡ																
哲学演習BⅢ																
哲学演習BⅣ																
倫理学演習A																
倫理学資料講読																
西洋倫理思想史研究																
倫理学研究																

大学 No.18　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等社会科教育法Ⅰ（地理歴史）																
中等社会科教育法Ⅲ（地理歴史）																
日本史概説																
日本文化史概論																
アジア史概説																
西洋史概説																
都市と自然																
自然と人間																
地誌学																
日本古代中世政治史																
日本近世近代政治史																
日本古代中世文化史																
日本近世近代文化史																
日本古代史演習Ⅰ																
日本古代史演習Ⅱ																
日本古代史料演習Ⅰ																
日本古代史料演習Ⅱ																
日本中世史演習Ⅰ																
日本中世史演習Ⅱ																
日本中世史料演習Ⅰ																
日本中世史料演習Ⅱ																
日本近世史演習Ⅰ																
日本近世史演習Ⅱ																
日本近世史料演習Ⅰ																
日本近世史料演習Ⅱ																
日本近代史演習Ⅰ																
日本近代史演習Ⅱ																
日本近代史料演習Ⅰ																
日本近代史料演習Ⅱ																
古文書学																
歴史史料学																
形象分析学演習Ⅰ																
形象分析学演習Ⅲ																
形象分析学特殊講義Ⅰ																
形象分析学特殊講義Ⅲ																
西アジア史演習Ⅰ																
西アジア史演習Ⅱ																
東アジア史演習Ⅰ																
東アジア史演習Ⅱ																
フランス史																
イギリス史																
歴史学文献講読Ⅰ																
歴史学文献講読Ⅱ																
西洋社会史演習Ⅰ																
西洋社会史演習Ⅱ																
西洋政治史演習Ⅰ																
西洋政治史演習Ⅱ																
西洋社会経済史演習Ⅰ																
西洋社会経済史演習Ⅱ																
グローバル・ヒストリー																
美術史学演習Ⅰ																
美術史学演習Ⅲ																
美術史学特殊講義Ⅰ																
美術史学特殊講義Ⅲ																
地図学																
社会地理学																
自然地理学																
測量学																
地理学フィールドワークA																
人文地理学分析基礎演習																
環境地理学基礎演習																
地理学フィールドワーク演習																
環境地理学演習Ⅰ																
環境地理学演習Ⅱ																
地域分析学演習Ⅰ																
地域分析学演習Ⅱ																
社会地理学演習																
自然地理学演習Ⅰ																
地理学英書講読																
人間と空間																
都市・福祉地理学演習Ⅰ																
都市・福祉地理学演習Ⅱ																

大学 No.18　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等社会科教育法Ⅱ（公民）																
中等社会科教育法Ⅳ（公民）																
法学総論Ⅰ																
法学総論Ⅱ																
政治学総論Ⅰ																
政治学総論Ⅱ																
社会学通論Ⅰ																
社会学通論Ⅱ																
経済学通論Ⅰ																
経済学通論Ⅱ																
哲学概論Ⅰ																
哲学概論Ⅱ																
倫理学概論Ⅰ																
倫理学概論Ⅱ																
経済地理学																
都市地理学																
哲学演習AⅠ																
哲学演習AⅡ																
哲学演習AⅢ																
哲学演習AⅣ																
哲学演習BⅠ																
哲学演習BⅡ																
哲学演習BⅢ																
哲学演習BⅣ																
倫理学演習A																
倫理学資料講読																
西洋倫理思想史研究																
倫理学研究																

大学 No.19

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

以下の三つの資質・能力を有する国語教員の養成を目指している。

①小学校、中学校、高等学校での学習の流れを見通せる教員。

②学校教育を取り巻く今日的な課題を理解し、新たな方策が打ち出せる教員。

③生徒の考えに寄り添い、相互の対話を活性化させながら、深い学びへと導ける教員。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

教員ごとに異なる

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.19　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等教科教育法（国語Ⅰ）																
中等教科教育法（国語Ⅲ）																
国語教育演習Ⅰ																
国語教育演習Ⅱ																
日本語学概説																
日本文学講読ⅠA																
日本文学講読ⅠB																
中国古典文学講読A																
日本語史B																
日本文学講義ⅡA																
日本文学講義ⅡB																
書法ⅠA																
書法ⅠB																
書道史																
書論・鑑賞																
書写実技																
中等教科教育法（国語Ⅱ）																
中等教科教育法（国語Ⅳ）																
日本文学講読ⅡA																
日本文学講読ⅡB																
中国古典文学講読B																
日本語史A																
日本文学講義ⅠA																
日本文学講義ⅠB																
中国古典文学講義A																
中国古典文学講義B																
書法ⅡA																
書法ⅡB																
日本文学演習Ⅰ																
日本文学演習Ⅱ																
中国古典文学演習																
日本語学演習																

大学 No.19

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

「学問と教育の結合」の観点から、現代社会に対する学術的な知見と、それを踏まえた生徒の発達課題についての知見、その上での指導方法の構築に関する知見と技能を育成。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

“基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている(a)”“学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている(b)” のそれぞれに該当する。

本学部での「小教専」と連動させて a としたり、地理歴史科教育法、公民科教育法との連動で b としたりしている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.19　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等教科教育法（社会Ⅰ）																
中等教科教育法（社会Ⅱ）																
中等教科教育法（社会・地理歴史Ⅰ）																
中等教科教育法（社会・公民Ⅰ）																
日本史概論Ⅰ																
日本史概論Ⅱ																
世界史概論Ⅰ																
世界史概論Ⅱ																
地誌学A																
地誌学B																
法学概論																
経済学概論																
倫理学概論																
倫理学特論																
日本史史料講読A																
日本史史料講読B																
世界史史料講読A																
世界史史料講読B																
現代史資料講読A																
現代史資料講読B																
日本史演習A																
世界史演習A																
日本史特論																
世界史特論																
社会科教育史演習A																
社会科教育史演習B																
人文地理学演習A																
自然地理学演習A																
地理学野外実習Ⅰ																
地理学野外実習Ⅱ																
地域教材研究論演習A																
地域教材研究論演習B																
国際法																
憲法																
法学演習A																
法学演習B																
国際学Ⅰ（政治学）																
国際学Ⅱ（国際関係論）																
国際経済論																
経済学特論																
経済学演習A																
社会思想史演習A																
社会思想史演習B																
倫理学演習A																
中等教科教育法（社会・地理歴史Ⅱ）																
中等教科教育法（社会・公民Ⅱ）																
世界史演習B																
日本史演習B																
古文書実習																
考古学概論																
人文地理学																
人文地理学演習B																
自然地理学																
自然地理学演習B																
地理学実験実習																
経済学演習B																
倫理学演習B																

大学 No.19　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等教科教育法（社会Ⅰ）																
中等教科教育法（社会Ⅱ）																
中等教科教育法（社会・地理歴史Ⅰ）																
中等教科教育法（社会・公民Ⅰ）																
日本史概論Ⅰ																
日本史概論Ⅱ																
世界史概論Ⅰ																
世界史概論Ⅱ																
地誌学A																
地誌学B																
日本史史料講読A																
日本史史料講読B																
日本史演習A																
日本史特論																
世界史史料講読A																
世界史史料講読B																
現代史資料講読A																
現代史資料講読B																
世界史演習A																
世界史特論																
社会科教育史演習A																
社会科教育史演習B																
人文地理学演習A																
自然地理学演習A																
地理学野外実習Ⅰ																
地理学野外実習Ⅱ																
地域教材研究論演習A																
地域教材研究論演習B																
中等教科教育法（社会・地理歴史Ⅱ）																
人文地理学																
自然地理学																
日本史演習B																
古文書実習																
考古学概論																
世界史演習B																
人文地理学演習B																
自然地理学演習B																
地理学実験実習																

大学 No.19　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等教科教育法（社会Ⅰ）																
中等教科教育法（社会Ⅱ）																
中等教科教育法（社会・地理歴史Ⅰ）																
中等教科教育法（社会・公民Ⅰ）																
法学概論																
国際法																
経済学概論																
国際経済論																
倫理学概論																
倫理学特論																
憲法																
法学演習A																
法学演習B																
国際学Ⅰ（政治学）																
国際学Ⅱ（国際関係論）																
経済学特論																
経済学演習A																
社会思想史演習A																
社会思想史演習B																
倫理学演習A																
中等教科教育法（社会・公民Ⅱ）																
経済学演習B																
倫理学演習B																

大学 No.19

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

当学部では小学校の教員免許の取得が必修になっており、小学校でどのようなことを学んだかを理解し、それが生かせる授業のできる中・高等学校教員の養成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.19　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的･包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
代数学Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
解析学Ⅰ																
中等教科教育法(数学Ⅰ)																
代数学Ⅱ																
幾何学Ⅱ																
解析学Ⅱ																
中等教科教育法(数学Ⅱ)																
確率･統計Ⅰ																
解析学Ⅲ																
中等教科教育法(数学Ⅲ)																
コンピュータ概論Ⅰ																
代数学Ⅲ																
幾何学Ⅲ																
中等教科教育法(数学Ⅳ)																
数学演習																

大学 No.19

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

子どもの興味・関心を高めるための知識・技能を有する教員の育成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.19　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
化学概説Ⅰ																
中等教科教育法（理科Ⅰ）																
中等教科教育法（理科Ⅱ）																
中等教科教育法（理科Ⅲ）																
中等教科教育法（理科Ⅳ）																
生物学実験																
地学実験																
物理学概説Ⅰ																
生物学概説Ⅰ																
物理学概説Ⅱ																
化学概説Ⅱ																
生物学概説Ⅱ																
地学概説Ⅱ																
物理学実験																
化学実験																
地学概説Ⅰ																
物理学特講Ⅰ																
地学特講Ⅰ																
化学特講Ⅱ																
生物学特講Ⅱ																
理科教育特講Ⅰ																
理科教育特講Ⅱ																
化学特講Ⅰ																
生物学特講Ⅰ																
物理学特講Ⅱ																
地学特講Ⅱ																
理科教育総合演習																
物理学総合演習																
化学総合演習																
生物学総合演習																
地学総合演習																

大学 No.20

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

人間の生涯発達を視野に収め、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教育人の養成を目指します。（教育学部教育目標）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.20　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等国語科教育法Ⅰ																
中等国語科教育法Ⅲ																
国語科実践史演習Ⅰ																
国語科実践史演習Ⅱ																
国語学概論																
日本文学概論（国文学史を含む。）																
漢文学概説																
書写演習Ⅰ																
国語学演習Ⅰ																
日本古典文学史																
古典文学演習Ⅰ																
近代文学演習Ⅰ																
日本文学講読																
漢文学講読Ⅰ																
漢文学演習Ⅰ																
書法研究（漢字）Ⅰ																
書学概論																
書道史																
中等国語科教育法Ⅱ																
国語科授業開発演習Ⅰ																
国語科授業開発演習Ⅱ																
国語学演習Ⅱ																
日本語史																
古典文学演習Ⅱ																
近代文学演習Ⅱ																
漢文学講読Ⅱ																
漢文学演習Ⅱ																
書写演習Ⅱ																
書法研究（仮名）Ⅱ																
書論研究																
名跡研究																

大学 No.20

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

人間の生涯発達を視野に収め、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教育人の養成を目指します。（教育学部教育目標）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.20　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等社会科教育法Ⅰ																
日本史概説																
外国史概説																
地理学概論（地誌・自然地理を含む）																
法律学概説（国際法を含む）																
社会学概論																
経済学概論（国際経済を含む）																
哲学概論																
日本史特殊講義																
日本史演習Ⅰ																
西洋史																
中等社会科教育法Ⅱ																
中等社会・地理歴史教育法																
中等社会・公民教育法																
倫理学概論																
日本史																
日本史演習Ⅱ																
西洋史演習																
東洋史																
地誌学																
法律学講読Ⅱ																
社会調査法																
経済学講読Ⅰ																
哲学倫理思想史																
法律学演習Ⅰ																
社会学講読																
社会学演習Ⅱ																
経済学講読Ⅱ																
経済学演習Ⅱ																
哲学倫理学演習Ⅱ																
西洋史特殊講義																
地理学実験																
自然環境学																
社会学演習Ⅰ																
経済学演習Ⅰ																
哲学倫理学演習Ⅰ																
臨地研究Ⅱ																
法律学演習Ⅱ																
歴史学研究法																
地理学演習																
臨地研究Ⅰ																
政治学概説（国際政治を含む）																
法律学講読Ⅰ																
宗教学																

大学 No.20　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概説																
外国史概説																
地理学概論（地誌・自然地理を含む）																
日本史特殊講義																
日本史演習Ⅰ																
西洋史																
中等社会・地理歴史教育法																
日本史																
日本史演習Ⅱ																
西洋史演習																
東洋史																
地誌学																
地理歴史科教育法																
西洋史特殊講義																
地理学実験																
自然環境学																
臨地研究Ⅱ																
歴史学研究法																
地理学演習																
臨地研究Ⅰ																

大学 No.20　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
法律学概説（国際法を含む）																
社会学概論																
経済学概論（国際経済を含む）																
哲学概論																
中等社会・公民教育法																
倫理学概論																
法律学講読Ⅱ																
社会調査法																
経済学講読Ⅰ																
哲学倫理思想史																
法律学演習Ⅰ																
社会学講読																
社会学演習Ⅱ																
経済学講読Ⅱ																
経済学演習Ⅱ																
哲学倫理学演習Ⅱ																
公民科教育法																
社会学演習Ⅰ																
経済学演習Ⅰ																
哲学倫理学演習Ⅰ																
法律学演習Ⅱ																
政治学概説（国際政治を含む）																
法律学講読Ⅰ																
宗教学																

大学 No.20

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

人間の生涯発達を視野に収め、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教育人の養成を目指します。（教育学部教育目標）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.20　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
初等微分積分学Ⅰ																
数学演習Ⅰ																
線形代数学Ⅰ																
微分積分学Ⅰ																
初等微分積分学Ⅱ																
数学演習Ⅱ																
線形代数学Ⅱ																
微分積分学Ⅱ																
中等数学科教育法Ⅰ																
集合と写像																
立体の幾何学																
関数と数列																
確率論																
コンピュータ																
中等数学科教育法Ⅱ																
中等数学科教育法Ⅲ																
群の構造																
微分方程式																
数理統計学																
数学教育学習論																
代数的構造																
曲面の幾何学																
複素関数Ⅰ																
関数空間																
数学セミナーⅠ																
数学教育課程論																
複素関数Ⅱ																
数学セミナーⅡ																
数学教育認識論																
数学教育認識論演習																

大学 No.20

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

人間の生涯発達を視野に収め、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教育人の養成を目指します。（教育学部教育目標）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.20　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的･包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生物学一般																
生物学実験Ⅰ																
地学一般																
地学実験Ⅰ																
物理数学																
生物学実験Ⅱ																
地学実験Ⅱ																
中等理科教育法																
理科教育教材研究Ⅰ																
理科教育教材･教具論																
物理学一般																
物理学実験Ⅰ																
化学一般																
化学実験Ⅰ																
力学																
植物学																
理科教育教材研究Ⅱ																
電磁気学																
物理学実験Ⅱ																
有機化学																
無機化学																
化学実験Ⅱ																
多様性生物論																
動物学																
地球環境史																
地球変動学																
理科教育学実験																
理科教育学セミナリーⅠ																
量子力学																
物理学セミナリーⅠ																
化学セミナリーⅠ																
生物学セミナリーⅠ																
地学セミナリーⅠ																
野外生物学実習Ⅰ																
野外生物学実習Ⅱ																
野外地学実習Ⅰ																
野外地学実習Ⅱ																
理科教育学セミナリーⅡ																
熱力学																
物理学セミナリーⅡ																
化学セミナリーⅡ																
生物学セミナリーⅡ																
地学セミナリーⅡ																
理科教育学原論																
理科教育課程論																

大学 No.21

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

（国語教育専修）国語学・国文学・漢文学・国語科教育学という国語科の各分野にわたって幅広い知見を習得する中で、とりわけ学校教員（中学校・高等学校）に必修である言語と文化に関わる専門的能力を高めながら、高度な教育実践力を養うことを目指す。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.21　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語科教育法（中等）Ⅰ																
国語科教育法（中等）Ⅲ																
国語科教育学演習Ⅰ																
国語科教育学演習Ⅲ																
国語学概論Ⅰ																
国語学概論Ⅱ																
国文学概論Ⅰ																
漢文学講義Ⅰ																
漢文学講義Ⅱ																
書道講義及び実習Ⅰ																
国語教育基礎演習																
音声言語Ⅰ																
音声言語Ⅱ																
国文学史Ⅰ																
国語科教育法（中等）Ⅱ																
国語科教育法（中等）Ⅳ																
国語科教育学演習Ⅱ																
国語科教育学演習Ⅳ																
国文学概論Ⅱ																
書道講義及び実習Ⅱ																
文法及び文章表現Ⅰ																
文法及び文章表現Ⅱ																
国文学史Ⅱ																
国語学講義Ⅰ																
国語学講義Ⅱ																
国語学演習Ⅰ																
国語学演習Ⅲ																
国文学演習Ⅰ																
国文学演習Ⅲ																
漢文学演習Ⅰ																
漢文学演習Ⅲ																
国文学演習Ⅳ																
国語学演習Ⅱ																
国語学演習Ⅳ																
国文学演習Ⅱ																
漢文学演習Ⅱ																
漢文学演習Ⅳ																

大学 No.21

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

社会情勢の変化や学習指導要領等の改訂があっても自信をもって授業を構成し続けることができる（中長期的にも通用する確かな力を持った）教員の養成を目指している。そのために、一つには、多様な学問分野の集合という社会科の特徴を踏まえ、社会科を構成する各学問分野の基礎をしっかりと修得することを重視している。もう一つには、研究の進展によりどのように新たな知識やものの見方が生産されるかを理解したり、学問の本質的な面白さにふれたりできるよう、ゼミ等で特定の分野の専門性を高めることを重視している。（なお、こうした視点からカリキュラムを構成しているが、教員の急激な減少等により、閉鎖・休止されるゼミが相次ぐなど、ここ 2, 3 年は場当たり的な運用となっていることが否めない状況である。）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.21　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科教育法（中等）Ⅰ																
社会科教育法（中等）Ⅲ																
社会科教材開発実習Ⅰ																
人文・社会科学方法論特講（社会・公民）																
社会認識形成史演習Ⅰ（社会・地理歴史）																
地理歴史科教育法Ⅰ																
日本史																
外国史A																
人文地理学																
地誌A																
法律学Ⅰ																
政治学																
社会学																
哲学																
倫理学																
日本史特講Ⅰ																
日本史特講Ⅱ																
歴史学研究法（日本史）																
日本史演習　Ⅰ																
日本史演習　Ⅱ																
外国史特講Ⅰ																
歴史学研究法Ⅰ（外国史）																
外国史演習　Ⅰ																
地理学特講Ⅰ																
地理学特講Ⅲ																
自然地理学研究法																
地理学演習　Ⅰ																
地理学演習　Ⅲ																
法律学特講Ⅰ																
人文・社会科学研究法Ⅰ（法律学）																
政治学特講Ⅰ																
法律学・政治学演習　Ⅰ																
法律学・政治学演習　Ⅲ																
経済学特講Ⅱ																
人文・社会科学研究法Ⅰ（経済学）																
経済学・経済学演習　Ⅰ																
経済学・経済学演習　Ⅲ																
哲学・倫理学特講Ⅰ																
哲学・倫理学特講Ⅱ																
哲学・倫理学特講Ⅳ																
人文・社会科学研究法Ⅰ（哲学・倫理学）																
地理学実習Ⅰ																
地理学実習Ⅱ																
地理学実習Ⅲ																
社会科教育法（中等）Ⅱ																
社会科教育法（中等）Ⅳ																
社会認識形成史特講（社会・地理歴史）																
社会認識形成史演習Ⅱ（社会・地理歴史）																
地理歴史科教育法Ⅱ																
社会のグローバル化と学校・教師の課題																
外国史B																
自然地理学																
地誌B																
法律学Ⅱ																
経済学																
日本史特講Ⅲ																
日本史特講Ⅳ																
日本史演習　Ⅲ																
日本史演習　Ⅳ																
外国史特講Ⅱ																
歴史学研究法Ⅱ（外国史）																
外国史演習　Ⅲ																
地理学特講Ⅳ																
人文地理学研究法																
地理学演習　Ⅱ																
地理学演習　Ⅳ																
法律学特講Ⅲ																
人文・社会科学研究法Ⅱ（法律学）																
政治学特講Ⅱ																
法律学・政治学演習　Ⅱ																
法律学・政治学演習　Ⅳ																
経済学特講Ⅳ																
人文・社会科学研究法Ⅱ（経済学）																
経済学・経済学演習　Ⅱ																
経済学・経済学演習　Ⅳ																
人文・社会科学研究法Ⅱ（哲学）																
日本史実習																
社会科教材開発実習Ⅱ																
人文・社会科学方法論実習Ⅰ（社会・公民）																
人文・社会科学方法論実習Ⅱ（社会・公民）																
外国史特講Ⅲ																
外国史特講Ⅳ																
外国史演習　Ⅱ																
外国史演習　Ⅳ																
地理学特講Ⅱ																
法律学特講Ⅱ																
法律学特講Ⅳ																
経済学特講Ⅰ																
経済学特講Ⅲ																
哲学・倫理学特講Ⅲ																

大学 No.21　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会認識形成史演習Ⅰ（社会・地理歴史）																
日本史																
外国史A																
人文地理学																
地誌A																
日本史特講Ⅰ																
日本史特講Ⅱ																
歴史学研究法（日本史）																
日本史演習　Ⅰ																
日本史演習　Ⅱ																
外国史特講Ⅰ																
歴史学研究法Ⅰ（外国史）																
外国史演習　Ⅰ																
地理学特講Ⅰ																
地理学特講Ⅲ																
自然地理学研究法																
地理学演習　Ⅰ																
地理学演習　Ⅲ																
地理学実習Ⅰ																
地理学実習Ⅱ																
地理学実習Ⅲ																
社会認識形成史特講（社会・地理歴史）																
社会認識形成史演習Ⅱ（社会・地理歴史）																
地理歴史科教育法Ⅱ																
外国史B																
自然地理学																
地誌B																
日本史特講Ⅲ																
日本史特講Ⅳ																
日本史演習　Ⅲ																
日本史演習　Ⅳ																
外国史特講Ⅱ																
歴史学研究法Ⅱ（外国史）																
外国史演習　Ⅲ																
地理学特講Ⅳ																
人文地理学研究法																
地理学演習　Ⅱ																
地理学演習　Ⅳ																
日本史実習																
外国史特講Ⅲ																
外国史特講Ⅳ																
外国史演習　Ⅱ																
外国史演習　Ⅳ																
地理学特講Ⅱ																

大学 No.21　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
人文・社会科学方法論特講(社会・公民)																
法律学Ⅰ																
政治学																
社会学																
法律学特講Ⅰ																
人文・社会科学研究法Ⅰ(法律学)																
政治学特講Ⅰ																
法律学・政治学演習　Ⅰ																
法律学・政治学演習　Ⅲ																
経済学特講Ⅱ																
人文・社会科学研究法Ⅰ(経済学)																
経済学・経済学演習　Ⅰ																
経済学・経済学演習　Ⅲ																
哲学・倫理学特講Ⅰ																
哲学・倫理学特講Ⅱ																
哲学・倫理学特講Ⅳ																
人文・社会科学研究法Ⅰ(哲学・倫理学)																
法律学Ⅱ																
経済学																
法律学特講Ⅲ																
人文・社会科学研究法Ⅱ(法律学)																
政治学特講Ⅱ																
法律学・政治学演習　Ⅱ																
法律学・政治学演習　Ⅳ																
経済学特講Ⅳ																
人文・社会科学研究法Ⅱ(経済学)																
経済学・経済学演習　Ⅱ																
経済学・経済学演習　Ⅳ																
人文・社会科学研究法Ⅱ(哲学)																
哲学																
倫理学																
人文・社会科学方法論実習Ⅰ(社会・公民)																
人文・社会科学方法論実習Ⅱ(社会・公民)																
法律学特講Ⅱ																
法律学特講Ⅳ																
経済学特講Ⅰ																
経済学特講Ⅲ																
哲学・倫理学特講Ⅲ																

大学 No.21

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

「数学教育学と代数学、幾何学、解析学、統計学、情報数学の数学諸分野を専門的に学び、高い指導力と高い専門性をもった教員の養成を目指している。」

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.21　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的･包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
代数系の基礎																
微分積分学Ⅰ																
代数学序説																
線形代数学Ⅰ																
微分積分学Ⅱ																
代数系の基礎Ⅱ																
線形代数学Ⅱ																
幾何学特講																
解析学特講																
数学科教育法Ⅰ																
統計学Ⅰ																
情報数学Ⅰ																
代数学講義Ⅰ																
幾何学講義Ⅰ																
解析学講義Ⅰ																
数学科教育法Ⅱ																
幾何学序説																
代数学講義Ⅱ																
幾何学講義Ⅱ																
解析学講義Ⅱ																
統計学Ⅱ																
情報数学Ⅱ																
数学科教育法Ⅲ																
応用代数学Ⅰ																
代数学特講																
応用幾何学Ⅰ																
応用解析学Ⅰ																
統計学特講																
数学科教育法Ⅳ																
応用代数学Ⅱ																
応用幾何学Ⅱ																
応用解析学Ⅱ																

大学 No.21

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

物理学、化学、生物、地学、理科教育学の 5 分野にわたって基礎的な学習内容を広く学習するとともに、各専門分野の学習を一層深めるなかで、科学的な論理的思考力とそれに基づく多面的な教育観、および理科の専門職業人としての知識・技能と誇りをもった教員の養成。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

学習指導要領および中高校教科書の記載事項にも接続可能な内容を基盤となる学問領域の体系に基づいて構成している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領および中高校教科書の記載事項にも接続可能な内容を基盤となる学問領域の体系に基づいて構成している

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.21　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
基礎物理学ⅠA																
自然科学基礎演習Ⅰ																
基礎物理学ⅠB																
基礎生物学B																
基礎物理学ⅡB																
植物学																
植物野外実習																
自然科学基礎演習Ⅱ																
基礎物理学実験																
基礎生物学A																
現代物理学Ⅲ																
動物学																
理科教育法（中等）Ⅰ																
理科教育法（中等）Ⅲ																
基礎化学ⅠA																
基礎化学実験																
基礎生物学実験																
基礎地学Ⅰ																
地学基礎実習																
理科教育法（中等）Ⅱ																
基礎化学ⅠB																
基礎地学Ⅱ																
基礎物理学ⅡA																
物理学セミナー																
現代物理学ⅠA																
基礎化学ⅡA																
生物学実験Ⅰ																
昆虫学実習																
地域地質実習																
地殻科学実習																
地層学																
現代物理学ⅡA																
機器分析化学																
現代物理学ⅡB																
現代物理学ⅠB																
物理学実験																
無機化学																
生物学実験Ⅱ																
地学セミナー																
地層学セミナー																
理科教育法（中等）Ⅳ																
基礎化学ⅡB																
有機化学実験																
無機化学実験																
地殻科学																
化学演習AⅠ																
化学演習BⅠ																
生物学演習A																
地学演習A																
地学演習B																
化学演習AⅡ																
化学演習BⅡ																
生物学演習B																
火山・地球環境セミナー																

大学 No.22

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.22　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語学講読B																
国語学講読C																
中等国語科指導法（課程論）																
国語基礎研究																
国語学講読A																
書写書道Ⅰ																
国語総合研究																
国文学講読B																
漢文学講読																
国語学演習B																
国語学演習C																
国文学演習B																
書写書道Ⅱ																
中等国語科指導法（学習論）																
国語学演習A																
書の表現と文化																
教科内容構成「国語」																
中等国語科指導法（授業論）																
国文学講読A																
国文学演習A																

大学 No.22

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.22　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科・地理歴史科教育学基礎																
社会科・公民教育学基礎																
地誌学概説																
宗教学概説																
地理学実験																
地理学野外実験																
地域調査法B																
政治学概説																
社会学概説																
日本史研究A																
日本史研究B																
世界史研究入門																
自然地理学概説																
人文地理学概説																
倫理学概説																
哲学概説																
経済学概説																
法律学概説																
地域調査法A																
宗教思想史研究																
現代社会論																
実践セミナー「社会」																
考古学認識論																
ユーラシア史認識論																
地域環境学																
経済学文献講読																
社会科教育専門セミナーⅠ																
日本史専門セミナーⅠ																
世界史専門セミナーⅠ																
地理学専門セミナーⅠ																
宗教学専門領域セミナーⅠ																
法律学専門領域セミナーⅠ																
倫理学専門領域セミナーⅠ																
経済学専門領域セミナーⅠ																
社会学専門領域セミナーⅠ																
教科内容構成「社会」																
社会科・地理歴史科指導法																
社会科・公民科指導法																
歴史・民俗資料演習																
ヨーロッパ史認識論																
自然地理学																
地理情報学																
法律学文献講読																
社会認識手法論																
哲学文献講読																
宗教学文献講読																
社会科教育専門セミナーⅡ																
日本史専門セミナーⅡ																
世界史専門セミナーⅡ																
地理学専門セミナーⅡ																
宗教学専門領域セミナーⅡ																
法律学専門領域セミナーⅡ																
倫理学専門領域セミナーⅡ																
経済学専門領域セミナーⅡ																
社会学専門領域セミナーⅡ																
社会学文献講読																
倫理学文献講読																
日本前近代社会史認識論																
日本近現代社会史認識論																
国際地誌学																

大学 No.22　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科・地理歴史科教育学基礎																
地誌学概説																
地理学実験																
地域調査法B																
地理学野外実験																
日本史研究A																
日本史研究B																
世界史研究入門																
自然地理学概説																
人文地理学概説																
地域調査法A																
地域環境学																
ユーラシア史認識論																
社会科教育専門セミナーⅠ																
考古学認識論																
日本前近代社会史認識論																
日本近現代社会史認識論																
国際地誌学																
日本史専門セミナーⅠ																
世界史専門セミナーⅠ																
地理学専門セミナーⅠ																
社会科・地理歴史科指導法																
ヨーロッパ史認識論																
自然地理学																
地理情報学																
歴史・民俗資料演習																
社会科教育専門セミナーⅡ																
日本史専門セミナーⅡ																
世界史専門セミナーⅡ																
地理学専門セミナーⅡ																

大学 No.22　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
宗教学概説																
政治学概説																
社会学概説																
社会科・公民教育学基礎																
倫理学概説																
哲学概説																
法律学概説																
経済学概説																
現代社会論																
宗教思想史研究																
経済学文献講読																
社会科・公民科指導法																
社会科教育専門セミナーⅠ																
社会科教育専門セミナーⅡ																
宗教学専門領域セミナーⅠ																
法律学専門領域セミナーⅠ																
倫理学専門領域セミナーⅠ																
経済学専門領域セミナーⅠ																
社会学専門領域セミナーⅠ																
法律学文献講読																
社会認識手法論																
哲学文献講読																
宗教学文献講読																
宗教学専門領域セミナーⅡ																
法律学専門領域セミナーⅡ																
倫理学専門領域セミナーⅡ																
経済学専門領域セミナーⅡ																
社会学専門領域セミナーⅡ																
社会学文献講読																
倫理学文献講読																

大学 No.22

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.22　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
基礎微分積分学																
基礎線形代数学																
数学基礎演習																
数学的経験と学習過程																
線形代数学																
微分積分学																
数学教育学セミナーⅠ																
幾何学概論																
解析学概論																
代数学セミナーⅠ																
幾何学セミナーⅠ																
解析学セミナーⅠ																
実践セミナー「数学」																
教科内容構成「算数・数学」																
数学科指導法																
代数学概論																
代数学特講																
確率論・統計学																
計算機数学演習																
数学教材開発論																
数学学習過程論																
数学教育学セミナーⅡ																
代数学セミナーⅡ																
幾何学セミナーⅡ																
解析学セミナーⅡ																
幾何学特講																
解析学特講																

大学 No.22

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.22　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物理学																
化学																
地学																
地学実験																
理科研究法																
中等理科指導法Ⅰ																
中等理科指導法Ⅱ																
理科野外観察指導法																
理科観察・実験デザイン論																
物理学実験																
化学実験																
生物学																
生物学実験																
力学																
有機化学																
分析化学																
生物学野外研究法																
生物学野外実習																
地圏環境進化学																
理科教育学セミナーⅠ																
理科野外観察指導セミナーⅠ																
物理学セミナーⅠ																
化学セミナーⅠ																
生物学セミナーⅠ																
地学セミナーⅠ																
教科内容構成「理科」																
理科野外観察実習																
電磁気学																
生態学																
細胞学																
植物学																
宇宙科学																
応用電磁気学																
現代物理学																
分析化学演習																
理科教育学セミナーⅡ																
理科野外観察指導セミナーⅡ																
物理学セミナーⅡ																
化学セミナーⅡ																
生物学セミナーⅡ																
地学セミナーⅡ																
地球物質科学																
地学野外実習																

大学 No.23

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

教科としての独自性と目標･内容･方法の特質の理解｡授業づくりの技能の習得｡コミュニケーション能力の獲得｡

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.23　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会学概論																
日本社会史概論																
世界システム概論																
人間社会の地理学																
地域経済論																
哲学																
環境歴史学																
ヨーロッパ地域史論																
世界環境地理学																
地理情報学																
平和学																
社会科・地歴科教育法Ⅰ																
社会科・公民科教育法Ⅰ																
比較地域論																
法律学																
基礎地域史																
歴史情報資料学																
地球市民社会論																
環境と人権																
社会科・地歴科教育法Ⅱ																
社会科・公民科教育法Ⅱ																
国際政治学																
自然環境地理学																
地理学フィールドワーク																
日本史演習																
外国史演習																
地理学演習																
人間安全保障論																
地球社会学演習																
法律学演習																
東洋史概説Ⅰ																
環境と行政																

大学 No. 23　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本社会史概論																
世界システム概論																
人間社会の地理学																
環境歴史学																
ヨーロッパ地域史論																
世界環境地理学																
地理情報学																
社会科・地歴科教育法Ⅰ																
比較地域論																
基礎地域史																
歴史情報資料学																
社会科・地歴科教育法Ⅱ																
自然環境地理学																
地理学フィールドワーク																
日本史演習																
外国史演習																
地理学演習																
東洋史概説Ⅰ																

大学 No. 23　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会学概論																
地域経済論																
哲学																
平和学																
社会科・公民科教育法Ⅰ																
法律学																
青年心理学																
地球市民社会論																
環境と人権																
社会科・公民科教育法Ⅱ																
国際政治学																
人間安全保障論																
地球社会学演習																
法律学演習																
環境と行政																

大学 No.23

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.23　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
線形システム概論																
数理システム概論																
数学科教育法Ⅰ																
情報代数学																
情報数学																
情報数学演習																
情報幾何学演習																
数理解析																
数学科教育法Ⅱ																
情報幾何学																
基本統計																
アルゴリズムとデータ構造																
数学科教育法Ⅲ																
応用数学																
確率論																
幾何学特論B																

大学 No.23

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

グローバルな視点から自然・生活・地域社会の諸問題を総合的に把握し、実務を的確に処理して社会に貢献する資質・能力を有する教員の養成を目指す。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.23　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
基礎生物学																
理科教育法Ⅰ																
環境とエネルギー																
基礎物理学実験																
物性化学概論																
基礎化学実験																
基礎生命科学実験																
地球表層変動学																
基礎地球学実験																
化学物質の機能と環境																
環境測定と誤差																
生命科学																
環境社会生物学																
生命科学実験																
理科教育法Ⅱ																
地球材料学																
全地球史																
理科教育法Ⅲ																
生活環境化学																
地球地域学実験																
熱とエントロピー																
環境物理学実験																
化学計測実験																
理科教育法Ⅳ																

大学 No.24

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

人間や文化、社会について高い関心を持ち、教科の内容や教材についての深い理解に基づいて、子どもを育てる能力を持つ教員。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.24　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語学概論																
国文学概論（国文学史を含む。）																
国語史																
漢文学基礎																
書写書道基礎																
音声言語の研究と文章表現																
国文学講読																
国文学基礎演習																
中等国語科教育法A																
国語科教育演習A																
国語科カリキュラム研究Ⅰ																
漢文学演習A																
国語学演習A																
国文学特殊講義																
古典文学演習																
国語科授業研究法Ⅰ																
漢文学演習B																
国語学演習B																
国文学応用演習																
中等国語科教育法B																
国語科教育演習B																
国語科カリキュラム研究Ⅱ																
漢文講読																
国語科授業研究法Ⅱ																

大学 No.24

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

広く人間社会に関する問題意識をもち、自ら思考できる教師、あるいは、子どもの心を揺さぶるような授業ができる教師。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.24　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史																
地理学																
政治学																
哲学																
中等社会科教育法A																
社会科カリキュラム研究Ⅰ																
ヨーロッパ圏理解A																
地誌学																
法律学																
日本史A																
歴史学実習																
農村地理学																
都市地理学																
中等社会科教育法B																
社会科・地理歴史科教育法A																
社会科・公民科教育法A																
経済学																
社会学																
日本史B																
日本史演習A																
西洋近・現代史概説																
自然地理学																
地理学演習A																
哲学史																
宗教学																
社会科授業研究Ⅰ																
社会科・地理歴史科教育法B																
社会科・公民科教育法B																
東洋史																
日本史演習B																
地理学演習B																
行政法																
倫理学																
哲学演習																
社会科カリキュラム研究Ⅱ																
社会科教育演習B																
西洋史演習A																
法律学演習A																
社会科授業研究Ⅱ																
西洋史演習B																
法律学演習B																

大学 No. 24　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史																
社会科カリキュラム研究Ⅰ																
ヨーロッパ圏理解A																
地誌学																
日本史A																
歴史学実習																
農村地理学																
都市地理学																
社会科・地理歴史科教育法A																
日本史B																
日本史演習A																
西洋近・現代史概説																
自然地理学																
地理学演習A																
社会科・地理歴史科教育法B																
東洋史																
日本史演習B																
地理学演習B																
社会科カリキュラム研究Ⅱ																
西洋史演習A																
西洋史演習B																

大学 No. 24　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
政治学																
哲学																
社会科カリキュラム研究Ⅰ																
法律学																
社会科・公民科教育法A																
経済学																
社会学																
哲学史																
宗教学																
社会科・公民科教育法B																
行政法																
倫理学																
哲学演習																
社会科カリキュラム研究Ⅱ																
法律学演習A																
現代青年心理学																
法律学演習B																

大学 No.24

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

中学数学の基礎的な知識及び技能を体系的に理解できる専門教養を身に付け、分かりやすく教授する技量と意欲をもち、現実の社会、身の回りにある数理を授業に取り入れることができる思考力と表現手法を有する教員。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.24　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
行列と行列式					■	■										
微分積分					■	■										
コンピュータ					■	■										
集合と位相					■	■										
数学科教育法A							■	■								
代数学基礎A							■	■								
幾何学基礎A							■	■								
解析学基礎A							■	■								
代数学演習							■	■								
幾何学演習							■	■								
解析学演習							■	■								
数学科教育法B									■	■						
代数学基礎B									■	■						
幾何学基礎B									■	■						
解析学基礎B									■	■						
確率・統計									■	■						
算数・数学科カリキュラム研究Ⅰ									■	■						
数学科授業研究Ⅰ											■	■				
現代代数学											■	■				
現代幾何学											■	■				
現代解析学											■	■				
応用代数													■	■		
応用幾何													■	■		
応用解析													■	■		
数学演習Ⅰ													■	■		
数学科教育演習													■	■		
算数・数学科カリキュラム研究Ⅱ													■	■		
数学科授業研究Ⅱ															■	■
数学演習Ⅱ															■	■

大学 No.24

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

中学校・高等学校の学習指導要領に基づき、物理、化学、生物、地学の各領域において中学校及び高等学校の教師として求められる必要な知識および観察・実験等の技能を身につけるとともに、理科の指導計画、指導方法を身につけ、実践力のある教員を養成する。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.24　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
理科内容基礎A（物理学）																
理科内容基礎B（化学）																
理科内容基礎C（生物学）																
理科内容基礎D（地学）																
教職物理学																
中学理科教育法A																
理科内容発展A（物理学）																
理科内容発展B（化学）																
理科内容発展C（生物学）																
理科内容発展D（地学）																
中学理科教育法B																
理科実験A（物理）																
理科実験B（化学）																
理科実験C（生物学）																
理科実験D（地学）																
理科カリキュラム研究Ⅰ																
理科授業研究Ⅰ																
理科内容演習AⅠ（物理学）																
理科内容演習BⅠ（化学）																
理科内容演習CⅠ（生物学）																
理科内容演習DⅠ（地学）																
理科教育演習Ⅱ																
理科内容演習AⅡ（物理学）																
理科内容演習BⅡ（化学）																
理科内容演習CⅡ（生物学）																
理科内容演習DⅡ（地学）																
理科カリキュラム研究Ⅱ																
理科授業研究Ⅱ																

大学 No.25

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

① 語学、国文学、漢文学、書写書道における教科専門性を生かした深い教材分析力。
② 主体的、対話的な学習活動を単元レベル、授業レベルで構想する能力。
③ 言語活動を誘発し、支援し、評価することのできるコミュニケーション能力。
④ 自己の実践を他者と共有し、探求する事のできる実践者としての能力。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.25　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的･包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
楷書書法（Ⅰ）																
中等授業研究Ⅰ（国語）																
国語科教育法Ⅰ																
国語科教育法Ⅱ																
国語教材研究（書写を含む）																
国語音声学																
行書書法（Ⅰ）																
国語学講義																
国文学講義Ⅰ																
漢文学講義																
書法演習（Ⅰ）																
国語科教育講義																
文章表現論																
国文学概論																
国文学史概論																
漢文学概論																
国文学演習																
漢文学演習Ⅰ																
かな書法（Ⅰ）																
漢字仮名交じり書法（Ⅰ）																
書道史（Ⅰ）																
書法研究（Ⅰ）																
国語学演習Ⅰ																
漢文学演習Ⅱ																
国語学特殊講義																
書法演習（Ⅱ）																
国語学演習Ⅱ																
国文学講義Ⅱ																
国文学特殊講義																
漢文学特殊講義																
書法研究（Ⅱ）																
中等教科内容研究（国語）																

大学 No.25

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

社会の多様な利害を調整しながら、人間として尊厳ある社会を築いていこうとする人間（これを「市民」という）を育成するための教員の養成を目指す。このためには、社会の問題に関する知識を幅広く習得し、かつ、そうした知識を相互に関連づける思考力が必要となるので、教員自身が「市民」としての見識を身につけることにより、児童生徒に社会科を教えることができるよう、各専攻分野では、それぞれの視点から社会に対する見方・考え方を育てる教育を行っている。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No. 25　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概説																
東洋史概説																
人文地理学概説																
自然地理学概説																
社会学概論																
経済学概論																
倫理学概論																
日本史学A																
世界史B																
民法Ⅰ（総則）																
日本思想史																
倫理学演習Ⅰ																
西洋史概説																
地誌概論																
法学概論																
政治学概論																
哲学概論																
日本史学B																
世界史A																
地理学特講																
経済理論基礎Ⅰ（ミクロ経済学）																
宗教学																
倫理学演習Ⅱ																
中等授業研究Ⅰ（社会）																
社会教材研究																
国際法																
日本史実習																
世界史特講B																
地理学実習																
地理学野外実習																
民法Ⅱ（財産法）																
社会保障法																
国際政治学																
経済理論基礎Ⅱ（マクロ経済学）																
国際経済論																
行政法Ⅰ（総論）																
社会科教育法Ⅰ																
日本史特講（地域史）																
世界史特講A																
産業地理学																
労働法																
法律学演習A																
地域社会学																
経済政策論																
行政法Ⅱ（行政救済法）																
社会科教育法Ⅱ																
社会科教育演習																
日本史演習A																
世界史演習A																
地理学演習Ⅰ																
都市と農村																
民法Ⅲ（家族法）																
法律学演習B																
日本史演習B																
世界史演習B																
地理学演習Ⅱ																
地理学演習Ⅲ																
地理学演習Ⅳ																

大学 No.25　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概説																
東洋史概説																
人文地理学概説																
自然地理学概説																
日本史学A																
世界史B																
西洋史概説																
地誌概論																
日本史学B																
世界史A																
地理学特講																
日本史実習																
世界史特講B																
地理学実習																
地理学野外実習																
日本史特講（地域史）																
世界史特講A																
地理歴史科教育法Ⅰ																
日本史演習A																
世界史演習A																
地理学演習Ⅰ																
地理歴史科教育法Ⅱ																
日本史演習B																
世界史演習B																
地理学演習Ⅱ																
地理学演習Ⅲ																
地理学演習Ⅳ																

大学 No.25　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会学概論																
経済学概論																
倫理学概論																
民法Ⅰ（総則）																
日本思想史																
倫理学演習Ⅰ																
法学概論																
政治学概論																
哲学概論																
経済理論基礎Ⅰ（ミクロ経済学）																
宗教学																
倫理学演習Ⅱ																
国際法																
国際政治学																
国際経済論																
民法Ⅱ（財産法）																
社会保障法																
経済理論基礎Ⅱ（マクロ経済学）																
公民科教育法Ⅰ																
行政法Ⅰ（総論）																
労働法																
法律学演習A																
地域社会学																
経済政策論																
公民科教育法Ⅱ																
行政法Ⅱ（行政救済法）																
民法Ⅲ（家族法）																
法律学演習B																

大学 No.25

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

数学の理論、概念、技法や方略、および研究の方法を、理解している。
子どもたちに数学の理論、概念、技法や方略を理解させ、探究の方法を身につけさせることができる。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.25　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
線形代数Ⅰ																
理数基礎A（微分積分学）																
微分積分学演習Ⅰ																
線形代数Ⅱ																
初等幾何学																
微分積分学																
初等確率論																
初等幾何学演習																
微分積分学演習Ⅱ																
数学科教育法																
初等統計学																
数学探求Ⅰ																
幾何学A																
幾何学演習A																
幾何学B																
幾何学演習B																
数学探求Ⅱ																
数学科授業論																
情報数学																
代数学A																
代数学B																
解析学A																
解析学B																
数学講究A																
数学講究B																
数学講究C																
数学特別研究（幾何）																
数学特別研究（解析）																
数学特別研究（確率統計）																
数学特殊講義（代数）																
数学特殊講義（幾何）																
数学特殊講義（解析）																
数学特殊講義（確率統計）																

大学 No.25

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

カリキュラムでは、講義ばかりではなく、実験、野外学習、授業づくり等にも多くの時間が割り当てられています。理科教員として必要な基礎知識や技能の習得に加えて、５分野の専門的な教育・研究能力を育成しながら、教育現場での実践力を身に付けていきます。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基本的には、「a.基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている」が、部分的に、学習指導要領の該当部分や中高校教科書に記載されている内容についても触れている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

基本的には、「d.両者をほぼ同時並行」による履修であるが、一般的・包括的な内容の科目の履修順が、概して先になるように、カリキュラムが編成されている

大学 No.25　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
化学特講																
地球科学特講																
理科教育概論																
理数基礎B（基礎物理学）																
基礎化学																
基礎生物学																
基礎地学																
生態学																
多様性生物学																
中等授業研究I（理科）																
基礎生物学実験（コンピュータ活用含む）																
基礎地学実験（コンピュータ活用含む）																
基礎物理学演習																
力学																
化学概論I																
地球科学概論I																
地質野外実習																
地球科学演習																
理科教育法I																
基礎物理学実験（コンピュータ活用含む）																
基礎化学実験（コンピュータ活用含む）																
電磁気学																
物理学演習																
化学概論II																
化学概論III																
遺伝学																
地球科学概論II																
理科教育法II																
理科教材研究特講I																
物理学実験I																
化学計測実験																
化学合成実験																
生理学																
形態・分類学																
地球科学実験																
理科教育演習																
理科教材研究特講II																
物理学実験II																
化学演習																
生物学特別講義																
細胞生物学実験																
形態・分類学実験																
火山と岩石																
中等教科内容研究（理科）																

大学 No.26

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

全ての教科の基盤となる、国語（言語）力の育成、また、社会で生きるために必要な国語に関する知識・技能の修習。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.26　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等国語科指導法基礎																
日本語学基礎																
日本文学基礎																
書写基礎																
日本語学演習																
古典文学講読																
近代文学演習																
古典文学演習																
書道演習																
日本語学特講																
書道史																
児童文学論																
評論文講読																
漢文学概論																
作文指導論																
読解・読書指導論																
文法指導論																
漢文学基礎																
日本語史																
語彙論																
近代文学講読																
近代文学史																
古典文学史																
日本文学特講																
書道特講																
書論・鑑賞																
文字・表記論																
書写論																
国語科指導法特講																
国語科指導法特論																
国語科指導法特別演習Ⅰ																
国語科指導法特別演習Ⅱ																
日本語学特別演習																
近代文学特別演習																
古典文学特別演習																
書道特別演習																

大学 No.26

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

中学校社会科教員に求められる深い教養に根ざした公共的使命観や倫理観、それらを前提とする専門的知識、技能、他者と協働して教育活動を行う社会的スキル、理論と実践を往還する省察と改善の能度、これらの養成を目指しています。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.26　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的･包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等社会科指導法基礎																
公民教育指導法																
政治学基礎																
経済学基礎																
倫理学基礎																
人文地理学																
自然地理学																
地誌学概論																
政治学Ⅰ																
経済学Ⅰ																
倫理学Ⅰ																
地理歴史教育指導法																
歴史学基礎																
地理学基礎																
法律学基礎																
社会学基礎																
哲学基礎																
日本史Ⅰ																
外国史Ⅰ																
地理学野外実習Ⅰ																
地理学野外実習Ⅱ																
法律学Ⅰ																
文化人類学Ⅰ																
哲学Ⅰ																
中等社会科地理歴史教材研究																
中等社会科公民教材研究																

大学 No.26　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
人文地理学																
自然地理学																
地誌学概論																
日本史Ⅱ																
日本史演習Ⅰ																
外国史Ⅱ																
外国史演習Ⅰ																
地理学実習Ⅰ																
地理学実習Ⅱ																
地理歴史教育指導法																
日本史Ⅰ																
外国史Ⅰ																
地理学野外実習Ⅰ																
地理学野外実習Ⅱ																
日本史演習Ⅱ																
外国史演習Ⅱ																
地形学																
中等社会科地理歴史教材研究																
日本史Ⅲ																
外国史Ⅲ																

大学 No.26　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
公民教育指導法																
政治学基礎																
経済学基礎																
倫理学基礎																
政治学Ⅰ																
経済学Ⅰ																
倫理学Ⅰ																
政治学Ⅱ																
文化人類学Ⅱ																
法律学基礎																
社会学基礎																
哲学基礎																
法律学Ⅰ																
文化人類学Ⅰ																
哲学Ⅰ																
法律学Ⅱ																
経済学Ⅱ																
中等社会科公民教材研究																
哲学Ⅱ																
倫理学Ⅱ																

大学 No. 26

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

数学教育に関する専門的力量を持った教員の養成を目指しています。数学に関する専門的な知識と、教材や指導法などについての創意工夫を兼ね備えた教員の養成を目指しています。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

コンピュータ基礎は“学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている(b)”に加え、ICT の活用によって拓かれる、教育学的に意義があり、現在の教科書に記載されていない内容もとり上げています。その他の科目は“基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている(a)”に近いです

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.26　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
数学教育教材論																
数学教育カリキュラム論																
代数学基礎																
幾何学基礎																
解析学基礎																
群論																
ユークリッド空間内の幾何学																
数理統計学基礎																
コンピュータ基礎																
複素解析学																
環論																
曲面上の幾何学																
微分方程式論																
中等数学科指導法基礎																
数学教育研究方法論																
体論																
微分幾何学																
数学教育法特別演習																
代数学続論																
微分幾何学続論																
解析学続論																
代数学特別演習																
微分幾何学特別演習																
解析学特別演習																

大学 No.26

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

豊かな知識を持ち、理科が好きで、その面白さをいきいきと児童・生徒に伝えられる教員の養成を目指しています。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

両者に特別な関係はない

大学 No.26　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的･包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
有機化学																
理科教育教材論																
物理化学																
生物学基礎実験																
地学基礎実験																
力学																
地質学概論																
電磁気学																
生態学																
物理学基礎																
物理学基礎実験																
化学基礎																
化学基礎実験																
生物学基礎																
地学基礎																
無機化学																
生化学																
地学臨地実習																
中等理科指導法基礎																
理科教育演習Ⅰ																
物理学演習Ⅰ																
化学演習Ⅰ																
生物学演習Ⅰ																
地学演習Ⅰ																
物理学実験Ⅰ																
化学実験Ⅰ																
気象学概論																
天文学概論																
遺伝学																
生物学実験Ⅰ																
地学実験Ⅰ																
量子力学																
理科指導法研究																
理科授業研究基礎																
理科教育演習Ⅱ																
生物学演習Ⅱ																
物理学演習Ⅱ																
地学演習Ⅱ																
化学演習Ⅱ																
熱学･統計力学																
物理学実験Ⅱ																
有機反応論																
有機物理化学																
化学実験Ⅱ																
生物学実験Ⅱ																
層位学																
地史学																
地学実験Ⅱ																
固体物理学																

大学 No.27

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.27　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次					2年次				3年次				4年次			
		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
書道																	
国語学概論																	
国文学概論																	
国文学史																	
漢文学概論																	
国語学各論Ⅰ																	
国文学各論Ⅰ																	
国語科教育法Ⅰ																	
国語科教育法Ⅱ																	
国語学各論Ⅱ																	
漢文学各論Ⅰ																	
国語科教育法Ⅲ																	
国語科教育法Ⅳ																	
国語学各論Ⅳ																	
国文学各論Ⅱ																	
漢文学各論Ⅱ																	
国語教育学研究																	
音声言語・文章表現論																	
国語学各論Ⅲ																	
国語学研究																	
国文学各論Ⅲ																	
国文学各論Ⅳ																	
国文学研究																	
漢文学研究																	
国語科教育学演習Ⅰ																	
国語学演習Ⅰ																	
国文学演習Ⅰ																	
漢文学演習Ⅰ																	
国語科教育学演習Ⅱ																	
国語学演習Ⅱ																	
国文学演習Ⅱ																	
漢文学演習Ⅱ																	

大学 No.27

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.27　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
西洋史Ⅰ																
自然地理学Ⅰ																
地誌学Ⅰ																
日本史Ⅰ																
西洋史Ⅱ																
考古学Ⅰ																
考古学Ⅱ																
日本史Ⅱ																
法律学Ⅰ（国際法を含む）																
政治学																
経済学Ⅰ（国際経済を含む）																
哲学Ⅰ																
日本文化史																
社会学Ⅰ																
社会科教育法Ⅰ																
社会科教育法Ⅱ																
地理学実験																
日本史Ⅲ																
地理学野外実習Ⅰ																
法律学Ⅱ（国際法を含む）																
経済学Ⅱ																
国際政治学																
社会科教育法Ⅲ																
社会科教育法Ⅳ																
公民教育研究Ⅰ																
人文地理学Ⅰ																
人文地理学Ⅱ演習																
西洋文化史																
日本史基礎研究Ⅰ																
日本史基礎研究Ⅱ																
西洋史基礎研究Ⅰ																
法律学研究Ⅰ																
経済学研究Ⅰ																
政治学研究Ⅰ																
社会科授業実践論																
社会科教育概論																
東洋文化史																
日本史基礎研究Ⅲ																
日本史基礎研究Ⅳ																
西洋史基礎研究Ⅱ																
地誌学Ⅲ																
自然地理学Ⅱ																
自然地理学Ⅱ演習																
地誌学Ⅱ演習																
地理学野外実習Ⅱ																
哲学Ⅱ																
哲学Ⅲ																
社会学Ⅱ																
法律学研究Ⅱ																
経済学研究Ⅱ																
政治学研究Ⅱ																
東洋哲学研究Ⅰ																
社会科教育研究Ⅰ																
歴史学研究Ⅰa, b, c																
人文地理学演習Ⅰ																
地誌学演習Ⅰ																
自然地理学演習Ⅰ																
自然地理学Ⅲ																
東洋哲学研究Ⅱ																
社会科教育研究Ⅱ																
公民教育研究Ⅱ																
歴史学研究Ⅱa, b, c																
人文地理学演習Ⅱ																
地誌学演習Ⅱ																
自然地理学演習Ⅱ																
法律学研究Ⅲ																
経済学研究Ⅲ																
政治学研究Ⅲ																
東洋哲学研究Ⅲ																

大学 No.27　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
西洋史Ⅰ																
自然地理学Ⅰ																
地誌学Ⅰ																
日本史Ⅰ																
西洋史Ⅱ																
考古学Ⅰ																
考古学Ⅱ																
日本史Ⅱ																
日本文化史																
地理歴史科教育法Ⅱ																
地理学実験																
日本史Ⅲ																
地理学野外実習Ⅰ																
人文地理学Ⅰ																
人文地理学Ⅱ演習																
西洋文化史																
日本史基礎研究Ⅰ																
日本史基礎研究Ⅱ																
西洋史基礎研究Ⅰ																
社会科授業実践論																
社会科教育概論																
東洋文化史																
日本史基礎研究Ⅲ																
日本史基礎研究Ⅳ																
西洋史基礎研究Ⅱ																
地誌学Ⅲ																
自然地理学Ⅱ																
自然地理学Ⅱ演習																
地誌学Ⅱ演習																
地理学野外実習Ⅱ																
社会科教育研究Ⅰ																
歴史学研究Ⅰa, b, c																
人文地理学演習Ⅰ																
地誌学演習Ⅰ																
自然地理学演習Ⅰ																
自然地理学Ⅲ																
地理歴史科教育法Ⅰ																
社会科教育研究Ⅱ																
歴史学研究Ⅱa, b, c																
人文地理学演習Ⅱ																
地誌学演習Ⅱ																
自然地理学演習Ⅱ																

大学 No.27　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
法律学Ⅰ（国際法を含む）																
政治学																
経済学Ⅰ（国際経済を含む）																
哲学Ⅰ																
社会学Ⅰ																
法律学Ⅱ（国際法を含む）																
経済学Ⅱ																
国際政治学																
公民教育研究Ⅰ																
法律学研究Ⅰ																
経済学研究Ⅰ																
政治学研究Ⅰ																
社会科授業実践論																
社会科教育概論																
哲学Ⅱ																
哲学Ⅲ																
社会学Ⅱ																
法律学研究Ⅱ																
経済学研究Ⅱ																
政治学研究Ⅱ																
東洋哲学研究Ⅰ																
社会科教育研究Ⅰ																
東洋哲学研究Ⅱ																
公民科教育法Ⅰ																
公民科教育法Ⅱ																
社会科教育研究Ⅱ																
公民教育研究Ⅱ																
法律学研究Ⅲ																
経済学研究Ⅲ																
政治学研究Ⅲ																
東洋哲学研究Ⅲ																

大学 No.27

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.27　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的･包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
線形代数学Ⅰ																
線形代数学Ⅱ																
続微分積分学																
数学科教育法Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
解析学Ⅰ																
電子計算機																
解析学演習																
数学科教育法Ⅱ																
代数学Ⅰ																
位相数学Ⅰ																
幾何学演習																
数学科教育法Ⅲ																
代数学Ⅱ																
幾何学Ⅱ																
解析学Ⅱ																
位相数学Ⅱ																
数学科教育法Ⅳ																
統計学Ⅰ																
代数学Ⅲ																
幾何学Ⅲ																
解析学Ⅲ																
解析学Ⅳ																
位相数学Ⅲ																

大学 No.27

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.27　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生物学実験及びコンピュータ処理																
地学実験及びコンピュータ処理																
臨海実験法及び実験																
化学実験及びコンピュータ処理																
物理学実験及びコンピュータ処理																
物理化学																
力学（講義及び演習）I・II																
理科教育法I																
理科II（化学）																
理科III（生物学）																
理科IV（地学）																
理科I（物理学）																
分析化学																
動物生理学																
動物生態学																
野外実習																
植物生態学概論																
電磁気学（講義及び演習）I・II																
応用物理学実験I・II																
化学特論I・II																
理科教育法II																
無機化学実験法及び実験																
物理化学実験法及び実験																
有機化学																
植物系統学																
遺伝学																
動物生理学及び実験																
地質学																
地球環境論																
熱力・統計力学（講義及び演習）I・II																
理科教育法III																
理科教育法IV																
有機化学実験法及び実験																
生物化学実験法及び実験																
植物系形態学及び実験																
地質学実験法及び実験																
量子力学（講義及び演習）I・II																
環境化学																
細胞分子生物学及び実験																
進化生態学																
地球物理学実験法及び実験																
地球システム論																
地球科学野外実習																
生物学特論I・II																
地球科学セミナーI・II																

大学 No.28

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

・国語、国語科教育の指導内容の系統性、関連性を理解し、教育課程にどのように構想していくかを理解する。

・国語の学問体系に関する知識や技能を身につけ、国語学習を通じて思考力、判断力、表現力を身につけるとともに、国語を通じて思考態度、人間形成に資する。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.28　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語学概論（音声学を含む。）																
漢文学概論																
国文学概論（国文学史を含む。）																
書写基礎																
国語科教育実践論																
書道史概論																
国語科教育法Ⅱ																
国語科教材論																
書写研究																
近現代文学研究																
古典文学研究																
漢文学講読Ⅰ																
国語科教育法Ⅲ																
文章表現研究																
国語科教科内容指導論Ⅰ																
国語科教育法Ⅰb																
語彙論																
漢文学研究																
国文学講読Ⅰ																
書道史調査実習																
国語科教育法Ⅳ																
国語科教科内容指導論Ⅱ																
国語法研究																
書道研究																
書論・鑑賞研究																
国語学研究																
漢文学講読Ⅱ																
国文学講読Ⅱ																
国語科教育特講																

大学 No.28

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

本学では、グローバル化の進展する現代社会で求められる「問題を発見し、そして解決する力」をもつ子どもを育てる社会科教員の養成を目指しています。社会科教員を目指す学生に必要な資質・能力は、社会科の教科力及び教科指導力と考えます。具体的には、社会科の教科力として、「社会科の目指す人間形成」「社会科の学問体系」「社会科の研究手法」「社会科に関する社会的・文化的価値」「社会科の歴史」「社会科の国内外の動向」「社会科に関する学問領域間の接合、対話力、実践力」に関する知識、理解を想定しています。また、社会科の教科指導力として、「学校カリキュラムの体系」「指導内容と子どもの関わり」「指導内容の教育的価値」「先行授業実践」「多様な分野間での横断的・体系的な教材」に関する知識・理解や、「指導計画力、単元構想力、教材開発力」「授業構成力、授業実践力」の形成を想定しています。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.28　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概論Ⅰ																
地域環境論																
人文地理学概論																
宗教学概論																
地誌学																
法律学概論（国際法を含む。）																
経済学概論（国際経済を含む。）																
外国史概論Ⅰ																
哲学概論																
日本史概論Ⅱ																
社会科教育法Ⅱ																
地理学特論Ⅰ																
法律学特論																
経済学特論																
民俗学概論																
日本史特論Ⅰ																
社会科教育法Ⅲ（地理歴史分野）																
外国史概論Ⅱ																
地理学特論Ⅱ																
社会学特論																
社会科教育演習Ⅰ																
社会科教育特論Ⅰ																
日本史特論Ⅱ																
地理学巡検																
外国史特論Ⅰ																
日本史演習Ⅰ																
地理歴史調査																
外国史演習Ⅰ																
外国史演習Ⅲ																
地理学研究法																
地理学演習Ⅰ																
地理学演習Ⅲ																
経済学演習Ⅰ																
社会調査																
宗教学演習Ⅰ																
哲学演習Ⅰ																
社会科教育法Ⅳ（公民分野）																
社会科教育演習Ⅱ																
社会科教育特論Ⅱ																
日本史演習Ⅱ																
外国史特論Ⅱ																
外国史演習Ⅱ																
外国史演習Ⅳ																
地理学演習Ⅱ																
地理学演習Ⅳ																
現代日本経済																
経済学演習Ⅱ																
宗教学特論																
宗教学演習Ⅱ																
哲学演習Ⅱ																
哲学特論																

大学 No.28　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概論Ⅰ																
地域環境論																
人文地理学概論																
地誌学																
外国史概論Ⅰ																
日本史概論Ⅱ																
社会科教育法Ⅱ																
地理学特論Ⅰ																
民俗学概論																
日本史特論Ⅰ																
社会科教育法Ⅲ（地理歴史分野）																
外国史概論Ⅱ																
地理学特論Ⅱ																
社会科教育演習Ⅰ																
社会科教育特論Ⅰ																
日本史特論Ⅱ																
地理学巡検																
外国史特論Ⅰ																
日本史演習Ⅰ																
地理歴史調査																
外国史演習Ⅰ																
外国史演習Ⅲ																
地理学研究法																
地理学演習Ⅰ																
地理学演習Ⅲ																
社会科教育演習Ⅱ																
社会科教育特論Ⅱ																
日本史演習Ⅱ																
外国史特論Ⅱ																
外国史演習Ⅱ																
外国史演習Ⅳ																
地理学演習Ⅱ																
地理学演習Ⅳ																
地理歴史教育演習Ⅰ																
地理歴史教育演習Ⅱ																

大学 No.28　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
宗教学概論																
法律学概論（国際法を含む。）																
経済学概論（国際経済を含む。）																
哲学概論																
社会科教育法Ⅱ																
法律学特論																
経済学特論																
社会学特論																
社会科教育演習Ⅰ																
社会科教育特論Ⅰ																
経済学演習Ⅰ																
社会調査																
宗教学演習Ⅰ																
哲学演習Ⅰ																
社会科教育法Ⅳ（公民分野）																
社会科教育演習Ⅱ																
社会科教育特論Ⅱ																
現代日本経済																
経済学演習Ⅱ																
宗教学特論																
宗教学演習Ⅱ																
哲学演習Ⅱ																
公民教育演習Ⅰ																
公民教育演習Ⅱ																
哲学特論																

大学 No. 28

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

以下の各項目について、4 段階で評価している（詳細は省略）

(1) 数学の学問体系に関する知識
(2) 数学に関する文化的・社会的価値についての理解
(3) 教科内容に関わる数学の専門的知識
(4) 数学の問題解決・問題発見に関わる思考力・表現力
(5) 数学の発展の歴史に関する知識
(6) 学校カリキュラムに関する体系的理解
(7) 指導内容に関する教育的価値についての理解
(8) 指導内容についての教材開発力
(9) 指導内容についての単元構想力・授業構成力
(10)指導内容についての子ども理解（理解の様相・つまずき等）
(11)他教科との関わりに関する知識
(12)数学教育の変遷に関する知識

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.28　中学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
線形代数学基礎																
集合と論理基礎																
微分積分学基礎																
線形代数学																
集合と論理																
微分積分学																
数学科教育法Ⅱ																
コンピュータ																
代数学Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
解析学Ⅰ																
数学科教育法Ⅲ																
応用数学基礎																
代数学Ⅱ																
解析学Ⅱ																
算数・数学科教科内容指導論Ⅰ																
応用数学Ⅰ																
代数学Ⅲ																
幾何学Ⅱ																
数学科教育法Ⅳ																
算数・数学科教科内容指導論Ⅱ																
幾何学Ⅲ																
解析学Ⅲ																
応用数学Ⅱ																
数学教育実践論																
数学科教育特論Ⅰ																
数学科教育特論Ⅱ																
代数学特論																
解析学特論																
応用数学特論																
数理科学特論																
幾何学特論																

大学 No.28　高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
線形代数学基礎																
集合と論理基礎																
微分積分学基礎																
線形代数学																
集合と論理																
微分積分学																
数学科教育法Ⅱ																
コンピュータ																
代数学Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
解析学Ⅰ																
数学科教育法Ⅲ																
応用数学基礎																
代数学Ⅱ																
解析学Ⅱ																
算数・数学科教科内容指導論Ⅰ																
応用数学Ⅰ																
代数学Ⅲ																
幾何学Ⅱ																
数学科教育法Ⅳ																
算数・数学科教科内容指導論Ⅱ																
幾何学Ⅲ																
解析学Ⅲ																
応用数学Ⅱ																
数学教育実践論																
数学科教育特論Ⅰ																
数学科教育特論Ⅱ																
代数学特論																
解析学特論																
応用数学特論																
数理科学特論																
幾何学特論																

大学 No.28

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

物理・化学・生物・地学の各専門領域における体系的知識を備え、実験や野外実習等の能力をあわせもっていること、生徒の発達段階にあわせて学習すべき内容を展開し、理科ならではの見方、考え方へと発展できる力を有している教員を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.28　高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
基礎物理学																
基礎化学																
基礎生物学																
近代物理実験																
基礎地学																
生態学																
地球史																
分析化学																
有機化学																
理科教育法II																
基礎物理学実験																
生物学実験																
物理数学																
物理学演習I																
自然災害学																
自然観察フィールドワーク																
理科教育法III																
基礎化学実験																
地学実験																
化学実験学																
応用生物学																
発生生物学																
理科教育学演習I																
理科教科内容指導論I																
応用化学																
地球・宇宙システムI																
地球・宇宙システムII																
地学演習																
理科教育法IV																
理科教育学演習II																
理科教科内容指導論II																
物理学演習II																
応用化学実験																
系統進化学																
分子生物学																
量子物理学																
理科教育特講																
生物学原書講読																
化学特論																

大学 No.29

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

教科としての「国語」を担うための教材研究能力・教材開発力を有する教員の養成を目指す。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.29　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語科研究AⅡ																
国語学概説Ⅰ																
国文学史概説																
国語科研究AⅠ																
国語科研究BⅡ																
国語学概説Ⅱ																
国文学演習AⅠ																
書道演習Ⅰ																
国文学演習AⅡ																
漢文学C																
書道演習Ⅱ																
国語学講義A																
国語学演習BⅠ																
国文学講義AⅠ																
中国文学研究A																
書道演習A																
国語科教育CⅠ																
国語学演習AⅠ																
国文学演習BⅠ																
漢文学A																
書道演習Ⅲ																
国語学講義BⅠ																
国語学演習BⅡ																
国文学講義AⅡ																
国文学演習CⅠ																
書道演習B																
書研究A																
国語科教育CⅡ																
国語学演習AⅡ																
国文学演習BⅡ																
漢文学B																
書道演習Ⅳ																
国語学講義BⅡ																
国語学演習C																
国文学講義BⅠ																
国文学演習CⅡ																
国文学演習D																
中国思想研究																
中国文学史																
書道演習C																
書研究B																
書道史																
書論講読																
国語科教育CⅢ																
国語学演習DⅠ																
国文学講義BⅡ																
国文学演習EⅠ																
中国文学研究B																
中国思想演習																
中国思想史A																
書道演習D																
作品研究A																
国語科教育CⅣ																
国語学演習DⅡ																
国文学演習EⅡ																
中国文学研究C																
中国思想史B																
作品研究B																

大学 No.29

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

現代社会が抱える諸問題に向き合い、自ら考え行動できる子どもたちを育てる教員の育成を目指す。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.29　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
外国史概説Ⅰ																
地理学基礎Ⅰ																
政治学概論（国際政治を含む。）																
倫理思想史概説																
地誌概説Ⅰ																
哲学史概説Ⅰ																
哲学基礎演習																
哲学史基礎演習																
日本民俗文化概説																
地理学実験																
地理学野外実験Ⅰ																
現代政治論																
社会調査論																
社会科教育CⅠ																
日本史概説Ⅰ																
社会学概論																
哲学史概説Ⅱ																
倫理学基礎演習																
倫理思想史基礎演習																
史学概論																
歴史と環境																
地理学基礎Ⅱ																
地理学基礎演習																
地理学野外実験Ⅱ																
社会科教育CⅡ																
法学概論（国際法を含む。）																
経済学概論（国際経済を含む。）																
哲学の諸問題																
哲学演習A																
倫理学演習A																
日本史特論Ⅰ																
日本史書講読ⅠA																
地方史演習Ⅰ																
日本史基礎演習Ⅰ																
外国史概説Ⅱ																
東洋史特論Ⅰ																
外国史書講読ⅡA																
外国史基礎演習Ⅰ																
外国史応用演習Ⅰ																
地理学特論Ⅰ																
地理学論文演習Ⅰ																
地理学野外実験Ⅲ																
地理学野外実験Ⅳ																
地誌概説Ⅱ																
法学演習Ⅰ																
公法学演習Ⅰ																
比較政治学																
政治学演習Ⅰ																
現代社会学																
現代社会学演習Ⅰ																
比較社会研究Ⅰ																
社会調査実習																
国際経済学																
経済政策論																
経済学演習Ⅰ																

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科教材研究Ⅰ（公民分野）																
社会科教育CⅢ（地理歴史分野）																
哲学演習B																
倫理学の諸問題																
倫理学演習B																
宗教の諸問題																
日本史概説Ⅱ																
日本史特論Ⅱ																
日本史書講読ⅠB																
地方史演習Ⅱ																
外国史書講読ⅡB																
自然地理学基礎																
地理学特論Ⅱ																
地理学特論Ⅲ																
地理学演習																
地理学論文演習Ⅱ																
地誌概説Ⅲ																
地誌演習																
公法学概論																
法学演習Ⅱ																
公法学演習Ⅱ																
現代政治史																
政治学演習Ⅱ																
現代社会学演習Ⅱ																
比較社会研究Ⅱ																
国際金融論																
金融論																
経済学演習Ⅱ																
金融経済教育論																
社会科教材研究Ⅱ（公民分野）																
社会科教育CⅣ（公民分野）																
宗教哲学演習A																
宗教倫理学演習A																
日本史応用演習Ⅰ																
地理学研究法Ⅰ																
地理学論文演習Ⅲ																
地誌特論																
法学演習Ⅲ																
政治学演習Ⅲ																
現代社会学研究Ⅰ																
コミュニケーション論実習Ⅰ																
国際金融論実習Ⅰ																
社会科教材研究Ⅲ（公民分野）																
宗教哲学演習B																
宗教倫理学演習B																
地理学研究法Ⅱ																
地理学論文演習Ⅳ																
公法学演習Ⅲ																
政治学演習Ⅳ																
現代社会学研究Ⅱ																
コミュニケーション論実習Ⅱ																
国際金融論実習Ⅱ																
社会科教材研究Ⅳ（公民分野）																

大学 No.29　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
外国史概説Ⅰ																
地理学基礎Ⅰ																
地誌概説Ⅰ																
日本民俗文化概説																
地理学実験																
地理学野外実験Ⅰ																
日本史概説Ⅰ																
史学概論																
歴史と環境																
地理学基礎Ⅱ																
地理学基礎演習																
地理学野外実験Ⅱ																
日本史特論Ⅰ																
日本史書講読ⅠA																
地方史演習Ⅰ																
日本史基礎演習Ⅰ																
外国史概説Ⅱ																
東洋史特論Ⅰ																
外国史書講読ⅡA																
外国史基礎演習Ⅰ																
外国史応用演習Ⅰ																
地理学特論Ⅰ																
地理学論文演習Ⅰ																
地理学野外実験Ⅲ																
地理学野外実験Ⅳ																
地誌概説Ⅱ																
社会科教育CⅢ（地理歴史分野）																
日本史概説Ⅱ																
日本史特論Ⅱ																
日本史書講読ⅠB																
地方史演習Ⅱ																
外国史書講読ⅡB																
自然地理学基礎																
地理学特論Ⅱ																
地理学特論Ⅲ																
地理学演習																
地理学論文演習Ⅱ																
地誌概説Ⅲ																
地誌演習																
日本史応用演習Ⅰ																
地理学研究法Ⅰ																
地理学論文演習Ⅲ																
地誌特論																
地歴科教育CⅠ																
地理学研究法Ⅱ																
地理学論文演習Ⅳ																

大学 No.29　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
政治学概論（国際政治を含む。）																
倫理思想史概説																
哲学史概説Ⅰ																
哲学基礎演習																
哲学史基礎演習																
現代政治論																
社会調査論																
社会学概論																
哲学史概説Ⅱ																
倫理学基礎演習																
倫理思想史基礎演習																
法学概論（国際法を含む。）																
経済学概論（国際経済を含む。）																
哲学の諸問題																
哲学演習A																
倫理学演習A																
法学演習Ⅰ																
公法学演習Ⅰ																
比較政治学																
政治学演習Ⅰ																
現代社会学																
現代社会学演習Ⅰ																
比較社会研究Ⅰ																
社会調査実習																
国際経済学																
経済政策論																
経済学演習Ⅰ																
社会科教材研究Ⅰ（公民分野）																
哲学演習B																
倫理学の諸問題																
倫理学演習B																
宗教の諸問題																
公法学概論																
法学演習Ⅱ																
公法学演習Ⅱ																
現代政治史																
政治学演習Ⅱ																
現代社会学演習Ⅱ																
比較社会研究Ⅱ																
国際金融論																
金融論																
経済学演習Ⅱ																
金融経済教育論																
社会科教材研究Ⅱ（公民分野）																
社会科教育CⅣ（公民分野）																
宗教哲学演習A																
宗教倫理学演習A																
法学演習Ⅲ																
政治学演習Ⅲ																
現代社会学研究Ⅰ																
コミュニケーション論実習Ⅰ																
国際金融論実習Ⅰ																
社会科教材研究Ⅲ（公民分野）																
公民科教育CⅠ																
宗教哲学演習B																
宗教倫理学演習B																
公法学演習Ⅲ																
政治学演習Ⅳ																
現代社会学研究Ⅱ																
コミュニケーション論実習Ⅱ																
国際金融論実習Ⅱ																
社会科教材研究Ⅳ（公民分野）																

大学 No.29

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

専門教育科目を通して数学の魅力を十分に理解し、広い知識と深い洞察力を有する教員の養成を目指す。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.29　中学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
線形数学Ⅰ																
微分積分Ⅰ																
線形数学Ⅱ																
微分積分Ⅱ																
集合と論理																
初等整数論																
解析学概論																
線形数学演習Ⅰ																
応用数学（A）																
代数・幾何の基礎Ⅰ																
微分積分演習Ⅰ																
数学科教育CⅠ																
代数概論																
確率統計Ⅰ																
プログラミング																
幾何学A																
線形数学演習Ⅱ																
微分積分演習Ⅱ																
解析学A																
数学科教育CⅡ																
幾何学概論																
確率統計Ⅱ																
代数学A																
解析学B																
統計とコンピュータ																
数学科教育CⅢ																
代数学B																
幾何学B																
応用数学B（解析学）																
確率統計Ⅲ																
数学講究Ⅰ																
数学科教育CⅣ																
代数・幾何の基礎Ⅱ																
代数学特論																
幾何学特論																
解析学特論																
確率統計特論																
数学講究Ⅱ																
数学講究Ⅲ																

大学 No.29　高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
線形数学Ⅰ																
微分積分Ⅰ																
線形数学Ⅱ																
微分積分Ⅱ																
集合と論理																
初等整数論																
解析学概論																
線形数学演習Ⅰ																
応用数学（A）																
代数・幾何の基礎Ⅰ																
微分積分演習Ⅰ																
数学科教育CⅠ																
代数概論																
確率統計Ⅰ																
プログラミング																
幾何学A																
線形数学演習Ⅱ																
微分積分演習Ⅱ																
解析学A																
数学科教育CⅡ																
幾何学概論																
確率統計Ⅱ																
代数学A																
解析学B																
統計とコンピュータ																
数学科教育CⅢ																
代数学B																
幾何学B																
応用数学B（解析学）																
確率統計Ⅲ																
数学講究Ⅰ																
数学科教育CⅣ																
代数・幾何の基礎Ⅱ																
代数学特論																
幾何学特論																
解析学特論																
確率統計特論																
数学講究Ⅱ																
数学講究Ⅲ																

大学 No.29

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

科学の発展が不可欠とされる現代で、理科への深い知識と経験を持つ教員の養成を目指す。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.29　中学校・高等学校（数学）

授業科目名（黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
理科教育研究AII	■	■														
物理数学I	■	■														
有機化学演習	■	■														
生物学基礎演習A	■	■														
臨海実習	■	■														
基礎地球科学フィールドワーク	■	■														
物理学I	■	■	■	■												
化学I	■	■	■	■												
生物学I	■	■	■	■												
地学I	■	■	■	■												
理科研究AI	■	■	■	■	■	■										
理科教育研究BII			■	■												
基礎物理学演習I			■	■												
物理化学A			■	■												
生物学基礎演習B			■	■												
地球環境科学			■	■												
物理数学II					■	■										
有機化学A					■	■										
野外生物実習					■	■										
里山体験実習					■	■										
細胞生物学実験					■	■										
環境生物学実験					■	■										
地球環境科学演習					■	■										
地学野外実習					■	■										
物理学実験					■	■	■	■								
化学実験					■	■	■	■								
生物学実験					■	■	■	■								
地学実験					■	■	■	■								
物理学II					■	■	■	■	■	■						
化学II					■	■	■	■	■	■						
生物学II					■	■	■	■	■	■						
地学II					■	■	■	■	■	■						
理科教育C Ⅰ							■	■								
力学							■	■								
電磁気学							■	■								
基礎物理学演習II							■	■								
物理化学B							■	■								
無機化学							■	■								
機器分析演習							■	■								
生物学特論A							■	■								
生物学特論B							■	■								
生物学特論C							■	■								
生物学特論D							■	■								
発生遺伝学実験							■	■								
固体地球科学A							■	■								
大気・水圏科学							■	■								
宇宙科学B							■	■								
理科教育C Ⅱ									■	■						
熱物理学									■	■						
量子物理学									■	■						

授業科目名（黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物質化学									■	■						
有機化学B									■	■						
物理化学演習A									■	■						
無機化学演習									■	■						
化学教材演習									■	■						
物質化学実験									■	■						
分子科学実験									■	■						
生理学実験									■	■						
植物生活環実験									■	■						
地質学									■	■						
固体地球科学B									■	■						
宇宙科学A									■	■						
固体地球科学実験A									■	■						
大気・水圏科学実験									■	■						
宇宙科学実験B									■	■						
理科教育C Ⅲ											■	■				
現代物理学A											■	■				
現代物理学B											■	■				
応用物理学演習I											■	■				
応用物理学演習II											■	■				
物理学実験I											■	■				
物理学実験II											■	■				
物理教材実験I											■	■				
物理教材実験II											■	■				
生物化学											■	■				
物理化学演習B											■	■				
物質化学演習											■	■				
物理化学実験											■	■				
有機化学実験											■	■				
系統進化学実験											■	■				
地学コンピュータ演習											■	■				
地質学実験											■	■				
固体地球科学実験B											■	■				
宇宙科学実験A											■	■				
理科教育CⅣ													■	■		
物理学ゼミナールI													■	■		
化学ゼミナールI													■	■		
生物学ゼミナールI													■	■		
地質学演習													■	■		
固体地球科学演習A													■	■		
固体地球科学演習B													■	■		
大気・水圏科学演習													■	■		
宇宙科学演習A													■	■		
宇宙科学演習B													■	■		
地学ゼミナールI													■	■		
物理学ゼミナールII															■	■
化学ゼミナールII															■	■
化学特別実験															■	■
生物学ゼミナールII															■	■
地学ゼミナールII															■	■

大学 No.31

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

子どもと言葉を通して真摯に向き合い、子どもが学習や生活の中で、言葉を使って自らの可能性を広げ、高めていくことを支援できる教員。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.31　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本語学概説																
国文学概説																
国語科教育法Ⅰ																
漢文学講義Ⅰ																
書道Ⅰ																
日本語学演習Ⅰ																
日本語学講義Ⅰ																
日本語学演習Ⅲ																
国文学講義・古典Ⅰ																
国文学講義・古典Ⅲ																
国文学講義・近代Ⅰ																
国文学講義・近代Ⅱ																
国文学講義・近代Ⅲ																
国文学演習・古典Ⅱ																
国文学演習・古典Ⅲ																
国文学演習・近代Ⅰ																
国文学演習・近代Ⅳ																
書道史Ⅰ																
漢文学演習Ⅰ																
漢文学演習Ⅱ																
書道Ⅳ																
書道史Ⅱ																
書論・鑑賞Ⅰ																
書論・鑑賞Ⅱ																
書道研究Ⅰ																
書道研究Ⅱ																
国語科教育法Ⅱ																
日本語学講義Ⅱ																
日本語学講義Ⅲ																
日本語学講義Ⅳ																
日本語学演習Ⅱ																
日本語学演習Ⅳ																
国文学史概説																
国文学講義・古典Ⅱ																
国文学講義・古典Ⅳ																
国文学講義・近代Ⅳ																
国文学演習・古典Ⅰ																
国文学演習・古典Ⅳ																
国文学演習・近代Ⅱ																
国文学演習・近代Ⅲ																
漢文学講義Ⅱ																
書道Ⅱ																
書道Ⅲ																
国語科教育法Ⅲ																
日本語学ゼミナールⅠ																
日本語学ゼミナールⅢ																
国文学ゼミナールⅠ																
国文学ゼミナールⅢ																
書道ゼミナールⅠ																
書道ゼミナールⅢ																
国語科教育法Ⅳ																
日本語学セミナールⅡ																
日本語学ゼミナールⅣ																
国文学ゼミナールⅡ																
国文学ゼミナールⅣ																
書道ゼミナールⅡ																
書道ゼミナールⅣ																

大学 No.31

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

幅広い教義と授業実践力をベースとして、現代社会を生き抜く知と技をもち、またそれを伝えることのできる教員の養成。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.31　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科入門																
外国史概論																
地理学概論																
経済学原論（国際経済を含む）																
政治学原論（国際政治を含む）																
哲学概論																
日本史史料講読Ⅰ																
日本史史料講読Ⅱ																
東洋史史料講読Ⅱ																
東洋史演習Ⅰb																
西洋史概論Ⅰ																
外国地誌概論																
地理学野外実習Ⅰ																
政治思想史																
政治学演習Ⅰ																
経済政策																
経済学特殊講義																
経済学演習Ⅰa																
経済学演習Ⅰb																
哲学特殊講義Ⅱ																
倫理学																
哲学・倫理学ゼミナールⅠ																
社会科教育学講義																
憲法原論（国際法を含む）																
日本史特殊講義																
東洋史概論Ⅱ																
自然地理学概論																
水文学概論																
人文地理学概論																
都市地理学概論																
地誌学概論																
人文地理学実習																
政治史																
現代政治論																
哲学史Ⅰ																
社会科授業論																
社会科教育法Ⅰa																
地理・歴史科教育法																
公民科教育法																
日本史概論Ⅰ																
日本史概論Ⅱ																
日本史演習Ⅰa																
日本史演習Ⅱb																
東洋史演習Ⅱb																
自然地理学特論Ⅰ																
自然地理学特論Ⅱ																
水文学特論Ⅰ																
水文学特論Ⅱ																
人文地理学特論Ⅰ																
人文地理学特論Ⅱ																
都市地理学特論																
地理学野外実習Ⅱ																
自然地理学演習Ⅰ																
人文地理学演習Ⅰ																
人文地理学演習Ⅱ																
政治学演習Ⅱa																
経済学演習Ⅱb																
社会科教育ゼミナールⅠ（地歴）																
社会科教育ゼミナールⅠ（公民）																
社会科基礎																
社会科教育法Ⅱa																
倫理学演習Ⅰ																
社会科教育法Ⅰb																
日本史演習Ⅰb																
自然地理学演習Ⅱ																
政治学演習Ⅱb																
経済学演習Ⅱa																
社会科教育ゼミナールⅡ（地歴）																
社会科教育ゼミナールⅡ（公民）																
社会科教育法Ⅱb																
倫理学概論																
史学概論Ⅰ																
史学概論Ⅱ																
日本史演習Ⅱa																
東洋史概論Ⅰ																
東洋史史料講読Ⅰ																
東洋史演習Ⅰa																
東洋史演習Ⅱa																
東洋史特殊講義Ⅰ																
東洋史特殊講義Ⅱ																
西洋史概論Ⅱ																
政治学特殊講義																
日本経済論																
哲学史Ⅱ																
哲学特殊講義Ⅰ																
哲学演習Ⅰ																
哲学演習Ⅱ																
倫理学特殊講義Ⅰ																
倫理学特殊講義Ⅱ																
倫理学演習Ⅱ																
哲学・倫理学ゼミナールⅡ																
特別支援教育入門																
教育実地研究基礎																
教育実地研究																
総合的な学習の展望と実践																

大学 No.31　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
外国史概論																
地理学概論																
日本史史料講読Ⅰ																
日本史史料講読Ⅱ																
東洋史史料講読Ⅱ																
東洋史演習Ⅰb																
西洋史概論Ⅰ																
外国地誌概論																
地理学野外実習Ⅰ																
社会科教育学講義																
日本史特殊講義																
東洋史概論Ⅱ																
自然地理学概論																
水文学概論																
人文地理学概論																
都市地理学概論																
地誌学概論																
人文地理学実習																
社会科授業論																
地理・歴史科教育法																
日本史概論Ⅰ																
日本史概論Ⅱ																
日本史演習Ⅰa																
日本史演習Ⅱb																
東洋史演習Ⅱb																
自然地理学特論Ⅰ																
自然地理学特論Ⅱ																
水文学特論Ⅰ																
水文学特論Ⅱ																
人文地理学特論Ⅰ																
人文地理学特論Ⅱ																
都市地理学特論																
地理学野外実習Ⅱ																
自然地理学演習Ⅰ																
人文地理学演習Ⅰ																
人文地理学演習Ⅱ																
社会科教育ゼミナールⅠ（地歴）																
社会科基礎																
日本史演習Ⅰb																
自然地理学演習Ⅱ																
社会科教育ゼミナールⅡ（地歴）																
史学概論Ⅰ																
史学概論Ⅱ																
日本史演習Ⅱa																
東洋史概論Ⅰ																
東洋史史料講読Ⅰ																
東洋史演習Ⅰa																
東洋史演習Ⅱa																
東洋史特殊講義Ⅰ																
東洋史特殊講義Ⅱ																
西洋史概論Ⅱ																
特別支援教育入門																
教育実地研究基礎																
教育実地研究																

大学 No.31　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
経済学原論（国際経済を含む）																
政治学原論（国際政治を含む）																
哲学概論																
政治思想史																
政治学演習Ⅰ																
経済政策																
経済学特殊講義																
経済学演習Ⅰa																
経済学演習Ⅰb																
哲学特殊講義Ⅱ																
倫理学																
哲学・倫理学ゼミナールⅠ																
社会科教育学講義																
憲法原論（国際法を含む）																
政治史																
現代政治論																
哲学史Ⅰ																
社会科授業論																
公民科教育法																
政治学演習Ⅱa																
経済学演習Ⅱb																
社会科教育ゼミナールⅠ（公民）																
社会科基礎																
倫理学演習Ⅰ																
政治学演習Ⅱb																
経済学演習Ⅱa																
社会科教育ゼミナールⅡ（公民）																
倫理学概論																
政治学特殊講義																
日本経済論																
哲学史Ⅱ																
哲学特殊講義Ⅰ																
哲学演習Ⅰ																
哲学演習Ⅱ																
倫理学特殊講義Ⅰ																
倫理学特殊講義Ⅱ																
倫理学演習Ⅱ																
哲学・倫理学ゼミナールⅡ																
特別支援教育入門																
教育実地研究基礎																
教育実地研究																

大学 No.31

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

五つの学部をもつ三重大学において、文系・理系の様々な先生から学び、講義・部活動・サークル活動などを通して多様な人生目標をもつ仲間に出会うことにより成長していくような、専門的能力ももつ教員。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.31　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
代数学入門																
幾何学入門																
解析学入門																
代数学概論																
幾何学概論																
解析学概論																
確率・統計学																
情報数学概論																
代数学演習																
幾何学演習																
解析学演習																
情報数学演習																
数学科教育法Ⅰ																
数学科教育法Ⅱ																
代数学要論Ⅰ																
代数学要論Ⅱ																
代数学要論Ⅲ																
代数学要論Ⅳ																
応用数学要論																
幾何学要論Ⅰ																
幾何学要論Ⅱ																
幾何学要論Ⅲ																
幾何学要論Ⅳ																
解析学要論Ⅰ																
解析学要論Ⅱ																
解析学要論Ⅲ																
解析学要論Ⅳ																
数理統計学要論																
情報数学要論																
代数学講究																
幾何学講究																
解析学講究																
応用数学講究																

大学 No.31

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

教科の基礎的知識を踏まえ、主体的・協働的な学びを組織できる教員の養成。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.31　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
理科ゼミナール																
基礎物理学A																
基礎生物学A																
基礎化学A																
基礎地学A																
基礎物理学B																
基礎生物学B																
理科実験（生物）																
理科実験（地学）																
基礎化学B																
基礎地学B																
理科情報基礎（生物）																
理科情報基礎（地学）																
物理学講義Ⅰ																
化学講義Ⅱ																
生物学講義Ⅰ																
地学講義Ⅰ																
野外実習																
生物学講義Ⅲ																
生物学講義Ⅳ																
地学講義Ⅱ																
地学実習Ⅰ																
地学実習Ⅱ																
理科実験（物理）																
理科実験（化学）																
理科情報基礎（物理）																
理科情報基礎（化学）																
物理学講義Ⅱ																
物理学講義Ⅲ																
化学講義Ⅰ																
化学講義Ⅲ																
生物学講義Ⅱ																
地学講義Ⅲ																
理科教育法Ⅰ																
物理学実験																
化学実験																
地学実験																
理科教育法Ⅲ																
理科教育法Ⅳ																
理科教育ゼミナール																
地学講義Ⅳ																
理科教育法Ⅱ																
生物学実験																

大学 No.32

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

国語科に関わる領域（語学・文学・書道）における高い専門性を有し、かつ、学習指導要領に示される言語活動に関わる、「ことば」の問題に対する幅広い知識を備えた教員。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.32　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
書道実技Ⅰ																
書道実技Ⅲ																
書道実技Ⅳ																
書道実技Ⅱ																
中等国語科教育法Ⅰ																
国語学概論																
書道概説Ⅰ																
国語史Ⅰ																
国文学史Ⅰ																
漢文学講読																
書道史Ⅰ																
書道史Ⅱ																
中等国語科教育法Ⅱ																
中等国語科教材内容論																
国文学概論																
漢文学概説																
国語史Ⅱ																
国文学史Ⅱ																
書道概説Ⅱ																
中等国語科教育法Ⅲ																
国語教育特殊講義																
国語学特殊講義																
漢文学特殊講義																
国文学特殊講義Ⅰ																
国語教育演習Ⅰ																
国語学講読																
国文学演習Ⅰ																
漢文学演習																
国語教育研究Ⅰ																
国語学研究Ⅰ																
国文学研究Ⅰ																
漢文学研究Ⅰ																
書道研究Ⅰ																
国語教育研究Ⅱ																
国語学研究Ⅱ																
国文学研究Ⅱ																
漢文学研究Ⅱ																
書道研究Ⅱ																

大学 No.32

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

多様な文化・社会についての理解のもとで、これまで経験したことない様々な問題が解決できる力とよりよい社会を形成しようとする意欲をもった、かつ、そのようなひとが育てられるような資質・能力を有する教員。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

科目によって“基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている(a)”に近いものと、“学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている(b)”に近いものがある

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.32　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
外国史概論Ⅰ																
地理学概説Ⅱ（自然地理学を含む。）																
政治学概論（国際政治を含む。）																
経済学概論（国際経済を含む。）																
哲学概論																
歴史学研究法Ⅱ																
環境倫理学																
社会・地理歴史科教材内容論																
日本史概論Ⅱ																
地域からの日本史																
外国史概論Ⅱ																
地理学概説Ⅰ（人文地理学を含む。）																
地誌学																
法律学概論（国際法を含む。）																
社会学概説																
経済環境概論																
倫理学概論																
ヨーロッパ文化史																
ヨーロッパの思想と文化																
社会・公民科教育法																
社会・公民科教材内容論																
社会科授業研究																
社会科教育特講Ⅰ																
日本史概論Ⅰ																
歴史学研究法Ⅰ																
環境社会学																
地域社会と教育																
社会環境演習Ⅰ																
情報社会と情報倫理																
社会・地理歴史科教育法																
社会の臨床的授業研究																
日本史研究Ⅲ																
外国史研究Ⅰ																
地域基礎学																
政治学演習Ⅲ																
社会環境演習Ⅲ																
比較地域論Ⅰ																
比較地域論Ⅱ																
社会科教育演習Ⅲ																
日本史研究Ⅱ																
外国史研究Ⅱ																
地域調査実習Ⅱ																
環境法概論																
法律学演習Ⅰ																
政治学演習Ⅰ																
社会環境演習Ⅱ																
哲学演習Ⅰ																
社会科教育演習Ⅳ																
社会科教育特講Ⅱ																
日本史研究Ⅰ																
外国史研究Ⅲ																
地域調査演習																
地理学演習																
法律学演習Ⅱ																
政治学演習Ⅱ																
社会環境演習Ⅳ																
哲学演習Ⅱ																
社会科教育演習Ⅰ																
日本史演習Ⅰ																
外国史演習Ⅰ																
地域生活環境研究法																
社会科教育演習Ⅱ																
日本史演習Ⅱ																
外国史演習Ⅱ																

大学 No.32　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
外国史概論Ⅰ																
地理学概説Ⅱ（自然地理学を含む。）																
歴史学研究法Ⅱ																
社会・地理歴史科教材内容論																
日本史概論Ⅱ																
地域からの日本史																
外国史概論Ⅱ																
地理学概説Ⅰ（人文地理学を含む。）																
地誌学																
ヨーロッパ文化史																
社会科教育特講Ⅰ																
日本史概論Ⅰ																
歴史学研究法Ⅰ																
社会・地理歴史科教育法																
日本史研究Ⅲ																
外国史研究Ⅰ																
地域基礎学																
比較地域論Ⅰ																
比較地域論Ⅱ																
日本史研究Ⅱ																
外国史研究Ⅱ																
地域調査実習Ⅱ																
社会科教育演習Ⅳ																
社会科教育特講Ⅱ																
日本史研究Ⅰ																
外国史研究Ⅲ																
地域調査演習																
地理学演習																
社会科教育演習Ⅰ																
日本史演習Ⅰ																
外国史演習Ⅰ																
地域生活環境研究法																
日本史演習Ⅱ																
外国史演習Ⅱ																

大学 No.32　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
政治学概論（国際政治を含む。）																
経済学概論（国際経済を含む。）																
哲学概論																
環境倫理学																
法律学概論（国際法を含む。）																
社会学概説																
経済環境概論																
倫理学概論																
ヨーロッパの思想と文化																
社会・公民科教育法																
社会・公民科教材内容論																
環境社会学																
地域社会と教育																
社会環境演習Ⅰ																
情報社会と情報倫理																
社会の臨床的授業研究																
政治学演習Ⅲ																
社会環境演習Ⅲ																
社会科教育演習Ⅲ																
環境法概論																
法律学演習Ⅰ																
政治学演習Ⅰ																
社会環境演習Ⅱ																
哲学演習Ⅰ																
法律学演習Ⅱ																
政治学演習Ⅱ																
社会環境演習Ⅳ																
哲学演習Ⅱ																
社会科教育演習Ⅱ																

大学 No.32

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

学生には、中学校・高等学校で学ぶ数学（学校数学）を意識しながら学問としての数学を学ばせるように心掛けている。それによって、数学の知識と授業実践力の双方を兼ね備えた数学科教員の養成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.32　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
数学教育の基礎																
線型代数学Ⅰ																
基礎代数学Ⅰ																
基礎幾何学Ⅰ																
基礎解析学Ⅰ																
線型代数学Ⅱ																
データ処理論																
中等数学科教育法Ⅰ																
基礎代数学Ⅱ																
基礎幾何学Ⅱ																
基礎解析学Ⅱ																
基礎解析学演習																
確率論																
数式処理論																
算数・数学認識論																
初等算数教材開発																
中等数学科教材内容論Ⅰ																
代数学概論																
幾何学概論																
解析学概論																
応用解析学概論																
プログラミング概論																
数学教育演習A																
数学教育演習B																
中等数学科教育法Ⅱ																
中等数学科教材内容論Ⅱ																
代数学演習																
幾何学演習																
解析学演習																
応用解析学演習																
数学教育講究Ⅰ																
代数学講究Ⅰ																
幾何学講究Ⅰ																
解析学講究Ⅰ																
応用解析学講究Ⅰ																
数学教育講究Ⅱ																
代数学講究Ⅱ																
幾何学講究Ⅱ																
解析学講究Ⅱ																
応用解析学講究Ⅱ																

大学 No.32

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

自らも楽しみながら理科の面白さを伝えられる教員の養成を目指している。自然界の事象に対する疑問について、観察・実験を通して児童・生徒らが考え、その答えを見つけられるように指導や支援を行うことができることが重要。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.32　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
初等理科内容学②																
基礎物理学I																
基礎生物学II																
基礎地学I																
地質野外観察法I																
地質野外観察法II																
湖沼学実習																
理科の基礎																
基礎物理学II																
基礎化学I																
基礎化学II																
基礎生物学I																
基礎地学II																
中等理科教育法I																
中等理科教材内容論I																
物理学実験I																
生物学実験																
地学実験I																
無機・分析化学																
天文学																
天体観測実習																
初等理科教育法②																
中等理科教育法II																
中等理科教材内容論II																
物理学実験II																
化学実験																
地学実験II																
地質・鉱物科学																
理科教育特論I																
理科教育特論II																
解析力学																
有機化学																
物性物理学																
物理学演習IA																
物理学演習IB																
化学演習IA																
化学演習IB																
生物学演習IA																
生物学演習IB																
地学演習IA																
地学演習IB																
理科実験実習法Ⅰ																
観察・実験指導実習Ⅰ																
理科教育演習I																
理科教育演習II																
理科教育研究IA																
理科教育研究IB																
細胞情報論																
行動生態学																
物理学演習IIA																
物理学演習IIB																
化学演習IIA																
化学演習IIB																
生物学演習IIA																
生物学演習IIB																
地学演習IIA																
地学演習IIB																
理科実験実習法Ⅱ																
観察・実験指導実習Ⅱ																
理科教育研究IIA																
理科教育研究IIB																

大学 No.33

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

中学校国語科・高等学校国語科教育における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行うことのできる資質・能力。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.33　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語学概説																
国文学概説																
漢文学概説																
国語教育概説																
国語学演習A																
国語学演習B																
国文学演習A																
国語科教育演習A																
国語科教育特講A																
中等国語科教育Ⅰ																
国文学演習B																
漢文学演習A																
国語表現論																
国文法論																
近・現代文学演習																
古典文学特講																
国語科教育演習B																
国語科教育特講B																
中等国語科教育Ⅱ																
基本書法																
国語学特講A																
国語学特講B																
古典文学演習																
近・現代文学特講																
漢文学特講A																
国語科教育演習C																
中等国語科教育Ⅲ																
国語音声学																
国文学特講																
漢文学演習B																
漢文学演習C																
漢文学特講B																
国語科教育特講C																
中等国語科教育Ⅳ																

大学 No.33

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

自分たちの生きる社会に関心をもち、その在り方や背景を理解して、人々との関わりの中で自分なりの判断と考えを持って、社会に働きかけていけるような市民としてのリテラシーの育成など、今日的課題に応えることのできる深い教養と教育実践力を身につけた教員の養成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.33　中学校（社会）

授業科目名（黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
法律学概論																
経済学概論																
倫理学概論																
日本史概論																
外国史概論																
地理学概論																
近現代史研究																
西洋史特講																
中等社会科教育Ⅰ																
社会学概論																
日本史研究																
自然地理学																
政治学研究																
倫理学特講																
中等社会科教育Ⅱ（社会・地歴）																
社会科教育演習ⅠA																
地誌学概論																
政治学概論																
哲学概論																
日本史特講																
地理学研究																
地理学特講																
社会学特講																
経済学研究																
法律学研究																
政治学特講																
倫理学研究																
中等社会科教育Ⅲ(社会・公民)																
社会科教育演習ⅠB																
近現代史特講																
西洋史研究																
社会学研究																
経済学特講																
法律学特講																
哲学研究																
社会科教育演習ⅡA																
中等社会科教育Ⅳ																
社会科教育演習ⅡB																

大学 No.33　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概論																
外国史概論																
地理学概論																
近現代史研究																
西洋史特講																
日本史研究																
自然地理学																
中等社会科教育Ⅱ(社会・地歴)																
中等地理歴史科教育																
地誌学概論																
日本史特講																
地理学研究																
地理学特講																
近現代史特講																
西洋史研究																
中等社会科教育Ⅳ																

大学 No.33　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
法律学概論																
経済学概論																
倫理学概論																
社会学概論																
政治学研究																
倫理学特講																
中等公民科教育																
政治学概論																
哲学概論																
社会学特講																
経済学研究																
法律学研究																
政治学特講																
倫理学研究																
中等社会科教育Ⅲ(社会・公民)																
社会学研究																
経済学特講																
法律学特講																
哲学研究																

大学 No. 33

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

中学校・高等学校数学科教員養成の目指すところは、中・高等学校数学の内容にとどまらず大学数学の内容を理解し、中・高の数学内容を正しく、わかりやすく指導することができるようになることである。また、新設される高校「理数科」、SSHなどの取り組みにおいても、数学的観点から十分な指導を行うことのできる力を養成する。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.33　中学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
数学基礎Ⅰ																
代数学序論Ⅰ																
幾何学序論Ⅰ																
解析学序論Ⅰ																
代数学序論Ⅱ																
幾何学序論Ⅱ																
中等数学科教育Ⅰ																
解析学序論Ⅱ																
微分方程式																
幾何学演習																
プログラミング基礎Ⅰ																
中等数学科教育Ⅱ																
現代数学科教育																
数学科教育特別講義																
電子計算機																
代数学本論Ⅰ																
幾何学本論Ⅰ																
解析学本論Ⅰ																
偏微分方程式																
代数学演習																
解析学演習																
プログラミング基礎Ⅱ																
中等数学科教育Ⅲ																
統計学																
代数学本論Ⅱ																
幾何学本論Ⅱ																
解析学本論Ⅱ																
数学科教育講究Ⅰ																
現代代数学																
代数学特別講義																
代数学講究Ⅰ																
現代幾何学																
幾何学特別講義																
幾何学講究Ⅰ																
現代解析学																
解析学特別講義																
解析学講究Ⅰ																
情報学講究Ⅰ																
中等数学科教育Ⅳ																
数学科教育講究Ⅱ																
代数学講究Ⅱ																
幾何学講究Ⅱ																
解析学講究Ⅱ																
情報学講究Ⅱ																

大学 No.33　高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
数学基礎Ⅰ																
代数学序論Ⅰ																
幾何学序論Ⅰ																
解析学序論Ⅰ																
代数学序論Ⅱ																
幾何学序論Ⅱ																
中等数学科教育Ⅰ																
解析学序論Ⅱ																
微分方程式																
幾何学演習																
プログラミング基礎Ⅰ																
中等数学科教育Ⅱ																
現代数学科教育																
数学科教育特別講義																
電子計算機																
代数学本論Ⅰ																
幾何学本論Ⅰ																
解析学本論Ⅰ																
偏微分方程式																
代数学演習																
解析学演習																
プログラミング基礎Ⅱ																
中等数学科教育Ⅲ																
統計学																
代数学本論Ⅱ																
幾何学本論Ⅱ																
解析学本論Ⅱ																
数学科教育講究Ⅰ																
現代代数学																
代数学特別講義																
代数学講究Ⅰ																
現代幾何学																
幾何学特別講義																
幾何学講究Ⅰ																
現代解析学																
解析学特別講義																
解析学講究Ⅰ																
情報学講究Ⅰ																
中等数学科教育Ⅳ																
数学科教育講究Ⅱ																
代数学講究Ⅱ																
幾何学講究Ⅱ																
解析学講究Ⅱ																
情報学講究Ⅱ																

大学 No.33

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

自然に親しみ、感動し、自然から学ぶ姿勢を身につけ、自然に対する理解を深めた上で、児童・生徒にわかりやすく教えることができる資質・能力を身につけた教員の育成を目指している。また、自然についての学びと探究を小学校、中学校などの児童・生徒に伝えると共に、児童・生徒の探究心を鼓舞し、理科に対する興味関心を喚起できる教員の育成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.33　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物理学基礎実験																
生物学基礎実験																
物理学基礎																
地学基礎																
小学校理科教材論A（化学）																
物理学I																
化学I																
生物学I																
地学I																
化学基礎実験																
地学基礎実験																
小学校理科教材論B（生物）																
化学II																
化学教育実験																
生物学実験																
地学II																
中等理科教育I																
物理学II																
物理教育実験																
生物学II																
地学実験																
有機化学概論																
中等理科教育II																
力学基礎																
電磁気学基礎																
相対性理論																
物理学実験																
物理化学概論																
無機・分析化学概論																
生物化学概論																
有機・生物化学実験																
発生生物学																
分子生物学																
地球物理学概論																
天文学I																
地球史概説																
自然環境教材論実験																
環境化学																
自然観察法I																
自然観察法II																
資源論																
中等理科教育III																
量子力学																
環境分析化学実験																
植物分類形態学																
昆虫学																
分子免疫学																
理科教材論実験																
生態学																
自然環境論																
地震学																
気象学																
中等理科教育IV																
理科教育総合演習																

大学 No.34

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

広い視野と豊かな教養を持つとともに、中・高等学校の教育に関する知識や技能を持ち、専門の教科などの指導力に優れ、中・高等学校の接続を踏まえて指導ができる中学校教員・高等学校教員を養成します。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.34　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
漢文学概論Ⅰ																
解釈学概論																
国語学概論																
国文学概論																
漢文学概論Ⅱ																
中等国語科教育法Ⅰ																
書道概論Ⅰ																
国語学特論Ⅰ																
国文学特論Ⅰ																
国語科表現教育論																
解釈学特論																
国語学概論Ⅱ																
中等国語科教育法Ⅱ																
書道概論Ⅱ																
国語学特論Ⅱ																
国文学特論Ⅱ																
中等国語科教育法Ⅲ																
国語学講義Ⅰ																
国文学講義Ⅰ																
解釈学講義																
中等国語科教育法Ⅳ																
国語学講義Ⅱ																
国文学講義Ⅱ																
国語学研究Ⅰ																
国語学演習Ⅰ																
国文学研究Ⅰ																
国文学演習Ⅰ																
解釈学演習Ⅰ																
国語教育学研究																
国語教育学演習Ⅰ																
国語教育学演習Ⅱ																
解釈学研究																
国語学研究Ⅱ																
国語学演習Ⅱ																
国文学研究Ⅱ																
国文学演習Ⅱ																
解釈学演習Ⅱ																

大学 No.34

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

広い視野と豊かな教養を持つとともに、社会科・地理歴史科・公民科を中心にした優れた教育指導力を持ち、中学校と高等学校の接続を踏まえて指導できる中学校教員・高等学校教員を養成します。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.34　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
地誌概論																
世界史概説Ⅰ																
哲学の基礎																
日本経済論																
人間と社会																
世界史概説Ⅱ																
自然地理学の基礎																
人文地理学の基礎																
中等社会科教育法Ⅰ																
日本史概説Ⅰ																
政治学																
西洋思想概説																
民俗学																
社会学特講																
国際経済論																
哲学講読																
倫理学講読																
中等社会科教育法Ⅱ																
社会科教育学基礎論																
地理学概論																
日本史概説Ⅱ																
法律学																
倫理学の基礎																
考古学																
中等社会科教育法Ⅲ																
社会科教育学研究Ⅰ																
日本史特講Ⅰ																
西洋史特講Ⅱ																
歴史講読Ⅰ																
地理学野外実習																
自然地理学特講																
人文地理学特講																
政治学特講																
社会学基礎演習Ⅰ																
経済学特講																
人間学基礎演習																
哲学諸問題																
応用倫理																
中等社会科教育法Ⅳ																
社会科教育学研究Ⅱ																
日本史特講Ⅱ																
東洋史特講Ⅰ																
東洋史特講Ⅱ																
西洋史特講Ⅰ																
歴史講読Ⅱ																
社会学基礎演習Ⅱ																
哲学基礎演習																
倫理学基礎演習																
日本思想史																
人間と宗教																

大学 No.34　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
地誌概論																
世界史概説Ⅰ																
世界史概説Ⅱ																
自然地理学の基礎																
人文地理学の基礎																
中等社会科教育法Ⅰ																
日本史概説Ⅰ																
民俗学																
社会科教育学基礎論																
地理学概論																
日本史概説Ⅱ																
考古学																
中等社会科教育法Ⅲ																
社会科教育学研究Ⅰ																
日本史特講Ⅰ																
西洋史特講Ⅱ																
歴史講読Ⅰ																
地理学野外実習																
自然地理学特講																
人文地理学特講																
社会科教育学研究Ⅱ																
日本史特講Ⅱ																
東洋史特講Ⅰ																
東洋史特講Ⅱ																
西洋史特講Ⅰ																
歴史講読Ⅱ																

大学 No.34　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
哲学の基礎																
日本経済論																
人間と社会																
政治学																
西洋思想概説																
社会学特講																
国際経済論																
哲学講読																
倫理学講読																
中等社会科教育法Ⅱ																
社会科教育学基礎論																
法律学																
倫理学の基礎																
社会科教育学研究Ⅰ																
政治学特講																
社会学基礎演習Ⅰ																
経済学特講																
人間学基礎演習																
哲学諸問題																
応用倫理																
中等社会科教育法Ⅳ																
社会科教育学研究Ⅱ																
社会学基礎演習Ⅱ																
哲学基礎演習																
倫理学基礎演習																
日本思想史																
人間と宗教																

大学 No.34

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

将来、教育の現場において、特に数学に関して、優れた指導力を持ち、中心的な役割を担うことが可能な中学校・高等学校教員を育成することを目指します。そのために、数学的な能力と数学教育の理解を深めることに重点を置きます。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.34　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
線形代数学A																
代数学A																
幾何学A																
微分積分学A																
線形代数学B																
微分積分学B																
数学科教育法Ⅰ																
数学科教育法Ⅱ																
代数学B																
幾何学B																
解析学A																
解析学B																
微分積分学C																
確率・統計																
代数学C																
幾何学C																
コンピュータ																
数学科内容構成演習																
数学科教育法Ⅲ																
数学科教育学																
代数学Ⅰ																
代数学Ⅲ																
幾何学Ⅰ																
幾何学Ⅲ																
解析学Ⅰ																
解析学Ⅲ																
応用数理Ⅰ																
確率論Ⅰ																
数理探求Ⅰ																
数理探求Ⅱ																
代数学Ⅱ																
代数学Ⅳ																
幾何学Ⅱ																
幾何学Ⅳ																
解析学Ⅱ																
解析学Ⅳ																
応用数理Ⅱ																
確率論Ⅱ																
数学科教育法Ⅳ																
数学教育学演習Ⅰ																
数学教育学演習Ⅱ																
代数学演習Ⅰ																
幾何学演習Ⅱ																
解析学演習Ⅰ																
応用数学演習Ⅰ																
代数学演習Ⅱ																
幾何学演習Ⅰ																
解析学演習Ⅱ																
応用数学演習Ⅱ																

大学 No.34

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

現代の科学技術の発展に対応できる科学的思考力と表現力を育み、知識と技能により裏付けられた確かな専門性をもつ中等理科教育の中核となる人材を育成します。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.34　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物理学I																
化学I																
生物学I																
地学I																
物理学実験I																
化学実験I																
生物学実験I																
地学実験I																
理科教育学基礎論																
科学の基礎																
科学のための数学																
中等理科教育法I																
中等理科教育法II																
化学II																
生物学II																
地学II																
古典力学																
電磁気学																
初等量子論																
物理学実験II																
無機化学入門																
物理化学																
基礎有機化学																
植物系統分類学																
動物系統分類学																
動物発生学																
分子遺伝学																
野外植物実習																
天文学																
気象学																
地球学																
地学野外実習																
中等理科教育法III																
中等理科教育法IV																
物理学III																
化学III																
生物学III																
地学III																
熱力学																
統計物理学																
量子物理学																
物理学実験III																
反応有機化学																
物性化学																
高分子化学																
物理化学実験																
有機化学実験																
生化学																
進化生態学																
生物学実験II																
生物学実験III																
臨海実習																
宇宙物理学																
地学教育論																
地学特論																
理科ゼミナール																

大学 No.35

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

実践力と人間性に優れ、生涯に渡って「学び続けることのできる教師」を養成している。また、教科等の指導では、教育内容に関する確かな知識を修得し、それに基づいて、的確な教科等の指導を行うことができる者を要請している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

両者に特別な関係はない

大学 No.35　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語・国字論																
児童文学論																
児童文学演習																
漢文学																
日本語教育																
書写・書道																
国語学Ⅰ																
国文学Ⅰ																
日本語教育演習																
国語学Ⅱ																
国文学Ⅱ																
国語科教育法Ⅰ																
国語科教育法Ⅱ																
国語学演習Ⅰ																
国語学演習Ⅱ																
古典文学演習																
近代文学演習																
漢文学演習																
国語科教育法iii																
国語科教育法Ⅳ																

大学 No.35

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

実践力と人間性に優れ、生涯に渡って「学び続けることのできる教師」を養成している。また、教科等の指導では、教育内容に関する確かな知識を修得し、それに基づいて、的確な教科等の指導を行うことができる者を要請している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

両者に特別な関係はない

大学 No.35　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概説																
政治学概説（国際政治を含む）																
外国史概説																
社会学概説																
倫理学概説・演習																
哲学概説																
外国史特講																
社会科教育法Ⅰ																
社会科教育法Ⅲ																
地理学概説																
経済学概説（国際経済を含む）																
政治学特講																
法律学演習																
人文地理学概説																
自然地理学概説																
法律学概説（国際法を含む）																
日本史演習Ⅰ																
現代政治分析論																
政治学演習																
経済学演習Ⅰ																
社会学演習Ⅰ																
社会科教育法Ⅱ																
社会科教育法Ⅳ																
地誌学概説																
日本史特講																
日本史演習Ⅱ																
外国史演習Ⅰ																
外国史演習Ⅱ																
地誌学演習																
哲学演習Ⅰ																
自然地理学演習																
経済学演習Ⅱ																
社会学演習Ⅱ																
人文地理学演習																
哲学演習Ⅱ																

大学 No.35　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概説																
外国史概説																
外国史特講																
地理学概説																
人文地理学概説																
自然地理学概説																
地理歴史科教育法Ⅰ																
日本史演習Ⅰ																
地誌学概説																
日本史特講																
日本史演習Ⅱ																
外国史演習Ⅰ																
外国史演習Ⅱ																
地誌学演習																
地理歴史科教育法Ⅱ																
自然地理学演習																
人文地理学演習																

大学 No.35　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
政治学概説（国際政治を含む）																
社会学概説																
倫理学概説・演習																
哲学概説																
経済学概説（国際経済を含む）																
政治学特講																
法律学演習																
法律学概説（国際法を含む）																
現代政治分析論																
政治学演習																
経済学演習Ⅰ																
社会学演習Ⅰ																
公民科教育法Ⅰ																
哲学演習Ⅰ																
経済学演習Ⅱ																
社会学演習Ⅱ																
公民科教育法Ⅱ																
哲学演習Ⅱ																

大学 No.35

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

実践力と人間性に優れ、生涯に渡って「学び続けることのできる教師」を養成している。また、教科等の指導では、教育内容に関する確かな知識を修得し、それに基づいて、的確な教科等の指導を行うことができる者を要請している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

両者に特別な関係はない

大学 No.35　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
代数学Ⅰ																
代数学Ⅱ																
幾何学Ⅰ																
解析学Ⅰ																
解析学Ⅰ演習																
数学科教育法																
数学科教育法特別演習Ⅰ																
解析学Ⅱ																
確率・統計																
確率・統計演習																
数学科教育法演習																
代数学Ⅲ																
幾何学Ⅱ																
幾何学Ⅱ演習																
数学科教育法特別演習Ⅱ																
数学特別演習																
コンピュータ数学概論																

大学 No.35

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

実践力と人間性に優れ、生涯に渡って「学び続けることのできる教師」を養成している。また、教科等の指導では、教育内容に関する確かな知識を修得し、それに基づいて、的確な教科等の指導を行うことができる者を要請している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

両者に特別な関係はない

大学 No.35　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
自然科学の方法																
物理学																
化学																
化学実験																
生物学																
地学																
理科教育法II																
生物学実験																
地学実験																
物性物理学																
量子物理学																
環境物質化学																
機能物質化学																
地史学																
地質学野外研究																
理科教育法I																
理科教育法III																
物理学実験																
植物学																
動物学																
岩石学																
理科教育法IV																

大学 No.37

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.37　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本語学概説Ⅰ																
日本文学概説Ⅰ																
漢文学概説																
日本語学概説Ⅱ																
日本文学概説Ⅱ																
国語科教育概説																
中等教科教育法Ⅰ（国語）																
日本文学史Ⅰ																
中等教科教育法Ⅱ（国語）																
日本語表現法																
日本文学史Ⅱ																
漢字学																
中等教科教育法Ⅲ（国語）																
国語科教育特講																
国語科教育研究Ⅰ																
国語科教育研究Ⅱ																
国語科教育演習Ⅰ																
書道																
日本語学研究Ⅰ																
日本語学演習Ⅰ																
日本文学特講																
近代文学演習Ⅰ																
古典文学演習Ⅰ																
近代文学研究																
漢文学特講																
漢文学演習Ⅰ																
中等教科教育法Ⅳ（国語）																
国語科教育演習Ⅱ																
日本語学研究Ⅱ																
日本語学演習Ⅱ																
日本語学特講Ⅰ																
日本語学特講Ⅱ																
近代文学演習Ⅱ																
古典文学演習Ⅱ																
古典文学研究																
漢文学演習Ⅱ																
漢文学研究																

大学 No.37

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

社会科を構成する諸学問を通じて人間と社会について学び、その成果を次世代に伝えることができる教員。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.37　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概説Ⅰ																
地理学概説																
日本史概説Ⅱ																
東洋史概説																
地誌学概論																
政治学概論																
社会学概論																
倫理学概論																
文化遺産特論Ⅰ																
中等教科教育法（社会）Ⅰ																
西洋史概説																
法学概論																
経済学概論																
哲学概論																
日本近世・近代史																
自然地理学																
政治学																
社会学																
中等教科教育法（社会）Ⅱ																
日本古代・中世史																
東洋史																
地域生態論																
経済学																
哲学																
中等教科教育法（社会）Ⅲ																
西洋史																
古文書学演習																
日本史研究Ⅰ																
西洋史研究Ⅰ																
産業地域論																
地理学実験																
地理学研究Ⅰ																
法学・政治学研究Ⅰ																
経済学・社会学概説Ⅰ																
倫理学																
哲学・倫理学研究Ⅰ																
中等教科教育法（社会）Ⅳ																
日本史研究Ⅱ																
西洋史研究Ⅱ																
地域文化論																
地理学研究Ⅱ																
法学																
法学・政治学研究Ⅱ																
経済学・社会学概説Ⅱ																
哲学・倫理学研究Ⅱ																
日本史研究Ⅲ																
西洋史研究Ⅲ																
地理学野外実験																
地理学研究Ⅲ																
法学・政治学研究Ⅲ																
経済学・社会学概説Ⅲ																
哲学・倫理学研究Ⅲ																
日本史研究Ⅳ																
西洋史研究Ⅳ																
地理学研究Ⅳ																
法学・政治学研究Ⅳ																
経済学・社会学概説Ⅳ																
哲学・倫理学研究Ⅳ																

大学 No.37　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概説Ⅰ																
地理学概論																
日本史概説Ⅱ																
東洋史概説																
地誌学概論																
文化遺産特論Ⅰ																
中等教科教育法（社会）Ⅰ																
西洋史概説																
日本近世・近代史																
自然地理学																
日本古代・中世史																
東洋史																
地域生態論																
中等教科教育法（社会）Ⅲ																
西洋史																
古文書学演習																
日本史研究Ⅰ																
西洋史研究Ⅰ																
産業地域論																
地理学実験																
地理学研究Ⅰ																
日本史研究Ⅱ																
西洋史研究Ⅱ																
地域文化論																
地理学研究Ⅱ																
日本史研究Ⅲ																
西洋史研究Ⅲ																
地理学野外実験																
地理学研究Ⅲ																
日本史研究Ⅳ																
西洋史研究Ⅳ																
地理学研究Ⅳ																

大学 No.37　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
政治学概論																
社会学概論																
倫理学概論																
法学概論																
経済学概論																
哲学概論																
政治学																
社会学																
中等教科教育法（社会）Ⅱ																
経済学																
哲学																
法学・政治学研究Ⅰ																
経済学・社会学概説Ⅰ																
倫理学																
哲学・倫理学研究Ⅰ																
中等教科教育法（社会）Ⅳ																
法学																
法学・政治学研究Ⅱ																
経済学・社会学概説Ⅱ																
哲学・倫理学研究Ⅱ																
法学・政治学研究Ⅲ																
経済学・社会学概説Ⅲ																
哲学・倫理学研究Ⅲ																
法学・政治学研究Ⅳ																
経済学・社会学概説Ⅳ																
哲学・倫理学研究Ⅳ																

大学 No.37

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

深い数学の背景を踏まえた算数・数学に関する指導力に優れる人間性豊かな教員を養成することを目指します。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専門の科目を開設はしていないが、各科目の中に入れている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

中等教育「数学」の内容に配慮して、各学問領域の初歩な一般的な内容が包括的に理解できるよう構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.37　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
大学での学び入門																
基礎数学（解析）																
基礎数学（代数）																
専修基礎ゼミ																
線形代数																
微分積分																
数理プログラミング																
中等教科教育法Ⅰ																
代数基礎																
解析基礎																
情報数理基礎																
数理統計Ⅰ																
図形と位相																
中等教科教育法Ⅱ																
幾何基礎																
確率論Ⅰ																
代数構造Ⅰ																
複素解析																
情報数理学																
中等教科教育法Ⅲ																
中等教科教育法Ⅳ																
算数・数学教育実践演習Ⅰ																
代数系入門																
代数構造Ⅱ																
フーリエ解析																
幾何構造																
数理解析																
数理解析Ⅱ																
数学教育基礎																
数学教育論																
算数・数学教育実践演習Ⅱ																
コンピュータと数学																
トポロジー																
確率論Ⅱ																
グラフ理論																
算数・数学教育実践演習Ⅲ																
数学教育特論																
算数・数学教育実践演習Ⅳ																

大学 No.37

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

身の回りの自然や自然現象を深く学び、自然科学と教育についての幅広い教養と高い専門性を身につけた教員の養成。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

・専用の科目を開設している

「一般的包括的内容」の科目は、教科科目として、初等・中等教育において最低限必要な科目として必修としている。（20 単位）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・(a)基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・(b)学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

概論等では上記(a)(b)を中心に構成されている。これ以上に物化生地それぞれに専門科目が展開されている。

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

・概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

・概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている（一部）

大学 No.37　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物理学概論I																
化学概論I																
生物学概論I																
地学概論I																
生物学実験（コンピュータ活用含む）																
野外実習ー自然の中の理科教育																
地学野外実習																
物理学概論II																
化学概論II																
生物学概論II																
地学概論II																
化学実験（コンピュータ活用含む）																
理科教育演習I																
教育方法・メディア																
地学実験（コンピュータ活用含む）																
力学の世界																
無機化学																
分析化学																
植物生態学																
臨海実習																
理科教育演習II																
中等教科教育法I（理科）																
中等教科教育法II（理科）																
物理学実験（コンピュータ活用含む）																
熱とエネルギー																
電磁気学																
量子力学の世界																
有機化学																
無機分析化学実験																
遺伝学																
植物系統学																
動物生態学																
天文学																
地質学																
気象学																
水圏科学																
理科教育概論																
自然科学史																
中等教科教育法III（理科）																
中等教科教育法IV（理科）																
統計物理学																
固体物理学																
応用物理実験																
物理化学																
物理化学実験																
細胞生物学																
自然環境学																
動物系統学																
生物科学特別講義																
生態学実験																
系統学実験																
天文学実験																
地球物理学実験																
地質学実験																
実践物理実験																
物質反応科学																
機器分析学																
有機化学実験																
生理学実験																
遺伝学実験																
量子化学																
生物有機化学																
カリキュラム論																

大学 No. 39

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

＜各コース共通＞

1．子ども・青少年たちの成長・発達を支援する専門職として、生涯にわたって学び続ける基盤を備えている。

2．学校教育において反省的・創造的な教育活動を行うための基盤となる学術的教養と教育実践に関わる専門的知識を身につけている。

3．教育にかかわる専門職として、基本的人権を擁護する立場から教育実践ができる。

＜中等教育コース＞

1. 青年期の発達段階を理解し、個性やニーズに応じた支援を行うことができる。

2．子どもたち自身の興味・関心を追求させ、自律的に学び、社会に働きかける教育活動が展開できる。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.39　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語学概説A																
国語学概説C																
国文学概説A																
国文学史A																
漢文学概説																
書道（中のみ）																
国語表現法A																
文献資料学演習																
国語学概説B																
国文学概説B																
国文学概説C																
国文学史B																
国文学史C																
中国の古典（高のみ）																
国語表現法B																
文献資料学基礎																
中等国語科教育法A																
国語学特講																
国語力向上の学習指導																
日本近代文学																
日本古典文学A																
日本古典文学C																
日本語の語彙・文法																
文化財調査・保存実習																
中等国語科教育法B																
中等国語科教育法C																
国語科教育学演習																
日本語の音韻・文字																
現代文化論																
日本古典文学B																
日本古典文学EX																
日本語の文体・文章																
日本語文化演習A																
日本語文化演習C																
日本語文化演習E																
日本語文化演習G																
日本語文化演習I																
日本語文化演習K																
日本語文化演習B																
日本語文化演習D																
日本語文化演習F																
日本語文化演習H																
日本語文化演習J																
日本語文化演習L																

大学 No. 39

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

＜各コース共通＞

1．子ども・青少年たちの成長・発達を支援する専門職として、生涯にわたって学び続ける基盤を備えている。

2．学校教育において反省的・創造的な教育活動を行うための基盤となる学術的教養と教育実践に関わる専門的知識を身につけている。

3．教育にかかわる専門職として、基本的人権を擁護する立場から教育実践ができる。

＜中等教育コース＞

1. 青年期の発達段階を理解し、個性やニーズに応じた支援を行うことができる。

2．子どもたち自身の興味・関心を追求させ、自律的に学び、社会に働きかける教育活動が展開できる。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No. 39　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
世界史A																
地理学概説																
地誌学																
社会地理学																
日本史概説																
世界史B																
日本家族史																
近現代の世界史																
近現代のアジア史																
自然理地学																
現代社会論A																
現代社会論B																
中等社会科教育法																
社会・地理歴史科教育法																
国際政治学																
社会学																
哲学概説																
社会調査論																
哲学思想																
国際政治論																
民族と国家																
社会・公民科教育法																
政治学																
宗教学概説																
倫理学概説																

大学 No. 39　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
世界史A																
地理学概説																
地誌学																
社会地理学																
日本史概説																
世界史B																
日本家族史																
近現代の世界史																
近現代のアジア史																
自然理地学																
社会・地理歴史科教育法																
地理歴史科教育法																

大学 No.39　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
現代社会論A																
現代社会論B																
心理学入門ゼミナール																
国際政治学																
社会学																
哲学概説																
社会調査論																
哲学思想																
国際政治論																
民族と国家																
社会・公民科教育法																
公民科教育法																
政治学																
宗教学概説																
倫理学概説																

大学 No. 39

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

＜各コース共通＞

1．子ども・青少年たちの成長・発達を支援する専門職として、生涯にわたって学び続ける基盤を備えている。

2．学校教育において反省的・創造的な教育活動を行うための基盤となる学術的教養と教育実践に関わる専門的知識を身につけている。

3．教育にかかわる専門職として、基本的人権を擁護する立場から教育実践ができる。

＜中等教育コース＞

1. 青年期の発達段階を理解し、個性やニーズに応じた支援を行うことができる。

2．子どもたち自身の興味・関心を追求させ、自律的に学び、社会に働きかける教育活動が展開できる。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.39　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
線形代数Ⅰ																
微分積分Ⅰ																
線形代数Ⅱ																
微分積分Ⅱ																
幾何学入門																
中等数学科教育法A																
初等整数論																
群論の基礎																
中等数学科教育法B																
多次元の数学																
中等数学科教育法C																
確率・統計																
コンピュータ																
空間の幾何構造A																
複素数の関数																
応用解析学																
数理世界の代数構造																
距離と位相																
空間の幾何構造B																
数学基礎演習																
解析学の世界																
整数の世界																
応用代数学																
中等数学科教育法D																

大学 No. 39

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

＜各コース共通＞

1．子ども・青少年たちの成長・発達を支援する専門職として、生涯にわたって学び続ける基盤を備えている。

2．学校教育において反省的・創造的な教育活動を行うための基盤となる学術的教養と教育実践に関わる専門的知識を身につけている。

3．教育にかかわる専門職として、基本的人権を擁護する立場から教育実践ができる。

＜中等教育コース＞

1. 青年期の発達段階を理解し、個性やニーズに応じた支援を行うことができる。

2．子どもたち自身の興味・関心を追求させ、自律的に学び、社会に働きかける教育活動が展開できる。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No. 39　中学校・高等学校（理科）

授業科目名（黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物理学概論A	■	■														
化学概論A	■	■														
生物学概論A	■	■														
地学概論B	■	■														
物理学実験A	■	■			■	■										
物理学実験	■	■			■	■										
化学実験A	■	■			■	■										
生物学実験A	■	■			■	■										
生物学実験	■	■			■	■										
環境物質の化学	■	■			■	■										
植物分子育種学	■	■			■	■			■	■						
力学			■	■												
物理学概論B			■	■												
化学概論B			■	■												
生物学概論B			■	■												
地学概論A			■	■												
物理学実験B			■	■			■	■								
化学実験B			■	■			■	■								
生物学実験B			■	■			■	■								
地学実験			■	■			■	■								
保全生物学			■	■			■	■			■	■				
計測と制御			■	■			■	■			■	■				
中等理科教育法A					■	■										
電磁気学					■	■										
和歌山の自然					■	■	■	■								
地球環境と気象					■	■	■	■	■	■	■	■				
地球環境科学実習A					■	■	■	■	■	■	■	■				
量子論入門					■	■			■	■						
無機環境物質（無機化学）					■	■			■	■						
環境生理学					■	■			■	■						
臨海実習					■	■			■	■			■	■		
応用電子回路					■	■			■	■			■	■		
中等理科教育法B							■	■								
科学教育内容学							■	■								
環境物質の基礎Ⅱ							■	■			■	■				
環境物質の変化（物理化学Ⅰ）							■	■			■	■				
熱とエネルギー（物理化学Ⅱ）							■	■			■	■				
動物生態学							■	■			■	■				

授業科目名（黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
気象学							■	■			■	■				
地殻変動と地震							■	■			■	■				
防災教育論							■	■			■	■			■	■
中等理科教育法C									■	■						
理科実験実習（物理A）									■	■						
バイオリテラシーⅠ									■	■						
化学物質の合成と分解Ⅰ（有機合成化学Ⅰ）									■	■			■	■		
環境分析化学実験Ⅰ（分析化学Ⅰ）									■	■			■	■		
無機物理化学演習A									■	■	■	■				
無機物理化学演習B									■	■	■	■				
科学外書講読演習									■	■	■	■				
有機化学演習									■	■	■	■				
理科実験実習（地学）									■	■	■	■				
無機合成実験									■	■	■	■	■	■	■	■
有機化学実験									■	■	■	■	■	■	■	■
理科実験演習（化学）									■	■	■	■	■	■	■	■
天文学演習									■	■	■	■	■	■	■	■
気象学演習									■	■	■	■	■	■	■	■
古環境学演習									■	■	■	■	■	■	■	■
理科教育ゼミナール（地学）									■	■	■	■	■	■	■	■
理科教育ゼミナール（物理A）									■	■	■	■	■	■	■	■
理科教育ゼミナール（物理B）									■	■	■	■	■	■	■	■
理科教育ゼミナール（物理C）									■	■	■	■	■	■	■	■
理科教育ゼミナール（化学A）									■	■	■	■	■	■	■	■
理科教育ゼミナール（化学B）									■	■	■	■	■	■	■	■
理科教育ゼミナール（化学C）									■	■	■	■	■	■	■	■
理科教育ゼミナール（生物A）									■	■	■	■	■	■	■	■
理科教育ゼミナール（生物B）									■	■	■	■	■	■	■	■
理科教育ゼミナール（生物C）									■	■	■	■	■	■	■	■
科学教育ゼミナール（応用科学）									■	■	■	■	■	■	■	■
科学教育指導論											■	■				
理科実験実習（物理B）											■	■				
バイオリテラシーⅡ											■	■				
有機環境物質（有機化学Ⅰ）											■	■			■	■
有機物質機能論（有機化学Ⅱ）											■	■			■	■
化学物質の合成と分解Ⅱ（有機合成化学Ⅱ）											■	■			■	■
環境分析化学実験Ⅱ（分析化学Ⅱ）											■	■			■	■
中等理科教育法D																

大学 No.42

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

教育実践力、対人関係力、自己深化力を備えた人材の育成を目標とし、中でも特に次の 3 点に力点を置き育成しています。

①教科基礎知識・技能の育成

②授業実践研究の深化

③探究力の育成

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No42　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本文学史A:日本古典文学史																
漢文学基礎講義																
書写演習Ⅰ（中のみ）																
日本語学内容構成基礎研究																
日本語学内容構成基礎研究A:古典文学																
日本語学内容構成基礎研究B：近代文学																
漢文学内容構成基礎研究																
書写内容構成基礎研究																
中等国語科教育法概説																
国語科コミュニケーション教育																
国語科授業設計																
国語科教育実践																
日本語学A: 日本語概説																
日本文学史B:日本近代文学史																
日本文学演習AⅠ：古典文学購読																
日本文学演習BⅠ：近・現代詩研究																
漢文学演習																
日本文学特殊講義C																
漢文学講義																
書写演習Ⅱ																
書道実習A																
書道実習B																
書道実習C																
書道史																
国語科教材開発																
日本語学BⅠ：日本語史																
日本文学演習AⅡ：古典文学研究																
日本文学演習BⅡ：近・現代小説研究																
語彙・文法教材研究																
日本文学教材研究A:古典文学																
日本文学教材研究B:現代文学																
漢字・漢文教材研究																
書写教材研究																
書道演習A																
書道演習B																
書道演習C																
書論																
国語科教育臨床																
日本語学BⅡ：日本語史																
日本文学特殊講義A：古典文学																
日本文学特殊講義B：近代文学																

大学 No.42

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

「歴史」、「地理」、「公民」の教科内容についての深い専門知識と教科に関する高い指導力を備えた教員。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.42　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中等社会科教育法概説																
日本史概説Ⅰ																
東洋史概説Ⅰ																
西洋史概説Ⅰ																
自然地理学概説Ⅰ																
人文地理学概説Ⅰ																
政治学概論Ⅰ																
社会学基礎																
哲学・思想史概論																
公民科指導法																
公民科指導法概説																
日本史概説Ⅱ																
東洋史概説Ⅱ																
西洋史概説Ⅱ																
自然地理学概説Ⅱ																
人文地理学概説Ⅱ																
地誌学概説																
法律学概論																
政治学概論Ⅱ																
社会学概論																
共生社会福祉学概論Ⅰ																
倫理学概論																
比較宗教学概論																
日本史講読																
アジア共生論																
アジア共生史講読																
共生社会史																
西洋史講読																
自然環境論																
地誌学実習Ⅰ																
文化人類学概論																
哲学・思想史特講																
地理歴史科指導法																
地理歴史科指導法概説																
経済学概論																
共生社会福祉学概論Ⅱ																
日本史課題研究																
地域共生学																
風土環境論																
フィールドワーク論																
高齢者福祉論																
共生思想論講読																
倫理学特講																
生命倫理概論																
中等社会科教育臨床																
地誌学実習Ⅱ																
現代社会論																
地誌学実習Ⅲ																

大学 No.42　高等学校（地理歴史）

授業科目名（黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概説Ⅰ																
東洋史概説Ⅰ																
西洋史概説Ⅰ																
自然地理学概説Ⅰ																
人文地理学概説Ⅰ																
日本史概説Ⅱ																
東洋史概説Ⅱ																
西洋史概説Ⅱ																
自然地理学概説Ⅱ																
人文地理学概説Ⅱ																
地誌学概説																
日本史講読																
アジア共生論																
アジア共生史講読																
共生社会史																
西洋史講読																
自然環境論																
地誌学実習Ⅰ																
地理歴史科指導法																
地理歴史科指導法概説																
日本史課題研究																
地域共生学																
風土環境論																
フィールドワーク論																
高齢者福祉論																
地誌学実習Ⅱ																
地誌学実習Ⅲ																

大学 No.42　高等学校（公民）

授業科目名（黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
政治学概論Ⅰ																
社会学基礎																
哲学・思想史概論																
公民科指導法																
公民科指導法概説																
法律学概論																
政治学概論Ⅱ																
社会学概論																
共生社会福祉学概論Ⅰ																
倫理学概論																
比較宗教学概論																
文化人類学概論																
哲学・思想史特講																
経済学概論																
共生社会福祉学概論Ⅱ																
高齢者福祉論																
共生思想論講読																
倫理学特講																
生命倫理概論																
現代社会論																

大学 No.42

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

計算や数式・図形を理解・操作する能力及び論理的思考力を身につけ、数学について深く理解し、問題や課題を見つけて教材化する力を持ち、的確な授業構成・展開及び指導と説明等ができる教員。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No42　中学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
数理基礎教育内容構成特論A																
数理基礎教育内容構成特論B																
線型代数学Ⅰ																
微分積分学Ⅰ																
応用数学概論Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
数学科教育法概説Ⅰ																
線型代数学Ⅱ																
微分積分学Ⅱ																
幾何学Ⅱ																
確率論・統計学Ⅰ																
応用数学概論Ⅱ																
コンピュータⅠ																
数学科教育法概説Ⅱ																
微分積分学Ⅲ																
代数学Ⅰ																
幾何学続論A																
確率論・統計学Ⅱ																
コンピュータⅡ																
情報数学Ⅰ																
数学科教育法特講																
数理基礎教育内容構成研究																
代数学Ⅱ																
幾何学続論B																
関数論																
情報数学Ⅱ																
数学科教育法臨床																
数理基礎教育内容構成実践																

大学 No42　高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
数理基礎教育内容構成特論A																
数理基礎教育内容構成特論B																
線型代数学Ⅰ																
微分積分学Ⅰ																
応用数学概論Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
数学科教育法概説Ⅰ																
線型代数学Ⅱ																
微分積分学Ⅱ																
幾何学Ⅱ																
確率論・統計学Ⅰ																
応用数学概論Ⅱ																
コンピュータⅠ																
数学科教育法概説Ⅱ																
微分積分学Ⅲ																
代数学Ⅰ																
幾何学続論A																
確率論・統計学Ⅱ																
コンピュータⅡ																
情報数学Ⅰ																
数学科教育法特講																
数理基礎教育内容構成研究																
代数学Ⅱ																
幾何学続論B																
関数論																
情報数学Ⅱ																
数学科教育法臨床																
数理基礎教育内容構成実践																

大学 No.42

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

理科教師として必要な自然科学に関する基礎的知識を習得し、生徒の知的好奇心を刺激するとともに、自然を探究する楽しさを実感させるような指導法を有する教員。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・１年時後期に中学校の教科書を学生に購入させている
・教科書の使用は各教科担当の教員の裁量である

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

両者に特別な関係はない

大学 No42　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物理学Ⅰ																
物理学基礎実験Ⅰ																
地学Ⅰ																
理科教育法概説																
フィールド科学実習																
物理学Ⅱ																
化学Ⅰ																
化学基礎実験Ⅰ																
生物学Ⅰ																
生物学基礎実験Ⅰ																
地学Ⅱ																
地学基礎実験Ⅰ																
物理学基礎実験Ⅱ																
理科教育法臨床研究																
理科教育法特講																
理科内容構成研究Ⅰ（物質環境科学）																
自然科学史特講																
化学Ⅱ																
生物学Ⅱ																
物理学演習																
化学基礎実験Ⅱ																
生物学基礎実験Ⅱ																
地学基礎実験Ⅱ																
理科教育観察・実験法																
理科内容構成研究Ⅱ（生命地球科学）																
理科内容構成研究Ⅲ（総合）																
化学演習																
生物学演習																
地学演習																
理科教育演習																
理科教育研究法演習																
理科教育論文講読演習																

大学 No.43

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

資質=言語や文学に強い関心を持ち、国語教育に情熱を持って取り組むことができる。

能力=とくに決めていません。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No43　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語学概論A																
漢文学概論（1）																
書写書道概論																
書写書道演習																
国語学概論B																
漢文学概論（2）																
中等国語科内容論（国語学）Ⅰ																
中等国語科内容論（国文学）（1）																
国文学概論（1）																
中等国語科内容論（漢文学）（1）																
中等国語科内容論（漢文学）（2）																
中等国語科内容論（国語学）Ⅱ																
中等国語科内容論（国文学）（2）																
国文学概論（2）																
中学校国語科指導法AⅠ																
国語学（文章表現）Ⅰ																
国語学（古典文法）Ⅰ																
国文学（古代文学）（1）																
国文学（現代文学）（1）																
国文学（児童文学）（1）																
漢文学（経子）Ⅰ																
中学校国語科指導法BⅠ																
中学校国語科指導法BⅡ																
国文学（中世文学）（1）																
国文学（中世文学）（2）																
国文学（近世文学）Ⅰ																
国文学（近世文学）Ⅱ																
国文学（近世文学）（1）																
国文学（近世文学）（2）																
中学校国語科指導法AⅡ																
国語学（文章表現）Ⅱ																
国語学（古典文法）Ⅱ																
国文学（古代文学）（2）																
国文学（現代文学）（2）																
国文学（児童文学）（2）																
漢文学（経子）Ⅱ																
国語学（音声言語）Ⅰ																
国語学（古代語）A																
国語学（現代語）A																
漢文学（史伝・詩文）Ⅰ																
国語学（音声言語）Ⅱ																
国語学（古代語）B																
国語学（現代語）B																
漢文学（史伝・詩文）Ⅱ																
中等国語科実地研究（1）																
国語学（地域言語）Ⅰ																
中学校国語科指導開発A（1）																
中学校国語科指導開発A（2）																
国文学（古典・発展）Ⅰ																
国文学（古典・発展）Ⅱ																
中等国語科実地研究（2）																
国語学（地域言語）Ⅱ																
中学校国語科指導開発B（1）																
中学校国語科指導開発B（2）																
中等国語科内容開発（国語学）A																
中等国語科内容開発（国語学）B																
中等国語科内容開発（国文学）（1）																
中等国語科内容開発（国文学）（2）																

大学 No.43

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

こどもの学習状況を的確に把握する力とともに、中学校社会科、地理歴史科、公民科の内容等を理解した上で授業を構成し実践するための基礎的な力を身につけている。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.43　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
世界史概論(1)																
人文地理学概論(1)																
政治学概論（国際政治を含む）(1)																
経済学概論（国際経済を含む）(1)																
哲学特講1																
世界史概論(2)																
人文地理学概論(2)																
政治学概論（国際政治を含む）(2)																
経済学概論（国際経済を含む）(2)																
哲学特講2																
日本史概論(1)																
自然地理学概論(1)																
法学概論（国際法を含む）(1)																
社会学概論(1)																
倫理学概論(1)																
日本史概論(2)																
自然地理学概論(2)																
法学概論（国際法を含む）(2)																
社会学概論(2)																
倫理学概論(2)																
中等社会科指導法A1																
中等社会科内容論・日本史1																
地誌B1																
地理学野外実習1																
中等社会科指導法A2																
中等社会科内容論・日本史2																
地誌B2																
地理学野外実習2																
中等社会科指導法B1																
社会科教育演習B1																
中等社会科内容論・世界史1																
地誌A1																
自然地理学調査法																
中等社会科内容論・法学1																
中等社会科内容論・政治学1																
中等社会科内容論・経済学1																
中等社会科指導法B2																
社会科教育演習B2																
中等社会科内容論・世界史2																
地誌A2																
自然地理学調査法																
中等社会科内容論・法学2																
中等社会科内容論・政治学2																
中等社会科内容論・経済学2																
中等社会科指導法開発1																
日本史演習C1																
世界史演習C1																
人文地理学演習C1																
自然地理学演習C1																
法学演習C1																
政治学演習C1																
経済学演習C1																
中等社会科指導法開発2																
日本史演習C2																
世界史演習C2																
人文地理学演習C2																
自然地理学演習C2																
法学演習C2																
政治学演習C2																
経済学演習C2																
日本史演習D																
世界史演習D																
人文地理学演習D																
自然地理学演習D																
法学演習D																
政治学演習D																
経済学演習D																

大学 No.43　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
世界史概論(1)	■															
人文地理学概論(1)	■															
世界史概論(2)		■														
人文地理学概論(2)		■														
日本史概論(1)			■													
自然地理学概論(1)			■													
日本史概論(2)				■												
自然地理学概論(2)				■												
中等社会科内容論・日本史1					■											
地誌B1					■											
地理学野外実習1					■											
中等社会科内容論・日本史2						■										
地理学野外実習2						■										
地誌B2						■										
社会科教育特講・地理歴史科指導法1							■									
地理歴史科授業研究1							■									
中等社会科内容論・世界史1							■									
地誌A1							■									
自然地理学調査法							■									
社会科教育特講・地理歴史科指導法2								■								
地理歴史科授業研究2								■								
中等社会科内容論・世界史2								■								
地誌A2								■								
自然地理学調査法								■								
日本史演習C1									■							
世界史演習C1									■							
人文地理学演習C1									■							
自然地理学演習C1									■							
日本史演習C2										■						
世界史演習C2										■						
人文地理学演習C2										■						
自然地理学演習C2										■						
日本史演習D											■	■				
世界史演習D											■	■				
人文地理学演習D											■	■				
自然地理学演習D											■	■				

大学 No.43　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
政治学概論（国際政治を含む）(1)																
経済学概論（国際経済を含む）(1)																
哲学特講1																
政治学概論（国際政治を含む）(2)																
経済学概論（国際経済を含む）(2)																
哲学特講2																
法学概論（国際法を含む）(1)																
社会学概論(1)																
倫理学概論(1)																
法学概論（国際法を含む）(2)																
社会学概論(2)																
倫理学概論(2)																
中等社会科内容論・法学1																
中等社会科内容論・政治学1																
中等社会科内容論・経済学1																
社会科教育特講・公民科指導法1																
中等社会科内容論・法学2																
中等社会科内容論・政治学2																
中等社会科内容論・経済学2																
社会科教育特講・公民科指導法2																
法学演習C1																
政治学演習C1																
経済学演習C1																
公民科授業研究1																
法学演習C2																
政治学演習C2																
経済学演習C2																
公民科授業研究2																
法学演習D																
政治学演習D																
経済学演習D																

大学 No.43

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

数学教育学や専門数学に関する知識と技能を幅広く習得し、反省的・創造的に教育活動に取り組むための基盤となる学習指導力、生徒指導力、コーディネート力、マネジメント力をバランスよく身につけている教員の養成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

“概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている”の面がやや強いが、“概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている”の面も持ち合わせている。

大学 No43　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
線形代数学Ⅰ（1）	■															
解析学Ⅰ（1）	■															
線形代数学Ⅰ（2）		■														
解析学Ⅰ（2）		■														
線形代数学Ⅱ（1）			■													
解析学Ⅱ（1）			■													
線形代数学Ⅱ（2）				■												
解析学Ⅱ（2）				■												
中等数学科指導法A(1)					■											
代数学Ⅰ（1）					■											
幾何学Ⅰ（1）					■											
解析学Ⅲ（1）					■											
確率論（1）					■											
統計学（1）					■											
数理情報処理（1）					■											
中等数学科指導法A(2)						■										
代数学Ⅰ（2）						■										
幾何学Ⅰ（2）						■										
解析学Ⅲ（2）						■										
確率論（2）						■										
統計学（2）						■										
数理情報処理（2）						■										
中等数学科指導法B(1)							■									
代数学Ⅱ（1）							■									
幾何学Ⅱ（1）							■									
解析学Ⅳ（1）							■									
中等数学科指導法B(2)								■								
代数学Ⅱ（2）								■								
幾何学Ⅱ（2）								■								
解析学Ⅳ（2）								■								
中等数学科指導法開発A（1）									■							
代数学Ⅲ（1）									■							
集合と位相（1）									■							
幾何学続論A（1）									■							
幾何学続論B（1）									■							
解析学続論A（1）									■							
解析学続論B（1）									■							
解析学続論D（1）									■							
中等数学科指導法開発A（2）										■						
代数学Ⅲ（2）										■						
集合と位相（2）										■						
幾何学続論A（2）										■						
幾何学続論B（2）										■						
解析学続論A（2）										■						
解析学続論B（2）										■						
解析学続論D（2）										■						
中等数学科指導法開発B（1）												■				
中等数学科指導法開発B（2）												■				
幾何学続論C（1）												■				
幾何学続論C（2）												■				
解析学続論C（1）												■				
解析学続論C（2）												■				
中等数学科内容開発（代数）（1）												■				
中等数学科内容開発（代数）（2）												■				
中等数学科内容開発（幾何）（1）												■				
中等数学科内容開発（幾何）（2）												■				
中等数学科内容開発（解析）（1）												■				
中等数学科内容開発（解析）（2）												■				

大学 No.43

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

化学に関する理論と実践を教授できる、広く教育現場で活躍できる創造性豊かな理科教員の育成を目指す。その際に、「教育者であると同時に科学者でもある」という視点を持つ理科教員を養成することで、理科教育を通して、種々の物事の深い背景にも目を向けられる子どもたちの教育ができる教員になることも意識している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・「中等理科内容論（物理学/化学/生物学/地学）」など一部の授業では“学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている(b)”の要素も併せ持つ

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

・概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

・双方の側の科目が車の両輪であるため、『片側を学んだことで、もう片側の学び方が深まる』というスパイラル（フィードバック）を繰り返すことに意味がある

大学 No43　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
化学概論A	■															
生物学実験A	■															
化学概論B		■														
生物学実験B		■														
物理学概論A			■													
中等理科内容論（化学）A			■													
生物学概論A			■													
地学概論(1)			■													
化学実験A			■	■												
化学実験B			■	■												
物理学概論B				■												
中等理科内容論（化学）B				■												
生物学概論B				■												
地学概論(2)				■												
中等理科内容論（物理学）A					■											
中等理科内容論（生物学）A					■											
中等理科内容論（地学）（1）					■											
地学実験(1)					■											
電磁気学(1)					■											
力学・熱力学(1)					■											
生物化学(1)					■											
植物学(1)					■											
大気環境物理学(1)					■											
応用生物学A					■	■	■	■								
応用生物学B					■	■	■	■								
地学巡検					■	■	■	■								
中等理科内容論（物理学）B						■										
中等理科内容論（生物学）B						■										
中等理科内容論（地学）（2）						■										
地学実験(2)						■										
電磁気学(2)						■										
力学・熱力学(2)						■										
生物化学(2)						■										
植物学(2)						■										
大気環境物理学(2)						■										
中等理科指導法Ⅰ(1)							■									
現代物理学(1)							■									
無機化学(1)							■									

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
有機化学(1)							■									
動物学(1)							■									
固体地球科学(1)							■									
気象学(1)							■									
物理学実験A							■	■								
物理学実験B							■	■								
中等理科指導法Ⅰ(2)								■								
現代物理学(2)								■								
無機化学(2)								■								
有機化学(2)								■								
動物学(2)								■								
固体地球科学(2)								■								
気象学(2)								■								
中等理科指導法Ⅱ(1)									■							
中等理科内容開発（物理学）A									■	■						
中等理科内容開発（化学）A									■	■						
中等理科内容開発（生物学）A									■	■						
中等理科内容開発（地学）A									■	■						
中等理科指導法ⅢA									■	■	■	■				
中等理科指導法ⅢB									■	■	■	■				
中等理科指導法開発A(1)									■	■	■	■				
中等理科指導法開発A(2)									■	■	■	■				
中等理科指導法開発B(1)									■	■	■	■				
中等理科指導法開発B(2)									■	■	■	■				
物理学研究									■	■	■	■				
無機化学実験									■	■	■	■				
有機化学実験									■	■	■	■				
機器分析化学(1)									■	■	■	■				
機器分析化学(2)									■	■	■	■				
植物学実験									■	■	■	■				
動物学実験									■	■	■	■				
大気水圏科学研究									■	■	■	■				
中等理科指導法Ⅱ(2)										■						
中等理科内容開発（物理学）B											■	■				
中等理科内容開発（化学）B											■	■				
中等理科内容開発（生物学）B											■	■				
中等理科内容開発（地学）B											■	■				
地球科学野外演習																

大学 No.44

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

広島大学教育学部国語文化教育学講座は，

①〝ことば〟とその文化への深い理解

②人間と社会および両者の関係を〝ことば〟にそくして考えていく力

③人間と社会および両者の関係に働きかけてあらたな地平を切り開いていく力

④中等教育ならびに中等「国語」教育実践がかかえるアクチュアルな課題に対応し，〝ことば〟をめぐる広くかつ深い知見を以て諸問題を考察，探求，解決していく力の育成によって，中等教育及び生涯学習社会に貢献できる専門性と豊かな人間性を有する指導的人材を養成することをめざしています。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No44　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語教育学概論Ⅰ																
国語文化概論B（国語文化と文学）																
国語文化概論D（国語文化と書写書道）																
国語文化概論A（国語文化とことば）																
国語文化の歴史B(国文学の歴史）																
古代中世文学演習Ⅰ																
近世文学概説																
中国古典散文演習																
国語教育学概論Ⅱ																
国語文化概論C(国語文化と漢文）																
国語文化の歴史A(国語の歴史）																
国語科学習開発論																
国語科教材研究演習																
現代国語文化演習A(国語学分野）																
現代国語文化演習B（国文学分野）																
書写書道演習																
古代中世文学概説																
近世文学演習Ⅰ																
中国古典韻文演習																
国語科教育方法論																
国語科教育評価論																
現代国語文化研究B(国文学分野）																
国語文化の歴史D（書写書道の歴史）																
国語文化の歴史C（漢文学の歴史）																
古代国語文化演習A（国語学分野）																
現代国語文化研究A(国語学分野）																
古代国語文化演習B(国文学分野）																
古代中世文学研究法																
近世文学研究法																
国語教育史																
古代国語文化研究A(国語学分野）																
古代国語文化研究B(国文学分野）																
漢字漢語文化研究																

大学 No.44

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

(1)「社会認識教育学」の基本的な認識枠組を修得し、教科教育の目的・内容・方法を研究できる知識・理解、技能・態度を身につけている。

(2)「社会認識内容学」に関連する人文・社会科学の諸分野の基本的な認識枠組を修得し、研究できる知識・理解、技能・態度を身につけている。

(3)上の２つを総合して、優れた社会系教科教育を教育、実践できる能力を身につけている。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.44　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
教育行政学																
経済学概説																
日本東洋教育史																
地理学概説Ⅱ																
日本史概説																
法律学概説																
西洋教育史																
教育哲学																
自然地理学実習																
人文地理学実習																
教育社会学																
社会科教育論																
哲学概論Ⅰ																
考古学概説																
社寺建築学研究																
中国政治史研究A																
中国経済史研究A																
アジア海域システム研究A（東洋史）																
東アジア地域システム研究A																
地中海地域システム研究																
地中海社会史研究																
異文化交流史研究（西洋史）																
ヨーロッパ社会経済史文書解析学A																
自然地理学研究																
ヨーロッパ環境地誌																
国際法1																
現代司法論																
法学研究																
経済学各論Ⅰ																
国際経済学1																
教育社会学演習																
教育哲学演習																
社会系（地理歴史）カリキュラムデザイン論																
社会系（公民）カリキュラムデザイン論																
社会系（地理歴史）教科指導法																
社会系（公民）教科指導法																
地理学概説Ⅰ																
世界史概説																
日本中世研究A																
西洋教育史演習																
人文地理学研究																
国際法2																
国際政治学																
現代倫理研究																
応用倫理学研究																
地理歴史科教育論																
公民科教育論																
日本東洋教育史演習																
ヨーロッパ社会経済史研究																
ヨーロッパ海域システム研究																
ヨーロッパ政治文化論史料演習A																
日本環境地誌																
法比較研究																
国際経済学2																
社会調査論																
仏教学概説																
倫理学概説																
政治学原論																
哲学概論Ⅱ																
地域研究法Ⅰ																
地域研究法Ⅱ																
世界地誌																
地理情報システム学実習																
教育行政学演習																
経済学各論Ⅱ																
社会学1																
現代倫理学演習																
地理情報システム学																
経済学各論Ⅲ																
ヨーロッパ社会経済史文書解析学B																
国際政治経済学																
ヨーロッパ政治文化論史料演習B																
対人心理学																
社会学2																

大学 No.44　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本東洋教育史																
地理学概説Ⅱ																
日本史概説																
西洋教育史																
自然地理学実習																
人文地理学実習																
考古学概説																
社寺建築学研究																
中国政治史研究A																
中国経済史研究A																
アジア海域システム研究A（東洋史）																
東アジア地域システム研究A																
地中海地域システム研究																
地中海社会史研究																
異文化交流史研究（西洋史）																
ヨーロッパ社会経済史文書解析学A																
自然地理学研究																
ヨーロッパ環境地誌																
社会系（地理歴史）カリキュラムデザイン論																
社会系（地理歴史）教科指導法																
地理学概説Ⅰ																
世界史概説																
日本中世研究A																
西洋教育史演習																
人文地理学研究																
地理歴史科教育論																
日本東洋教育史演習																
ヨーロッパ社会経済史研究																
ヨーロッパ海域システム研究																
ヨーロッパ政治文化論史料演習A																
日本環境地誌																
地域研究法Ⅰ																
地域研究法Ⅱ																
世界地誌																
地理情報システム学実習																
地理情報システム学																
ヨーロッパ社会経済史文書解析学B																
ヨーロッパ政治文化論史料演習B																

大学 No.44　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
教育行政学																
経済学概説																
法律学概説																
教育哲学																
教育社会学																
哲学概論Ⅰ																
国際法1																
現代司法論																
法学研究																
経済学各論Ⅰ																
国際経済学1																
教育社会学演習																
教育哲学演習																
社会系（公民）カリキュラムデザイン論																
社会系（公民）教科指導法																
国際法2																
国際政治学																
現代倫理研究																
応用倫理学研究																
公民科教育論																
法比較研究																
国際経済学2																
社会調査論																
仏教学概説																
倫理学概説																
政治学原論																
哲学概論Ⅱ																
教育行政学演習																
経済学各論Ⅱ																
社会学1																
現代倫理学演習																
経済学各論Ⅲ																
国際政治経済学																
対人心理学																
社会学2																

大学 No. 44

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

・数学教育に関する高い学識と数学的な能力を兼ね備えた教員

・数学教育に関わる基本的な理論に精通し，優れた学習指導を実践する能力や教材分析および開発の能力のある教員

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

“基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている(a)”と“学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている(b)”の混合

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

両者に特別な関係はない

大学 No44　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
数学教育方法論																
数学教育学概論Ⅰ																
幾何学概論																
コンピュータ基礎演習Ⅰ																
代数学概論																
解析学概論																
数理統計学概論																
コンピュータ基礎演習Ⅱ																
数学教育学概論Ⅱ																
代数学概論演習																
幾何学概論演習																
解析学概論演習																
数学教育カリキュラム論																
幾何学研究法Ⅰ																
代数学研究法Ⅰ																
解析学研究法Ⅰ																
確率・統計A																
確率・統計B																
代数内容研究																
幾何学研究法Ⅱ																
幾何内容研究																
解析学研究法Ⅱ																
解析内容研究																
数学教育史																
数学教育実践研究																
代数教育内容研究																
幾何教育内容研究																
解析教育内容研究																
代数学A																
幾何学A																
解析学A																
解析学C																
数学教育学研究																
代数学B																
幾何学B																

大学 No.44

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

自然現象や科学に関する認識能力を高める理論やプロセス（理科教育学）と自然科学についての専門的内容（理科教材内容論）を広く修得し、科学教育に関する専門的な素養と柔軟な科学的思考力をもって問題解決に取り組むことができる理科教員。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

“学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている(b)”の内容を考慮して基盤となる学問領域の内容を選択し，それらを再構成している

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No44　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
自然システムの理解（物理）	■	■														
自然システムの理解（化学）	■	■														
自然システムの理解（生物）	■	■														
自然システムの理解（地学）	■	■														
生物とその多様性のリテラシーI			■													
宇宙と地球のリテラシーI			■													
力とエネルギーのリテラシーI				■												
物質と反応のリテラシーI				■												
自然システム（理科）教育法I					■											
理科カリキュラム論					■											
生物とその多様性のリテラシーII					■											
宇宙と地球のリテラシーIi					■											
自然システム理解実験（生物）					■	■										
自然システム理解実験（地学）					■	■										
力とエネルギーのリテラシーII						■										
物質と反応のリテラシーII						■										
自然システム（理科）教育法II							■									
理科授業プランニング論							■									
生物教材内容論I							■									
地学教材内容論I							■									
自然システム理解実験（物理）							■	■								
自然システム理解実験（化学）							■	■								
比較科学教育論								■								
物理教材内容論I								■								
化学教材内容論I								■								
科学教育史									■							
生物教材内容論II									■							
地学教材内容論II									■							
生物教材内容演習									■							
地学教材内容演習									■							
自然システム（理科）教育実践論										■						
理科教材プランニング論										■						
物理教材内容論II										■						
化学教材内容論II										■						
物理教材内容演習										■						
化学教材内容演習										■						
化学教材内容論III											■					
地学教材内容論III											■					
物理教材内容実験											■	■				
化学教材内容実験											■	■				
生物教材内容実験											■	■				
地学教材内容実験											■	■				
理科教育評価論												■				
物理教材内容論III												■				
生物教材内容論III												■				
科学教育デザイン論													■	■		
科学教育教材メディアデザイン論													■	■		
サイエンスミュージアム教育論													■	■		
自然環境・防災学習論													■	■		
機器分析化学													■	■		
分子遺伝学A													■	■		
細胞生物学A													■	■		
熱水地球化学													■	■		
日本環境地誌															■	■

大学 No.45

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

「ことば」について、さまざまな面から考えをめぐらせることを通して、国語教育に携わることのできる教員を養成します。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No45　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
書道Ⅰ（中のみ）																
国文学基礎講読																
漢文学講読																
書道Ⅱ（中のみ）																
国語科教育法Ⅰ																
国語学概論																
国文学概論																
漢文学概論																
国語特演Ⅰ																
国語科教育法Ⅱ																
国語史																
国語特演Ⅱ																
国文学講読Ⅰ																
国文学演習Ⅱ																
国語科教育法Ⅲ																
漢文学演習																
国文学講読Ⅱ																
国語科教育法Ⅳ																
国語学演習																
国文学演習Ⅰ																
国語学特講																
国語特論Ⅰ																
国語特論Ⅱ																

大学 No.45

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

私たちの生きる社会、その見方や考え方に関わる問題について、さまざまな観点から総合的に考えることのできる教員を養成します。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

・専用の科目を開設している

・専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.45　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
哲学倫理学Ⅰ																
哲学倫理学Ⅱ																
社会科基礎演習																
中等公民教育論Ⅰ																
日本史Ⅰ																
外国史Ⅰ																
地理学概論																
人文地理学																
日本国憲法																
社会学																
経済概論																
社会科内容開発研究Ⅰ																
中等地理歴史教育論Ⅰ																
自然地理学																
現代法（国際法を含む）																
経済政策（国際経済を含む）																
日本史Ⅱ																
外国史Ⅱ																
地域人文地理学																
社会調査論																
社会科内容開発研究Ⅱ																
社会科授業実践基礎演習																
日本史演習																
外国史演習																
地理学演習																
地理学実習																
法律学演習																
哲学倫理学演習																
中等地理歴史教育論Ⅱ																
中等公民教育論Ⅱ																
社会科特別研究ＡⅠ																
地理学巡検																
社会科特別研究ＢⅠ																
社会科特別研究ＡⅡ																
社会科特別研究ＢⅡ																

大学 No.45　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史Ⅰ																
外国史Ⅰ																
地理学概論																
人文地理学																
中等地理歴史教育論Ⅰ																
自然地理学																
日本史Ⅱ																
外国史Ⅱ																
地域人文地理学																
日本史演習																
外国史演習																
地理学演習																
地理学実習																
中等地理歴史教育論Ⅱ																
社会科特別研究ＡⅠ																
地理学巡検																
社会科特別研究ＡⅡ																

大学 No.45　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
哲学倫理学Ⅰ																
哲学倫理学Ⅱ																
社会科基礎演習																
中等公民教育論Ⅰ																
日本国憲法																
社会学																
経済概論																
現代法（国際法を含む）																
経済政策（国際経済を含む）																
社会調査論																
法律学演習																
哲学倫理学演習																
中等公民教育論Ⅱ																
社会科特別研究ＢⅠ																
社会科特別研究ＢⅡ																

大学 No.45

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

社会における数学の価値を深く理解し、幅広い数学的問題解決力を身につけ、子どもたちの豊かな数学的思考を引き出すことができる教員を養成します。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No45　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
計算機概論																
集合論Ⅰ																
数学講究Ⅰ																
集合論Ⅱ																
数学科教育法Ⅰ																
代数学Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
解析学Ⅰ																
数学科教育法Ⅱ																
代数学Ⅱ																
幾何学Ⅱ																
解析学Ⅱ																
数学講究Ⅱ																
数学科教育法Ⅲ																
確率・統計学																
代数学Ⅲ																
幾何学Ⅲ																
計算機数学Ⅱ																
数学科教育法Ⅳ																
解析学Ⅲ																
数学講究Ⅲ																
計算機数学Ⅰ																
計算機数学Ⅲ																

大学 No.45

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

物理・化学・生物・地学・理科教育に関する講義、実験、野外演習などを通し、理科好きな子どもを育てることができる実践的指導力に優れた教員を養成します。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No45　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的･包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物理学概論Ⅰ																
計算機概論																
化学概論																
生物学概論																
理科指導法総論																
物理学概論Ⅱ																
生物学実験																
地学概論Ⅰ																
地学実験																
物理化学																
無機化学																
理科実験指導法Ⅰ																
物理学実験																
化学実験																
生化学																
理科実験指導法Ⅱ																
理科授業実践基礎演習																
物質化学																
発生生物学																
環境生物学																
理科指導実践研究																
理科内容開発研究																
物理学演習																
化学演習																
生物学演習																
地学概論Ⅱ																
地学演習																
物理学概論Ⅲ																
有機化学																
自然科学特論																

大学 No.46

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

本学の国語科教育コースでは、「国語科授業実践」に強い中学校・高等学校教員の育成を目指している。そのため、国語科教育学と国語科内容学の専門科目を開講するほかに、国語学、国文学、漢文学を総合した授業科目（語学・文学総合演習Ⅰ～Ⅲ）を設け、さらには書写の授業も２年間の必修としている。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No46　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語学概論																
書写Ⅰ																
国文学概論																
漢文学概論																
国語学Ⅰ																
国語学Ⅱ																
国文学Ⅰ																
国文学Ⅱ																
書写Ⅱ																
中等国語科教育論																
国語学特論Ⅰ																
国文学特論Ⅰ																
中等国語科教材論																
語学・文学総合演習Ⅰ（国語学）																
国文学特論Ⅱ																
書写Ⅲ																
語学・文学総合演習Ⅲ（漢文学）																
中等国語科授業論																
語学・文学総合演習Ⅱ（国文学）																
国語科教育特論																
国語学特論Ⅱ																
国文学演習																

大学 No.46

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

本学では、カリキュラム上、すべての学部生が小学校と中（・高等）学校の免許を同時に取得する。相互の教育内容を理解することで、専門性はもとより、複数の校種に対応できる多様で実践的な指導力を持つ教員の養成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.46　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史学概論																
外国史概論																
考古学																
地理学概論																
地誌学概論																
地図学概論																
中等社会科教育論																
自然地理学特論																
日本史学特論Ⅰ（古代・中世）																
日本史学特論Ⅱ（近世・近代）																
社会学概論																
哲学・倫理学概論																
中等社会科授業論																
外国史特論																
人文地理学特論																
地誌学特論																
法律学概論（国際法を含む。）																
経済学概論																
史学演習																
地理学演習																
法律学特論																
経済学特論																
経済学演習																
地理学野外実習																
史料講読																
地理学実習																
法律学演習																
社会学特論																
情報経済論																
哲学・倫理学特論																
哲学・倫理学演習																
社会科・地理歴史科教材論																
社会科・公民科教材論																
社会学演習																

大学 No.46　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史学概論																
外国史概論																
考古学																
地図学概論																
地理学概論																
地理学概論																
自然地理学特論																
日本史学特論Ⅰ（古代・中世）																
日本史学特論Ⅱ（近世・近代）																
外国史特論																
人文地理学特論																
地誌学特論																
史学演習																
地理学演習																
地理学野外実習																
史料講読																
地理学実習																
社会科・地理歴史科教材論																
地理歴史科教育論																

大学 No.46　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会学概論																
哲学・倫理学概論																
法律学概論（国際法を含む。）																
経済学概論																
法律学特論																
経済学特論																
経済学演習																
社会科・公民科教材論																
法律学演習																
社会学特論																
情報経済論																
哲学・倫理学特論																
哲学・倫理学演習																
公民科教育論																
社会学演習																

大学 No.46

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

数学科教育コースでは、数学の本質を理解し、深い指導ができる教員の養成を目指している。そのために、数学教育の指導法、教育内容に関わる講義、及び数学の理解を深めるための現代数学の諸分野に対する講義を行っている。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No46　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
基礎数学Ⅰ																
基礎数学Ⅱ																
幾何学Ⅰ																
計算数学																
代数学Ⅰ																
解析学Ⅰ																
代数学Ⅱ																
幾何学Ⅱ																
解析学Ⅱ																
確率・統計学																
数学科教育論																
数学科教材論																
数学科授業論																
数学科教育学特論																
代数学Ⅲ																
幾何学Ⅲ																
幾何学特論																
計算数学特論																
代数学特論																
解析学Ⅲ																
解析学特論																
確率・統計学特論																

大学 No.46

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

理科教育コースでは、各分野において，教育現場で必要となる知識を身につけ、日々更新される最新の科学知識を吸収・活用できる能力を持った教員の養成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No46　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物理学の基礎																
化学の基礎																
生物学の基礎																
地学の基礎																
中等理科（物理学分野）																
中等理科（化学分野）																
中等理科（生物学分野）																
中等理科（地学分野）																
地学実験Ⅰ（野外実習）																
地学実験Ⅱ																
化学実験Ⅰ																
化学実験Ⅱ																
物理学Ⅰ																
生物学Ⅰ																
中等理科教育論Ⅰ																
物理学実験Ⅰ																
物理学実験Ⅱ																
化学Ⅰ																
地学Ⅰ																
中等理科教育論Ⅱ																
生物学実験Ⅰ																
生物学実験Ⅱ																
地学Ⅱ																
地学巡検																
中等理科教育論Ⅲ																
物理学Ⅱ																
化学Ⅱ																
生物学Ⅱ																
化学Ⅲ																
中等理科教育論Ⅳ																
物理学Ⅲ																
生物学Ⅲ																
地学Ⅲ																

大学 No.47

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.47　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史学Ⅰ																
日本史学Ⅱ																
東洋史学																
西洋史学																
人文地理学																
自然地理学																
法律学																
倫理学Ⅰ																
西洋文化史																
地理学実習Ⅰ																
社会科教育論																
地理学実習Ⅱ																
社会科教育法																
地誌学																
政治学																
社会学Ⅰ																
哲学Ⅰ																
哲学Ⅱ																
日本社会史論																
古文書学概論																
生死文化論																
国際社会論																
家族福祉論																
メディア論																
経済文化論																
生命と倫理																
経済学																
社会科授業研究Ⅰ																
社会学Ⅱ																
社会科授業研究Ⅱ																

大学 No.47　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史学Ⅰ																
日本史学Ⅱ																
東洋史学																
西洋史学																
人文地理学																
自然地理学																
西洋文化史																
地理学実習Ⅰ																
地理学実習Ⅱ																
地誌学																
日本社会史論																
古文書学概論																
生死文化論																
国際社会論																
地理歴史教育法																
地理歴史授業研究																

大学 No.47　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
法律学																
倫理学Ⅰ																
政治学																
家族福祉論																
メディア論																
経済文化論																
哲学Ⅰ																
哲学Ⅱ																
生命と倫理																
公民教育法																
経済学																
公民授業研究																

大学 No.47

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No47　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
数学入門A	■	■														
数学入門B			■	■												
幾何学緒論					■	■										
解析学緒論					■	■										
代数学Ⅰ					■	■										
幾何学Ⅰ					■	■										
解析学Ⅰ					■	■										
代数学緒論							■	■								
代数学Ⅱ							■	■								
幾何学Ⅱ							■	■								
解析学Ⅱ							■	■								
計算機基礎							■	■								
数学科教育論									■	■						
数学科授業研究Ⅰ									■	■						
数学科授業研究Ⅱ									■	■						
代数学Ⅲ									■	■						
幾何学Ⅲ									■	■						
解析学Ⅲ									■	■						
確率・統計Ⅰ									■	■						
数学科教育法											■	■				
代数学Ⅳ											■	■				
幾何学Ⅳ											■	■				
解析学Ⅳ											■	■				
確率・統計Ⅱ											■	■				
数学実践研究											■	■				
数学実践演習Ⅰ													■	■		
数学実践演習Ⅱ															■	■

大学 No.47

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No47　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的･包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
理科教育特論Ⅱ																
物理学概論Ⅰ																
化学概論Ⅰ																
基礎化学実験																
生物学概論Ⅰ																
基礎生物学実験																
地学概論Ⅰ																
物理学概論Ⅱ																
基礎物理学実験																
化学概論Ⅱ																
生物学概論Ⅱ																
地学概論Ⅱ																
基礎地学実験																
理科教育法																
理科教育論																
理科授業研究Ⅰ																
理科教育学Ⅰ																
物理学Ⅰ																
化学Ⅰ																
生物学Ⅰ																
地学Ⅰ																
物理学実験																
生物学実験																
理科授業研究Ⅱ																
理科教育学Ⅱ																
自然科学論																
理科教材研究																
物理学Ⅱ																
化学Ⅱ																
生物学Ⅱ																
地学Ⅱ																
化学実験																
地学実験																
理科教育学演習																
化学演習																
生物学演習																
物理学演習																
地学演習																
理科教育特論Ⅰ																

大学 No.48

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

国語教育学、日本古典文学、日本近代文学、日本語学、中国古典文学、書写、書道教育学といった専門を学ぶことを通して、国語科教育の実践に関わる広い教養と指導力を兼ね備えた教員の養成。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No48　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本語概説																
日本芸能史																
言語文化特論																
国語科教育法2																
国語科教育法1																
日本近代文学概説																
中国古典概説																
日本古典文学概説																
中国古典作品選読																
国語科教育法3																
国語教育研究1																
日本語研究																
日本古典文学研究																
日本近代文学研究																
中国古典研究																
国語科教育法4																
書写書道概説																
日本語学特講																
日本古典文学演習																
日本近代文学演習																
国語教育研究2																
国語教育演習1																
日本語学演習																
中国古典演習																
書写演習1																
書道史研究																
国語教育演習2																
書写演習2																
書論、鑑賞																

大学 No.48

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

基礎から専門まで習得できている社会科、地理歴史科、公民科教員の育成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

・基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

・学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.48　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史1																
外国史１																
倫理学1																
地理学野外実験																
地理学概説（地誌含む）																
政治学1（国際政治含む）																
自然地理1																
社会科(地理歴史科)教育法1																
外国史４																
法学1（国際法含む）																
経済学1（国際経済含む）																
政治学2																
社会科(公民科)教育法1																
社会学1																
哲学1																
人文地理1																
社会科(地理歴史科教育法2																
日本史2																
人文地理2																
自然地理2																
経済学2																
哲学2																
社会科(公民科)教育法2																
日本史3																
外国史２																
日本地誌																
世界地誌																
法学2																
社会学2																
経済学3																
倫理学2																
外国史３																
法学3																
社会学3																

大学 No.48　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史1																
外国史1																
自然地理1																
社会科(地理歴史科)教育法1																
外国史4																
人文地理1																
社会科(地理歴史科教育法2																
日本史2																
人文地理2																
自然地理2																
日本地誌																
世界地誌																
日本史3																
外国史２																
外国史３																

大学 No.48　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
倫理学1																
政治学1（国際政治含む）																
法学1（国際法含む）																
経済学1（国際経済含む）																
政治学2																
社会科(公民科)教育法1																
社会学1																
哲学1																
経済学2																
哲学2																
社会科(公民科)教育法2																
法学2																
社会学2																
経済学3																
倫理学2																
法学3																
社会学3																

大学 No.48

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

教育と教職に関する確かな知識、数学についての十分な専門知識と教育活動に取り組むための技能、また教師としての使命感や責任感を身につけた教員の養成。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専門的内容の科目と明確に区分していないが、一般的包括的内容を含む科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領を考慮しながら、各学問領域の体系に基づいた構成になっている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No48　中学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
数学概論																
代数学概論																
幾何学概論																
解析学1																
数学科教育法1																
確率統計学概論																
確率統計学演習																
代数学1																
算数数学教育演習1																
数学科教育法2																
解析学概論																
データ分析																
幾何学1																
代数学2																
数学科教育法3																
代数学3																
解析学2																
数値計算																
算数数学教育論																
数学科教育法4																
代数学4																
幾何学2																
解析学3																
確率統計学1																
アルゴリズム																
算数数学教育演習2																
確率統計学2																
数学活用																
数学・情報研究																

大学 No48　高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
数学概論																
代数学概論																
幾何学概論																
解析学1																
数学科教育法1																
確率統計学概論																
確率統計学演習																
代数学1																
算数数学教育演習1																
数学科教育法2																
解析学概論																
データ分析																
幾何学1																
代数学2																
数学科教育法3																
代数学3																
解析学2																
数値計算																
算数数学教育論																
数学科教育法4																
代数学4																
幾何学2																
解析学3																
確率統計学1																
アルゴリズム																
算数数学教育演習2																
確率統計学2																
数学活用																
数学・情報研究																

大学 No.48

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

高い専門性と実践力を備え、観察・実験を行い生徒の科学的な思考力を育成できる教員の養成を目指している。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

“基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている(a)”と“学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている(b)”の両方の性質を持つ授業科目が混在する

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No48　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
理科観察実験演習1																
化学基礎																
地学基礎																
物理入門																
理科観察実験演習2																
理科教育実践研究1																
生物基礎																
理科実験1																
理科実験2																
物理数学																
理科教育法1																
理科観察実験研究1																
物理基礎																
理科実験3																
理科実験4																
生物																
地学																
教材生物実習																
理科教育法2																
理科教育法（実験実習）1																
理科教育演習1																
環境教育実践演習																
理科観察実験研究2																
物理																
化学																
物理学演習1																
熱統計物理学																
化学演習1																
地学演習1																
理科教育法（実験実習）2																
理科教育実践研究2																
理科教育演習2																
物性物理学																
化学実験																
生命科学																
地学実験																
地球環境学																
理科教育演習3																
量子物理学																
物理学演習2																
物理学実験																
化学演習2																
生物学実験																
生物学演習1																
地学演習2																
理科教育演習4																
分析化学																
生物学演習2																
理科教育演習5																
化学演習3																
生物学演習3																

大学 No.49

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No49　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的･包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
動物学概論Ⅰ																
動物学概論Ⅱ																
中等理科指導法Ⅰ																
化学Ⅰ																
化学実験Ⅰ																
生物学Ⅰ																
地学Ⅰ																
生物学Ⅲ																
生物学演習Ⅰ																
生物学実験Ⅱ																
生物学特講																
環境生理学演習Ⅰ																
中等理科指導法Ⅱ																
物理学Ⅰ																
物理学実験Ⅰ																
生物学実験Ⅰ																
地学実験Ⅰ																
物理学演習Ⅰ																
化学Ⅱ																
化学Ⅲ																
化学実験Ⅱ																
生物学Ⅱ																
生物学演習Ⅱ																
環境生理学演習Ⅱ																
中等理科指導法Ⅲ																
物理学Ⅱ																
物理学演習Ⅱ																
物理学実験Ⅱ																
化学演習Ⅰ																
分析化学Ⅱ																
地学Ⅲ																
中等理科指導法Ⅳ																
化学演習Ⅱ																
化学特講																
分析化学Ⅰ																
物理学Ⅲ																
物理学特講																
地学Ⅱ																
地学演習Ⅰ																
地学演習Ⅱ																
地学実験Ⅱ																
地学特講																

大学 No.51

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

適切な言語運用能力を有する教員の養成。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No51　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語学概論																
国文学論																
中国文学概説																
書道Ⅰ																
書道Ⅱ																
書写																
書道史																
書論・鑑賞																
中等国語科教育法Ⅱ																
国文学演習Ⅰ																
中国古典学演習Ⅰ																
国語学演習Ⅰ																
国語学演習Ⅱ																
国文学演習Ⅱ																
中国古典学演習Ⅱ																
書道Ⅲ																
書道Ⅳ																
中等国語科教育法Ⅰ																
国語学演習Ⅲ																
国文学演習Ⅲ																
中国古典学演習Ⅲ																
中等国語科教育法Ⅲ																
中等国語科教育法Ⅳ																
国語表現論																
国語学演習Ⅳ																
国文学演習Ⅳ																
中国古典学演習Ⅳ																

大学 No.51

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

地理・歴史・公民の各分野に対する専門的知識に基づいて中学校の社会科を教授しうる教員養成を行います。自らが住まう地域内外の実状、歴史、文化にしっかりと目配りをしながら、主体的に状況判断し意思表明できる公民的資質の涵養を重視しています。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.51　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
西洋史要説																
法学要説																
社会学要説																
経済学要説																
倫理学要説																
哲学要説																
日本史特別講義Ⅰ																
西洋史特別講義																
国際関係学要説																
社会学特別講義																
日本史要説																
東洋史要説																
日本史特別講義Ⅱ																
日本史特別講義Ⅲ																
日本史特別講義Ⅳ																
日本史特別講義Ⅴ																
比較オリエンタリズム研究																
法学特別講義																
経済学特別講義																
倫理学特別講義																
中等社会科教育法Ⅱ（社会・公民）																
人文地理学要説																
自然地理学要説																
金融論																
中等社会科教育法Ⅰ（社会・地歴）																
地誌学要説																
政治学要説																
中等社会科教育法Ⅲ（社会・地歴）																
日本史演習Ⅰ																
日本史演習Ⅲ																
西洋史演習Ⅰ																
西洋史演習Ⅲ																
地域調査実習																
地理学演習Ⅰ																
政治学特別講義																
法学演習Ⅰ																
法学演習Ⅲ																
政治学演習Ⅰ																
政治学演習Ⅲ																
倫理学演習Ⅰ																
倫理学演習Ⅲ																
中等社会科教育法Ⅳ（社会・公民）																
日本史演習Ⅱ																
日本史演習Ⅳ																
西洋史演習Ⅱ																
西洋史演習Ⅳ																
地理学演習Ⅱ																
法学演習Ⅱ																
法学演習Ⅳ																
政治学演習Ⅱ																
政治学演習Ⅳ																
倫理学演習Ⅱ																
倫理学演習Ⅳ																

大学 No.51　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
西洋史要説																
日本史特別講義Ⅰ																
西洋史特別講義																
日本史要説																
東洋史要説																
日本史特別講義Ⅱ																
日本史特別講義Ⅲ																
日本史特別講義Ⅳ																
日本史特別講義Ⅴ																
比較オリエンタリズム研究																
人文地理学要説																
自然地理学要説																
中等社会科教育法Ⅰ（社会・地歴）																
地誌学要説																
中等社会科教育法Ⅲ（社会・地歴）																
日本史演習Ⅰ																
日本史演習Ⅲ																
西洋史演習Ⅰ																
西洋史演習Ⅲ																
地域調査実習																
地理学演習Ⅰ																
日本史演習Ⅱ																
日本史演習Ⅳ																
西洋史演習Ⅱ																
西洋史演習Ⅳ																
地理学演習Ⅱ																

大学 No.51　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
法学要説																
社会学要説																
経済学要説																
倫理学要説																
哲学要説																
国際関係学要説																
社会学特別講義																
法学特別講義																
経済学特別講義																
倫理学特別講義																
中等社会科教育法Ⅱ（社会・公民）																
金融論																
政治学要説																
政治学特別講義																
法学演習Ⅰ																
法学演習Ⅲ																
政治学演習Ⅰ																
政治学演習Ⅲ																
倫理学演習Ⅰ																
倫理学演習Ⅲ																
中等社会科教育法Ⅳ（社会・公民）																
法学演習Ⅱ																
法学演習Ⅳ																
政治学演習Ⅱ																
政治学演習Ⅳ																
倫理学演習Ⅱ																
倫理学演習Ⅳ																

大学 No.51

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

中学校・高等学校数学科の教育内容や指導法について理解し、背景となる数学の学問領域の学習を生かした教材研究を行うことができ、基礎的な授業実践力を修得した教員の養成。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No51　中学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
代数学基礎Ⅰ																
幾何学基礎Ⅰ																
解析学基礎Ⅰ																
代数学基礎Ⅱ																
幾何学基礎Ⅱ																
解析学基礎Ⅱ																
統計学基礎																
確率論基礎																
コンピュータ																
解析学Ⅰ																
解析学Ⅱ																
数学科教育法Ⅰ																
代数学Ⅰ																
代数学Ⅱ																
幾何学Ⅰ																
幾何学Ⅱ																
数学科教育法Ⅱ																
数学科教育法Ⅳ																
数学科教育法Ⅲ																
代数学研究Ⅰ																
幾何学研究Ⅰ																
解析学研究Ⅰ																
代数学研究Ⅱ																
幾何学研究Ⅱ																
解析学研究Ⅱ																
代数学研究Ⅲ																
幾何学研究Ⅲ																
解析学研究Ⅲ																

大学 No51　高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
代数学基礎Ⅰ																
幾何学基礎Ⅰ																
解析学基礎Ⅰ																
代数学基礎Ⅱ																
幾何学基礎Ⅱ																
解析学基礎Ⅱ																
統計学基礎																
確率論基礎																
コンピュータ																
解析学Ⅰ																
解析学Ⅱ																
数学科教育法Ⅰ																
代数学Ⅰ																
代数学Ⅱ																
幾何学Ⅰ																
幾何学Ⅱ																
数学科教育法Ⅱ																
代数学研究Ⅰ																
幾何学研究Ⅰ																
解析学研究Ⅰ																
代数学研究Ⅱ																
幾何学研究Ⅱ																
解析学研究Ⅱ																
代数学研究Ⅲ																
幾何学研究Ⅲ																
解析学研究Ⅲ																

大学 No.51

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

佐賀大学では小中連携教育を行っているため、生徒の中学校理科に関する内容理解について、小学校理科の内容を踏まえてその深化を支援し、学びへの意欲を維持することができる教員を養成することを目的としています。具体的には、各分野の専門性の高い知識と技術を獲得し、生徒の自然科学への興味関心を高めるための実験や観察などを工夫できる能力を身に付けています。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

理科全体で統一はしておりません。

担当の教員より、“基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている(a)”または“学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている(b)”を採用していると思います。

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No51　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物理学概論A																
生物学概論A																
物理学概論B																
化学概論B																
生物学概論B																
地学概論A																
中等理科教育法Ⅰ																
物理学実験																
化学概論A																
生物学実験																
地学概論B																
フィールド生物演習A																
フィールド生物演習B																
地学フィールド実習A																
化学実験																
地学実験																
量子物理																
動物生理科学																
中等理科教育法Ⅱ																
理科教育学実験																
エネルギー科学																
物理化学																
植物分類系統学																
地球生命科学																
地学フィールド実習B																
中等理科教育法Ⅲ																
中等理科教育法Ⅳ																
理科教育学演習																
放射線科学																
無機化学																
有機化学																
岩石鉱物科学																

大学 No.52

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No52　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語学概論																
国文学概論																
書字論																
中等国語科教育Ⅰ																
近代文学概論																
漢文学概論																
国語学演習																
古典文学講読Ⅰ																
近代文学講読Ⅰ																
中等書写法																
中等国語科教育Ⅲ（書写）																
国文法																
古典文学演習																
近代文学講読Ⅱ																
中等国語科教育Ⅱ																
国語表現																
古典文学講読Ⅱ																
漢文学講読																
国語学講読																
漢文学演習																
中等国語科教育法研究																

大学 No.52

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.52　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
外国史Ⅰ																
中等社会科教育Ⅰ																
日本史Ⅰ																
地誌学Ⅰ																
法律学Ⅰ																
倫理学																
外国史Ⅱ																
中等社会科教育Ⅱ																
人文地理学																
社会学																
哲学																
日本史Ⅱ																
社会科指導法（地理・歴史分野）																
自然地理学																
経済学Ⅰ																
地理学研究																
社会科指導法（公民分野）																
政治学Ⅰ																
歴史学研究																
法律学Ⅱ																
経済学Ⅱ																
政治学Ⅱ																
経済学研究																
哲学・倫理学研究																
地誌学Ⅱ																

大学 No.52　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
外国史Ⅰ																
日本史Ⅰ																
地誌学Ⅰ																
外国史Ⅱ																
人文地理学																
日本史Ⅱ																
社会科指導法（地理・歴史分野）																
自然地理学																
地理学研究																
地理歴史科教育																
歴史学研究																
地誌学Ⅱ																

大学 No.52　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
法律学Ⅰ																
倫理学																
社会学																
哲学																
経済学Ⅰ																
社会科指導法（公民分野）																
政治学Ⅰ																
法律学Ⅱ																
経済学Ⅱ																
公民科教育																
政治学Ⅱ																
経済学研究																
哲学・倫理学研究																

大学 No.52

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No52　中学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
微分積分学Ⅰ																
線形代数学Ⅰ																
解析幾何学Ⅰ																
コンピュータとアルゴリズム																
微分積分学Ⅱ																
線形代数学Ⅱ																
代数学Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
微分積分学Ⅲ																
中等数学科教育Ⅰ																
数学教材研究a																
微分積分学演習																
解析幾何学Ⅱ																
代数学演習																
中等数学科教育Ⅱ																
数学教材研究b																
確率論																
幾何学Ⅱ																
代数学Ⅱ																
微分方程式論																
幾何学演習																
複素関数論																
統計学																

大学 No52　高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
微分積分学Ⅰ																
線形代数学Ⅰ																
解析幾何学Ⅰ																
コンピュータとアルゴリズム																
微分積分学Ⅱ																
線形代数学Ⅱ																
代数学Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
微分積分学Ⅲ																
中等数学科教育Ⅰ																
数学教材研究a																
微分積分学演習																
解析幾何学Ⅱ																
代数学演習																
中等数学科教育Ⅱ																
数学教材研究b																
確率論																
幾何学Ⅱ																
代数学Ⅱ																
微分方程式論																
幾何学演習																
複素関数論																
統計学																

大学 No.52

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No52　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物理学概論																
化学概論																
生物学概論																
地学概論																
中等理科教育Ⅰ																
生物学実験Ⅰ																
地学実験Ⅰ																
力学とエネルギー																
有機化学																
植物学																
地質学																
中等理科教育Ⅱ																
物理学実験Ⅰ																
化学実験Ⅰ																
電磁気学																
無機化学																
動物学																
天文学																
中等理科教育a																
物理学実験Ⅱ																
化学実験Ⅱ																
野外生物実習																
野外地質実習																
中等理科教育b																
生物学実験Ⅱ																
地学実験Ⅱ																

大学 No.53

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【各教育に関わる教科専門の指導力及び生活指導や教育方法等の教職専門の理論と技術を修得し、地域的及び国際的な視野を持ち、豊かな教養と高度の実践的指導力を備えた教員の養成を目標としています。】

国語学科は「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員の養成と地域社会における生涯学習等の指導者の養成のため、教員や地域社会の指導者として必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としています。このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけた者に、学士の学位を授与します。

・言語・文学・書道・国語教育のすべての面での学習を通して、幅広く豊かな教養と確かな専門性を身に付け、社会に貢献することができる。

・現代社会において必要とされる創造的知性と実践力を兼ね備え、グローバルな視野と国際的対話力をもって、社会に参画することができる。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No53　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
漢文学演習Ⅰ																
漢文学演習Ⅱ																
中等国語科教育Ⅰ																
国語教育特殊講義Ⅰ																
国語学概説Ⅰ																
国文学概説Ⅰ																
書写																
国語学演習Ⅱ																
国文学演習Ⅳ																
漢文学演習Ⅲ																
漢文学演習Ⅳ																
中等国語科教育Ⅲ																
国語教育特殊講義Ⅱ																
国語学概説Ⅱ																
国文学概説Ⅱ																
国語学演習Ⅰ																
国文学演習Ⅰ																
中等国語科教育Ⅱ																
国語教育演習Ⅰ																
漢文学概説Ⅰ																
国語学概説Ⅲ																
国語表現法Ⅰ																
国語学演習Ⅲ																
国文学講義Ⅲ																
国文学講義Ⅳ																
中等国語科教育Ⅳ																
国語教育演習Ⅱ																
国語表現法Ⅱ																
国文学講義Ⅰ																
国文学講義Ⅱ																
国文学演習Ⅱ																
国文学演習Ⅲ																
国文学演習Ⅴ																
漢文学概説Ⅱ																
漢文学講読Ⅰ																
国文学演習Ⅵ																
漢文学講読Ⅱ																

大学 No.53

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【各教育に関わる教科専門の指導力及び生活指導や教育方法等の教職専門の理論と技術を修得し、地域的及び国際的な視野を持ち、豊かな教養と高度の実践的指導力を備えた教員の養成を目標としています。】

社会科では「人文・社会科学系の諸学問を総合的に学ぶとともに、社会認識能力および教員としての基本的な能力と資質を身につけること」を目標とするとともに、幅広い分野にわたる各専門科目や演習・実習の特性を生かして論理的判断力（公民系諸科目）、実証的判断力（地歴系諸科目）、教育現場における分析・実践力（教科教育、実習）を養い、問題解決に向けて適切な行動がとれる人材の育成を目指しています。このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程を修得し、所定の単位を修得した者に、学士の学位を授与します。

1.幅広い分野にわたる各専門科目を生かして論理的判断力、実証的判断力を身に付けることができる。

2.教育現場における分析・実践力（教科教育、実習）を養い、問題解決に向けて適切な行動がとることができる。

3.協働しながら解決していくコミュニケ―ション能力を身に付けることができる。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.53　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校社会科教育Ⅰ																
法律学概説Ⅰ																
法律学概説Ⅱ																
政治学概説																
倫理学概説Ⅰ																
倫理学概説Ⅱ																
中学校社会科教育Ⅱ																
日本史概説Ⅰ																
日本史概説Ⅱ																
世界史概説I																
世界史概説Ⅱ																
地誌Ⅰ（地誌総論）																
地誌Ⅱ（地誌総論）																
哲学概説																
中学校社会科教育Ⅲ																
社会科教育演習Ⅰ																
社会科教育演習Ⅱ																
社会科教育演習Ⅲ																
社会科教育演習Ⅳ																
社会科教育演習Ⅴ																
社会科教育演習Ⅵ																
社会科教育演習Ⅶ																
社会科教育演習Ⅷ																
人文地理学概説Ⅰ																
人文地理学概説Ⅱ																
日本史演習I																
日本史演習Ⅲ																
世界史演習Ⅰ																
世界史演習III																
人文地理学演習Ⅰ																
人文地理学演習Ⅲ																
法律学演習Ⅰ																
法律学演習Ⅲ																
経済学演習Ⅰ																
経済学演習Ⅲ																
倫理学演習Ⅰ																
倫理学演習Ⅲ																
中学校社会科教育Ⅳ																
社会学概説																
経済学概説Ⅰ																
経済学概説Ⅱ																
日本史演習II																
日本史演習Ⅳ																
世界史演習Ⅱ																
世界史演習IV																
人文地理学演習Ⅱ																
人文地理学演習Ⅳ																
法律学演習Ⅱ																
法律学演習Ⅳ																
経済学演習Ⅱ																
経済学演習Ⅳ																
倫理学演習Ⅱ																
倫理学演習Ⅳ																
自然地理学概説																
宗教学概説																

大学 No.53　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史調査実習																
人文地理学特講Ⅰ																
人文地理学特講Ⅱ																
日本史概説Ⅰ																
日本史概説Ⅱ																
世界史概説I																
世界史概説Ⅱ																
地誌Ⅰ（地誌総論）																
地誌Ⅱ（地誌総論）																
地理歴史科教育Ⅰ																
社会科教育演習Ⅰ																
社会科教育演習Ⅱ																
社会科教育演習Ⅲ																
社会科教育演習Ⅳ																
社会科教育演習Ⅴ																
社会科教育演習Ⅵ																
社会科教育演習Ⅶ																
社会科教育演習Ⅷ																
人文地理学概説Ⅰ																
人文地理学概説Ⅱ																
日本史特講Ⅰ																
日本史特講Ⅱ																
日本史演習I																
日本史演習Ⅲ																
世界史演習Ⅰ																
世界史演習III																
人文地理学演習Ⅰ																
人文地理学演習Ⅲ																
地理学調査実習																
地理歴史科教育Ⅱ																
日本史演習II																
日本史演習Ⅳ																
世界史特講I																
世界史特講Ⅱ																
世界史演習Ⅱ																
世界史演習IV																
人文地理学演習Ⅱ																
人文地理学演習Ⅳ																
自然地理学概説																
自然地理学特講																

大学 No.53　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
法律学概説Ⅰ																
法律学概説Ⅱ																
政治学概説																
倫理学概説Ⅰ																
倫理学概説Ⅱ																
哲学概説																
哲学特講																
公民科教育Ⅰ																
社会科教育演習Ⅰ																
社会科教育演習Ⅱ																
社会科教育演習Ⅲ																
社会科教育演習Ⅳ																
社会科教育演習Ⅴ																
社会科教育演習Ⅵ																
社会科教育演習Ⅶ																
社会科教育演習Ⅷ																
法律学演習Ⅰ																
法律学演習Ⅲ																
経済学演習Ⅰ																
経済学演習Ⅲ																
倫理学演習Ⅰ																
倫理学演習Ⅲ																
公民科教育Ⅱ																
社会学概説																
経済学概説Ⅰ																
経済学概説Ⅱ																
法律学特講Ⅰ																
法律学特講Ⅱ																
法律学演習Ⅱ																
法律学演習Ⅳ																
経済学特講Ⅰ																
経済学特講Ⅱ																
経済学演習Ⅱ																
経済学演習Ⅳ																
地域調査実習																
倫理学特講Ⅰ																
倫理学特講Ⅱ																
倫理学演習Ⅱ																
倫理学演習Ⅳ																
宗教学概説																
政治学特講																
社会学特講																
宗教学特講																

大学 No.53

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【各教育に関わる教科専門の指導力及び生活指導や教育方法等の教職専門の理論と技術を修得し、地域的及び国際的な視野を持ち、豊かな教養と高度の実践的指導力を備えた教員の養成を目標としています。】

数学科は、学士課程教育において、数学および数学教育に関する体系的な教育指導を通して、高度の教育実践力を身に付けた数学教員を育成します。 学士課程の教育を受けることにより、代数学・幾何学・解析学・応用数学・数学教育の専門的知識を得ることができます。 優れた学習指導能力と教材研究開発能力を持つ教員を養成することが目的です。このことを踏まえ、 以下に示す学修成果を達成すべく編成された教育課程を学修し、 所定の単位を修得したものに、 学士の学位を授与します。

・数学教員として必要な基礎的・専門的な知識・技術を身につけることができる。

・数学および数学教育に関する課題探求能力を身につけることができる。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No53　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
数学科教育ＩＡ																
代数学序論A																
幾何学序論A																
解析学序論A																
代数学序論B																
幾何学序論B																
幾何学序論B																
数学科教育ＩＢ																
代数学概論A																
代数学概論B																
幾何学概論A																
幾何学概論B																
解析学概論A																
解析学概論B																
確率統計学A																
確率統計学B																
数学科教育ⅡＡ																
数学科教育ⅡＢ																
代数学講義A																
代数学講義B																
幾何学講義A																
幾何学講義B																
解析学講義A																
解析学講義B																
計算機概論A																
計算機概論B																
情報数学A																
情報数学B																
数学科教育特論A																
数学科教育特論B																
代数学特論																
代数学演習																
幾何学特論																
幾何学演習																
解析学特論																
解析学演習																
応用数学特論																
応用数学演習																

大学 No.53

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【各教育に関わる教科専門の指導力及び生活指導や教育方法等の教職専門の理論と技術を修得し、地域的及び国際的な視野を持ち、豊かな教養と高度の実践的指導力を備えた教員の養成を目標としています。】

理科教育は、学士教育課程において、自らの専門性を確立することによって、教科（理科）の教育目的を適切に児童・生徒に伝える能力を身につけることができます。具体的には、物理学、化学、生物学、地学、理科教育学の基礎的・専門的知識及び実験・観察・指導法の技能を習得して活用する能力、科学的・論理的な思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力を身につけることができます。このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、下記の資質・能力を身につけた者に、学士の学位を授与する。

・自然科学の専門的知識に基づく探究能力および実践的指導力を身に付け、教育現場に貢献できる。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

学習指導要領や中高教科書も参考にし、基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている。

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No53　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
理科教育実践入門																
中等理科教育法Ⅰ																
基礎物理学																
基礎地学																
基礎物理学演習																
化学Ⅰ																
化学Ⅱ																
中等理科教育法Ⅱ																
基礎化学																
基礎生物学																
物理学Ⅰ																
物理学Ⅱ																
基礎化学演習																
生物学Ⅰ																
基礎生物学演習																
地学Ⅰ																
地学Ⅱ																
基礎地学演習																
中等理科教育法Ⅲ																
物理学実験																
化学実験																
生物学実験																
地学実験																
生物学Ⅱ																
中等理科教育法Ⅳ																
理科教育基礎研究																
物理学基礎研究																
化学基礎研究																
生物学基礎研究																
地学基礎研究																

大学 No.54

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No54　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語科指導法（中等）																
国語学概論																
国語表現法																
国文学概論																
近代文学概論																
漢文学概論																
書道概論																
国文学史																
近代文学史																
国語科授業論																
国語科授業研究（中等）Ⅰ																
国語科授業研究（中等）Ⅱ																
古典文学研究																
古典文学演習																
近代文学研究																
近代文学演習																

大学 No.54

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.54　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科指導法(中等)																
日本史概説																
世界史概説																
地理学概論（地誌を含む。）																
政治学概論																
社会学概論																
経済学概論																
哲学概論																
日本史特講																
世界史特講																
地理学特講																
地理学実習Ⅰ																
地理学実習Ⅱ																
政治学特講																
社会学特講																
倫理学概論																
社会科授業論																
社会科授業研究（中等）Ⅰ																
社会科授業研究（中等）Ⅱ																

大学 No.54

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No54　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
数学科指導法（中等）																
線形代数Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
基礎解析																
情報科学A																
統計学Ⅰ																
幾何学Ⅱ																
解析学Ⅰ																
基礎解析演習																
数学科授業論																
数学科授業研究（中等）Ⅰ																
数学科授業研究（中等）Ⅱ																
代数学																
線形代数Ⅱ																
解析学Ⅱ																
線形代数演習																
統計学Ⅱ																

大学 No.54

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No54　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
理科指導法（中等）																
物理学概論																
物理学実験																
化学概論																
化学実験																
基礎生物学																
生物学実験																
地学概論																
地学実験																
無機化学																
有機化学																
天文学																
地質学野外実習																
理科授業論																
理科授業研究（中等）Ⅰ																
理科授業研究（中等）Ⅱ																
応用物理学																
物質化学実験																
応用生物学																
環境生物学																
気象学																

大学 No.55

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

基本的にディプロマポリシーに基づいた資質・能力を有する教員の養成を目指しています。具体的なことはシラバスに記載しております。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No55　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国文学講義Ⅰ																
国文学史Ⅰ																
国文学演習Ⅰ																
国語学演習Ⅰ																
国語学Ⅰ																
書写技法																
国語学Ⅱ																
国文学講義Ⅱ																
国文学演習Ⅱ																
国語科教育基礎研究																
漢文学Ⅰ																
国文学講義Ⅲ																
国文学史Ⅱ																
国語科教育実践研究																
国文学演習Ⅲ																
国文学史Ⅲ																
漢文学Ⅱ																
中等国語科教育研究Ⅰ																
中等国語科教育研究Ⅱ																
漢文学演習Ⅰ																
書式技法																
中等国語科教育研究Ⅲ																
漢文学演習Ⅱ																
国語学Ⅲ																
国語学演習Ⅱ																
中等国語科教育研究Ⅳ																

大学 No.55

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

基本的には、本学のディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づいた資質・能力を有する教員の養成を行っている。特に、教科の本質についての理解を基盤とした教材研究と子ども研究に基づく授業力の育成に力を入れている。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No.55　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概論																
外国史概論																
地理学概論（地誌を含む）																
政治学（国際政治含む）																
経済学原論（国際経済含む）																
哲学概論																
哲学特論																
法学																
社会科教育基礎研究																
自然地理学概論																
日本史講読																
地理学演習																
国際関係論																
現代経済学																
倫理学特論																
社会科教育実践研究																
日本史特論																
人文地理学概論																
社会学原論																
倫理学概論																
史料学																
外国史講読																
中等社会教育研究Ⅰ																
中等社会教育研究Ⅱ																
日本史演習Ⅰ																
外国史演習Ⅰ																
自然地理学演習Ⅰ																
人文地理学演習Ⅰ																
地誌学																
哲学・倫理学演習Ⅰ																
社会学・経済学演習Ⅰ																
中等社会教育研究Ⅲ																
日本史演習Ⅱ																
外国史演習Ⅱ																
自然地理学演習Ⅱ																
人文地理学演習Ⅱ																
社会学・経済学演習Ⅱ																
哲学・倫理学演習Ⅱ																

大学 No.55　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
日本史概論																
外国史概論																
地理学概論（地誌を含む）																
社会地理学																
自然地理学概論																
日本史講読																
外国史特論A																
地理学演習																
日本史特論																
人文地理学概論																
史料学																
外国史特論B																
外国史講読																
自然地理学特論																
地誌学演習																
外国史演習Ⅰ																
地理・歴史科教育法																
日本史演習Ⅰ																
自然地理学演習Ⅰ																
人文地理学演習Ⅰ																
地誌学																
中等社会教育研究Ⅲ																
日本史演習Ⅱ																
外国史演習Ⅱ																
自然地理学演習Ⅱ																
人文地理学演習Ⅱ																

大学 No.55　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
政治学（国際政治含む）																
経済学原論（国際経済含む）																
哲学概論																
法学																
民法																
哲学特論																
国際関係論																
現代経済学																
倫理学特論																
社会学原論																
倫理学概論																
労働法																
社会学特論																
経済学特論																
中等社会教育研究Ⅱ																
社会学・経済学演習Ⅰ																
哲学・倫理学演習Ⅰ																
社会学・経済学演習Ⅱ																
公民科教育法																
哲学・倫理学演習Ⅱ																

大学 No.55

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

本学部では、小中一貫教育の視点に立ち、小中 9 年間を視野に入れた教員の養成を行っており、その意味では小学校教育に精通した中学校数学の教員養成を行っている。全員が小学校の教員免許を取得することが義務づけられており、小学校教員が兼ね備えるべき資質・能力をも有する中学校教員を養成している。高等学校数学に関しては、教員免許状取得は可能であり実際多くの学生が取得しているが、計画養成ではないので、養成すべき資質・能力を明確にしてはいない。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No55　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
初等代数学Ⅰ																
集合論																
微分・積分学Ⅰ																
微分・積分学Ⅱ																
幾何学入門																
コンピュータ概論																
初等代数学Ⅱ																
数学教育基礎研究																
幾何学Ⅰ																
確率・統計学Ⅰ																
数学教育実践研究																
幾何学Ⅱ																
解析学概論Ⅰ																
線型代数学																
確率・統計学Ⅱ																
数学教育研究Ⅰ																
数学教育研究Ⅱ																
抽象代数学																
解析学概論Ⅱ																
数学教育演習																
数学教育研究Ⅲ																
幾何学Ⅲ																
数学特論Ⅰ																
数学特論Ⅱ																
数学特論Ⅲ																
数学特論Ⅳ																

大学 No.55

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

本学のディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づいた資質・能力を有する中学校理科教員の養成。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No55　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的･包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生物学概論Ⅰ																
生物学基礎実験Ⅰ																
地学概論Ⅰ																
地学基礎実験Ⅰ																
物理数学演習																
物理学概論Ⅰ																
物理学基礎実験Ⅰ																
化学概論Ⅰ																
化学基礎実験Ⅰ																
地学概論Ⅱ																
理科教育基礎研究																
物理学概論Ⅱ																
物理学基礎実験Ⅱ																
化学基礎実験Ⅱ																
理科教育実践研究																
化学概論Ⅱ																
生物学概論Ⅱ																
生物学基礎実験Ⅱ																
地学基礎実験Ⅱ																
中等理科教育研究Ⅰ																
中等理科教育研究Ⅱ																
理科教育演習																
物理学演習																
化学演習																
生物学演習																
地学演習																
中等理科教育研究Ⅲ																
理科授業研究																
物理学実験																
化学実験																
生物学実験																
地学実験																

大学 No.56

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.56　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科指導法Ⅱ																
社会・地理歴史科指導法Ⅱ																
社会・公民科指導法Ⅰ																
地理学概論																
社会学講義Ⅰ																
日本史学講義Ⅲ																
東洋史学講義Ⅲ																
ヨーロッパ史学講義Ⅲ																
教育社会史																
教育史概論演習																
地誌学講義Ⅰ																
自然地理学講義Ⅰ																
政治学Ⅰ																
民法Ⅰ																
政治学原論																
教育法学																
教育社会学概論Ⅰ																
教育社会学概論Ⅱ演習																
教育哲学概論Ⅰ																
比較宗教学講義Ⅰ																
比較宗教学講義Ⅱ																
倫理学基礎論講義Ⅰ																
社会科指導法Ⅰ																
社会・地理歴史科指導法Ⅰ																
社会・公民科指導法Ⅱ																
史学概論																
教育文化史																
教育文化史演習																
教育史概論																
アジアの教育																
政治経済学I																
政治経済学Ⅱ																
経営学Ⅰ																
経営学Ⅱ																
教育経済学																
教育哲学概論Ⅱ演習																
日本史学講義Ⅰ																
東洋史学講義Ⅰ																
東洋史学講義Ⅱ																
ヨーロッパ史学講義Ⅰ																
ヨーロッパ史学講義Ⅱ																
教育社会史演習																
地誌学講義Ⅱ																
アジアの教育演習																
自然地理学講義Ⅱ																
政治学Ⅱ																
教育法学演習																
教育政策学																
教育政策学演習																
教育社会学概論Ⅰ演習																
教育社会学概論Ⅱ																
教育哲学概論Ⅰ演習																
倫理学基礎論講義Ⅱ																
教育哲学概論Ⅱ																

大学 No.56　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会・地理歴史科指導法Ⅱ																
地理学概論																
日本史学講義Ⅲ																
教育社会史																
東洋史学講義Ⅲ																
ヨーロッパ史学講義Ⅲ																
教育史概論演習																
地誌学講義Ⅰ																
自然地理学講義Ⅰ																
社会・地理歴史科指導法Ⅰ																
史学概論																
教育文化史																
教育文化史演習																
教育史概論																
アジアの教育																
日本史学講義Ⅰ																
教育社会史演習																
東洋史学講義Ⅰ																
東洋史学講義Ⅱ																
ヨーロッパ史学講義Ⅰ																
ヨーロッパ史学講義Ⅱ																
アジアの教育演習																
地誌学講義Ⅱ																
自然地理学講義Ⅱ																

大学 No.56　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会・公民科指導法Ⅰ																
社会学講義Ⅰ																
政治学Ⅰ																
政治学原論																
教育法学																
教育社会学概論Ⅰ																
教育社会学概論Ⅱ演習																
教育哲学概論Ⅰ																
比較宗教学講義Ⅰ																
比較宗教学講義Ⅱ																
心理学講義I（知覚・認知心理学）																
心理学講義II（知覚・認知心理学）																
倫理学基礎論講義Ⅰ																
カウンセリング論講義I（臨床心理学概論）																
社会・公民科指導法Ⅱ																
政治経済学I																
政治経済学Ⅱ																
経営学Ⅰ																
経営学Ⅱ																
教育経済学																
教育哲学概論Ⅱ演習																
社会心理学講義I（社会・集団・家族心理学）																
心理療法論I演習（感情・人格心理学）																
国際政治学I																
国際政治学II																
政治学Ⅱ																
教育法学演習																
教育政策学																
教育政策学演習																
教育経済学演習																
教育社会学概論Ⅰ演習																
教育社会学概論Ⅱ																
教育哲学概論Ⅰ演習																
倫理学基礎論講義Ⅱ																
教育哲学概論Ⅱ																
カウンセリング論講義II（精神疾患とその治療）																
社会心理学I演習（社会・集団・家族心理学）																
心理療法論II演習																

大学 No.57

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

基礎基本に忠実であることを心得た教員。例えば、教材を読み込み、生徒の実態に応じた授業を構成できる等。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

“専用の科目を開設している(a)”もあるが、“専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている(b)”の姿勢で相互補完している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

科目により“基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている(a)”もあれば“学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている(b)”もある

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

・国語学は“概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている(b)”

・国文学と漢文学は“概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている(d)”

大学 No57　中学校・高等学校（国語）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語科教育特講																
国語科教育研究Ⅲ																
音声学概論																
国文学史Ⅰ																
書道演習Ⅰ																
国文法概説Ⅰ																
言語表現論																
上代文学講読																
近代文学講読Ⅲ																
漢文訓読法																
国語史概説																
国語史特講																
近代語演習																
児童文学講読																
国文学特講Ⅱ																
漢文学特講Ⅱ																
国語科教育Ⅱ																
国語科教育研究Ⅱ																
国語科教育研究Ⅳ																
漢文学概論																
書道演習Ⅱ																
近世文学講読Ⅱ																
漢文学講読Ⅰ																
国語学概論																
国文法概説Ⅱ																
国語科指導法Ⅱ																
国語科指導法Ⅲ																
国語科教育研究Ⅰ																
国文学史Ⅱ																
古典文学演習																
中古中世文学講読																
近代文学講読Ⅰ																
漢文学講読Ⅱ																
国語学演習																
国文学特講Ⅰ																
漢文学特講Ⅰ																
国語科指導法Ⅰ																
国語科指導法Ⅳ																
近世文学講読																
漢文学講読Ⅲ																
国語学特講																
書道演習Ⅲ																
書道概論																
書道史																
書道演習Ⅳ																
書道演習Ⅴ																

大学 No.57

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

地域の学校教育を取り巻く諸課題に対して、理論的かつ実践的に探究することのできる教員。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

科目によって“基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている(a)”のもの、“学習指導要領や中高校教科書に記載されている内容にもとづいて構成されている(b)”のもの、中間のものがある

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、両者をほぼ同時並行的に履修する形となっている

大学 No.57　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
世界地誌概説																
法学概論Ⅰ																
政治学概論Ⅰ																
政治学概論Ⅱ																
経済学概説Ⅰ																
経済学概説Ⅱ																
社会学概論																
倫理学概論																
現代政治学																
政治学特講																
政治学演習Ⅰ																
政治学演習Ⅱ																
社会系教科教育概論Ⅰ																
日本古代・中世史概説																
自然地理学概説																
地誌学概説																
法学概論Ⅱ																
哲学概論																
社会地理学																
憲法Ⅱ																
経済学特講																
倫理学演習																
社会系教科教育概論Ⅱ																
地歴科教育概論																
日本近世・近代史概説																
外国史概説																
人文地理学概説																
日本史特講Ⅰ																
歴史学演習																
日本史演習Ⅰ																
日本史演習Ⅲ																
西洋史特講																
西洋史演習Ⅰ																
東洋史概説																
考古学概説																
自然地理学Ⅰ																
人文地理学Ⅰ																
経済地理学																
自然地理学演習Ⅰ																
人文地理学演習Ⅰ																
自然地理学野外演習																
人文地理学野外演習																
自然地理学特講																
地誌学特講																
憲法Ⅰ																
法学演習Ⅰ																
法学特講																
民法																
経済学演習Ⅰ																
倫理学特講Ⅱ																
倫理学の諸問題																
哲学特講																
哲学演習																
社会系教科教育概論Ⅲ																
公民科教育概論Ⅰ																
日本史特講Ⅱ																
日本史演習Ⅱ																
日本史演習Ⅳ																
西洋史演習Ⅱ																
自然地理学Ⅱ																
人文地理学Ⅱ																
地理学演習																
自然地理学演習Ⅱ																
人文地理学演習Ⅱ																
法学演習Ⅱ																
政治思想史																
経済学演習Ⅱ																
倫理学特講Ⅰ																
西洋史演習Ⅲ																
法学演習Ⅲ																

大学 No.57　高等学校（地理歴史）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
世界地誌概説																
社会系教科教育概論Ⅰ																
日本古代・中世史概説																
自然地理学概説																
地誌学概説																
社会系教科教育概論Ⅱ																
地歴科教育概論																
日本近世・近代史概説																
外国史概説																
人文地理学概説																
日本史特講Ⅰ																
歴史学演習																
日本史演習Ⅰ																
日本史演習Ⅲ																
西洋史特講																
西洋史演習Ⅰ																
東洋史概説																
考古学概説																
自然地理学Ⅰ																
人文地理学Ⅰ																
経済地理学																
自然地理学演習Ⅰ																
人文地理学演習Ⅰ																
自然地理学野外演習																
人文地理学野外演習																
自然地理学特講																
地誌学特講																
日本史特講Ⅱ																
日本史演習Ⅱ																
日本史演習Ⅳ																
西洋史演習Ⅱ																
自然地理学Ⅱ																
人文地理学Ⅱ																
地理学演習																
自然地理学演習Ⅱ																
人文地理学演習Ⅱ																
西洋史演習Ⅲ																

大学 No.57　高等学校（公民）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的･包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
法学概論Ⅰ																
政治学概論Ⅰ																
政治学概論Ⅱ																
経済学概説Ⅰ																
経済学概説Ⅱ																
社会学概論																
倫理学概論																
現代政治学																
政治学特講																
政治学演習Ⅰ																
政治学演習Ⅱ																
法学概論Ⅱ																
哲学概論																
社会地理学																
憲法Ⅱ																
経済学特講																
倫理学演習																
憲法Ⅰ																
法学演習Ⅰ																
法学特講																
民法																
経済学演習Ⅰ																
倫理学特講Ⅱ																
倫理学の諸問題																
哲学特講																
哲学演習																
社会系教科教育概論Ⅲ																
公民科教育概論Ⅰ																
法学演習Ⅱ																
政治思想史																
経済学演習Ⅱ																
倫理学特講Ⅰ																
法学演習Ⅲ																

大学 No.57

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

数学の専門的知識と授業力を身につけた教員の養成。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設せずに、専門的内容の科目を複数組み合わせている

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

概して、教科内容科目を先に履修し、それを踏まえて教科教育科目を履修する形となっている

大学 No57　中学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
線型代数学Ⅰ																
解析学Ⅰ																
数学科教育内容Ⅰ（解析）																
初等幾何学																
線型代数学Ⅱ																
解析学Ⅱ																
数学科教育内容Ⅰ（代数）																
数学科教育内容Ⅰ（幾何）																
代数学Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
解析学Ⅲ																
確率統計Ⅰ																
数学科教育																
代数学Ⅱ																
幾何学Ⅱ																
複素関数論																
確率統計Ⅱ																
計算機論Ⅰ																
数学科指導法																
数学科教育特講																
代数学特講																
幾何学特講																
微分方程式論																
解析学特講																
確率統計特講																
計算機論Ⅱ																
コンピュータ特講																
算数・数学科教育研究																
数学特別演習Ⅰ																
数学特別演習Ⅱ																

大学 No57　高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
線型代数学Ⅰ																
解析学Ⅰ																
数学科教育内容Ⅰ（解析）																
初等幾何学																
線型代数学Ⅱ																
解析学Ⅱ																
数学科教育内容Ⅰ（代数）																
数学科教育内容Ⅰ（幾何）																
代数学Ⅰ																
幾何学Ⅰ																
解析学Ⅲ																
確率統計Ⅰ																
数学科教育																
代数学Ⅱ																
幾何学Ⅱ																
複素関数論																
確率統計Ⅱ																
計算機論Ⅰ																
数学科指導法																
数学科教育特講																
代数学特講																
幾何学特講																
微分方程式論																
解析学特講																
確率統計特講																
計算機論Ⅱ																
コンピュータ特講																
算数・数学科教育研究																
数学特別演習Ⅰ																
数学特別演習Ⅱ																

大学 No.57

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

本学理科専修では、身の回りの自然現象を科学的にとらえる力をもち、それを教育にいかすことができる教員の養成を目指しております。

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

専用の科目を開設している

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

基盤となる各学問領域の内容の体系に基づいて構成されている

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

両者に特別な関係はない

大学 No57　中学校・高等学校（理科）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物理学概説Ⅰ																
植物生理学																
遺伝学																
原生生物学																
動物形態分類学																
生物学野外実験																
地学特講																
物理学特講																
化学特講																
現代物理学																
理科教育概論Ⅰ																
理科教育概論Ⅱ																
物理学概説Ⅱ																
有機化学Ⅰ																
動物生理学																
植物形態分類学																
動物行動生態学																
植物生態学																
地球物理学																
初等理科授業研究																
理科教材論																
理科教育特講																
理科指導法Ⅰ																
物理学実験Ⅰ																
無機化学																
化学実験Ⅱ																
生物学実験Ⅱ																
地学概論Ⅰ																
地学実験Ⅰ																
有機化学Ⅱ																
物理化学																
無機化学演習																
地学野外実験Ⅰ																
中等理科授業研究																
理科指導法Ⅱ																
物理学実験Ⅱ																
化学実験Ⅰ																
生物学実験Ⅰ																
地学概論Ⅱ																
地学実験Ⅱ																
生化学																
分析化学																
有機化学演習																
鉱物学																
地学野外実験Ⅱ																
物理数学																
気象学																
岩石学																
構造地質学																
地球化学																
地学演習Ⅰ																
地学演習Ⅱ																
生物学特講																

大学 No.58

【どのような資質・能力を有する中学校国語、高等学校国語教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No58　中学校・高等学校（国語）

授業科目名（黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
国語科基礎講読																
ことばの教育フィールドワークⅠ																
ことばの教育フィールドワークⅡ																
言語文化論Ⅰ																
言語文化論Ⅱ																
日本語学特講Ⅲ																
日本近代文学特講Ⅲ																
日本古典文学特講Ⅲ																
漢文学特講Ⅲ																
日本語学概論																
日本文学概論Ⅱ																
国語科教育法A																
国語教育実践研究Ⅰ																
国語教育実践研究Ⅱ																
国語科教材研究Ⅲ																
国語科教材研究Ⅳ																
日本文学概論Ⅰ																
書道Ⅰ																
日本語学講義Ⅰ																
日本古典文学講読Ⅰ																
漢文学講読Ⅰ																
漢文学講読Ⅱ																
言語文化資料講読Ⅰ																
言語文化資料講読Ⅱ																
日本近代文学講読Ⅰ																
日本近代文学講読Ⅱ																
国語教育論Ⅱ																
国語科教育法B																
国語科教育法C																
国語教育論Ⅰ																
国語科教材研究Ⅰ																
国語科教材研究Ⅱ																
漢文学概論Ⅰ																
日本語学講義Ⅱ																
日本古典文学講読Ⅱ																
ことばの教育特講ⅠA																

授業科目名（黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
ことばの教育特講ⅡA																
ことばの教育特講ⅢA																
ことばの教育特講ⅢB																
日本語学特講ⅠA																
日本語学特講ⅡA																
日本古典文学特講ⅠA																
日本近代文学特講ⅠA																
日本近代文学特講ⅡA																
日本語学演習Ⅰ																
日本古典文学特講ⅡA																
日本古典文学演習Ⅰ																
漢文学特講ⅠA																
漢文学特講ⅡA																
ことばの教育特講ⅣA																
ことばの教育特講ⅣB																
ことばの教育演習Ⅰ																
ことばの教育演習Ⅱ																
ことばの教育演習Ⅲ																
ことばの教育演習Ⅳ																
日本語学演習Ⅱ																
日本近代文学演習Ⅰ																
日本近代文学演習Ⅱ																
漢文学演習Ⅰ																
漢文学演習Ⅱ																
ことばの教育特講ⅠB																
ことばの教育特講ⅡB																
日本語学特講ⅠB																
日本語学特講ⅡB																
日本近代文学特講ⅠB																
日本近代文学特講ⅡB																
漢文学特講ⅠB																
日本古典文学特講ⅠB																
日本古典文学特講ⅡB																
日本古典文学演習Ⅱ																
漢文学特講ⅡB																

大学 No.58

【どのような資質・能力を有する中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No.58　中学校（社会）

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科入門																
沖縄地域学習特殊講義Ⅰ																
沖縄地域学習特殊講義Ⅱ																
外国史概論A																
外国史概論B																
人文地理学概論																
自然地理学概論																
法学概論																
政治学概論																
社会学概論																
経済学概論																
地誌学概論A																
地誌学概論B																
歴史学史料講読Ⅰ（日本史）																
歴史学史料講読Ⅱ（日本史）																
歴史学史料講読Ⅲ（日本史）																
歴史学史料講読Ⅳ（日本史）																
歴史学史料講読Ⅴ（外国史）																
歴史学史料講読Ⅵ（外国史）																
歴史学史料講読Ⅶ（外国史）																
歴史学史料講読Ⅷ（外国史）																
歴史学特殊講義Ⅰ（日本史）																
歴史学特殊講義Ⅱ（日本史）																
歴史学特殊講義Ⅲ（日本史）																
歴史学特殊講義Ⅳ（日本史）																
歴史学特殊講義Ⅴ（外国史）																
歴史学特殊講義Ⅵ(外国史)																
歴史学特殊講義Ⅶ(外国史)																
歴史学特殊講義Ⅷ(外国史)																
史学文献講読Ⅰ																
史学文献講読Ⅱ																
海洋文化史論																
島嶼歴史文化研究Ⅰ																
島嶼歴史文化研究Ⅱ																
島嶼歴史文化研究Ⅲ																
島嶼歴史文化研究Ⅳ																
琉球・東アジアの史籍Ⅰ																
琉球・東アジアの史籍Ⅱ																
琉球・東アジアの史籍Ⅲ																
琉球・東アジアの史籍Ⅳ																
地理学外書講読Ⅰ																
地理学外書講読Ⅱ																
地理学実習Ⅰ（人文地理）																
地理学実習Ⅰ（自然地理）																
地理学実習Ⅲ（自然地理）																
地理学実習Ⅴ（自然地理）																

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
地理学実習Ⅶ（人文地理）																
地理学実習Ⅶ（自然地理）																
地理学特殊講義Ⅰ																
地理学特殊講義Ⅱ																
地理学特殊講義Ⅲ																
地理学特殊講義Ⅳ																
地理学特殊講義Ⅴ																
地理学特殊講義Ⅵ																
地理学特殊講義Ⅶ																
地理学特殊講義Ⅷ																
琉球と東アジアの地誌																
国際法概論																
法学特殊講義Ⅰ																
法学特殊講義Ⅱ																
法学特殊講義Ⅲ																
法学特殊講義Ⅳ																
沖縄と法																
国際経済論																
国際関係概論																
社会学方法論																
社会学学説研究Ⅰ																
社会学学説研究Ⅱ																
社会学特殊講義Ⅰ																
社会学特殊講義Ⅱ																
社会学特殊講義Ⅲ																
社会学特殊講義Ⅳ																
沖縄地域学習特殊講義Ⅰ																
沖縄地域学習特殊講義Ⅱ																
社会科教材研究																
哲学概説																
倫理学																
地理学実習Ⅱ（自然地理）																
地理学実習Ⅳ（自然地理）																
地理学実習Ⅵ（自然地理）																
地理学実習Ⅷ（人文地理）																
地理学実習Ⅷ（自然地理）																
琉球弧の自然環境																
社会科教育実践研究																
歴史史料講読Ⅰ																
歴史資料講読Ⅱ																
地理資料講読Ⅰ																
地理資料講読Ⅱ																
社会科教育特殊講義Ⅰ																
社会科教育特殊講義Ⅱ																
社会科教育特殊講義Ⅲ																

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科教育特殊講義Ⅳ																
公民科教育資料講読Ⅰ																
公民科教育資料講読Ⅱ																
日本史概論																
法学文献講読Ⅰ																
法学文献講読Ⅱ																
法教育特殊講義Ⅰ																
法教育特殊講義Ⅱ																
経済学特殊講義Ⅰ																
経済学特殊講義Ⅱ																
経済学特殊講義Ⅲ																
経済学特殊講義Ⅳ																
経済時事問題演習Ⅰ																
経済時事問題演習Ⅱ																
哲学史Ⅰ																
哲学史Ⅲ																
哲学特殊講義Ⅰ																
哲学特殊講義Ⅲ																
政治学特殊講義Ⅰ																
政治学特殊講義Ⅱ																
政治学特殊講義Ⅲ																
政治学特殊講義Ⅳ																
政治学外書講読Ⅰ																
政治学外書講読Ⅱ																
政治学実習Ⅰ																
政治学実習Ⅲ																
地域経営論																
行政学																
地方自治論																
沖縄の政治																
社会調査Ⅰ																
現代沖縄社会概説																
社会科教育法Ⅰ																
地理学実習Ⅱ（人文地理）																
哲学史Ⅱ																
哲学史Ⅳ																
哲学特殊講義Ⅱ																
哲学特殊講義Ⅳ																
沖縄／日本の思想																
政治学実習Ⅱ																
政治学実習Ⅳ																
地域経営基礎																
市民性教育実習Ⅰ																
市民性教育実習Ⅱ																
社会調査Ⅱ																

授業科目名 （黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科教育法（地理歴史系）Ⅱ																
社会科教育法（公民系）Ⅲ																
地理歴史科教育法Ⅰ																
公民科教育法Ⅰ																
社会科教育演習Ⅰ																
歴史学演習Ⅰ																
地理学演習Ⅰ																
地理学実習Ⅲ（人文地理）																
法学演習Ⅰ																
経済学演習Ⅰ																
哲学演習Ⅰ																
政治学演習Ⅰ																
社会学演習Ⅰ																
社会科教育法Ⅳ																
地理歴史科教育法Ⅱ																
公民科教育法Ⅱ																
社会科教育演習Ⅱ																
歴史学演習Ⅱ																
地理学演習Ⅱ																
地理学実習Ⅳ（人文地理）																
法学演習Ⅱ																
経済学演習Ⅱ																
哲学演習Ⅱ																
政治学演習Ⅱ																
社会学演習Ⅱ																
社会科教育演習Ⅲ																
歴史学演習Ⅲ																
地理学演習Ⅲ																
地理学実習Ⅴ（人文地理）																
法学演習Ⅲ																
経済学演習Ⅲ																
哲学演習Ⅲ																
政治学演習Ⅲ																
社会学演習Ⅲ																
社会科教育演習Ⅳ																
歴史学演習Ⅳ																
地理学演習Ⅳ																
地理学実習Ⅵ（人文地理）																
法学演習Ⅳ																
経済学演習Ⅳ																
哲学演習Ⅳ																
政治学演習Ⅳ																
社会学演習Ⅳ																
社会科教育研究																
社会認識教育実践論																

大学 No.58　高等学校（地理歴史）

授業科目名（黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科入門																
沖縄地域学習特殊講義Ⅰ																
沖縄地域学習特殊講義Ⅱ																
外国史概論A																
外国史概論B																
人文地理学概論																
自然地理学概論																
地誌学概論A																
地誌学概論B																
歴史学史料講読Ⅰ（日本史）																
歴史学史料講読Ⅱ（日本史）																
歴史学史料講読Ⅲ（日本史）																
歴史学史料講読Ⅳ（日本史）																
歴史学史料講読Ⅴ（外国史）																
歴史学史料講読Ⅵ（外国史）																
歴史学史料講読Ⅶ（外国史）																
歴史学史料講読Ⅷ（外国史）																
歴史学特殊講義Ⅰ（日本史）																
歴史学特殊講義Ⅱ（日本史）																
歴史学特殊講義Ⅲ（日本史）																
歴史学特殊講義Ⅳ（日本史）																
歴史学特殊講義Ⅴ（外国史）																
歴史学特殊講義Ⅵ（外国史）																
歴史学特殊講義Ⅶ（外国史）																
歴史学特殊講義Ⅷ（外国史）																
史学文献講読Ⅰ																
史学文献講読Ⅱ																
海洋文化史論																
島嶼歴史文化研究Ⅰ																
島嶼歴史文化研究Ⅱ																
島嶼歴史文化研究Ⅲ																
島嶼歴史文化研究Ⅳ																
琉球・東アジアの史籍Ⅰ																
琉球・東アジアの史籍Ⅱ																
琉球・東アジアの史籍Ⅲ																
琉球・東アジアの史籍Ⅳ																
地理学外書講読Ⅰ																
地理学外書講読Ⅱ																
地理学実習Ⅰ（人文地理）																
地理学実習Ⅰ（自然地理）																
地理学実習Ⅲ（自然地理）																
地理学実習Ⅴ（自然地理）																
地理学実習Ⅶ（人文地理）																
地理学実習Ⅶ（自然地理）																
地理学特殊講義Ⅰ																
地理学特殊講義Ⅱ																
地理学特殊講義Ⅲ																

授業科目名（黄色塗りつぶし：一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
地理学特殊講義Ⅳ																
地理学特殊講義Ⅴ																
地理学特殊講義Ⅵ																
地理学特殊講義Ⅶ																
地理学特殊講義Ⅷ																
琉球と東アジアの地誌																
哲学概説																
倫理学																
地理学実習Ⅱ（自然地理）																
地理学実習Ⅳ（自然地理）																
地理学実習Ⅵ（自然地理）																
地理学実習Ⅷ（人文地理）																
地理学実習Ⅷ（自然地理）																
琉球弧の自然環境																
社会科教育実践研究																
歴史史料講読Ⅰ																
歴史資料講読Ⅱ																
地理資料講読Ⅰ																
地理資料講読Ⅱ																
社会科教育特殊講義Ⅰ																
社会科教育特殊講義Ⅱ																
社会科教育特殊講義Ⅲ																
社会科教育特殊講義Ⅳ																
日本史概論																
社会科教育法（地理歴史系）Ⅱ																
地理歴史科教育法Ⅰ																
社会科教育演習Ⅰ																
歴史学演習Ⅰ																
地理学演習Ⅰ																
地理学実習Ⅲ（人文地理）																
社会科教育法Ⅳ																
地理歴史科教育法Ⅱ																
社会科教育演習Ⅱ																
歴史学演習Ⅱ																
地理学演習Ⅱ																
地理学実習Ⅳ（人文地理）																
社会科教育演習Ⅲ																
歴史学演習Ⅲ																
地理学演習Ⅲ																
地理学実習Ⅴ（人文地理）																
社会科教育演習Ⅳ																
歴史学演習Ⅳ																
地理学演習Ⅳ																
地理学実習Ⅵ（人文地理）																
社会科教育研究																
社会認識教育実践論																

大学 No.58　高等学校（公民）

授業科目名（黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
社会科入門																
法学概論																
政治学概論																
社会学概論																
経済学概論																
国際法概論																
法学特殊講義Ⅰ																
法学特殊講義Ⅱ																
法学特殊講義Ⅲ																
法学特殊講義Ⅳ																
沖縄と法																
国際経済論																
国際関係概論																
社会学方法論																
社会学学説研究Ⅰ																
社会学学説研究Ⅱ																
社会学特殊講義Ⅰ																
社会学特殊講義Ⅱ																
社会学特殊講義Ⅲ																
社会学特殊講義Ⅳ																
社会科教材研究																
哲学概説																
倫理学																
社会科教育実践研究																
社会科教育特殊講義Ⅰ																
社会科教育特殊講義Ⅱ																
社会科教育特殊講義Ⅲ																
社会科教育特殊講義Ⅳ																
公民科教育資料講読Ⅰ																
公民科教育資料講読Ⅱ																
法学文献講読Ⅰ																
法学文献講読Ⅱ																
法教育特殊講義Ⅰ																
法教育特殊講義Ⅱ																
経済学特殊講義Ⅰ																
経済学特殊講義Ⅱ																
経済学特殊講義Ⅲ																
経済学特殊講義Ⅳ																
経済時事問題演習Ⅰ																
経済時事問題演習Ⅱ																
哲学史Ⅰ																
哲学史Ⅲ																
哲学特殊講義Ⅰ																
哲学特殊講義Ⅲ																
政治学特殊講義Ⅰ																
政治学特殊講義Ⅱ																
政治学特殊講義Ⅲ																
政治学特殊講義Ⅳ																
政治学外書講読Ⅰ																
政治学外書講読Ⅱ																

授業科目名（黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
政治学実習Ⅰ																
政治学実習Ⅲ																
地域経営論																
行政学																
地方自治論																
沖縄の政治																
社会調査Ⅰ																
現代沖縄社会概説																
社会科教育法Ⅰ																
哲学史Ⅱ																
哲学史Ⅳ																
哲学特殊講義Ⅱ																
哲学特殊講義Ⅳ																
沖縄／日本の思想																
政治学実習Ⅱ																
政治学実習Ⅳ																
地域経営基礎																
市民性教育実習Ⅰ																
市民性教育実習Ⅱ																
社会調査Ⅱ																
社会科教育法（公民系）Ⅲ																
公民科教育法Ⅰ																
社会科教育演習Ⅰ																
法学演習Ⅰ																
経済学演習Ⅰ																
哲学演習Ⅰ																
政治学演習Ⅰ																
社会学演習Ⅰ																
社会科教育法Ⅳ																
公民科教育法Ⅱ																
社会科教育演習Ⅱ																
法学演習Ⅱ																
経済学演習Ⅱ																
哲学演習Ⅱ																
政治学演習Ⅱ																
社会学演習Ⅱ																
法学演習Ⅲ																
経済学演習Ⅲ																
哲学演習Ⅲ																
政治学演習Ⅲ																
社会学演習Ⅲ																
社会科教育演習Ⅳ																
法学演習Ⅳ																
経済学演習Ⅳ																
哲学演習Ⅳ																
政治学演習Ⅳ																
社会学演習Ⅳ																
社会科教育研究																
社会認識教育実践論																

大学 No.58

【どのような資質・能力を有する中学校数学、高等学校数学教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No58　中学校・高等学校（数学）

授業科目名 （黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
数学購読Ⅰ																
数学購読Ⅱ																
算数・数学教材研究																
算数・数学実践研究																
代数学序論Ⅰ																
解析学序論Ⅰ																
代数学序論Ⅰ演習																
解析学序論Ⅰ演習																
幾何学序論Ⅰ																
確率統計学Ⅰ																
幾何学序論Ⅰ演習																
確率統計学Ⅰ演習																
数学科教育法A																
幾何学序論Ⅱ																
情報数学Ⅰ																
代数学Ⅰ																
解析学Ⅰ																
確率統計学Ⅱ																
数学科教育法B																
数学科教育法C																
代数学序論Ⅱ																
解析学序論Ⅱ																
代数学Ⅱ																
幾何学Ⅰ																
幾何学Ⅱ																
解析学Ⅱ																
情報数学Ⅱ																
数学科教育法D																
代数学特論Ⅰ																
幾何学特論Ⅰ																
解析学特論Ⅰ																
情報数学特論Ⅱ																
代数学特論Ⅱ																
幾何学特論Ⅱ																
解析学特論Ⅱ																
情報数学特論Ⅰ																

大学 No.58

【どのような資質・能力を有する中学校理科、高等学校理科教員の養成を目指しているか】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の開設形態】（アンケート回答）

【「一般的包括的内容」科目の内容】（アンケート回答）

【教科教育科目と教科内容科目の履修順序】

大学 No58　中学校・高等学校（理科）

授業科目名（黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
化学Ⅰ																
生物学Ⅰ																
物理学Ⅰ																
地学Ⅰ																
物理学実験Ⅰ																
化学実験Ⅰ																
生物学実験Ⅰ																
地学実験Ⅰ																
物理学Ⅱ																
理科野外実習																
理科教育研究																
化学Ⅱ																
生物学Ⅱ																
地学Ⅱ																
物理学実験Ⅱ																
化学実験Ⅱ																
生物学実験Ⅱ																
地学実験Ⅱ																
理科教育法A																
理科教材研究																
自然科学																
環境地球科学																
物理学Ⅲ																
化学Ⅲ																
化学Ⅳ																
生物学Ⅲ																
生物学実験Ⅲ																
地学Ⅲ																
地学Ⅳ																
地球科学演習																
地球科学野外実習																
理科教育法B																
理科教育法C																
理科実践研究																
理科教育学演習ⅠA																
理科教育学演習ⅠB																
理科教育学演習ⅡA																
理科教育学演習ⅡB																

授業科目名（黄色塗りつぶし:一般的・包括的内容科目）	1年次				2年次				3年次				4年次			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
物理学Ⅳ																
物理学実験Ⅲ																
物理学実験Ⅳ																
化学実験Ⅲ																
化学実験Ⅳ																
生物学Ⅳ																
生物学実験Ⅳ																
物理学演習ⅠA																
物理学演習ⅠB																
化学演習ⅠA																
化学演習ⅠB																
生物学演習ⅠA																
生物学演習ⅠB																
地学演習ⅠA																
地学演習ⅠB																
理科教育法D																
物理学演習ⅡA																
物理学演習ⅡB																
化学演習ⅡA																
化学演習ⅡB																
生物学演習ⅡA																
生物学演習ⅡB																
地学演習ⅡA																
地学演習ⅡB																
課題研究Ⅰ																
課題研究Ⅱ																
理科教育特殊講義Ⅰ																
理科教育特殊講義Ⅱ																
物理学特殊講義Ⅰ																
物理学特殊講義Ⅱ																
化学特殊講義Ⅰ																
化学特殊講義Ⅱ																
生物学特殊講義Ⅰ																
生物学特殊講義Ⅱ																
地学特殊講義Ⅰ																
地学特殊講義Ⅱ																

発行日：2019（H31）年 3 月 20 日

文部科学省委託事業「平成 30 年度　教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」
テーマ８「教科教育コアカリキュラムの研究」成果報告書

中等教員としての資質・能力育成の体系化・プログラム化による教科教育コアカリキュラムー教科教育科目と教科内容科目の有機的連携ー

広島大学大学院教育学研究科教科コアカリ研究グループ
（実施責任者：広島大学大学院教育学研究科 棚橋 健治）
東広島市鏡山 1-1-1
広島大学大学院教育学研究科

印 刷：株式会社 ニシキプリント

広島大学